介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和８年３月

佐　倉　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 1
　１　調査の目的 1
　２　調査対象 1
　３　調査期間 1
　４　調査方法 1
　５　回収状況 1
　６　調査結果の表示方法 1

Ⅱ　調査結果のまとめ 2
　（１）あなたのご家族や生活状況について 2
　（２）からだを動かすことについて 2
　（３）食べることについて 3
　（４）毎日の生活について 3
　（５）地域での活動について 3
　（６）就労について 4
　（７）たすけあいについて 4
　（８）健康について 4
　（９）認知症にかかる相談窓口の把握について 5
　（10）今後の介護保険制度にかかわる施策について 5
　（11）生活機能評価等について 5
　（12）総括的傾向（全体まとめ） 6

Ⅲ　調査結果 7
　問１　あなたのご家族や生活状況について 9
　問２　からだを動かすことについて 22
　問３　食べることについて 43
　問４　毎日の生活について 62
　問５　地域での活動について 88
　問６　就労について 103
　問７　たすけあいについて 106
　問８　健康について 121
　問９　認知症にかかる相談窓口の把握について 134
　問 10　今後の介護保険制度にかかわる施策について 137

Ⅳ　生活機能評価等に関する分析 154
機能別リスク該当者割合の分析 154
（１）運動器の機能低下 154
（２）閉じこもり傾向 156
（３）転倒リスク 158
（４）低栄養の傾向 160
（５）口腔機能の低下 162
（６）認知機能 164
（７）うつ傾向 166
（８）ＩＡＤＬ（手段的自立度） 168
（９）知的能動性 170
（10）社会的役割 172

Ⅴ　調査票 174

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

第 10 期佐倉市高齢者福祉・介護計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2　調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：介護認定されていない 65 歳以上の方及び要支援１又は
２の認定を受けている 65 歳以上の方の中から抽出

3　調査期間

令和８年１月 16 日(金)～令和８年２月 27 日(金)

4　調査方法

郵送による発送・回収

5　回収状況

配布数	回収数	回収率
3,000通	2,093件	69.8%

6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。
・総合事業対象者は、回答者２名と非常に少なかったため、要支援１，２に合わせて集計を行いました。(要支援認定者等)

Ⅱ　調査結果のまとめ

（１）あなたのご家族や生活状況について

家族構成は「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 47.4%と最も高く、次いで「１人暮らし」が 16.0%、「息子・娘との２世帯」が 15.6%となっています。令和５年度調査と比較して大きな変化は見られません（問１（１）家族構成）。介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が 21.4%、「骨折・転倒」が 18.3%と高くなっています（問１（２）①介護・介助の原因）。

性・年齢別に分析すると、女性は年齢が上がるほど「夫婦２人暮らし」の割合が減少し、「１人暮らし」や「息子・娘との２世帯」の割合が高まり、配偶者との世帯が減少する傾向が見られます（問１（１））。また、要支援認定者等では「１人暮らし」の割合が 36.9%で、介護が必要な原因として「高齢による衰弱」や「骨折・転倒」等が一般高齢者に比べ高い割合を示しています（問１（１）家族構成、問１（２）①介護・介助の原因）。

今後の課題として、単身世帯や高齢者のみ世帯の増加に伴う、在宅生活の継続支援が重要であると考えられます。また、「高齢による衰弱」や「骨折・転倒」といった身体的要因が介護の主因となっていることから、これらを未然に防ぐフレイル予防の推進が必要と考えます。

（２）からだを動かすことについて

身体機能については、「階段の昇降」を自立して行っている割合が 59.1%、15 分位続けて歩くことが「できるし、している」が 76.2%となっています（問２（１）階段の昇降、（３）15 分程度の歩行）。外出頻度は「週２～４回」が 43.1%で最も高く、移動手段は「徒歩」（68.3%）に次いで、「自動車（自分で運転）」（54.1%）の利用が高い水準にあります（問２（６）外出頻度、（９）外出時の移動手段）。

加齢に伴い「ほとんど外出しない」層が増加する傾向にあり、特に女性の 85 歳以上で外出頻度が低下しています（問２（６）外出頻度）。外出を控える理由は「足腰などの痛み」が 57.3%と過半数を占めており、女性の 85 歳以上で 73.7%と高い割合を示しています（問２（８）①外出を控えている理由）。

身体機能の維持に向けた対策に加え、自動車運転から公共交通機関等への移行期における支援が課題であると考えられます。また「足腰の痛み」により外出を控える層に対し、適切な受診勧奨や運動機能維持の場を提供することが、閉じこもり防止の観点から重要であるとうかがえます。

（３）食べることについて

口腔機能に関しては、半年前と比較して、「固いものが食べにくくなった」と感じる割合が 29.1%、「お茶や汁物等でむせることがある」割合が 29.4%となっています（問３（２）固いものの食べにくさ、（３）むせることがあるか）。食事を共にする機会は「毎日ある」が 58.1%ですが、要支援認定者等では「毎日ある」割合が低下しています（問３（８）食事を共にする機会）。

また、男女ともに年齢が上がるほど口腔機能の低下を自覚する割合が高まっており、特に女性の 85 歳以上では半数近くになっています（問３（２）固いものの食べにくさ）。また、歯の数について、一般高齢者は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 43.6%を占めていますが、要支援認定者等は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 42.6%と高くなっています（問３（６）歯の状況）。

口腔機能の低下は低栄養やフレイルに直結しやすいため、早期の口腔ケア啓発が重要であると考えられます。また、孤食傾向は、食欲低下や栄養バランスの悪化を招く要因となる可能性があるため、適切なサービス提供など生活支援体制を整えることが必要であるとうかがえます。

（４）毎日の生活について

毎日の生活については、電話、買い物、預貯金の出し入れなどの項目で８割以上が「できるし、している」と回答しており、高い自立度を維持しています（問４（２）電話をかけているか、（５）自分で食品等の買い物をしているか、（８）自分で預貯金をしているか）。一方で、物忘れを自覚する割合は 42.9%で、日付の認識に不安がある割合は 26.0%となっています（問４（１）物忘れ、（３）今日が何月何日か）。

傾向として、男女ともに年齢が上がるほど手段的自立度（ＩＡＤＬ）の低下が見られます。特に本や雑誌を「読んでいない」層が令和５年度調査と比較して増加しており、知的能動性の低下がうかがえます（問４(11)本や雑誌を読むか）。なお、趣味についても「思いつかない」とする割合が同様に比較すると増加傾向となっています。(問４(17)趣味)。

認知機能への不安を抱えつつも、多くの高齢者が高い生活自立度を維持している実態がうかがえます。今後は、認知機能維持や生活の充実には、日々の生活の中で楽しみや役割を持てるような活動の紹介や、気軽に参加できる機会作りなどが重要であると考えられます。

（５）地域での活動について

地域活動の状況は、収入のある仕事の従事やスポーツ関係のグループ活動に参加する割合が高い一方で、高齢者クラブ等への参加率は低い水準にあります（問５（１）グループへの参加）。地域住民が主導する健康づくりや趣味のグループ活動に対しては、「是非参加したい」5.9%、「参加してもよい」50.8%と半数以上が前向きな姿勢を示しています（問５（２）参加者としての参加）。

性・年齢別の傾向として、男性の 65～74 歳では「収入のある仕事」の割合が高く、退職後の地域活動への移行が緩やかである様子が見られます（問５（１）⑧収入のある仕事）。活動の企画・運営については「参加したくない」が 60.1%と多数を占めており、担い手の確保に課題のある状況がうかがえます（問５（３）企画・運営としての参加）。

参加意欲は高いものの運営側への関与には負担を感じる層もいます。そのため、ボランティアやサークル活動において、就労経験を活かせる役割の提示や、短時間・単発で関われる活動など多様な活動意欲に応える受け皿の整備が課題であると考えられます。

（６）就労について

現在の就労状態は「引退した」が 59.1%で最多ですが、65～74 歳の男性では 17.3%が常勤、21.0%が非常勤（パート・アルバイト等）として働いています（問 6(1)）。女性も 65～74 歳では 24.1%が非常勤として従事しており、男女とも 65～74 歳の若年高齢層では就労している人の割合が高い傾向です（問６（１)就労状態)。

また、要支援認定者等は「引退した」割合が 66.7%と一般高齢者より高く、就労継続が身体的状況に左右されている実態が示されています（問６（１)就労状態)。

定年延長等の社会情勢を背景に、高齢者の就労期間が長期化している傾向が見られます。就労は社会参加や健康維持の重要な手段の一つとなっています。一方で、就労とあわせて地域活動や介護予防活動にもかかわるなど、多様な地域活動等への参加の在り方が課題であると考えられます。

（７）たすけあいについて

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人については「配偶者」が 60.5%と最も多く、次いで「友人」が 45.5%、「別居の子ども」が 39.8%となっています（問７（１)心配事や愚痴を聞いてくれる人)。看病の担い手についても「配偶者」が 65.5%で最多ですが、要支援認定者等では「別居の子ども」が最多となっています（問７（３)看病の担い手)。

家族・友人以外で相談する相手が「いない」とする回答が 44.3%と、高い割合を占めている点が注目されます（問７（５)相談する相手)。性別で見ると、女性は「友人」とのネットワークを広く持つのに対し、男性、特に 85 歳以上の単身層では「友人・知人と会う頻度」や「会う人数」が少ない傾向が顕著です（問７（６)友人・知人と会う頻度、（７）１か月間の友人・知人と会う頻度)。

高齢者のみ世帯や単身世帯の増加を背景に、配偶者以外による支援等の体制づくりが課題であると考えられます。特に男性高齢者の社会的孤立を防ぐため、地域住民や専門職（ケアマネジャー等）との接点を早期に構築し、地域の見守り活動などのインフォーマルな助け合い機能と、専門職へつなぐなどフォーマルな支援の連携を強めることが重要です。

（８）健康について

現在の健康状態を「よい」とする割合は 80.0%に達し、多くの高齢者が健康に対して肯定的な自己評価を持っています（問８（１)健康状態)。しかし、精神面では 37.6%が「この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりする」と回答しており、抑うつ傾向が一定程度認められます（問８（３))。

治療中の病気では「高血圧」（40.4%）が最多であり、加齢とともに「心臓病」や「目の病気」の割合が上昇する傾向にあります（問８（７))。幸福度については、「10 点」満点中、「８点」以上と回答する割合が約４割を占める一方、要支援認定者等では「５点」以下の割合が一般高齢者より高くなっています（問８（２)幸福度)。

身体的健康の維持と並行して、心の健康（メンタルヘルス）対策が課題であると考えられます。特に、抑うつ傾向や興味の減退（22.2%）を訴える層に対し、社会参加の機会提供や早期の相談支援を行うことなど、心の健康を保つ取り組みが必要であるとうかがえます（問８（４)興味がわかないこと)。

（９）認知症にかかる相談窓口の把握について

認知症に関する相談窓口を「知っている」割合は 27.6%にとどまり、「知らない」とする割合が 68.0%と過半数を上回っています（問９(２)認知症の相談窓口)。

性・年齢別の分析では、女性において年齢が上がるほど「知らない」割合が高まっており、本来支援を必要とする高年齢層への情報到達が不十分である可能性が見られます（問９（２）認知症の相談窓口)。一般・認定者別に見ても、「知っている」割合に大きな差は見られません。

認知症に対する早期相談・早期対応を促進するため、相談窓口の周知徹底が非常に重要であると考えられます。地域包括支援センター等の相談窓口の存在を、高齢者本人のみならず、その家族や近隣住民に対しても継続的に情報発信していく必要があります。

(10）今後の介護保険制度にかかわる施策について

介護が必要になった際の希望は、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が 35.6%で最多で、在宅生活の継続には「住み続けられる住まいがある」(69.9%)、「家族が同居または近くにいる」(52.7%)ことが重視されています（問 10(１)介護を受けたい場所)、(問 10(２)自宅で暮らし続けるために必要なこと)。

保険料負担については、56.7%が家計への影響を「大きい」と感じています。介護保険施策への要望としては、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」（52.3%）が最も高くなっています（問 10(４)介護保険料、(６)介護保険料に関わる施策)。また、65～74 歳の若年高齢層ほど、家族の負担軽減を強く求める傾向が見られます（問 10(６)介護保険料に関わる施策)。

いつまでも住み慣れた地域で暮らす生活維持を支える基盤として、住環境整備と家族支援の充実が重要です。今後は、保険財政の状況を踏まえながら制度の持続可能性に配慮しつつ、サービス提供体制の質と効率性の向上、介護を支える多様な機能強化を図る必要があるとうかがえます。

(11）生活機能評価等について

生活機能評価の結果、何らかのリスクに該当する割合は、「社会的役割の低下」が 71.0%と最も高く、次いで「知的能動性の低下」(49.6%)、「認知機能（物忘れ)」(41.9%)、「うつ傾向」(40.7%）の順となっています（Ⅲ(６)～(10)認知機能、うつ傾向、知的能動性、社会的役割)。

身体機能面のリスクでは「転倒リスク」が 29.9%、「口腔機能の低下」が 24.8%を占めています（Ⅲ(３)転倒リスク、(５)口腔機能の低下)。これらのリスクは加齢とともに上昇し、特に 85 歳以上では「閉じこもり傾向」が女性で 48.7%、男性で 29.7%と急増する傾向にあり、社会的・心理的な機能低下のリスクが高まっている状況が見られます。(Ⅲ(２)閉じこもり、（７）うつ傾向、(10）社会的役割）

社会的役割や知的能動性の低下を防ぐために、多様な社会参加プログラムの提供や地域での見守り活動を通じて、高齢者の役割を創出する取り組みが重要であるとうかがえます。

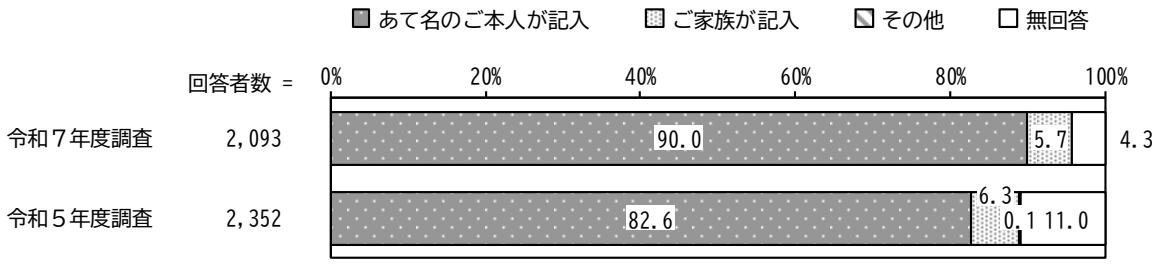
（12）総括的傾向（全体まとめ）

調査結果から、佐倉市の高齢者は全体として高い生活自立度と健康意識を維持していますが、「社会的役割」や「知的能動性」の低下といった心理的・社会的なリスクが見られます。また、85 歳以上の層において、身体機能の低下、閉じこもり傾向、認知機能への不安も現れており、「高齢者のみ世帯」や「単身世帯」の増加に伴う支援体制の整備が重要と考えられます。今後は、家族介護の負担を軽減する施策の充実とともに、性・年齢別のニーズに応じた多様な社会参加の場を確保し、「役割」の創出を通じた包括的なフレイル予防対策を推進することが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための鍵になると考えられます。

Ⅲ　調査結果

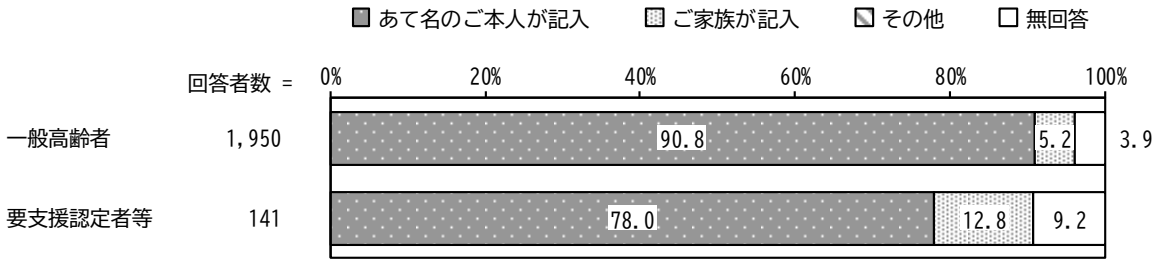
調査票を記入されたのはどなたですか。「○」をつけてください。

「あて名のご本人が記入」の割合が 90.0%、「ご家族が記入」の割合が 5.7%となっています。
令和５年度調査と比較すると、「あて名のご本人が記入」の割合が増加しています。



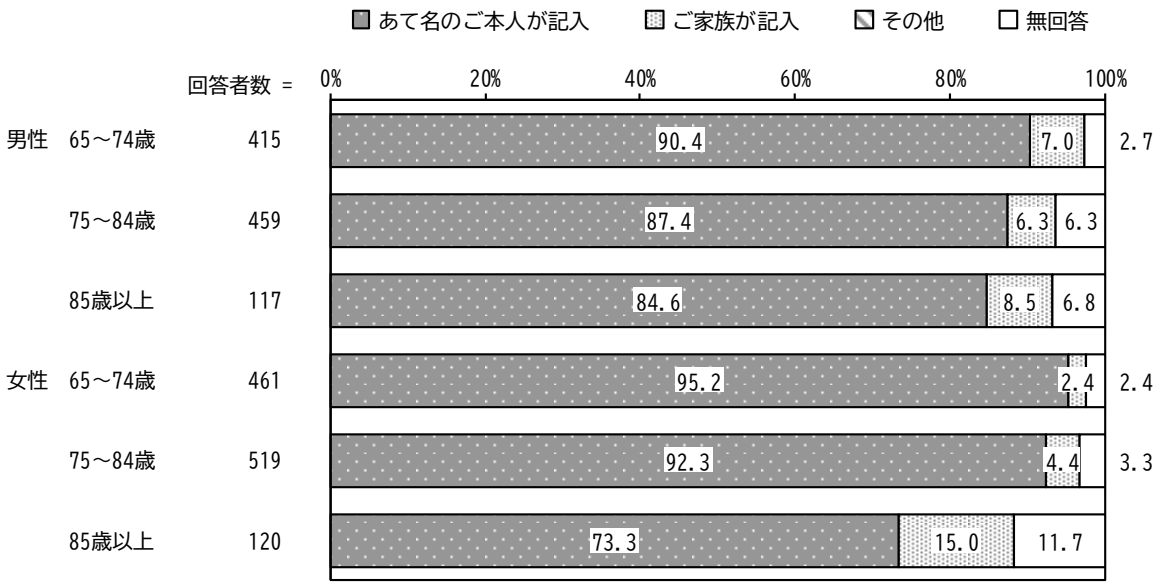
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「あて名のご本人が記入」の割合が高くなっています。



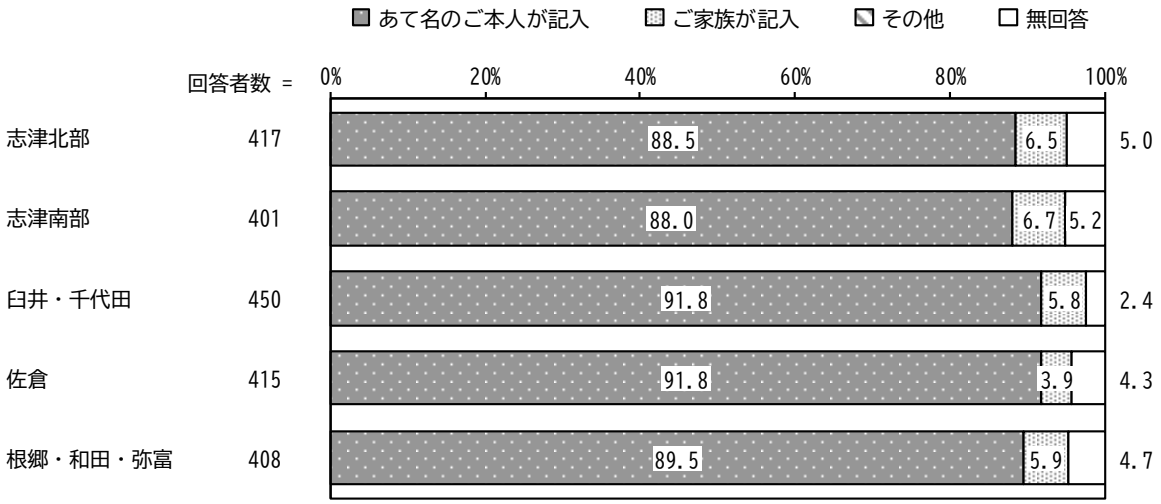
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「あて名のご本人が記入」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「ご家族が記入」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

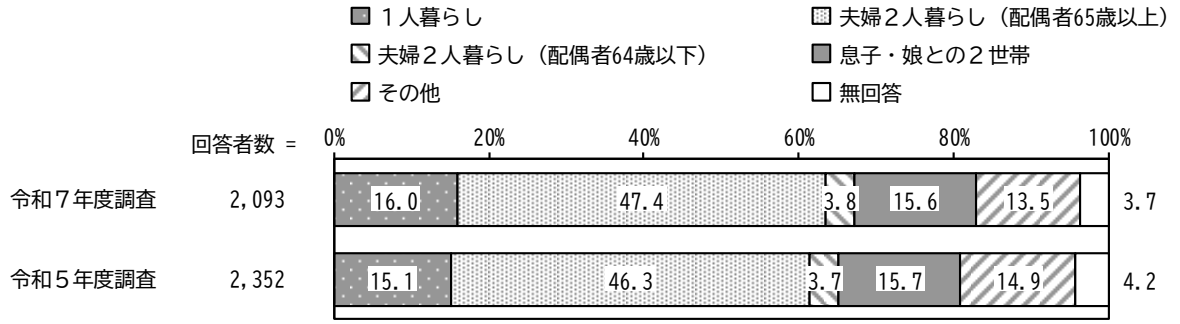


問１　あなたのご家族や生活状況について

（１）家族構成をお教えください

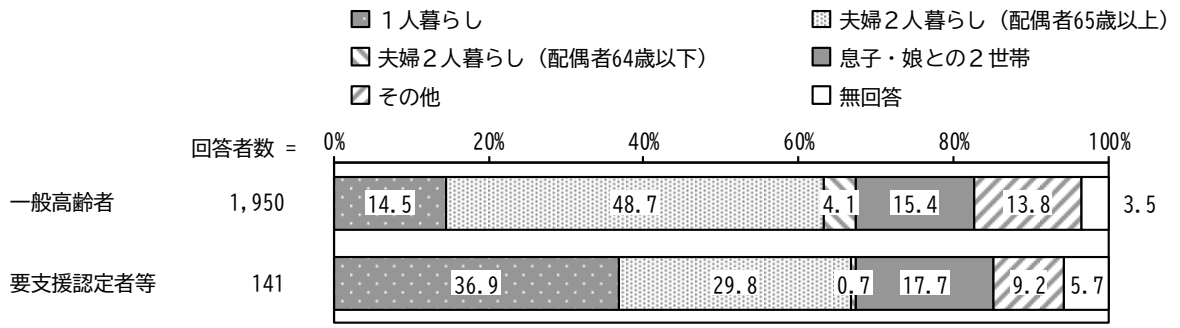
「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「１人暮らし」の割合が 16.0%、「息子・娘との２世帯」の割合が 15.6%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



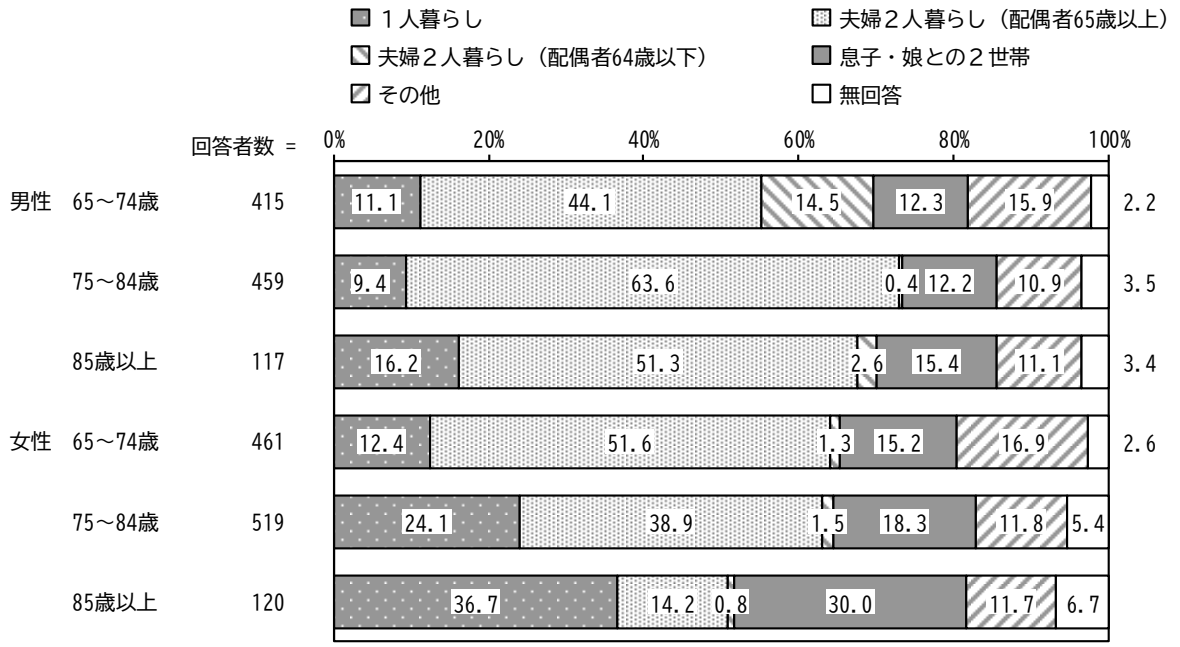
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が高く、要支援認定者等で「１人暮らし」の割合が高くなっています。



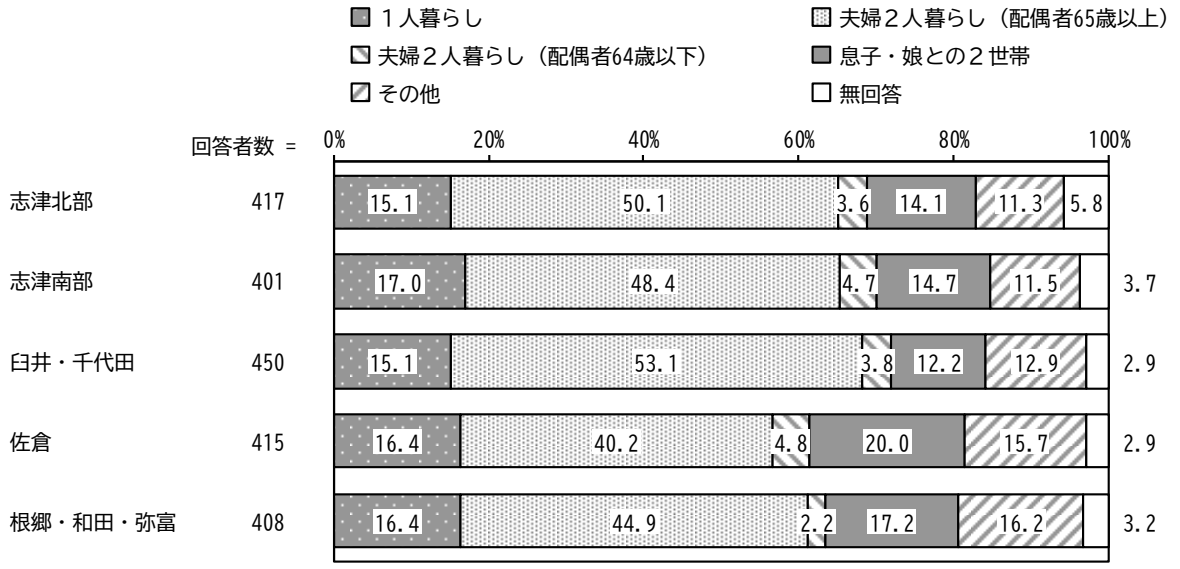
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「１人暮らし」「息子・娘との２世帯」の割合が高く、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上)」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

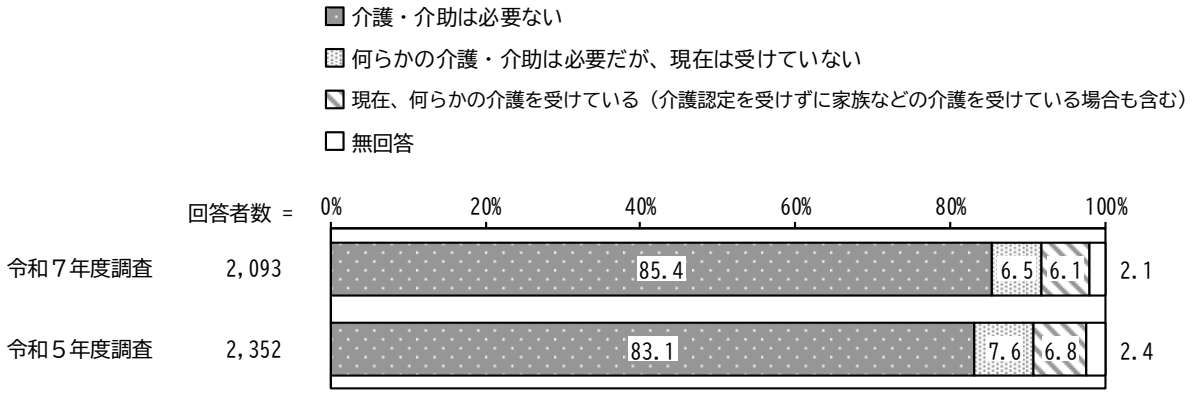
日常生活圏域別にみると、臼井・千代田で「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上)」の割合が高くなっています。



（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

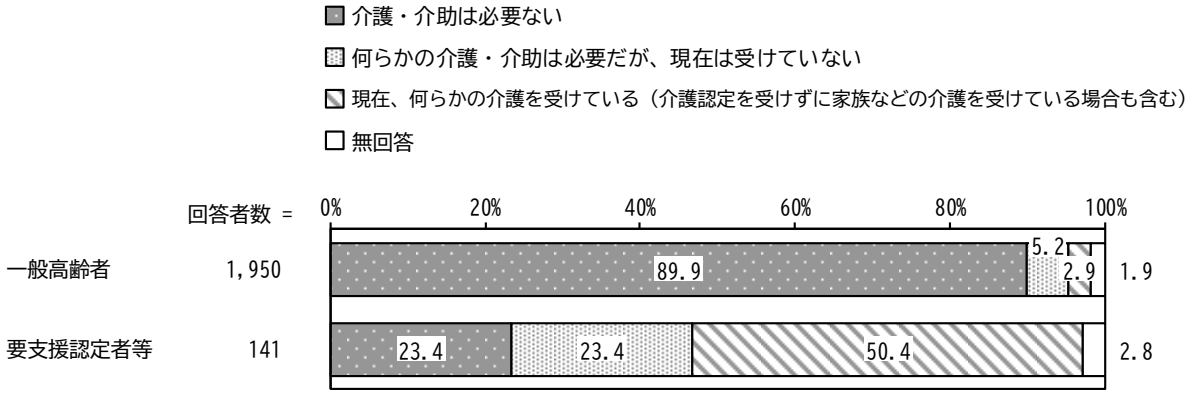
「介護・介助は必要ない」の割合が 85.4%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が 6.5%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が 6.1%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



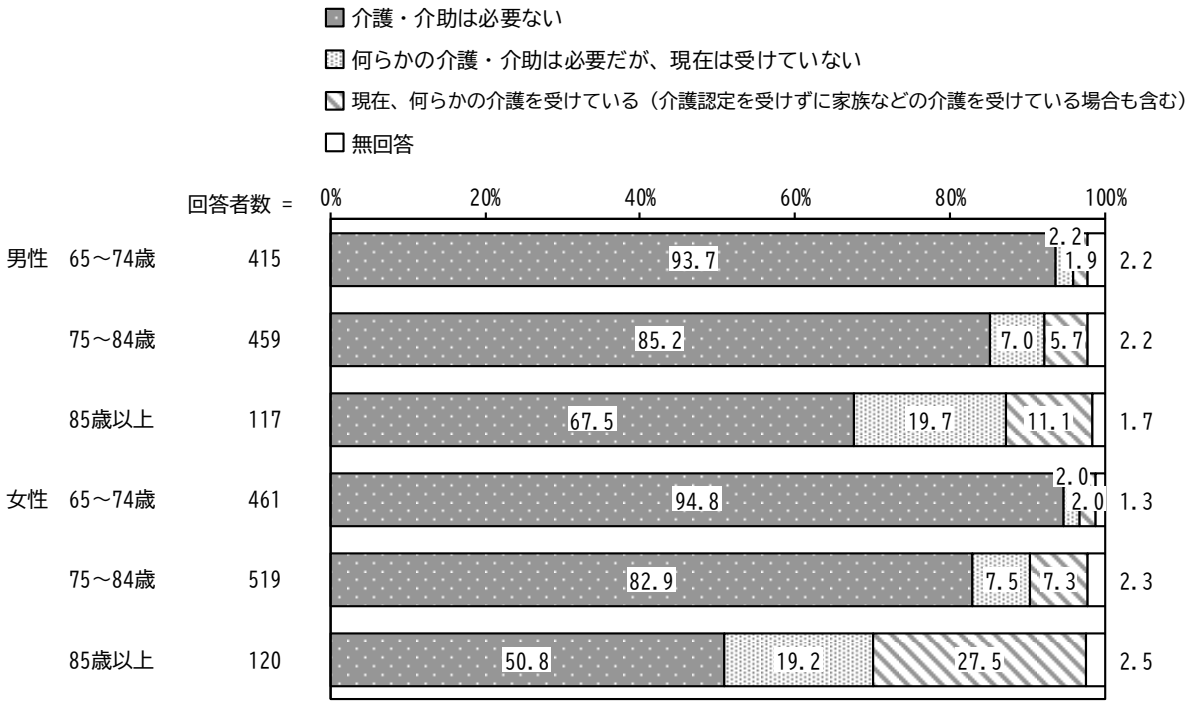
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高く、要支援認定者等で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。



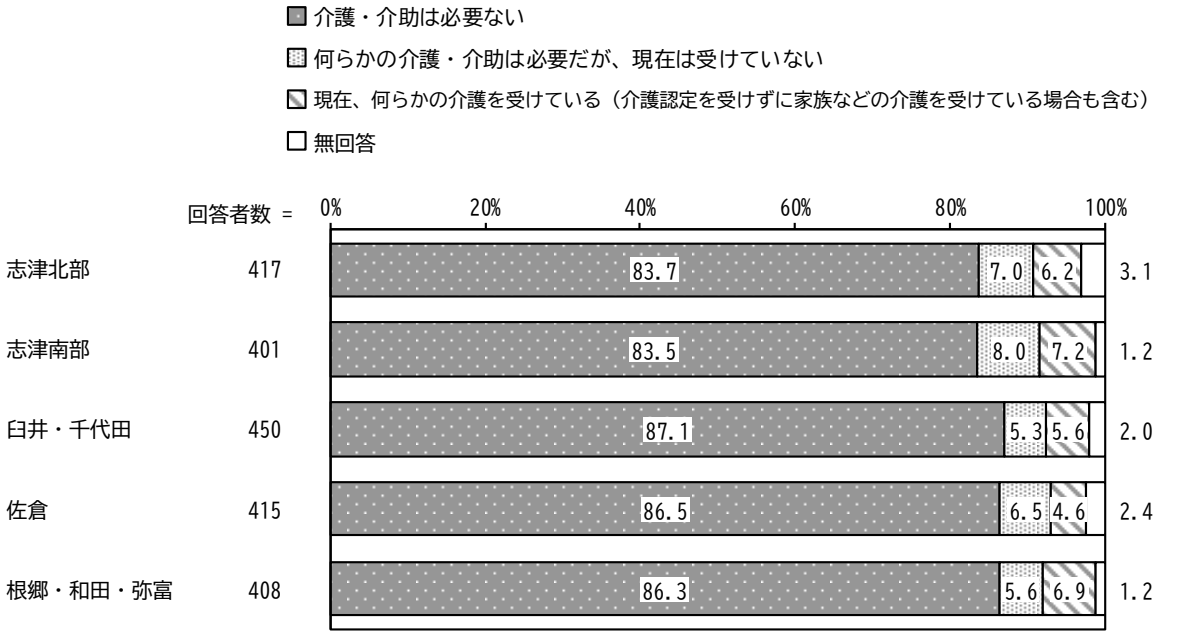
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高く、「介護・介助は必要ない」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

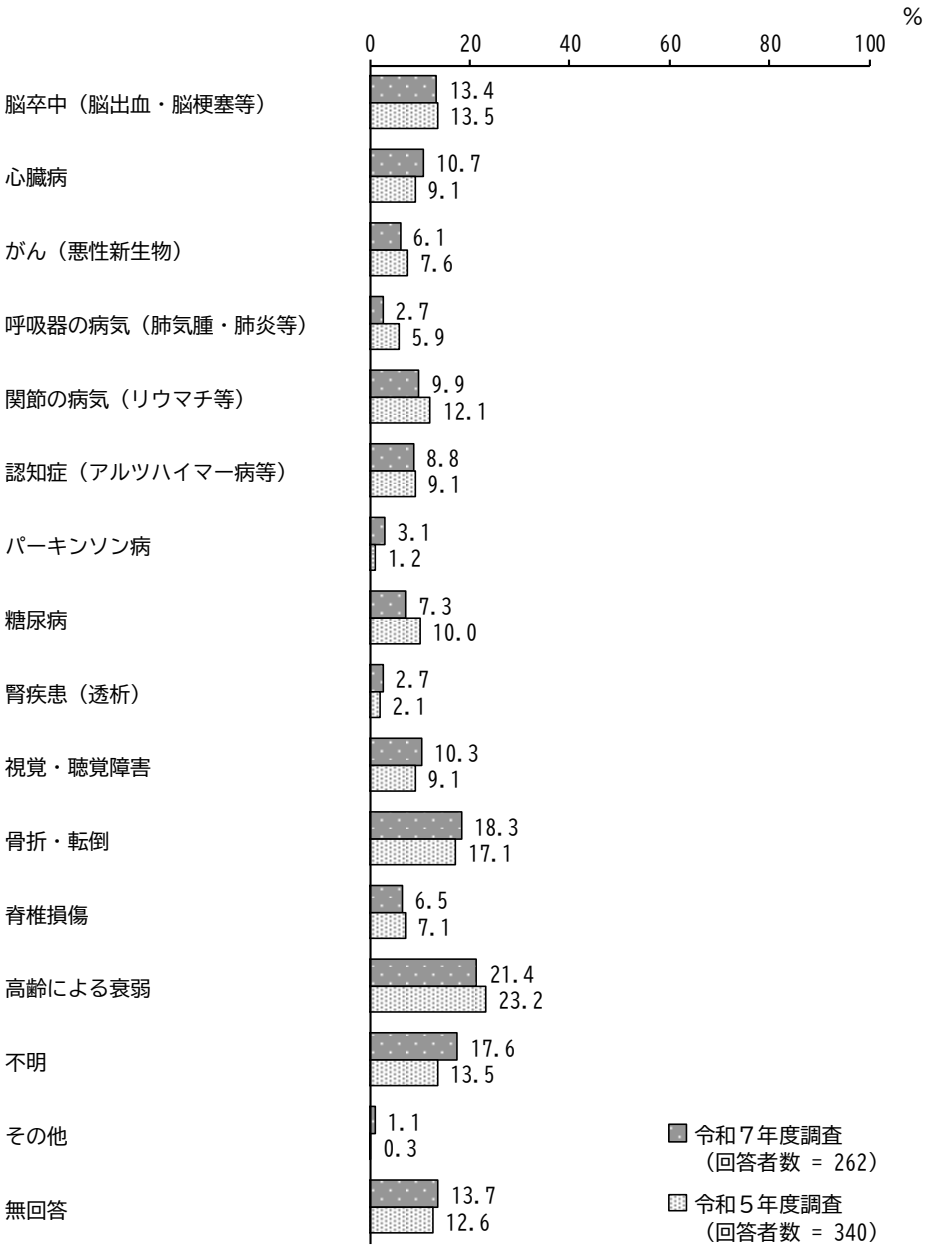


【（２）において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

「高齢による衰弱」の割合が 21.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が 18.3%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が 13.4%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「がん（悪性新生物）」「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が高く、要支援認定者等で「関節の病気（リウマチ等）」「骨折・転倒」「脊椎損傷」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病
全　体	262	13.4	10.7	6.1	2.7	9.9	8.8	3.1	7.3
一般高齢者	158	13.9	10.1	10.1	3.2	6.3	12.0	3.2	6.3
要支援認定者等	104	12.5	11.5	0.0	1.9	15.4	3.8	2.9	8.7

区分	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	不明	その他	無回答
全　体	2.7	10.3	18.3	6.5	21.4	17.6	1.1	13.7
一般高齢者	3.2	10.8	13.3	1.9	18.4	16.5	0.6	19.0
要支援認定者等	1.9	9.6	26.0	13.5	26.0	19.2	1.9	5.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「心臓病」「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高く、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が低く、女性では「心臓病」「脊椎損傷」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。また、女性の 85 歳以上で「骨折・転倒」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病
全　体	262	13.4	10.7	6.1	2.7	9.9	8.8	3.1	7.3
男性　65～74歳	17	35.3	5.9	5.9	0.0	5.9	11.8	5.9	5.9
75～84歳	58	15.5	12.1	12.1	6.9	3.4	12.1	5.2	8.6
85歳以上	36	13.9	16.7	2.8	0.0	2.8	8.3	0.0	8.3
女性　65～74歳	18	11.1	0.0	5.6	5.6	11.1	16.7	0.0	5.6
75～84歳	77	7.8	7.8	3.9	0.0	15.6	5.2	3.9	6.5
85歳以上	56	12.5	14.3	5.4	3.6	14.3	7.1	1.8	7.1

区分	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	不明	その他	無回答
全　体	2.7	10.3	18.3	6.5	21.4	17.6	1.1	13.7
男性　65～74歳	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	23.5	0.0	11.8
75～84歳	5.2	15.5	13.8	5.2	15.5	17.2	0.0	12.1
85歳以上	0.0	8.3	22.2	2.8	44.4	8.3	5.6	16.7
女性　65～74歳	5.6	0.0	16.7	5.6	11.1	22.2	5.6	5.6
75～84歳	1.3	11.7	11.7	6.5	11.7	22.1	0.0	22.1
85歳以上	1.8	10.7	33.9	12.5	33.9	14.3	0.0	5.4

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、臼井・千代田、根郷・和田・弥富で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、佐倉で「心臓病」、根郷・和田・弥富で「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」「視覚・聴覚障害」、志津北部で「糖尿病」「高齢による衰弱」、臼井・千代田で「骨折・転倒」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病
全　体	262	13.4	10.7	6.1	2.7	9.9	8.8	3.1	7.3
志津北部	55	7.3	12.7	1.8	1.8	14.5	7.3	3.6	12.7
志津南部	61	11.5	6.6	1.6	0.0	6.6	9.8	1.6	3.3
臼井・千代田	49	18.4	10.2	10.2	4.1	10.2	10.2	2.0	6.1
佐倉	46	10.9	17.4	10.9	0.0	10.9	10.9	4.3	4.3
根郷・和田・弥富	51	19.6	7.8	7.8	7.8	7.8	5.9	3.9	9.8

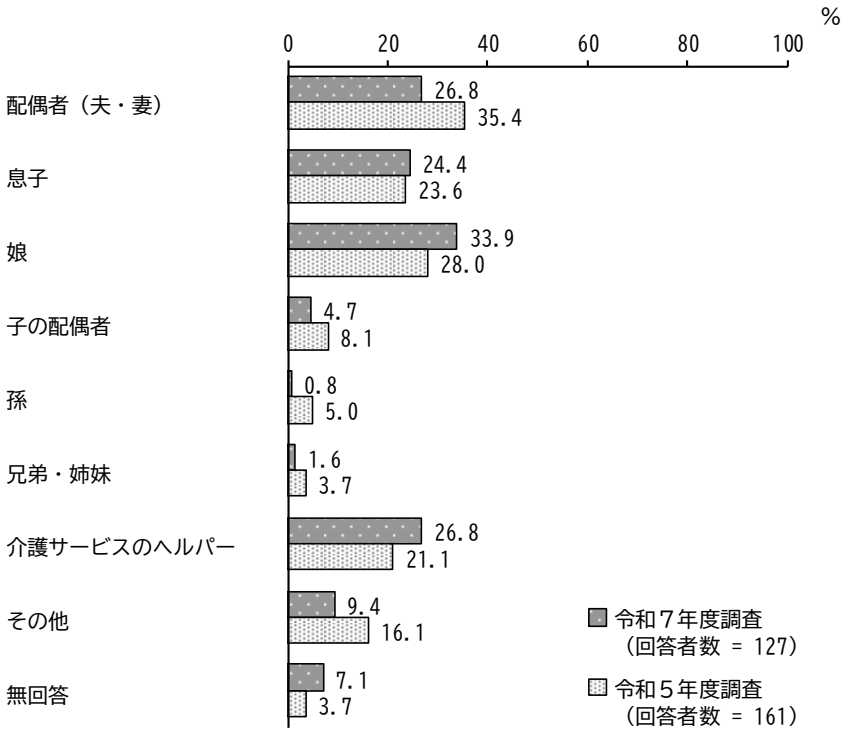
区分	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	不明	その他	無回答
全　体	2.7	10.3	18.3	6.5	21.4	17.6	1.1	13.7
志津北部	3.6	7.3	20.0	7.3	32.7	12.7	1.8	14.5
志津南部	1.6	11.5	19.7	4.9	21.3	21.3	1.6	18.0
臼井・千代田	2.0	6.1	28.6	10.2	14.3	16.3	0.0	10.2
佐倉	0.0	10.9	13.0	6.5	15.2	21.7	0.0	15.2
根郷・和田・弥富	5.9	15.7	9.8	3.9	21.6	15.7	2.0	9.8

【（２）において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

「娘」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」、「介護サービスのヘルパー」の割合が 26.8%となっています。

令和５年度調査と比較すると、「娘」「介護サービスのヘルパー」の割合が増加しています。一方、「配偶者（夫・妻）」の割合が減少しています。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「配偶者（夫・妻）」の割合が高く、要支援認定者等で「息子」「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全　体	127	26.8	24.4	33.9	4.7	0.8	1.6	26.8	9.4	7.1
一般高齢者	56	35.7	21.4	35.7	7.1	0.0	1.8	12.5	8.9	8.9
要支援認定者等	71	19.7	26.8	32.4	2.8	1.4	1.4	38.0	9.9	5.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では、年齢が上がるほど「息子」の割合が高く、女性では「息子」「介護サービスのヘルパー」の割合が高く、「配偶者（夫・妻)」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全　体	127	26.8	24.4	33.9	4.7	0.8	1.6	26.8	9.4	7.1
男性　65～74歳	8	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0
75～84歳	26	46.2	26.9	19.2	0.0	0.0	3.8	23.1	15.4	3.8
85歳以上	13	15.4	30.8	53.8	15.4	0.0	0.0	38.5	7.7	7.7
女性　65～74歳	9	44.4	11.1	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
75～84歳	38	26.3	15.8	28.9	7.9	0.0	2.6	23.7	10.5	13.2
85歳以上	33	9.1	36.4	39.4	3.0	3.0	0.0	27.3	3.0	6.1

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、志津北部で「息子」「娘」、志津南部で「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

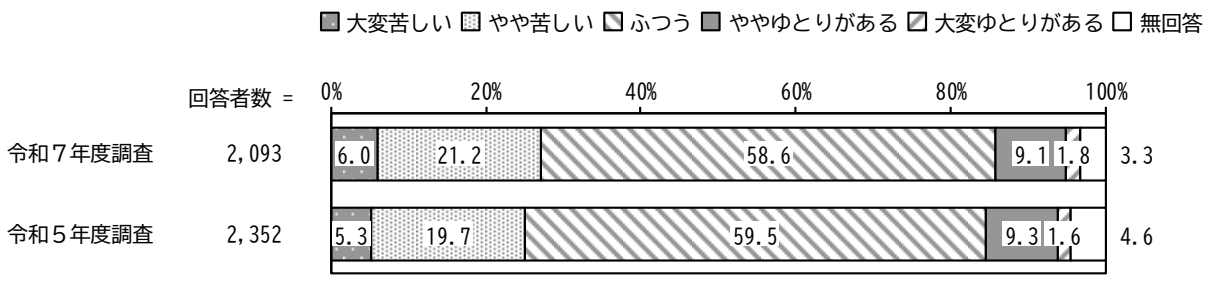
単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全　体	127	26.8	24.4	33.9	4.7	0.8	1.6	26.8	9.4	7.1
志津北部	26	26.9	34.6	53.8	7.7	3.8	0.0	19.2	11.5	7.7
志津南部	29	24.1	17.2	24.1	0.0	0.0	0.0	44.8	3.4	6.9
臼井・千代田	25	24.0	20.0	20.0	8.0	0.0	4.0	28.0	12.0	0.0
佐倉	19	26.3	15.8	21.1	10.5	0.0	5.3	31.6	10.5	5.3
根郷・和田・弥富	28	32.1	32.1	46.4	0.0	0.0	0.0	10.7	10.7	14.3

（3）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

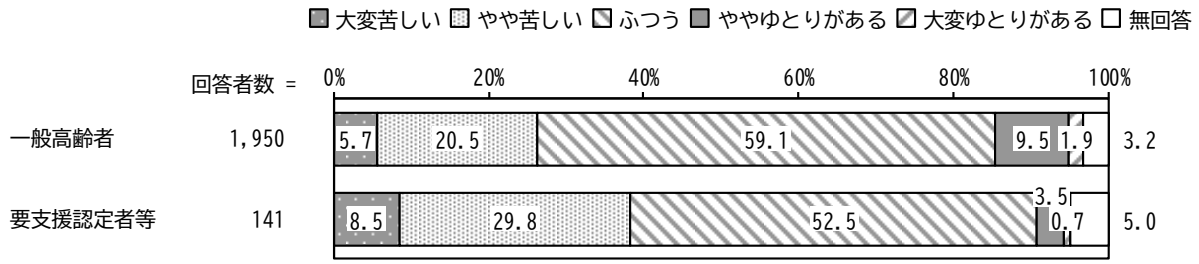
「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 27.2%、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 10.9%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



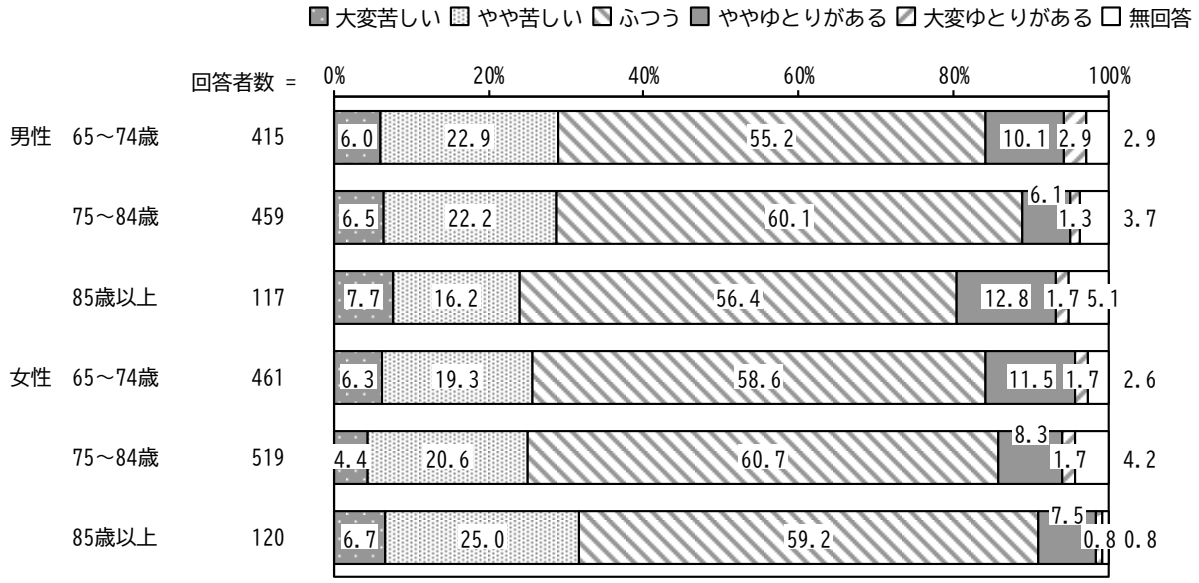
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、要支援認定者等で“苦しい”の割合が高くなっています。



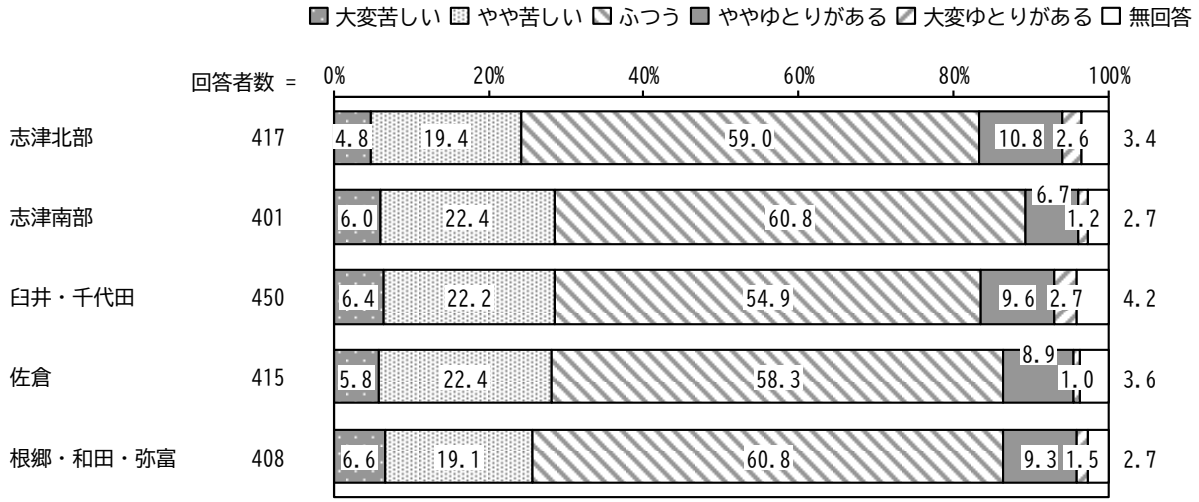
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では“苦しい”の割合が高く、女性では“ゆとりがある”の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

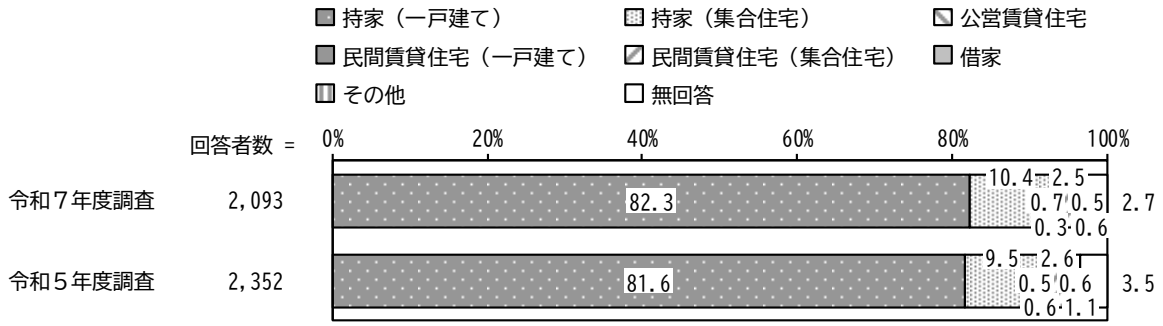
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（4）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

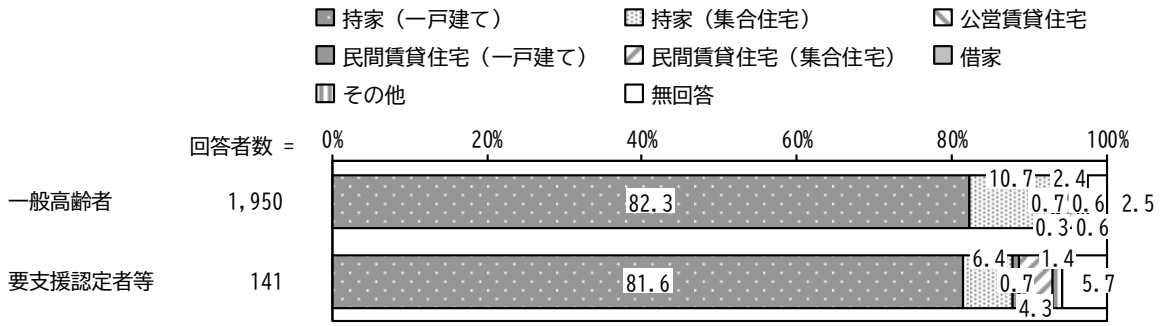
「持家（一戸建て）」の割合が 82.3%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」の割合が 10.4%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



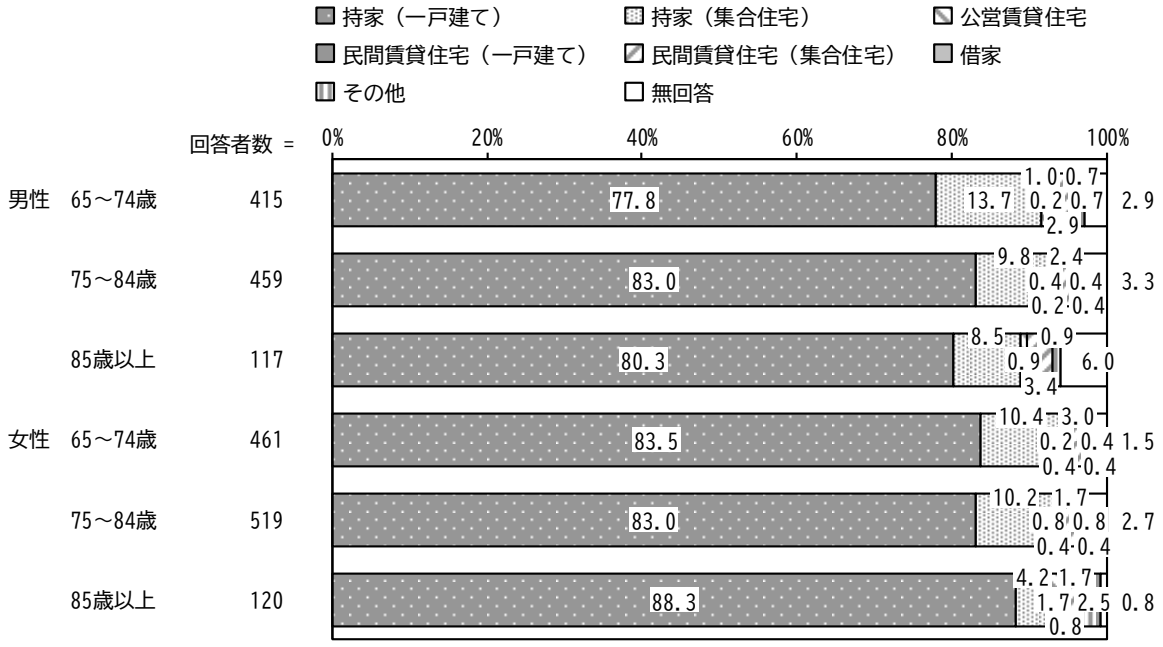
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



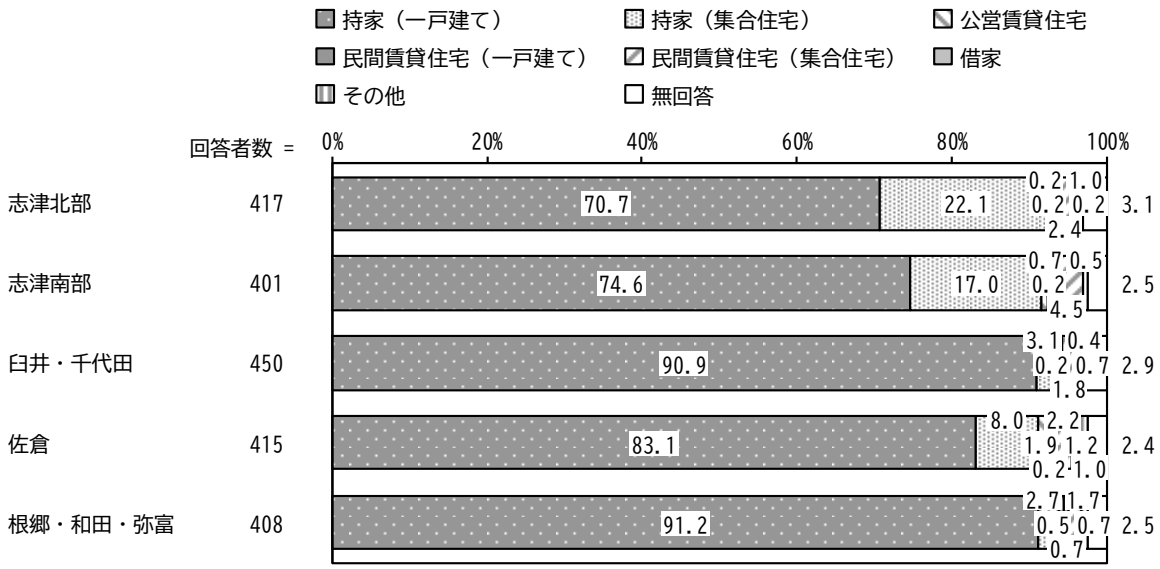
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「持家（集合住宅）」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、臼井・千代田、根郷・和田・弥富で「持家（一戸建て）」、志津北部で「持家（集合住宅）」の割合が高くなっています。

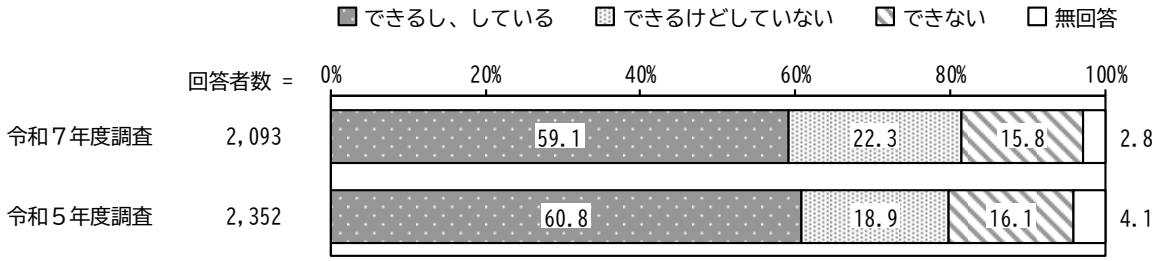


問２　からだを動かすことについて

（１）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

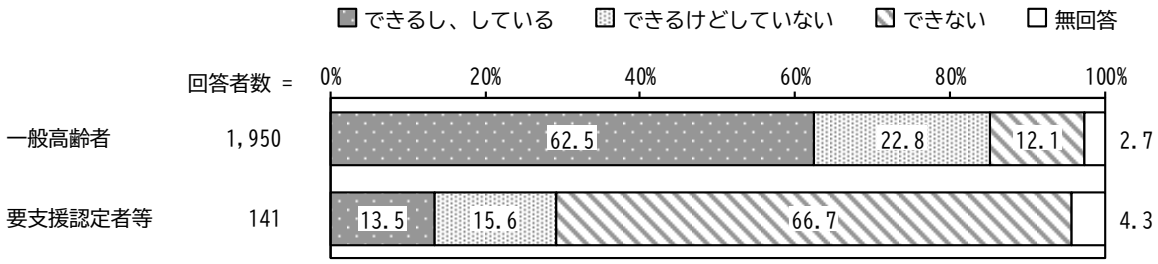
「できるし、している」の割合が 59.1%、「できるけどしていない」の割合が 22.3%、「できない」の割合が 15.8%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



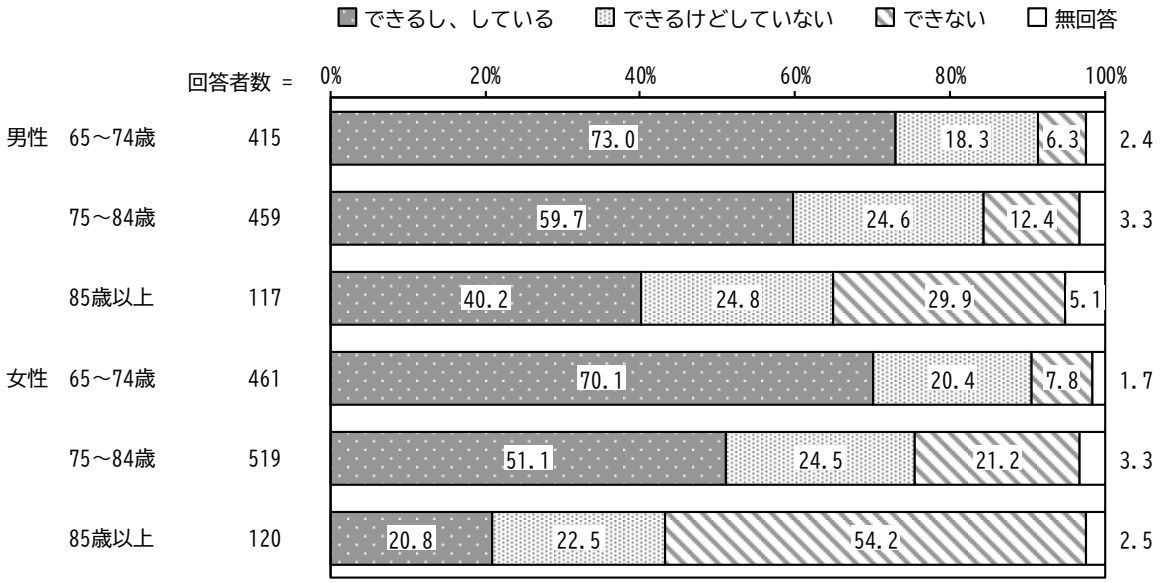
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「できるし、している」「できるけどしていない」の割合が高く、要支援認定者等で「できない」の割合が高くなっています。



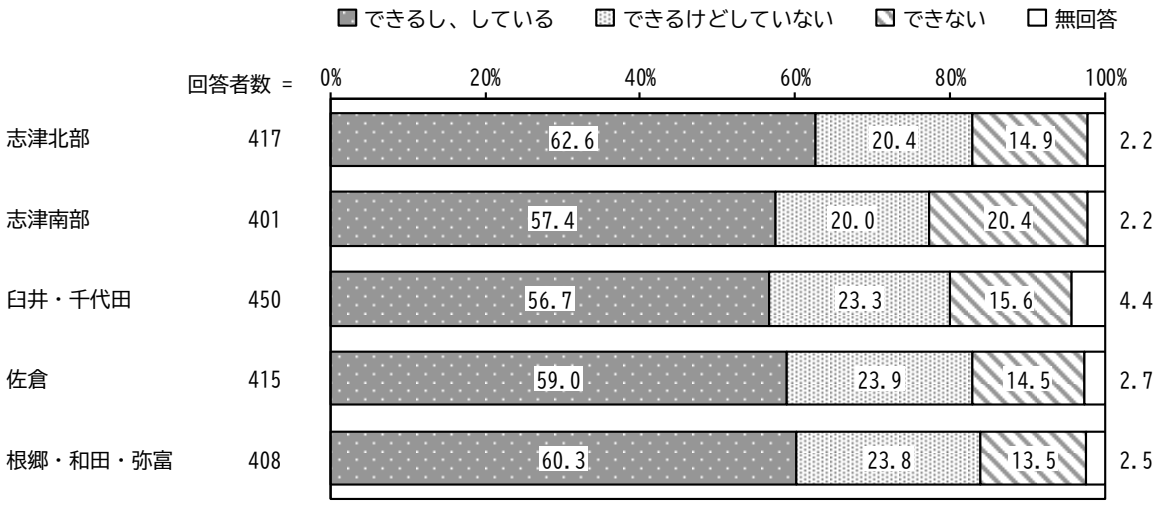
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるし、している」の割合が低く、男性では「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、女性では「できない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

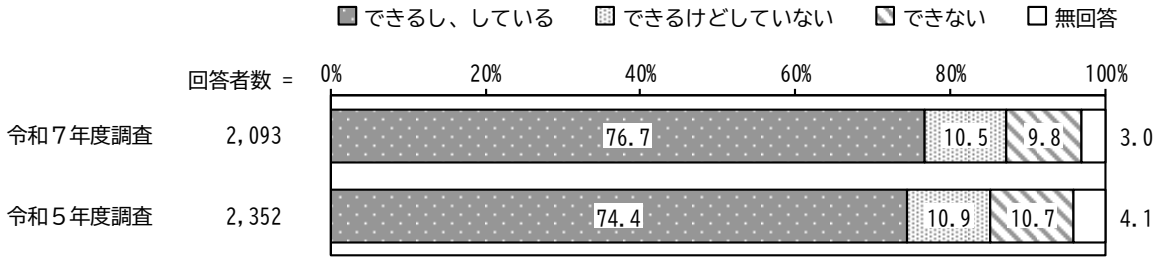
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

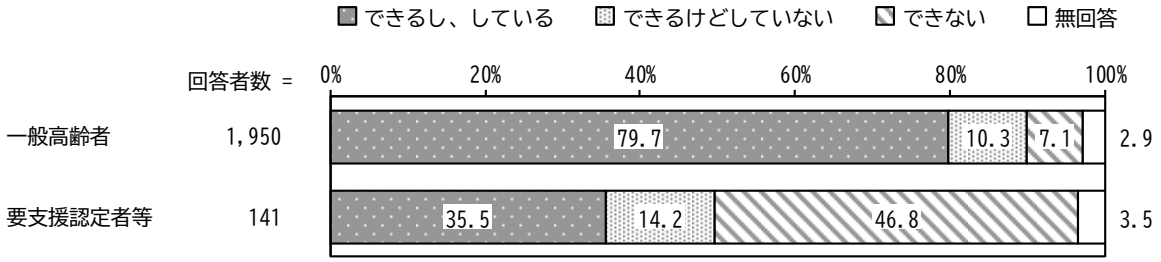
「できるし、している」の割合が 76.7%、「できるけどしていない」の割合が 10.5%、「できない」の割合が 9.8%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



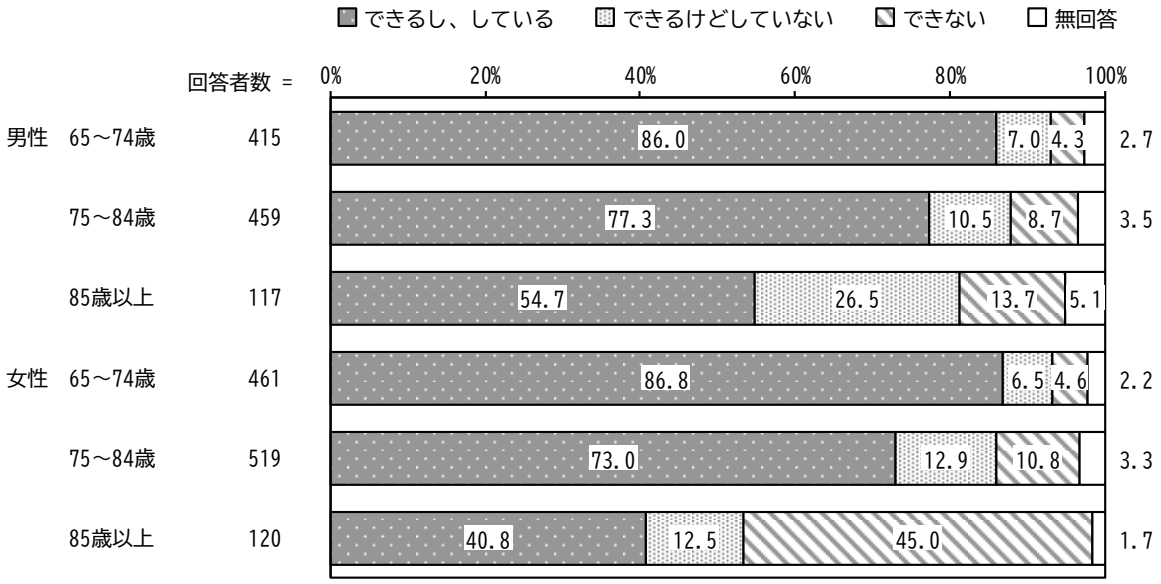
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者等で「できない」の割合が高くなっています。



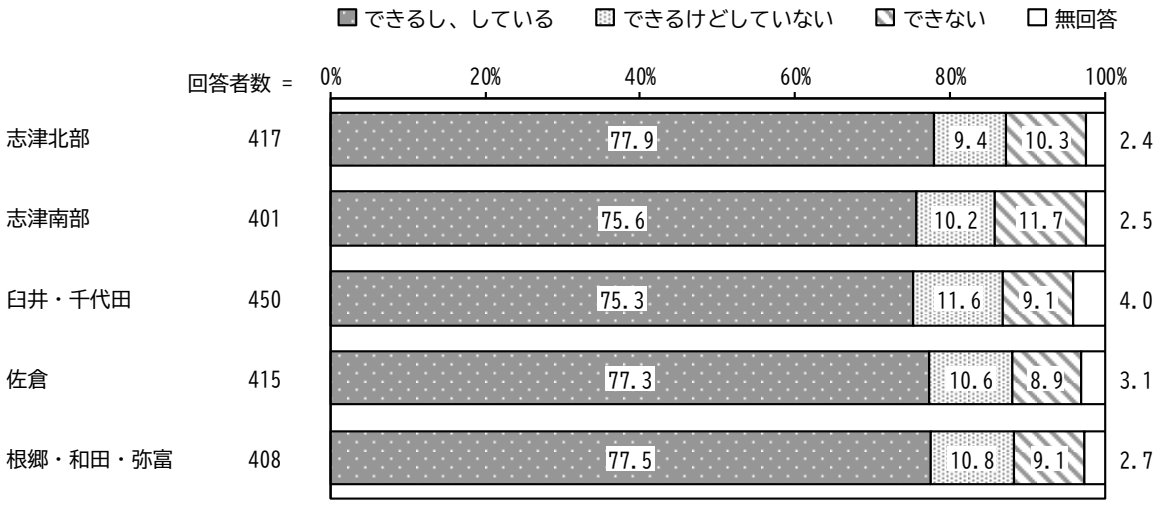
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるし、している」の割合が低く、男性では「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、女性では「できない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

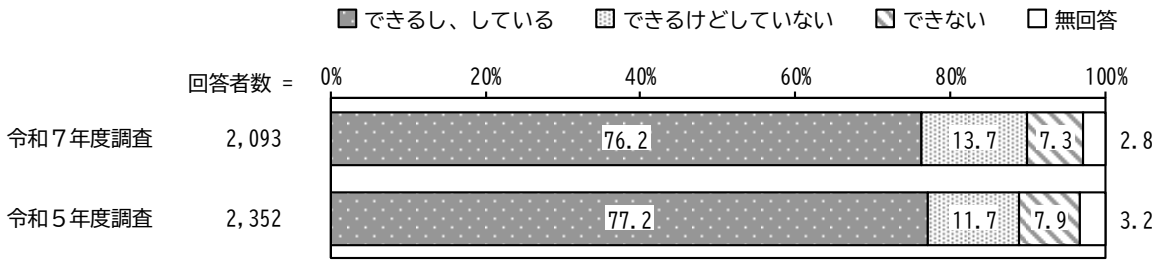
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（3）15 分位続けて歩いていますか

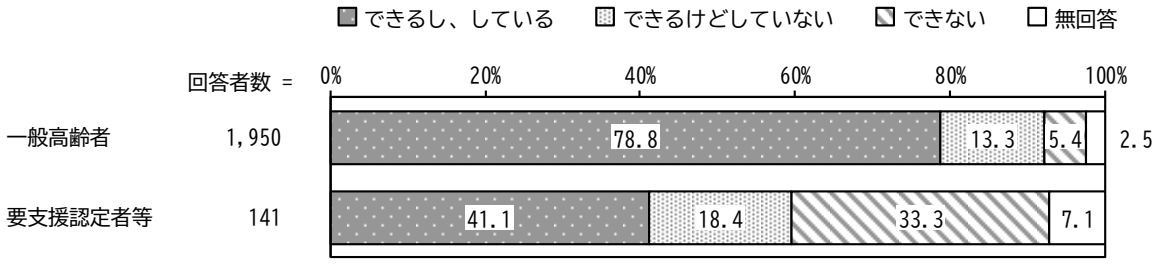
「できるし、している」の割合が 76.2%、「できるけどしていない」の割合が 13.7%、「できない」の割合が 7.3%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



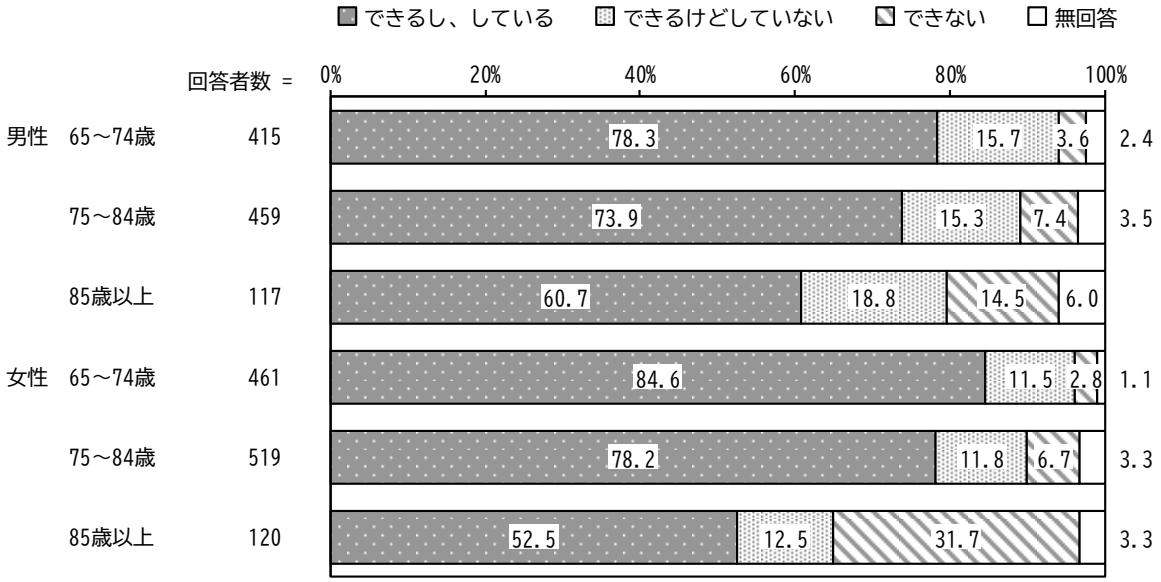
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者等で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



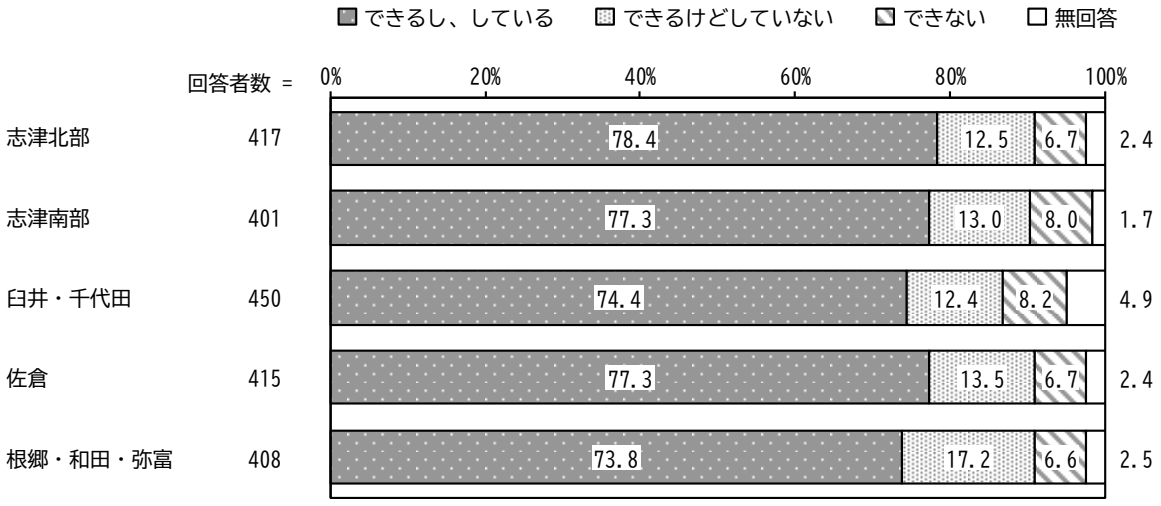
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

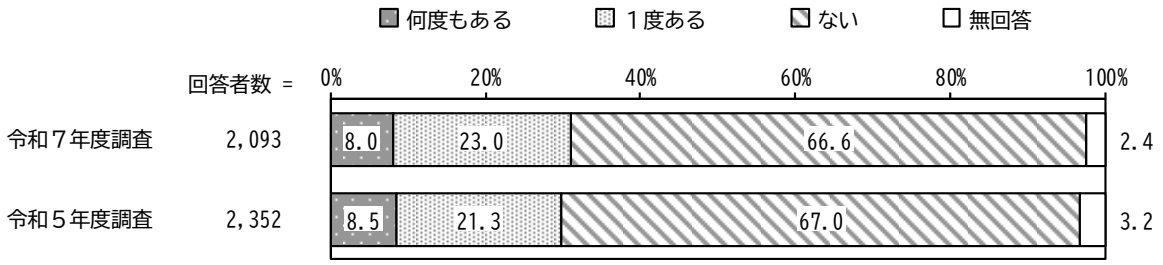
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（4）過去１年間に転んだ経験がありますか

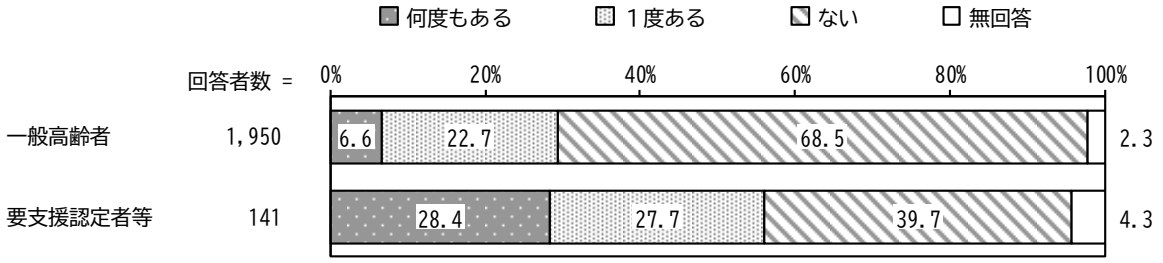
「何度もある」の割合が 8.0%、「１度ある」の割合が 23.0%、「ない」の割合が 66.6%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



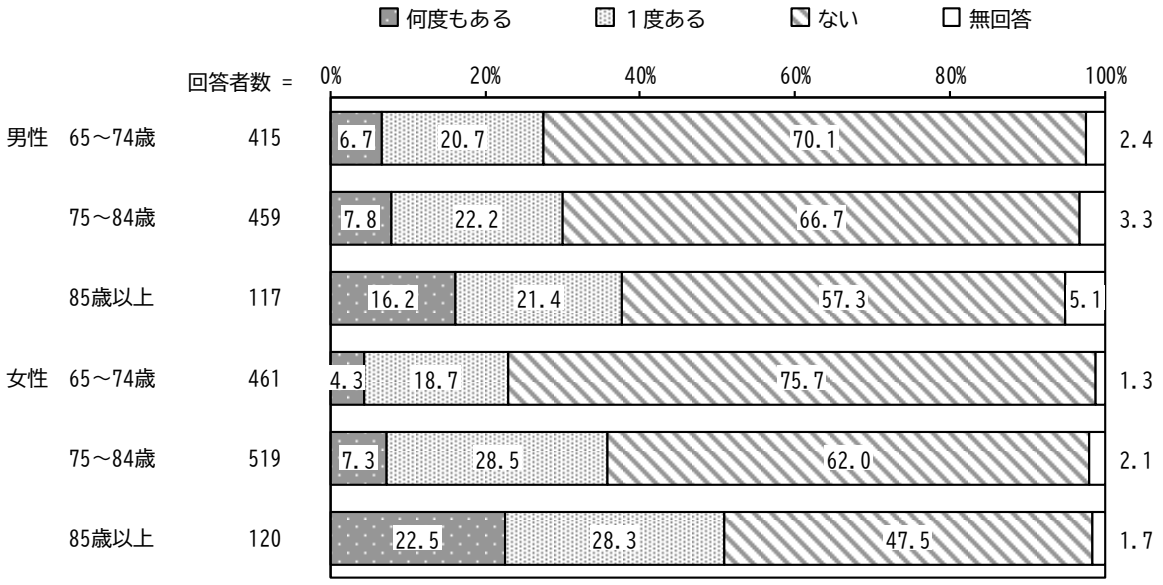
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「ない」の割合が高く、要支援認定者等で「何度もある」「１度ある」の割合が高くなっています。



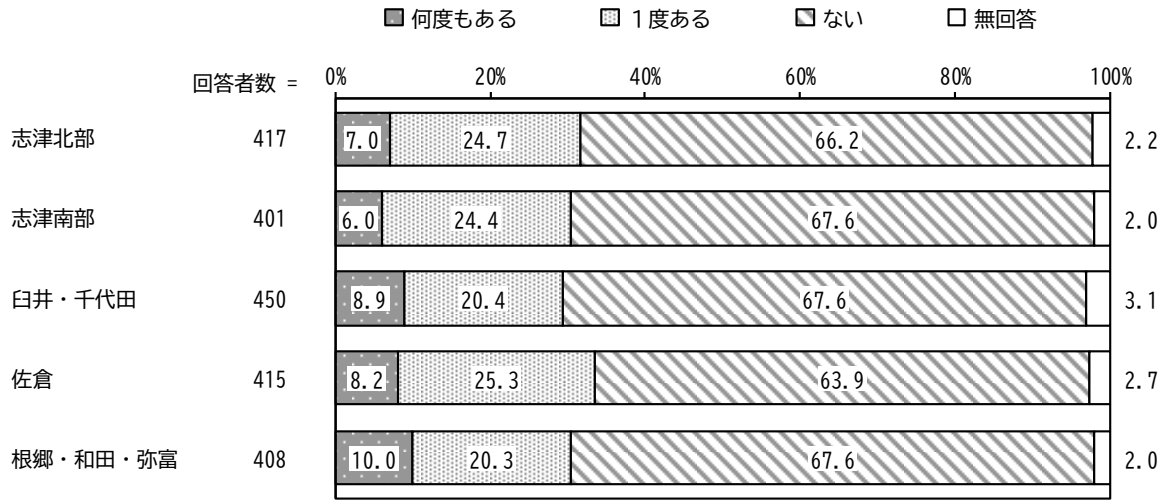
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「何度もある」の割合が高く、「ない」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

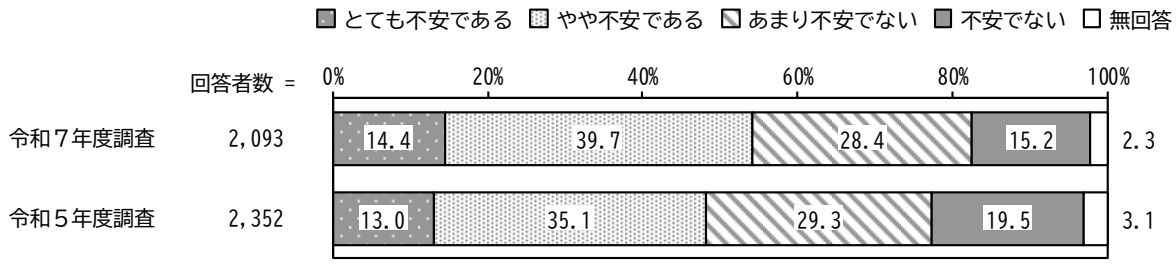
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（５）転倒に対する不安は大きいですか

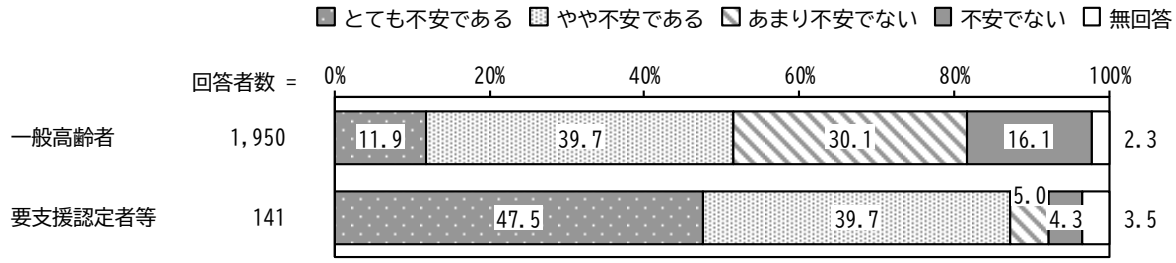
「やや不安である」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が 28.4%、「不安でない」の割合が 15.2%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



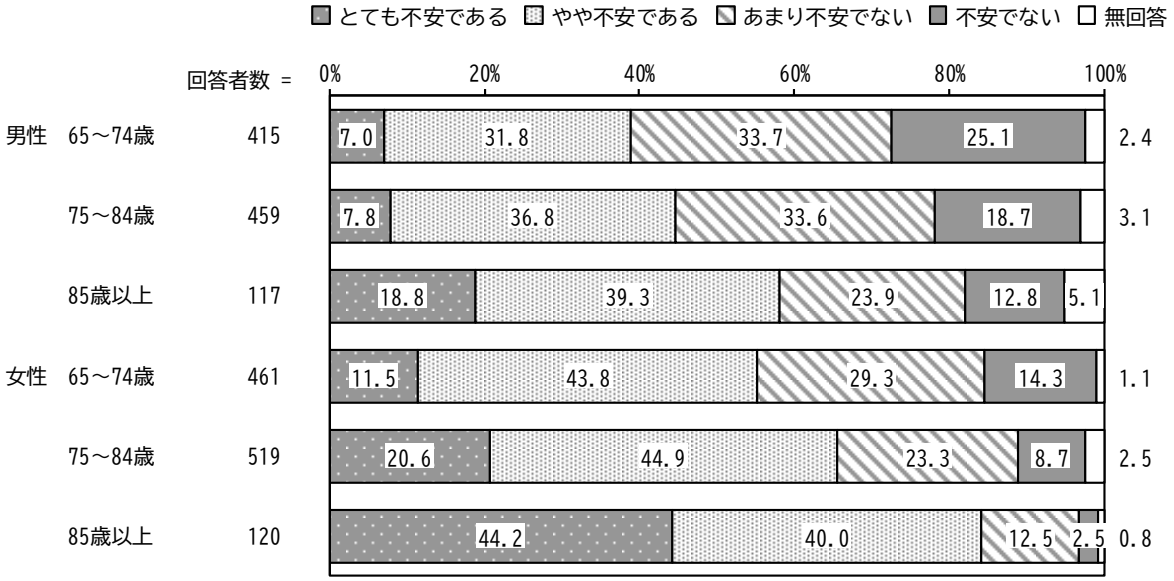
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「あまり不安でない」「不安でない」の割合が高く、要支援認定者等で「とても不安である」の割合が高くなっています。



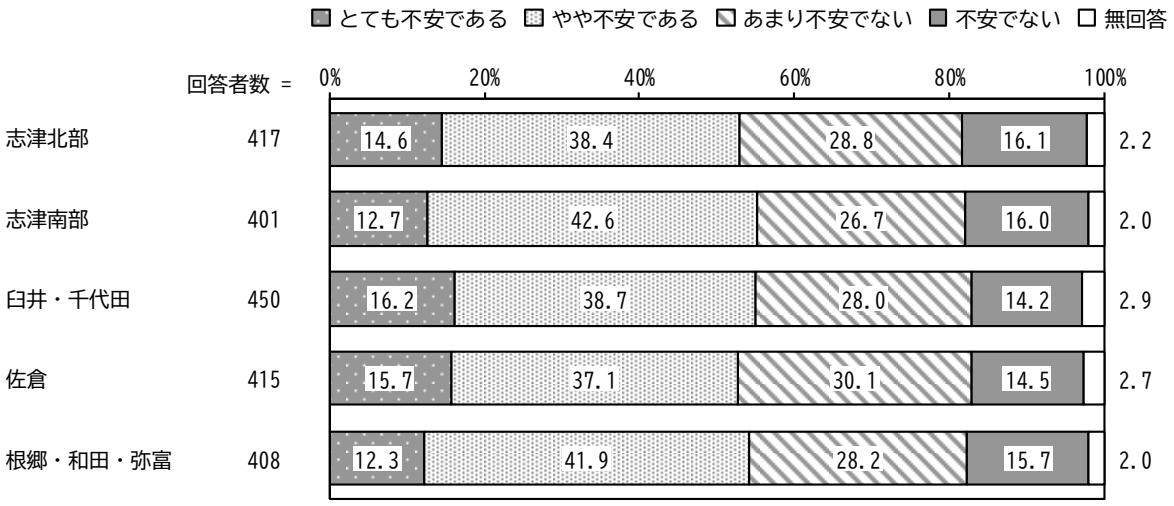
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに、年齢が上がるほど「とても不安である」「やや不安である」の割合が高く、「あまり不安でない」「不安でない」の割合が低くなっています。特に、女性の 85 歳以上では「とても不安である」「やや不安である」の割合の計が８割を超えています。



【日常生活圏域別】

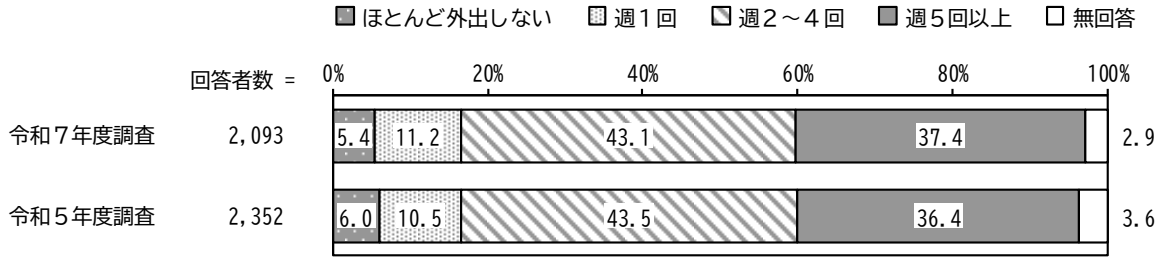
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（6）週に１回以上は外出していますか

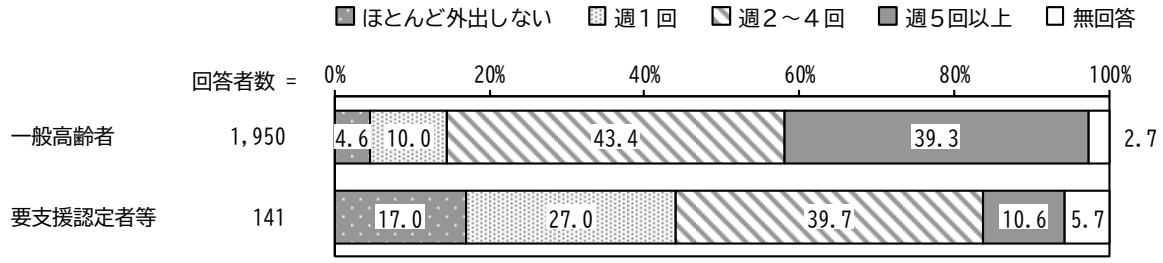
「週２～４回」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「週５回以上」の割合が 37.4%、「週１回」の割合が 11.2%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



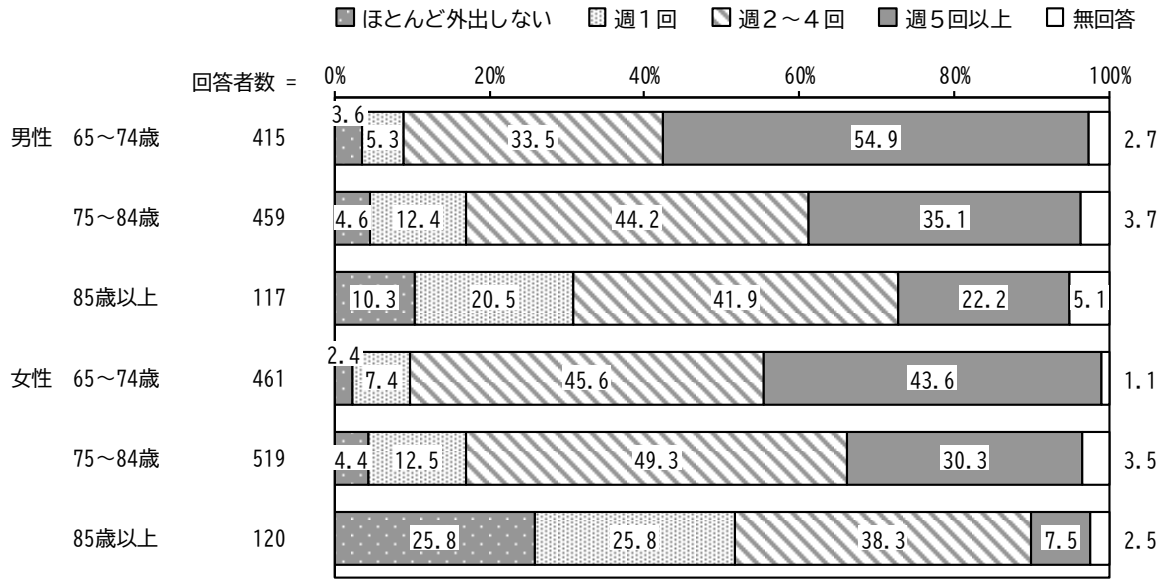
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「週５回以上」の割合が高く、要支援認定者等で「ほとんど外出しない」「週１回」の割合が高くなっています。



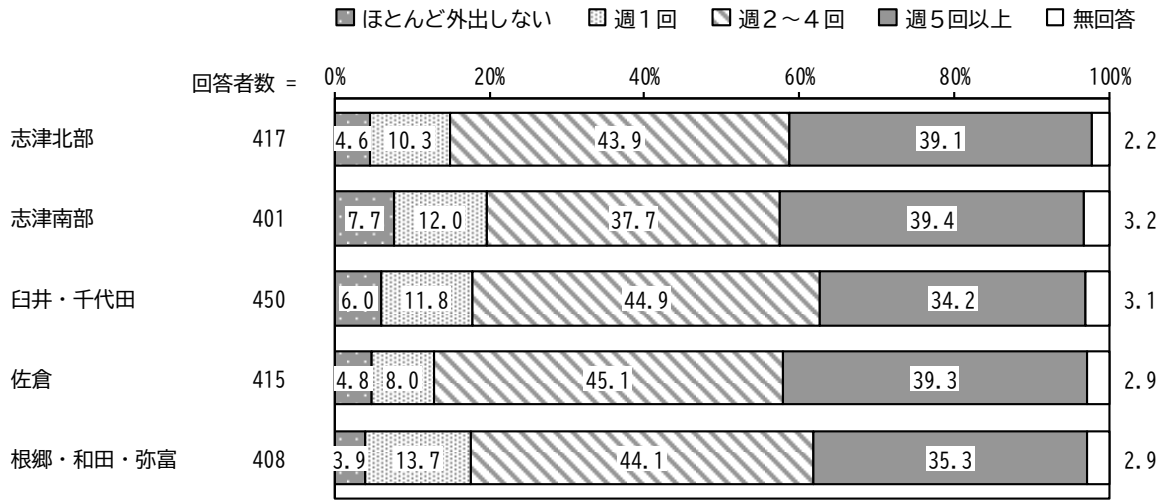
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「ほとんど外出しない」「週１回」の割合が高く、「週５回以上」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

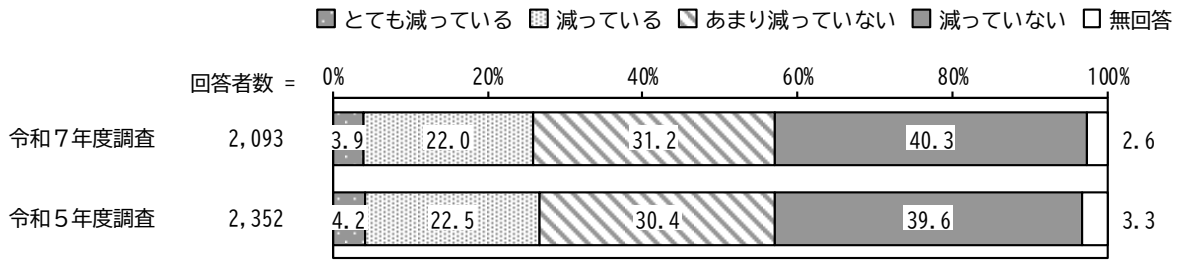
日常生活圏域別にみると、志津南部で「週２～４回」の割合が低くなっています。



（７）昨年と比べて外出の回数が減っていますか

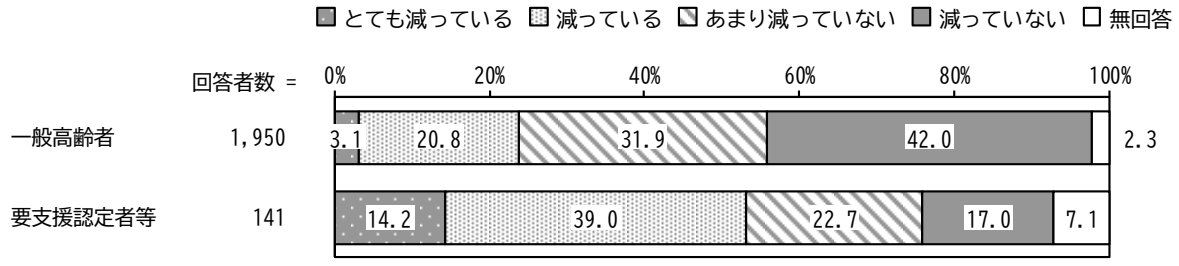
「減っていない」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が 31.2%、「減っている」の割合が 22.0%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



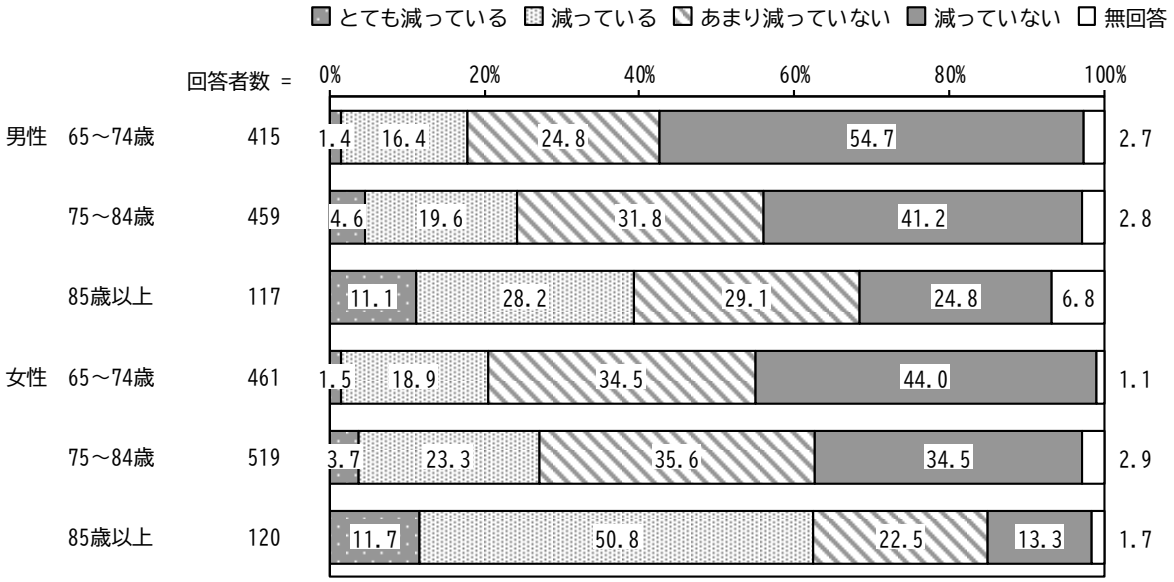
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「あまり減っていない」「減っていない」の割合が高く、要支援認定者等で「とても減っている」「減っている」の割合が高くなっています。



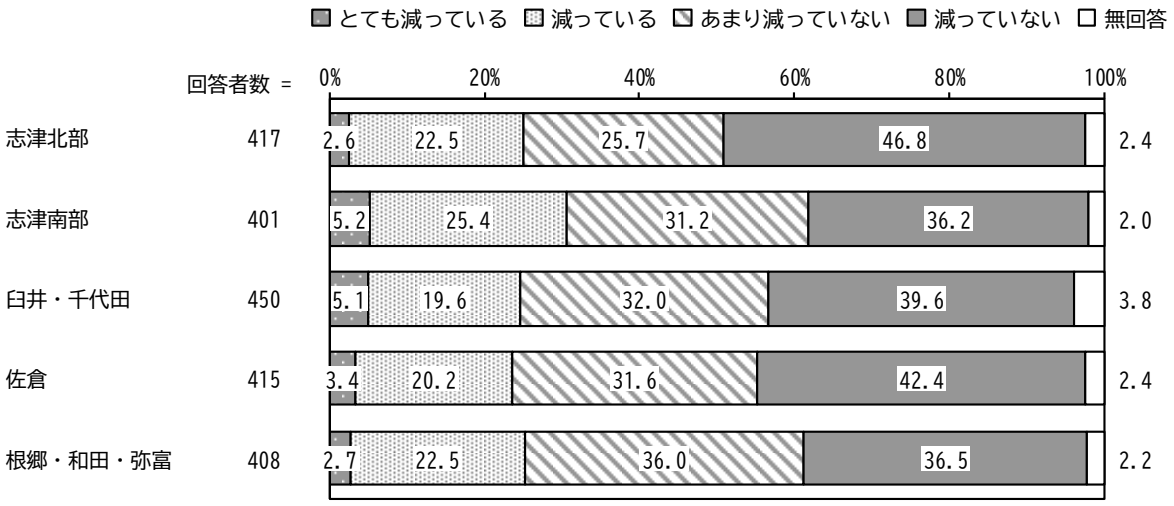
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「とても減っている」「減っている」の割合が高く、「減っていない」の割合が低くなっています。



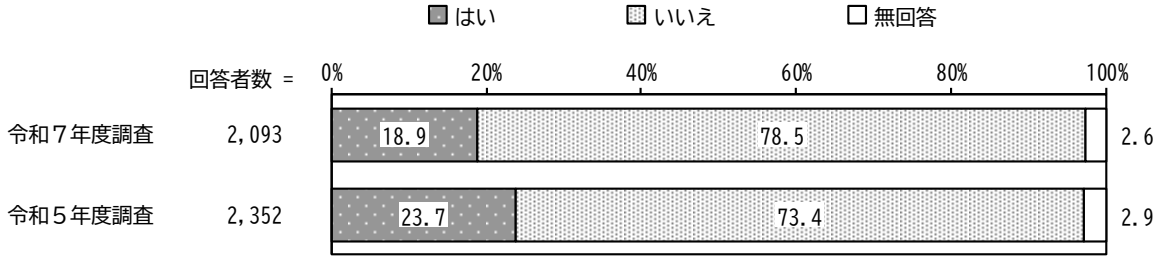
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、志津北部で「減っていない」の割合が高く、「あまり減っていない」の割合が低くなっています。

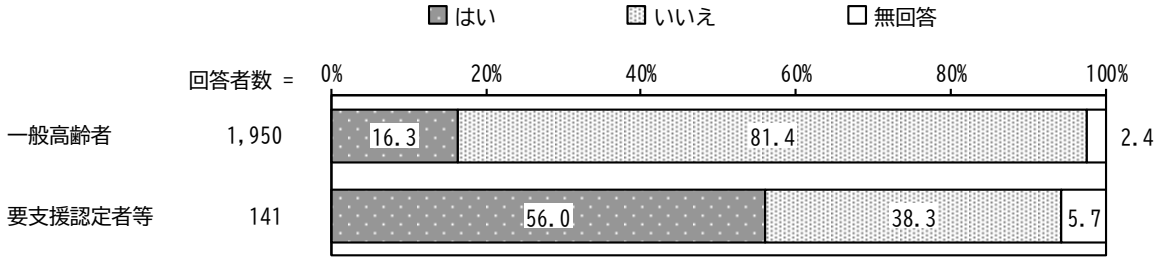


（8）外出を控えていますか

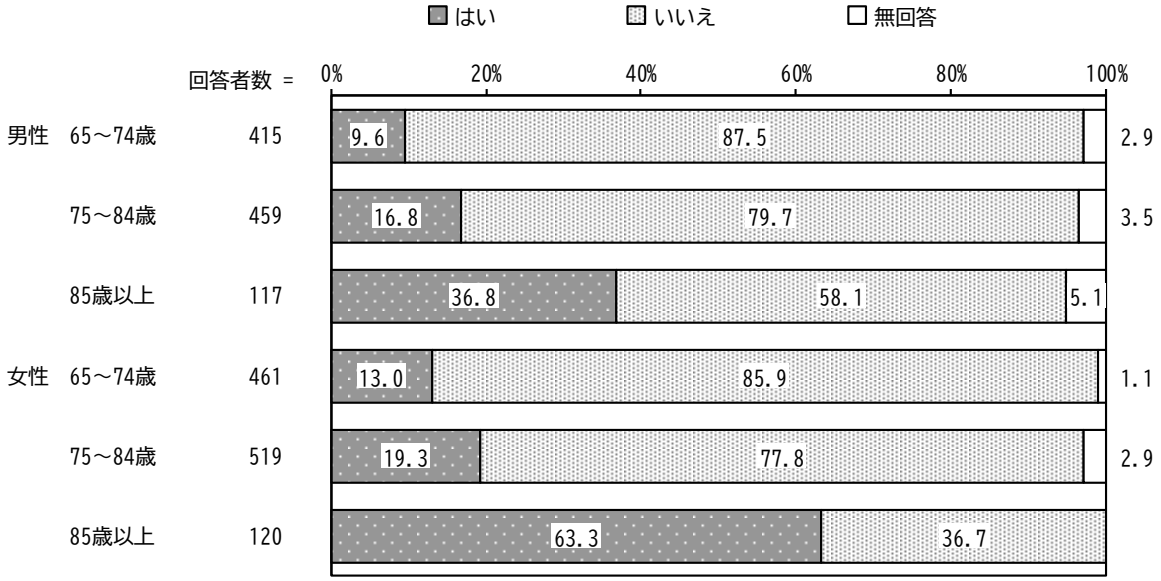
「はい」の割合が 18.9%、「いいえ」の割合が 78.5%となっています。
令和５年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



【一般・認定者別】
一般・認定者別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。

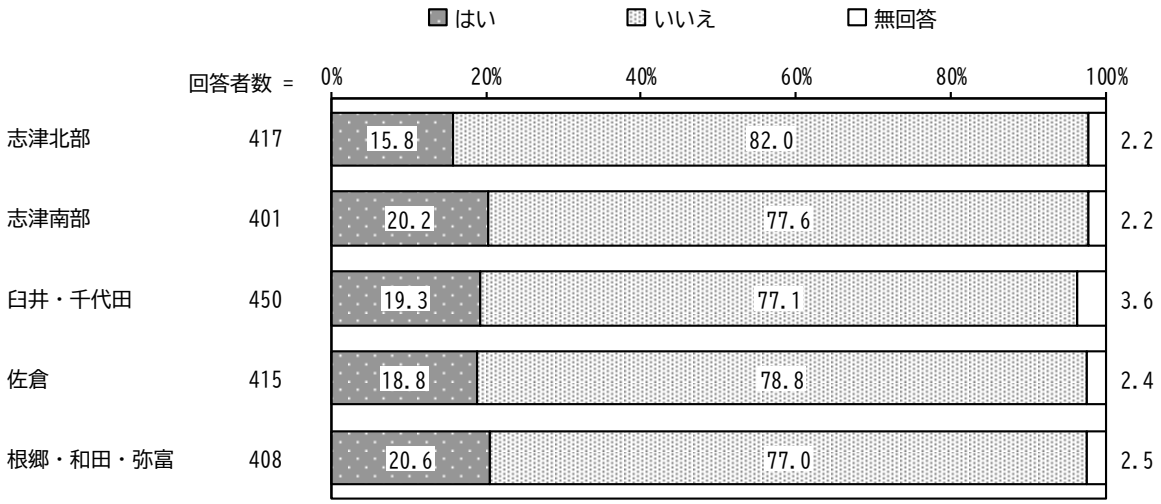


【性・年齢別】
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、女性の 85 歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

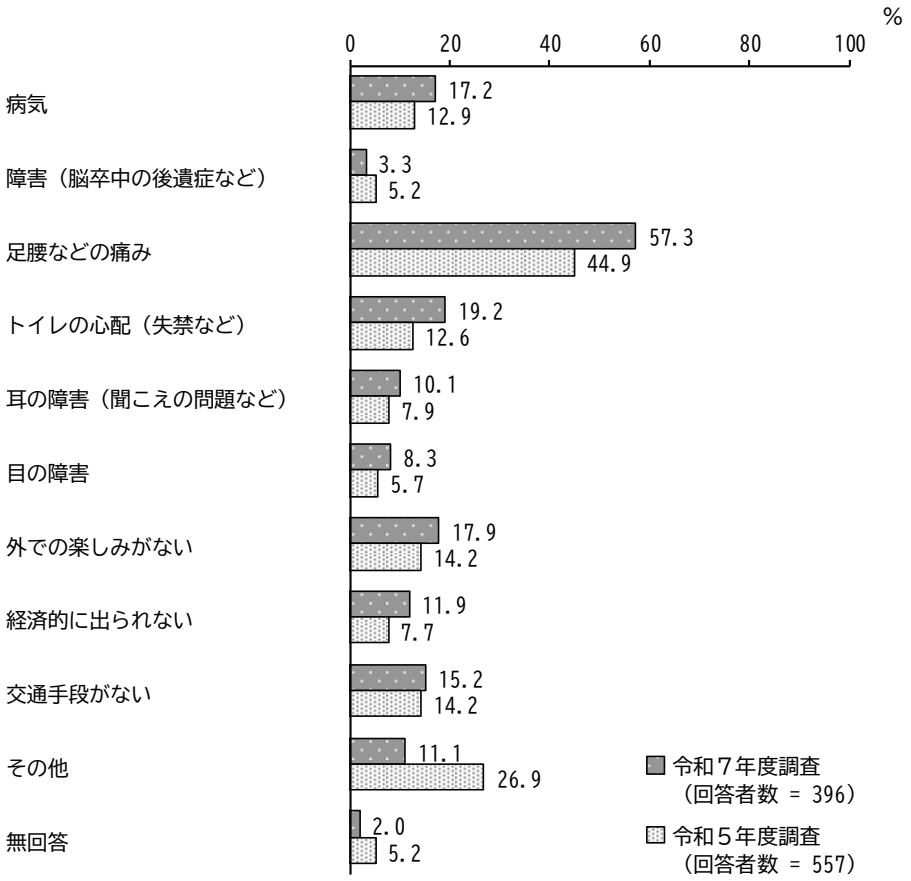


【（８）で「はい」（外出を控えている）の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

「足腰などの痛み」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」の割合が 19.2%、「外での楽しみがない」の割合が 17.9%となっています。

令和５年度調査と比較すると、「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など)」の割合が増加しています。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「目の障害」「外での楽しみがない」「経済的に出られない」の割合が高く、要支援認定者等で「障害（脳卒中の後遺症など）」「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」「耳の障害（聞こえの問題など）」「交通手段がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全　体	396	17.2	3.3	57.3	19.2	10.1	8.3	17.9	11.9	15.2	11.1	2.0
一般高齢者	317	18.0	2.2	52.4	18.0	8.2	9.5	19.6	13.9	12.3	12.3	2.2
要支援認定者等	79	13.9	7.6	77.2	24.1	17.7	3.8	11.4	3.8	26.6	6.3	1.3

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「病気」「トイレの心配（失禁など）」「外での楽しみがない」「経済的に出られない」の割合が高く、「耳の障害（聞こえの問題など）」「目の障害」の割合が低くなっています。また、女性では年齢が上がるほど「足腰などの痛み」「耳の障害（聞こえの問題など）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全　体	396	17.2	3.3	57.3	19.2	10.1	8.3	17.9	11.9	15.2	11.1	2.0
男性　65～74歳	40	27.5	0.0	47.5	25.0	5.0	5.0	30.0	30.0	15.0	15.0	0.0
75～84歳	77	19.5	7.8	55.8	24.7	11.7	9.1	23.4	10.4	7.8	11.7	0.0
85歳以上	43	16.3	2.3	55.8	20.9	14.0	11.6	16.3	7.0	20.9	4.7	4.7
女性　65～74歳	60	15.0	1.7	40.0	15.0	0.0	5.0	13.3	20.0	5.0	18.3	1.7
75～84歳	100	19.0	1.0	61.0	12.0	6.0	9.0	15.0	10.0	21.0	12.0	4.0
85歳以上	76	9.2	5.3	73.7	22.4	22.4	9.2	14.5	2.6	19.7	5.3	1.3

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、志津北部で「足腰などの痛み」「耳の障害（聞こえの問題など）」、佐倉で「トイレの心配（失禁など）」「目の障害」、根郷・和田・弥富で「交通手段がない」の割合が高くなっています。

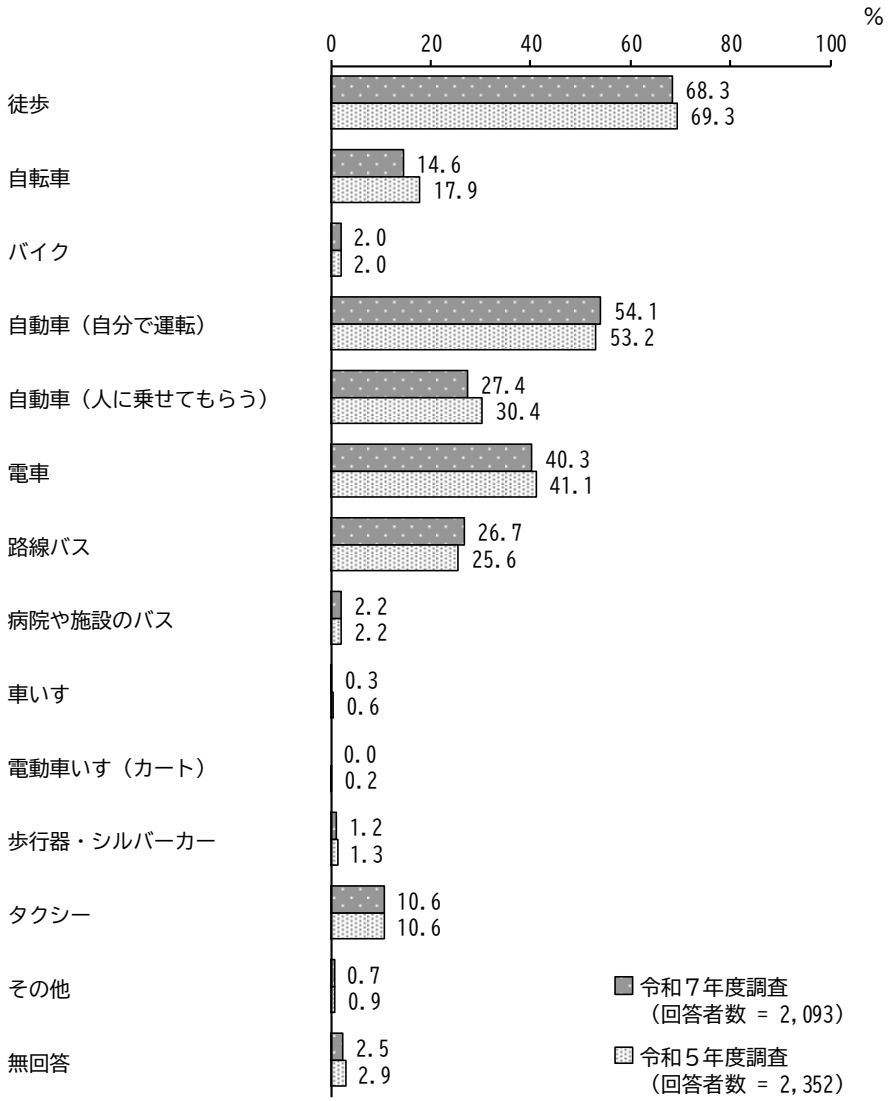
単位：％

区分	回答者数（件）	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全　体	396	17.2	3.3	57.3	19.2	10.1	8.3	17.9	11.9	15.2	11.1	2.0
志津北部	66	16.7	1.5	68.2	18.2	15.2	6.1	13.6	12.1	9.1	7.6	1.5
志津南部	81	16.0	4.9	55.6	17.3	8.6	7.4	19.8	6.2	17.3	12.3	0.0
臼井・千代田	87	21.8	3.4	54.0	11.5	5.7	4.6	18.4	16.1	11.5	12.6	4.6
佐倉	78	12.8	3.8	52.6	25.6	7.7	15.4	17.9	7.7	16.7	14.1	2.6
根郷・和田・弥富	84	17.9	2.4	58.3	23.8	14.3	8.3	19.0	16.7	20.2	8.3	1.2

（9）外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

「徒歩」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転)」の割合が 54.1%、「電車」の割合が 40.3%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高く、要支援認定者等で「自動車（人に乗せてもらう）」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全　体	2,093	68.3	14.6	2.0	54.1	27.4	40.3	26.7	2.2	0.3	0.0	1.2	10.6	0.7	2.5
一般高齢者	1,950	69.9	15.5	2.1	57.1	26.3	41.5	26.6	1.2	0.2	0.1	0.4	8.9	0.6	2.4
要支援認定者等	141	46.8	2.1	0.0	13.5	43.3	23.4	28.4	15.6	2.1	0.0	13.5	34.0	2.8	4.3

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」の割合が高く、「徒歩」「自動車（自分で運転）」の割合が低くなっています。

女性では、年齢が下がるほど「徒歩」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高く、「路線バス」の割合が低くなっています。また、女性の 85 歳以上で「タクシー」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全　体	2,093	68.3	14.6	2.0	54.1	27.4	40.3	26.7	2.2	0.3	0.0	1.2	10.6	0.7	2.5
男性　65～74歳	415	72.8	15.7	4.6	78.6	12.0	42.4	21.7	0.2	0.2	0.0	0.2	3.9	0.2	3.1
75～84歳	459	69.3	17.6	2.2	61.7	18.3	44.0	26.8	1.1	0.2	0.0	0.2	10.5	0.7	3.1
85歳以上	117	58.1	10.3	1.7	30.8	25.6	26.5	29.1	6.0	0.0	0.0	3.4	14.5	0.0	5.1
女性　65～74歳	461	73.5	13.9	1.1	64.0	36.2	45.3	26.7	1.3	0.4	0.0	0.0	7.4	0.7	1.3
75～84歳	519	66.7	15.0	1.0	35.6	35.6	38.3	27.9	3.5	0.2	0.0	1.5	12.7	0.6	2.7
85歳以上	120	46.7	4.2	0.0	5.8	47.5	21.7	35.8	6.7	0.8	0.8	10.0	34.2	4.2	0.0

【日常生活圏域別】

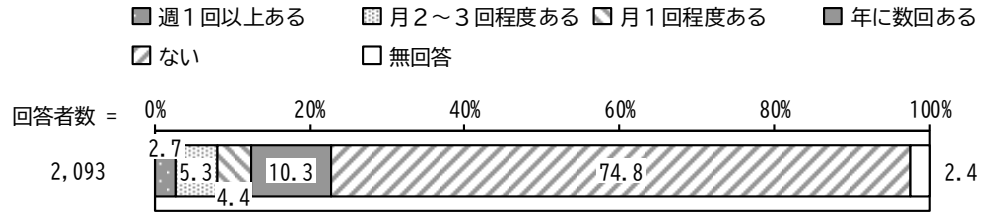
日常生活圏域別にみると、志津北部、志津南部で「徒歩」、志津南部で「自転車」、根郷・和田・弥富で「自動車（自分で運転）」、志津北部で「電車」、臼井・千代田、佐倉で「路線バス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全　体	2,093	68.3	14.6	2.0	54.1	27.4	40.3	26.7	2.2	0.3	0.0	1.2	10.6	0.7	2.5
志津北部	417	74.8	17.0	1.7	49.9	27.1	49.4	17.0	2.9	0.5	0.0	0.7	10.1	1.4	2.6
志津南部	401	75.1	22.9	1.7	45.4	27.4	44.1	25.2	3.5	0.5	0.0	1.7	12.0	0.7	2.0
臼井・千代田	450	66.0	10.4	2.2	57.8	24.4	36.4	32.7	1.8	0.2	0.0	1.6	9.8	0.4	3.1
佐倉	415	68.2	15.7	2.9	53.7	29.6	40.7	33.7	1.9	0.0	0.0	1.2	12.5	0.2	2.4
根郷・和田・弥富	408	57.8	7.4	1.2	63.5	28.7	31.1	24.3	0.7	0.2	0.2	1.0	8.8	0.7	2.5

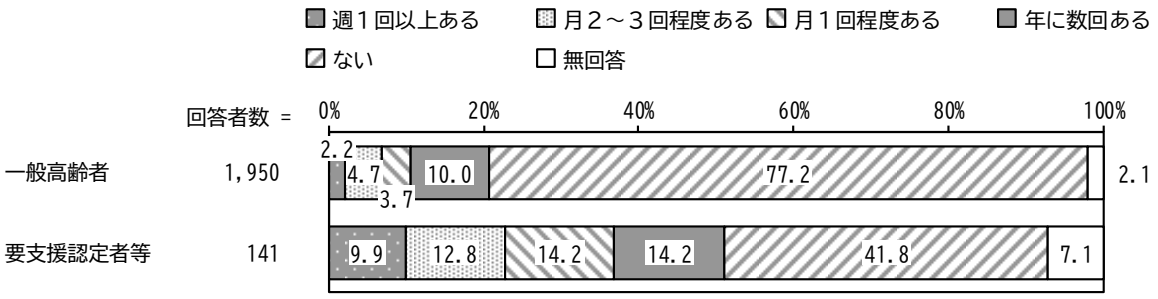
（10）外出する際の移動において、自動車やバス等の移動手段がなく、困ることはありますか。

「ない」の割合が 74.8%と最も高く、次いで「年に数回ある」の割合が 10.3%となっています。



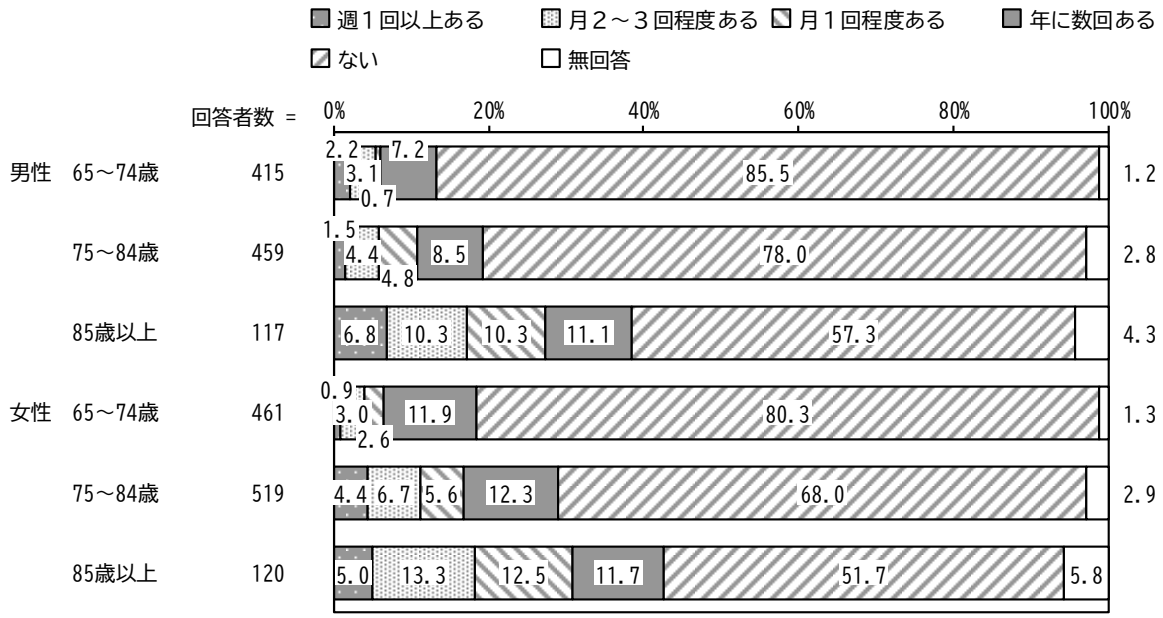
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「ない」の割合が高く、要支援認定者等で「週１回以上ある」「月２～３回程度ある」「月１回程度ある」の割合が高くなっています。



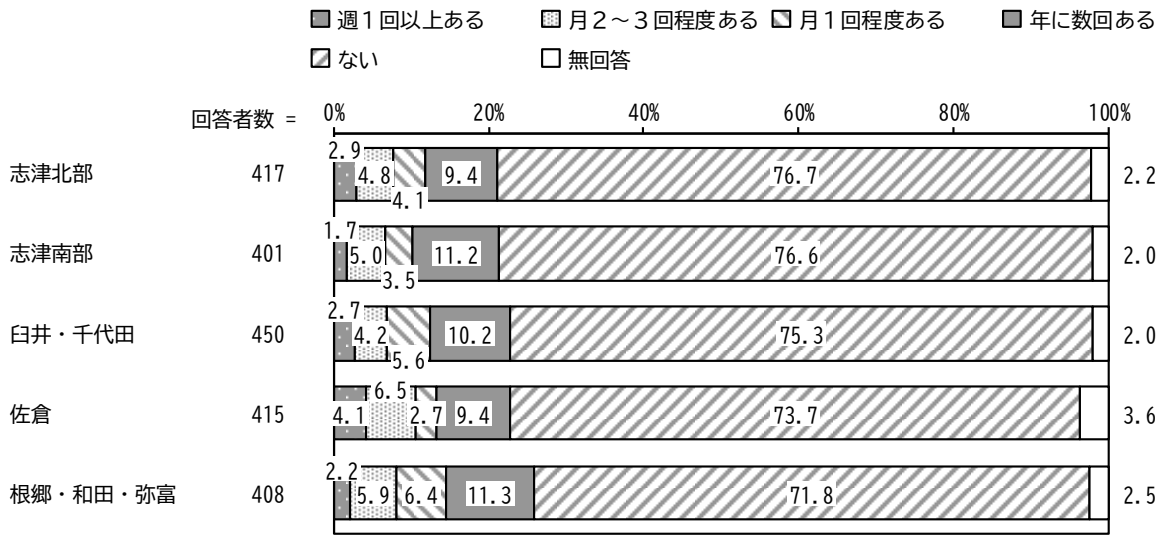
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の 85 歳以上、女性の 85 歳以上で「月２～３回程度ある」「月１回程度ある」、男性の 65～74 歳で「ない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

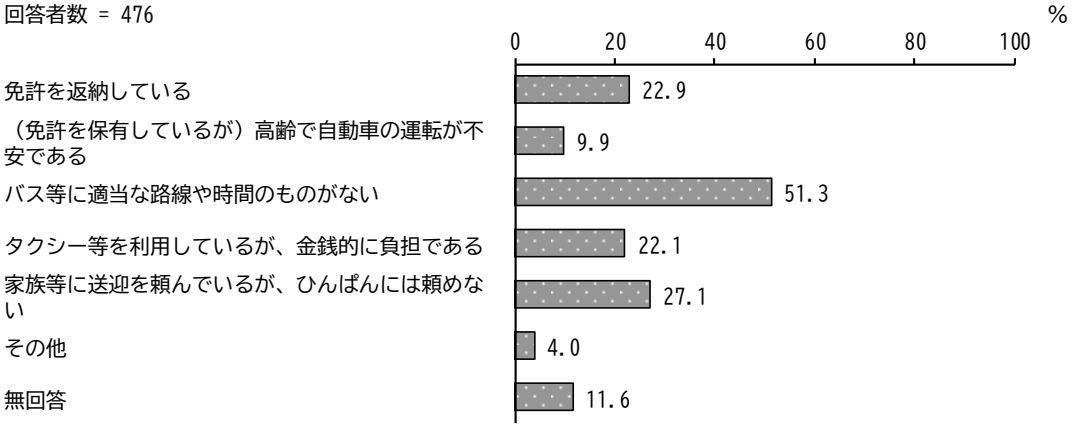
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



【(10）で「ない」以外（困っている）を選択した方のみ】

①困っている理由は何ですか（いくつでも）

「バス等に適当な路線や時間のものがない」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「家族等に送迎を頼んでいるが、ひんぱんには頼めない」の割合が 27.1%、「免許を返納している」の割合が 22.9%となっています。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「バス等に適当な路線や時間のものがない」の割合が高く、要支援認定者等で「免許を返納している」「タクシー等を利用しているが、金銭的に負担である」「家族等に送迎を頼んでいるが、ひんぱんには頼めない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	免許を返納している	（免許を保有しているが）高齢で自動車の運転が不安である	バス等に適当な路線や時間のものがない	タクシー等を利用しているが、金銭的に負担である	家族等に送迎を頼んでいるが、ひんぱんには頼めない	その他	無回答
全　体	476	22.9	9.9	51.3	22.1	27.1	4.0	11.6
一般高齢者	403	21.3	9.7	53.3	18.9	24.8	3.5	12.4
要支援認定者等	72	31.9	11.1	40.3	40.3	40.3	6.9	5.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「免許を返納している」「タクシー等を利用しているが、金銭的に負担である」「家族等に送迎を頼んでいるが、ひんぱんには頼めない」の割合が高く、「バス等に適当な路線や時間のものがない」の割合が低くなっています。

女性では、「免許を返納している」「家族等に送迎を頼んでいるが、ひんぱんには頼めない」の割合が高く、「(免許を保有しているが) 高齢で自動車の運転が不安である」「バス等に適当な路線や時間のものがない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	免許を返納している	(免許を保有しているが) 高齢で自動車の運転が不安である	バス等に適当な路線や時間のものがない	タクシー等を利用しているが、金銭的に負担である	家族等に送迎を頼んでいるが、ひんぱんには頼めない	その他	無回答
全　体	476	22.9	9.9	51.3	22.1	27.1	4.0	11.6
男性　65～74歳	55	14.5	3.6	49.1	12.7	9.1	7.3	25.5
75～84歳	88	26.1	17.0	39.8	18.2	22.7	2.3	10.2
85歳以上	45	48.9	4.4	33.3	24.4	28.9	2.2	8.9
女性　65～74歳	85	7.1	14.1	74.1	24.7	25.9	3.5	4.7
75～84歳	151	24.5	10.6	56.3	20.5	29.8	4.0	12.6
85歳以上	51	25.5	0.0	37.3	37.3	47.1	5.9	7.8

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、志津南部で「免許を返納している」「家族等に送迎を頼んでいるが、ひんぱんには頼めない」、志津北部で「(免許を保有しているが) 高齢で自動車の運転が不安である」、佐倉、根郷・和田・弥富で「バス等に適当な路線や時間のものがない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	免許を返納している	(免許を保有しているが) 高齢で自動車の運転が不安である	バス等に適当な路線や時間のものがない	タクシー等を利用しているが、金銭的に負担である	家族等に送迎を頼んでいるが、ひんぱんには頼めない	その他	無回答
全　体	476	22.9	9.9	51.3	22.1	27.1	4.0	11.6
志津北部	88	23.9	15.9	38.6	20.5	22.7	6.8	13.6
志津南部	86	31.4	9.3	38.4	22.1	33.7	7.0	11.6
臼井・千代田	102	21.6	10.8	52.0	22.5	29.4	2.0	9.8
佐倉	94	21.3	3.2	61.7	20.2	24.5	0.0	9.6
根郷・和田・弥富	105	18.1	10.5	62.9	24.8	25.7	4.8	12.4

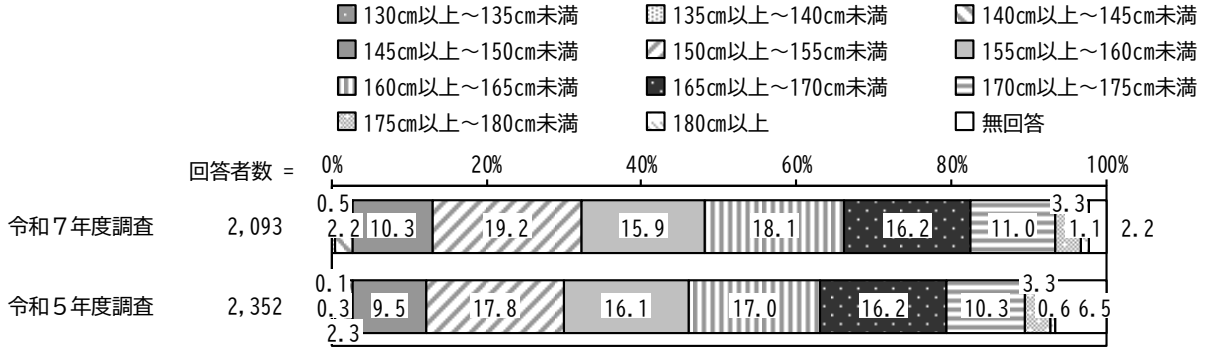
問３　食べることについて

（１）身長・体重を教えてください

身長

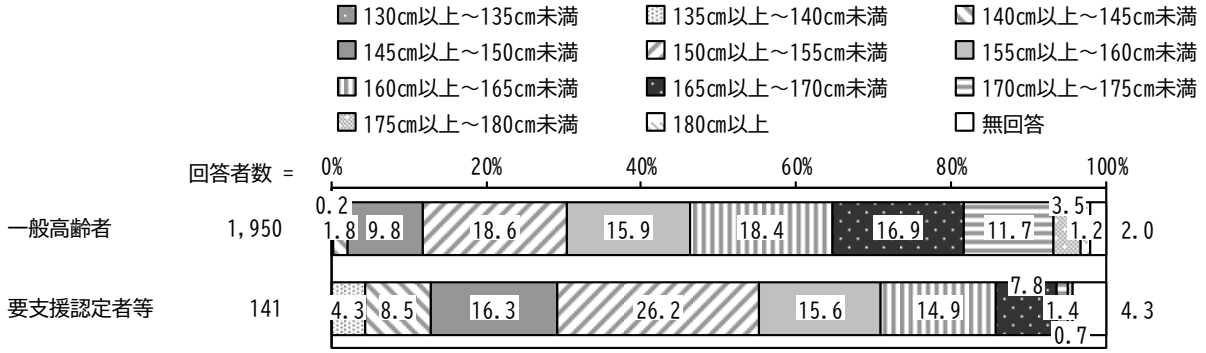
「150cm 以上～155cm 未満」の割合が 19.2%と最も高く、次いで「160cm 以上～165cm 未満」の割合が 18.1%、「165cm 以上～170cm 未満」の割合が 16.2%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

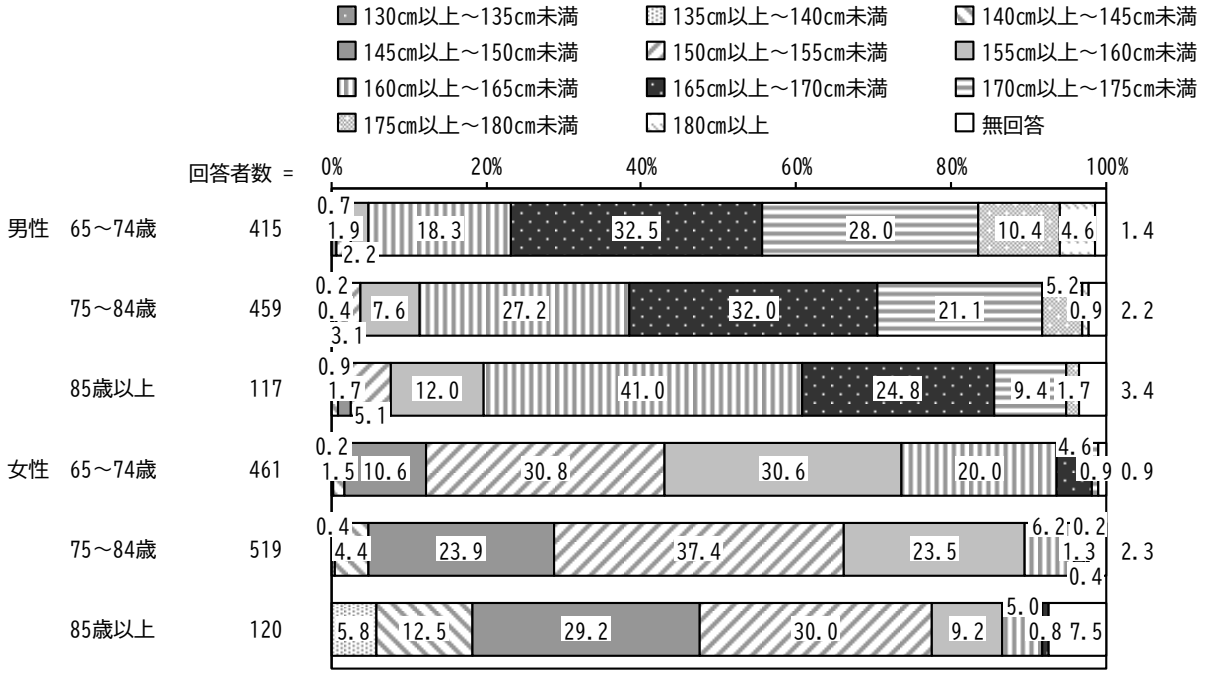
一般・認定者別にみると、一般高齢者で「165cm 以上～170cm 未満」「170cm 以上～175cm 未満」の割合が高く、要支援認定者等で「140cm 以上～145cm 未満」「145cm 以上～150cm 未満」「150cm 以上～155cm 未満」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

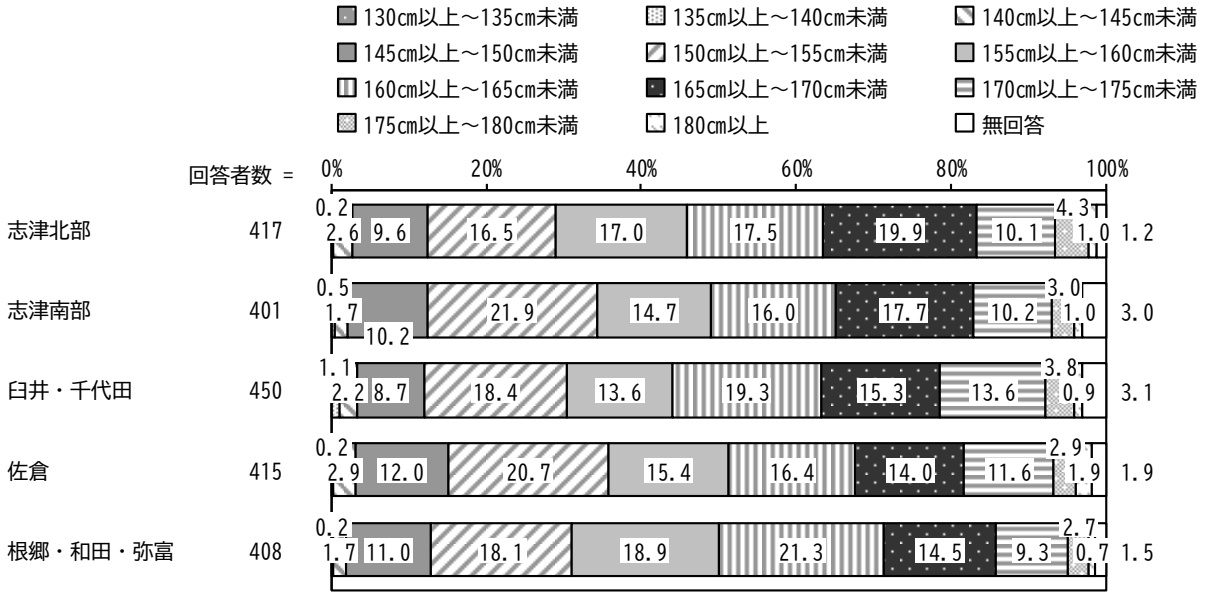
性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「165cm 以上～170cm 未満」「170cm 以上～175cm 未満」「175cm 以上～180cm 未満」の割合が高く、「155cm 以上～160cm 未満」「160cm 以上～165cm 未満」の割合が低くなっています。

また、女性では「145cm 以上～150cm 未満」の割合が低く、「155cm 以上～160cm 未満」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

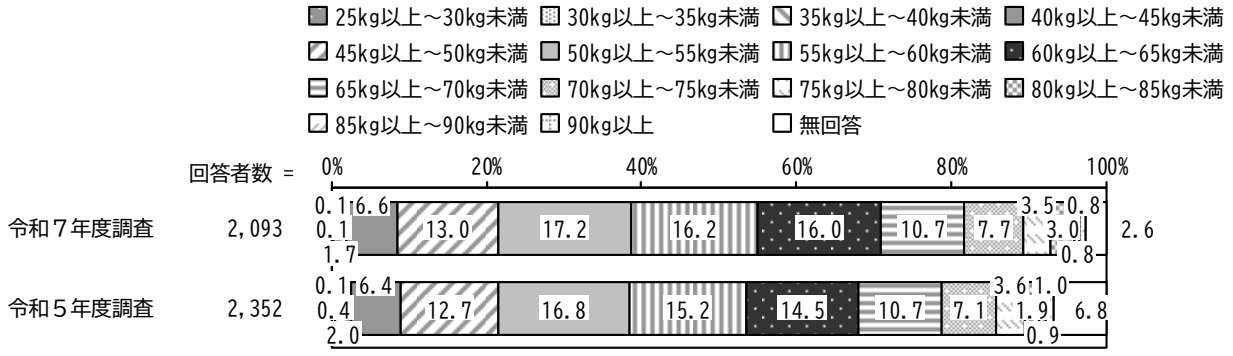
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



体重

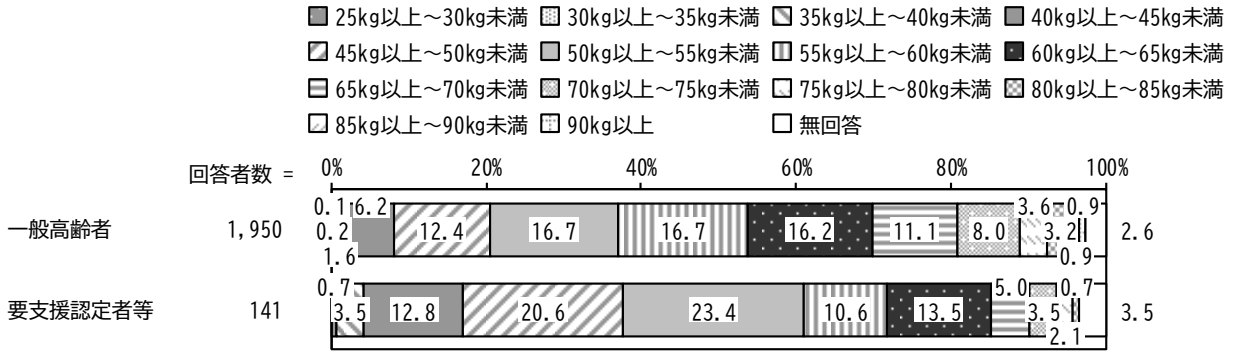
「50kg 以上～55kg 未満」の割合が 17.2%と最も高く、次いで「55kg 以上～60kg 未満」の割合が 16.2%、「60kg 以上～65kg 未満」の割合が 16.0%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



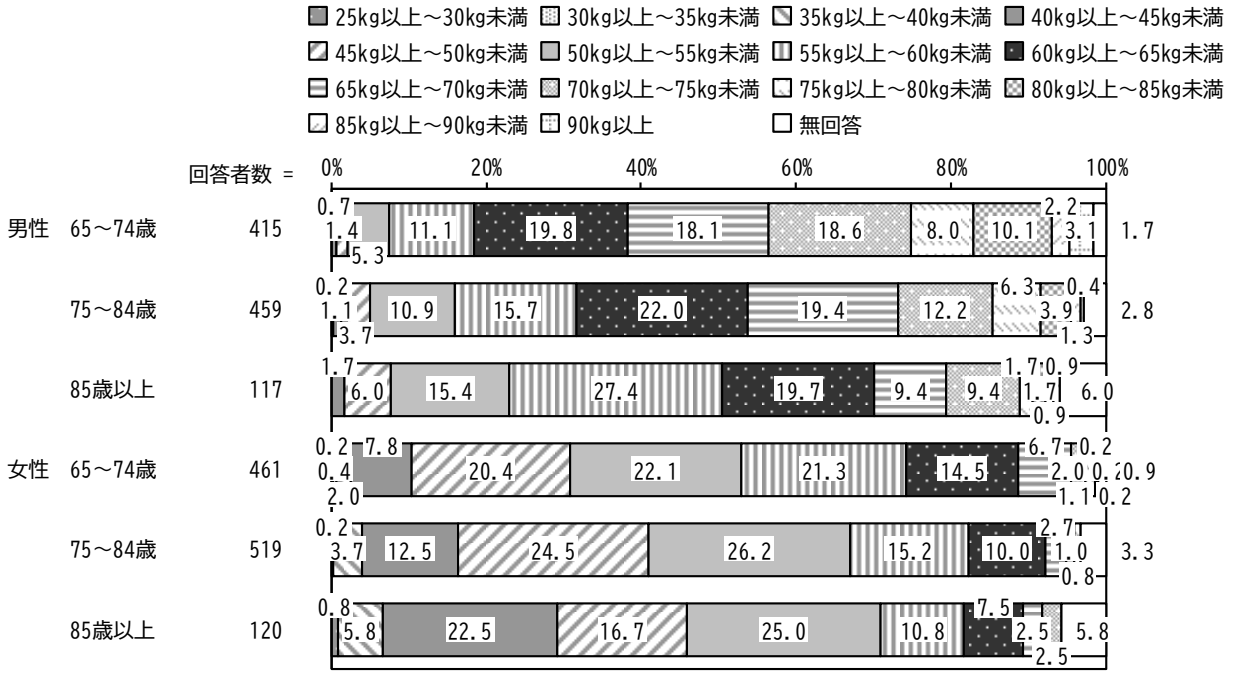
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「55kg 以上～60kg 未満」「65kg 以上～70kg 未満」の割合が高く、要支援認定者等で「40kg 以上～45kg 未満」「45kg 以上～50kg 未満」「50kg 以上～55kg 未満」の割合が高くなっています。



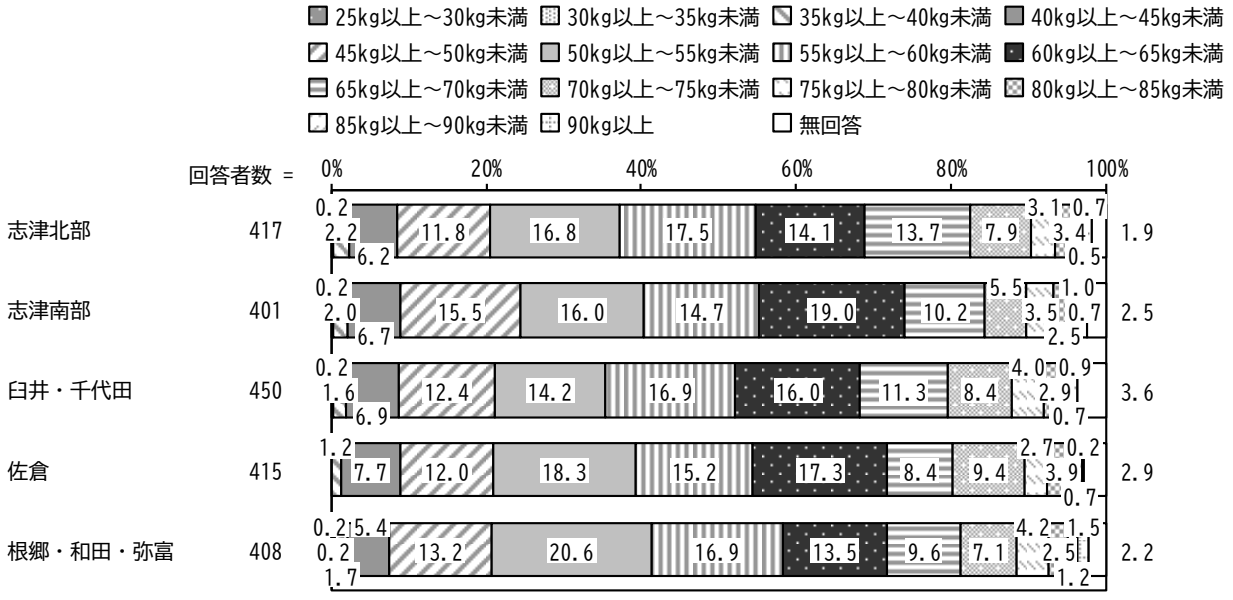
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「55kg 以上～60kg 未満」「60kg 以上～65kg 未満」の割合が低く、「40kg 以上～45kg 未満」の割合が高くなっています。また、男性では「50kg 以上～55kg 未満」「55kg～60kg 未満」の割合が高くなっています。



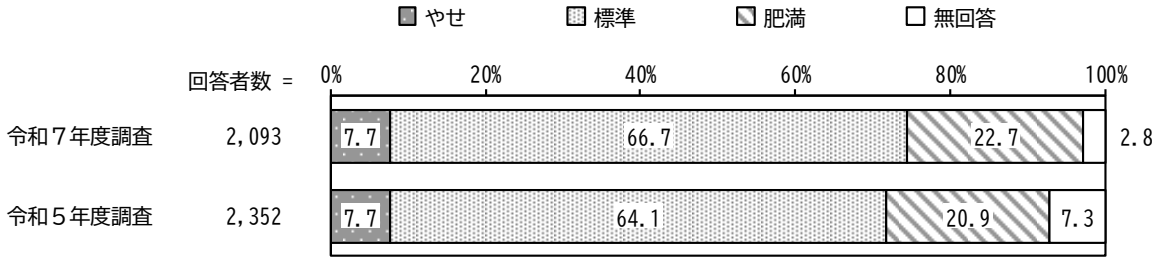
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



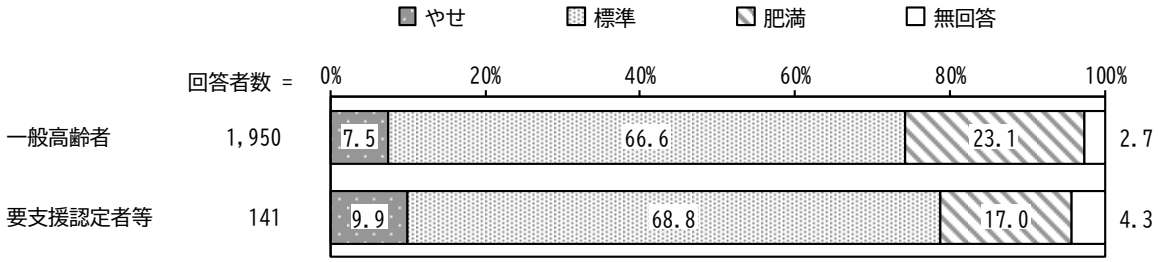
ＢＭＩ

「やせ」の割合が 7.7%、「標準」の割合が 66.7%、「肥満」の割合が 22.7%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



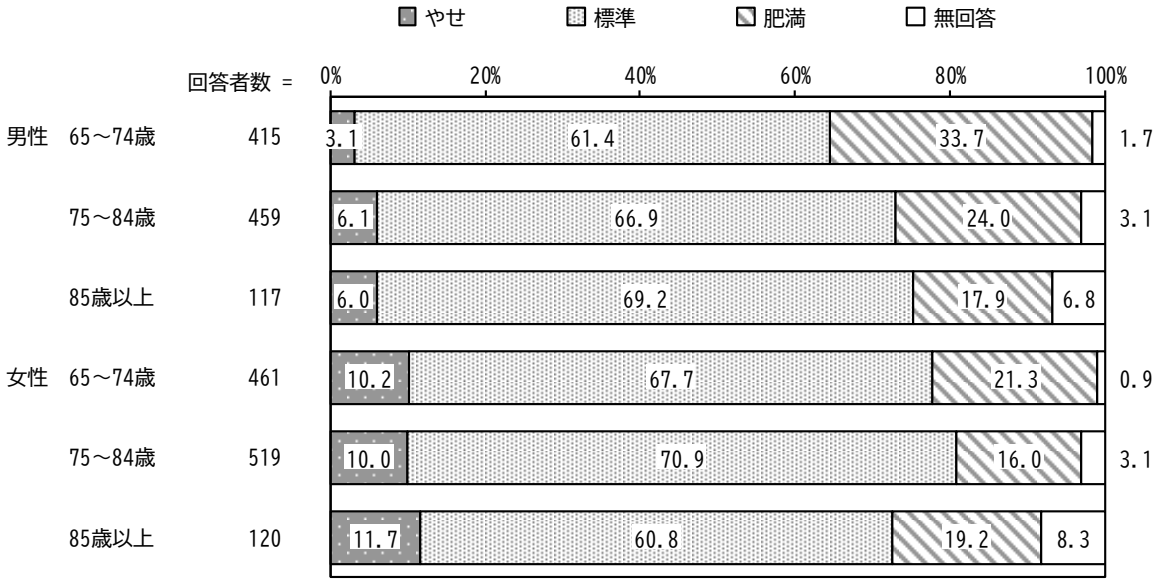
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「肥満」の割合が高くなっています。



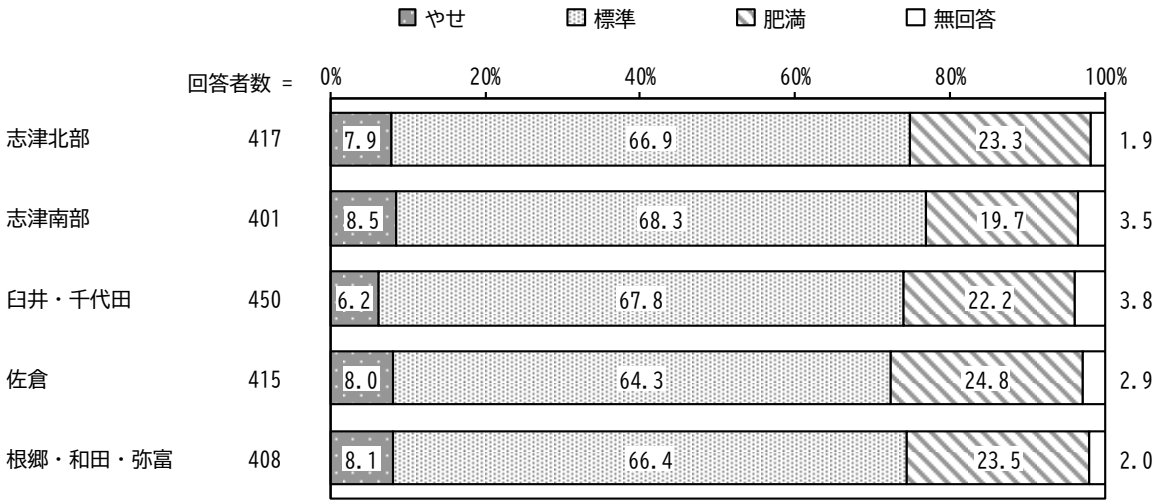
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「標準」の割合が高く、「肥満」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

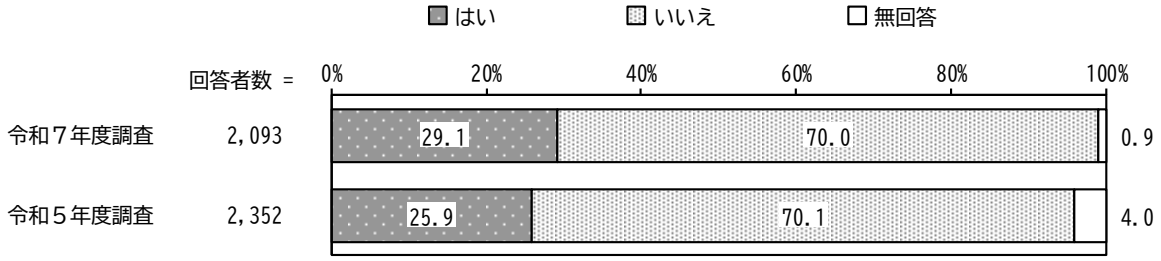
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

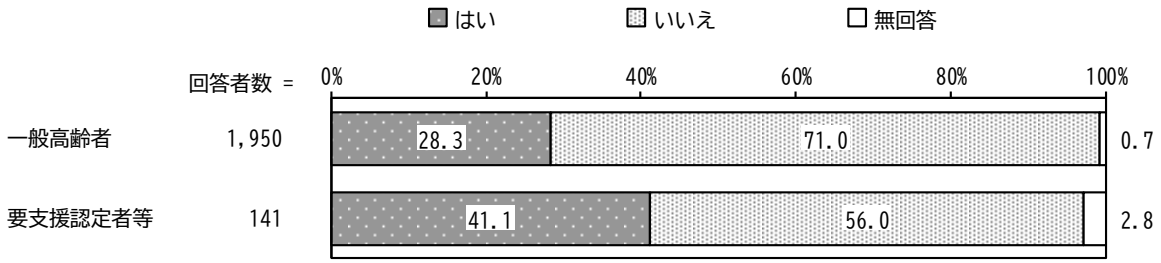
「はい」の割合が 29.1%、「いいえ」の割合が 70.0%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



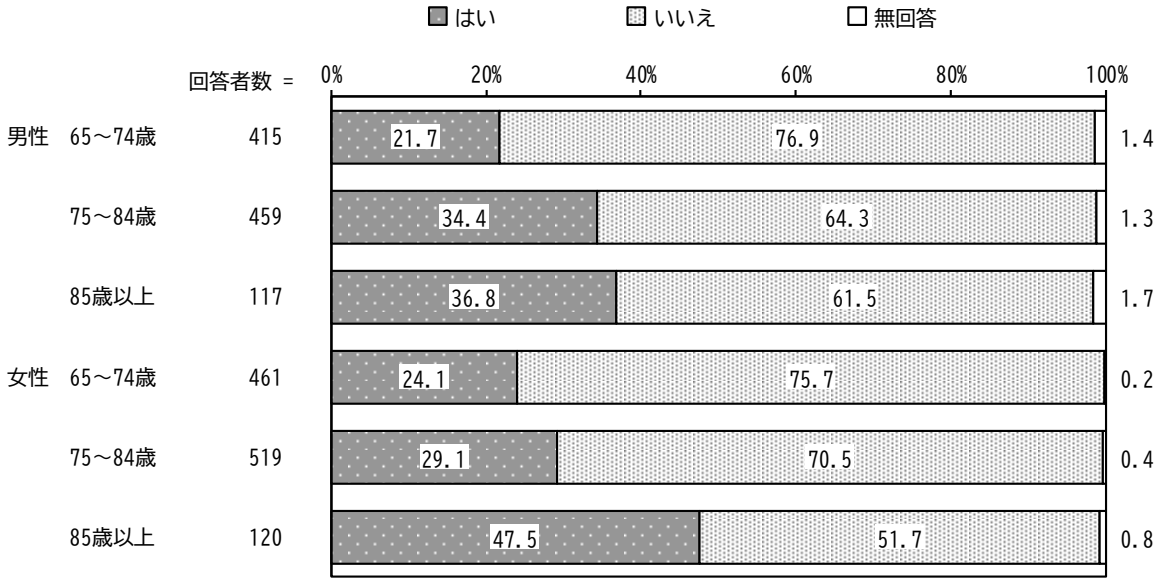
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



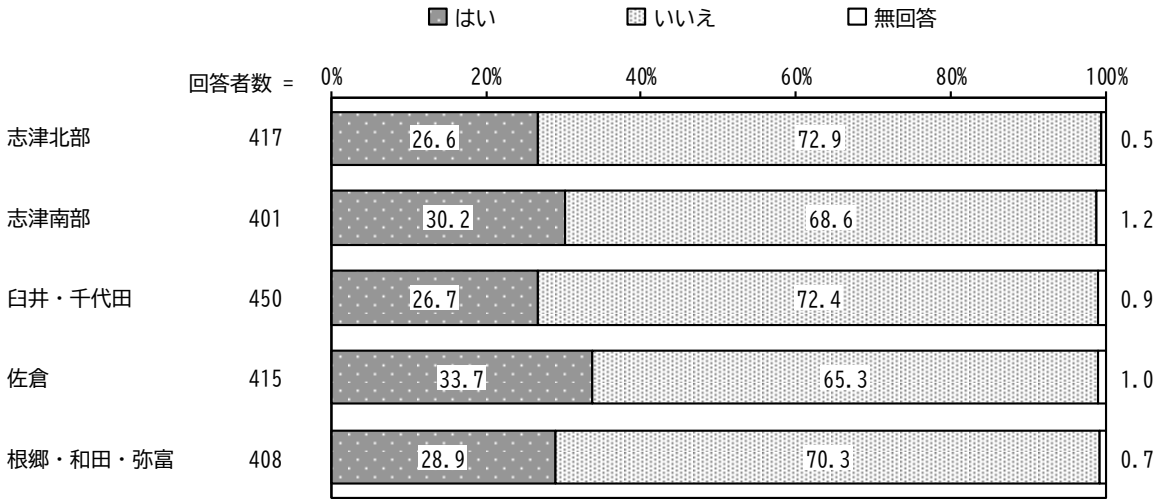
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、女性の 85 歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



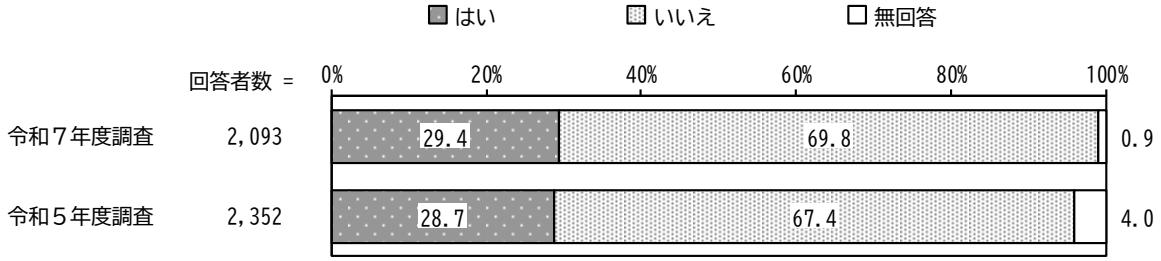
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



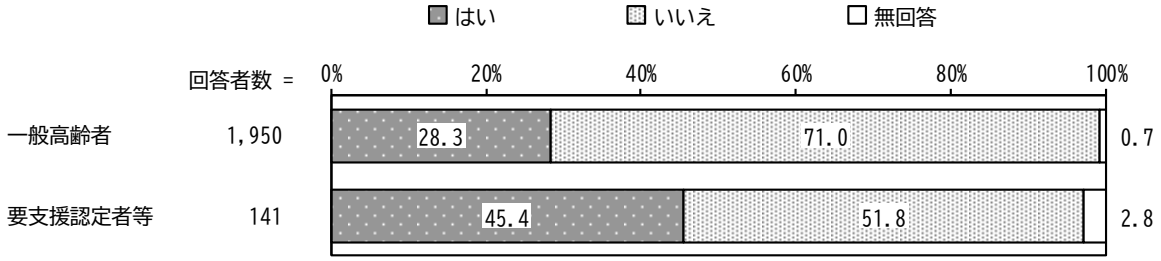
（3）お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」の割合が 29.4%、「いいえ」の割合が 69.8%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



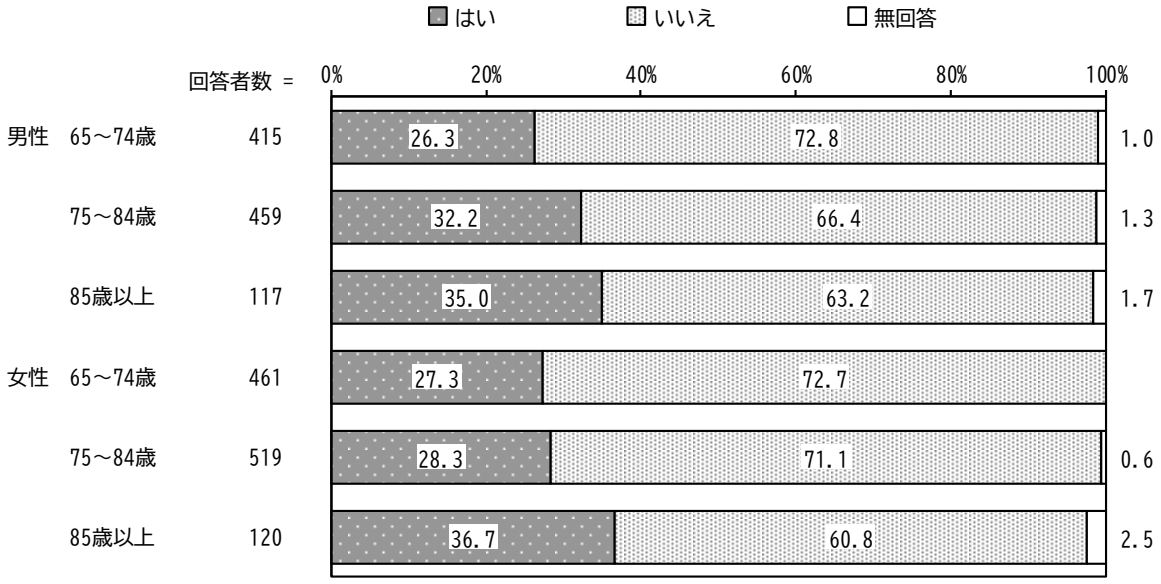
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



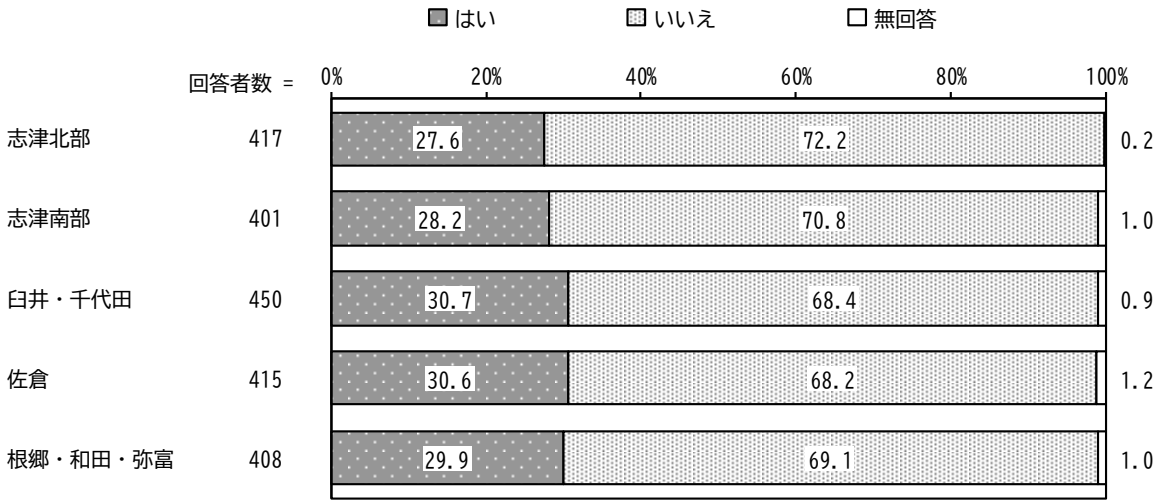
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

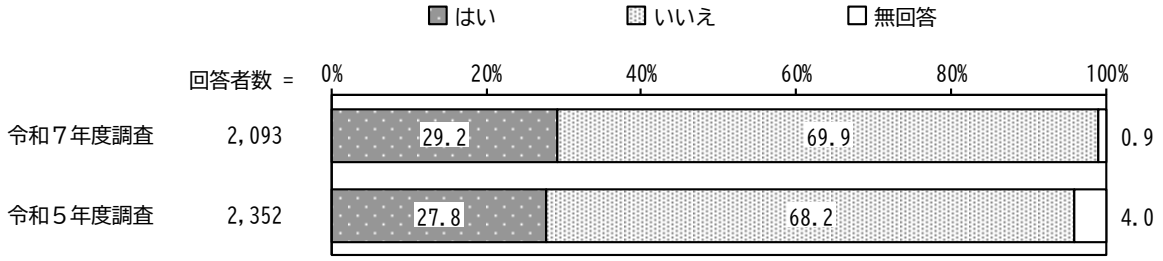
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（4）口の渇きが気になりますか

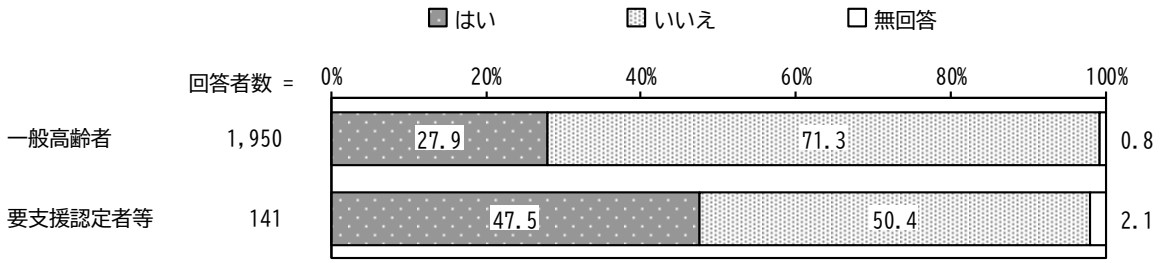
「はい」の割合が 29.2%、「いいえ」の割合が 69.9%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



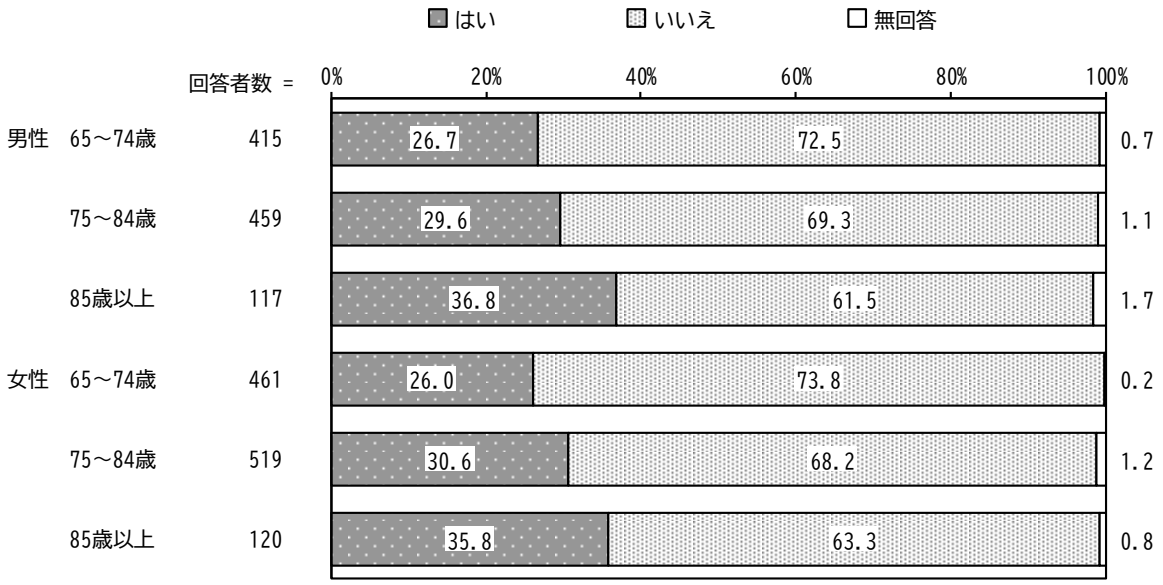
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



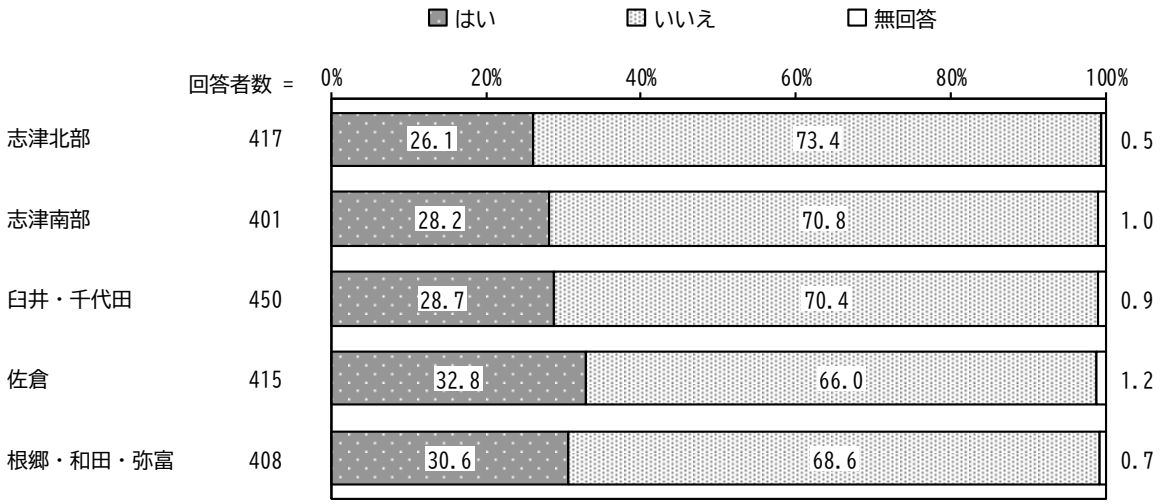
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

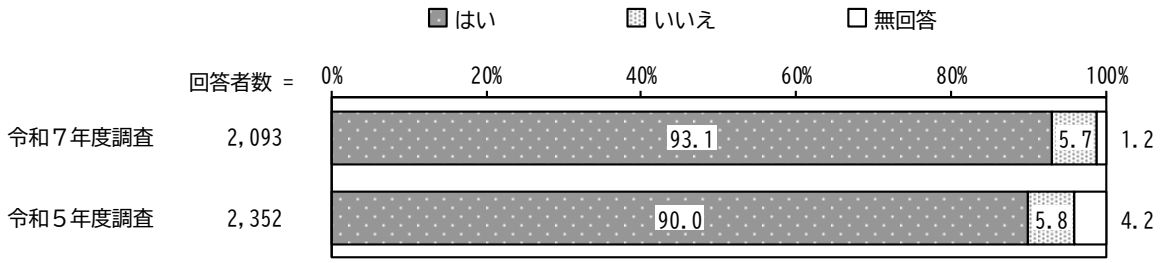
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（5）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

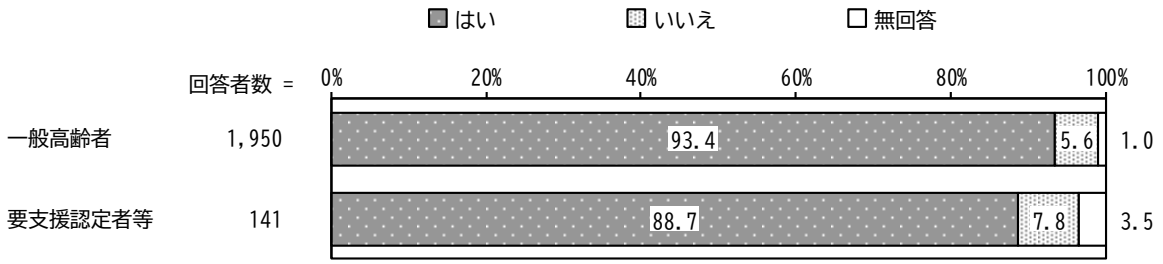
「はい」の割合が 93.1%、「いいえ」の割合が 5.7%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



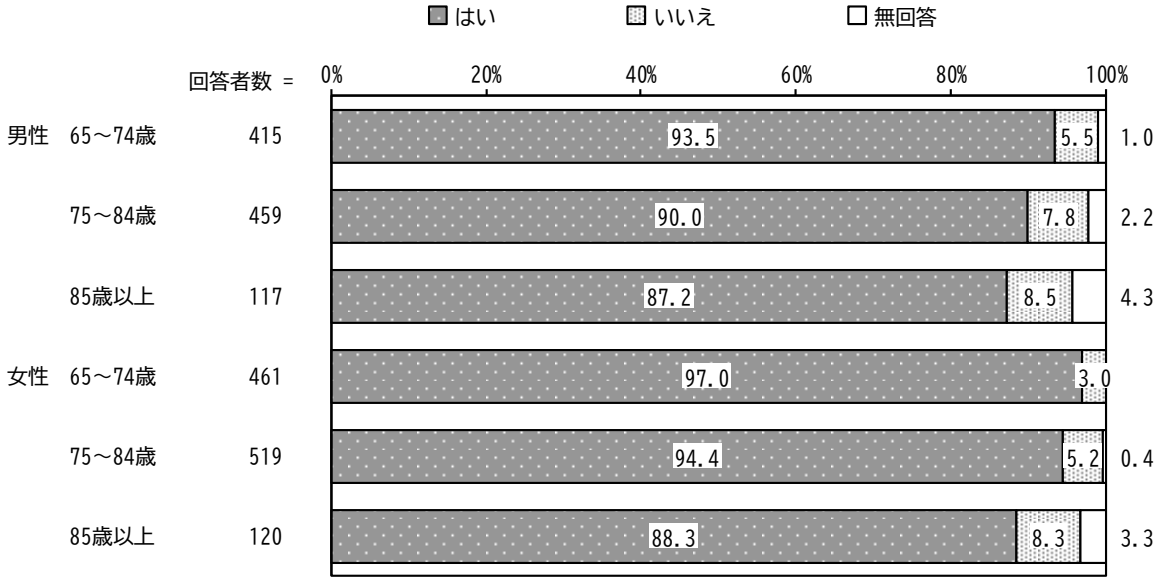
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



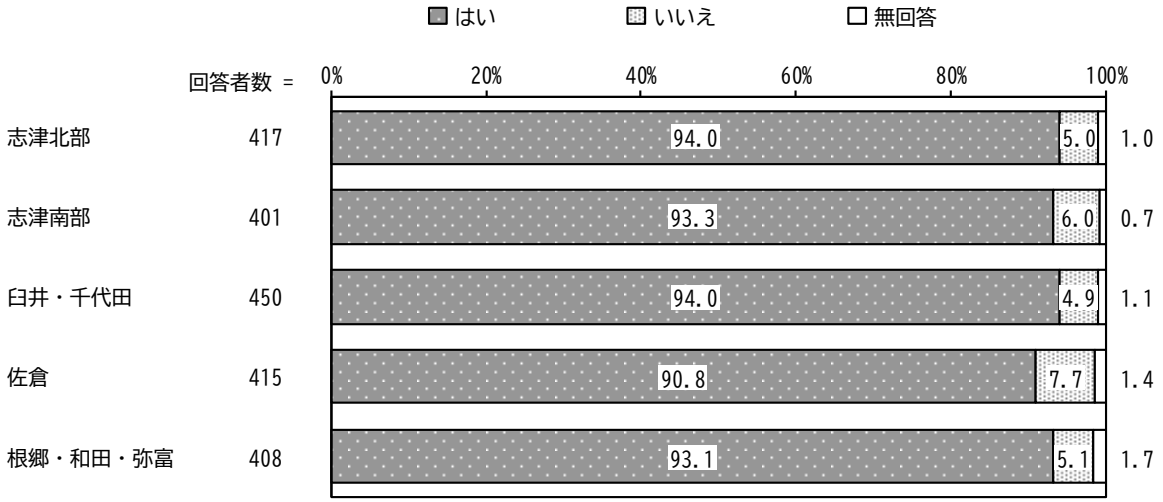
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

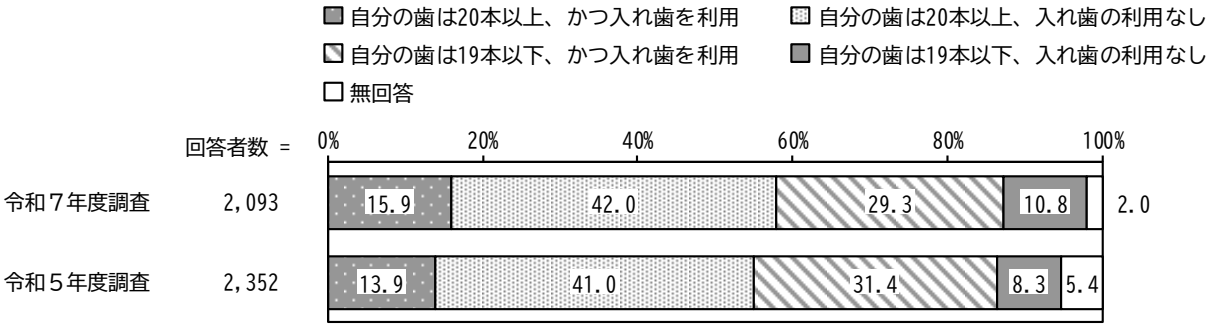
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（６）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

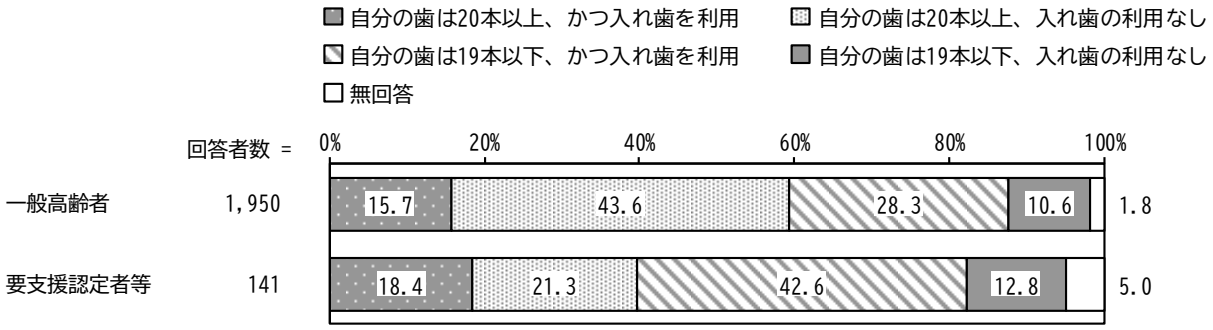
「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 29.3%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 15.9%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



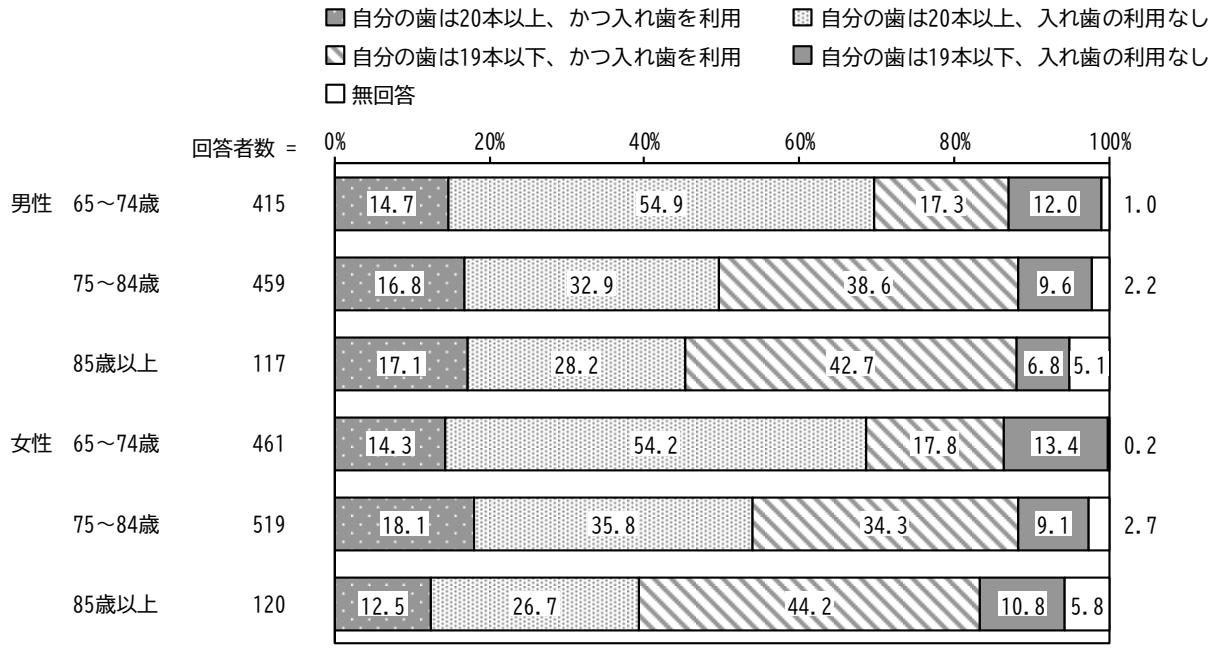
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高く、要支援認定者等で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。



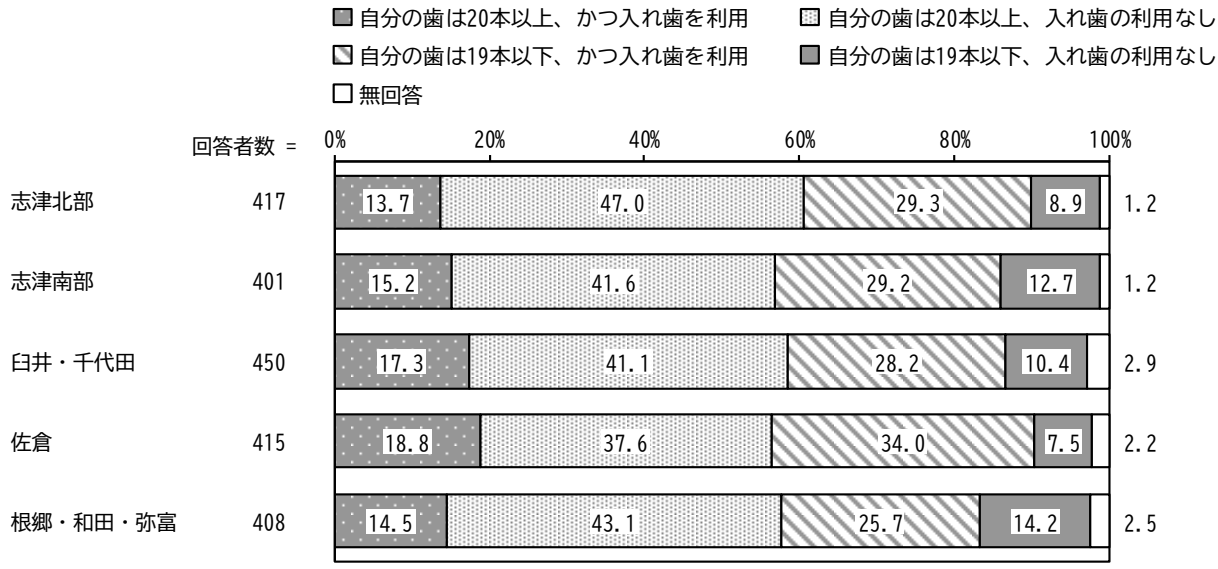
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合が低く、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなります。女性では「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高く、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が低くなっています。



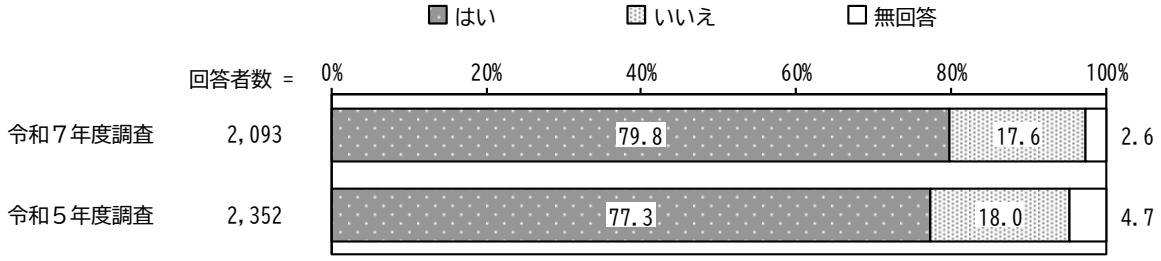
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、志津北部で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっています。

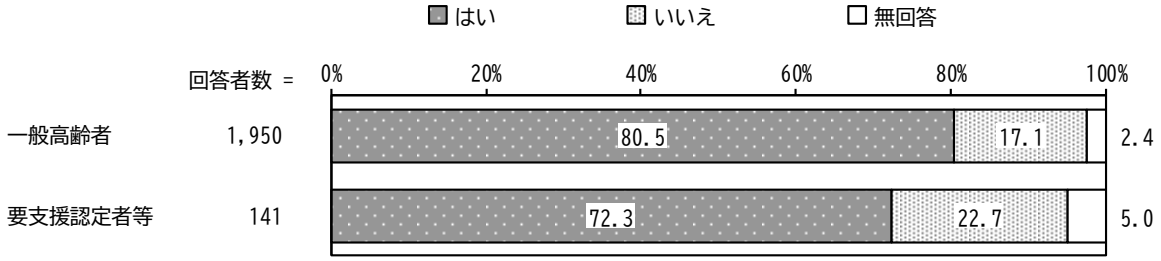


①噛み合わせは良いですか

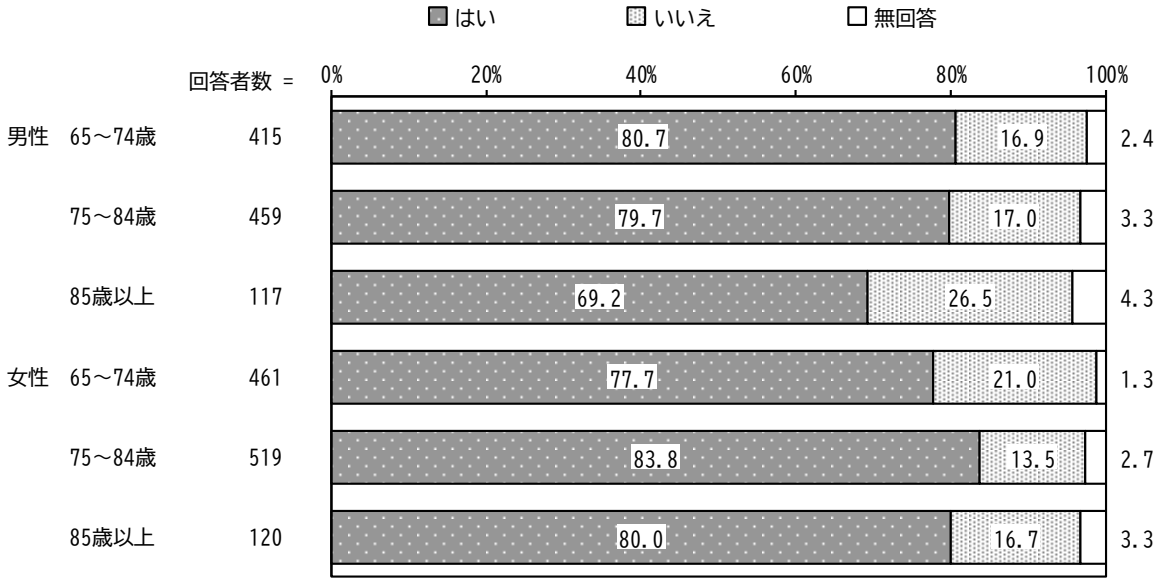
「はい」の割合が 79.8%、「いいえ」の割合が 17.6%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】
一般・認定者別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。

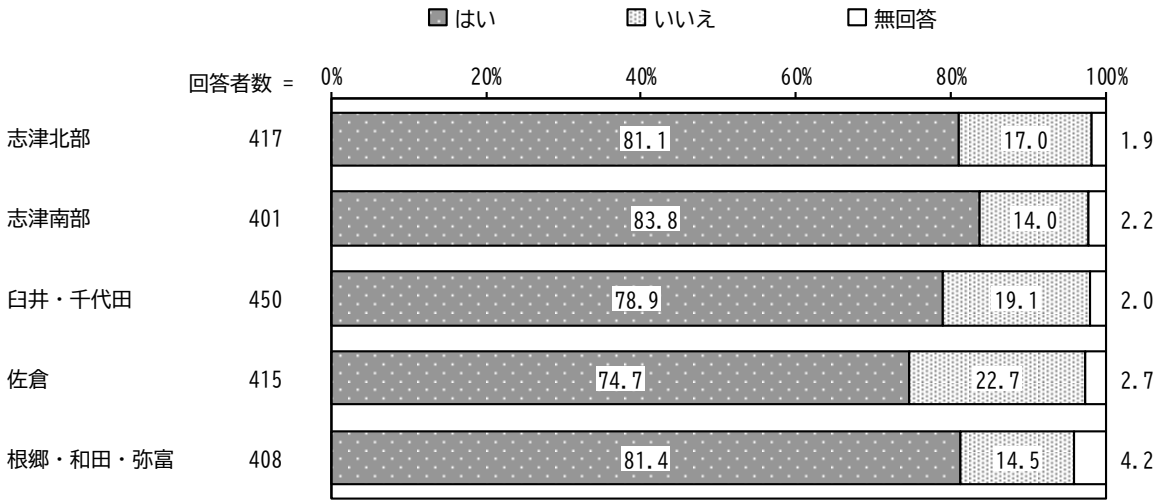


【性・年齢別】
性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、佐倉で「いいえ」の割合が高くなっています。

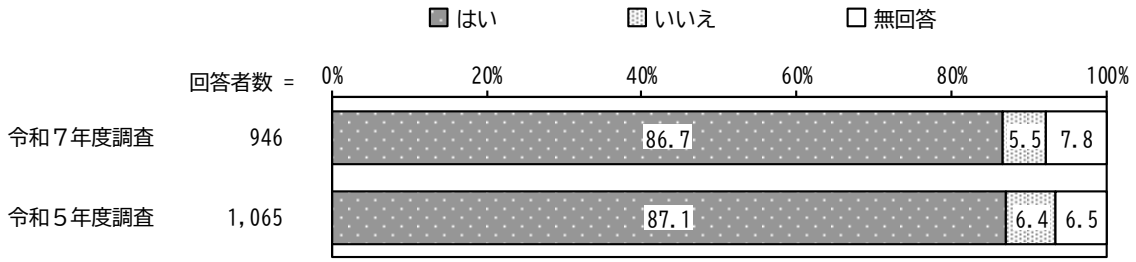


（６）で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

②毎日入れ歯の手入れをしていますか

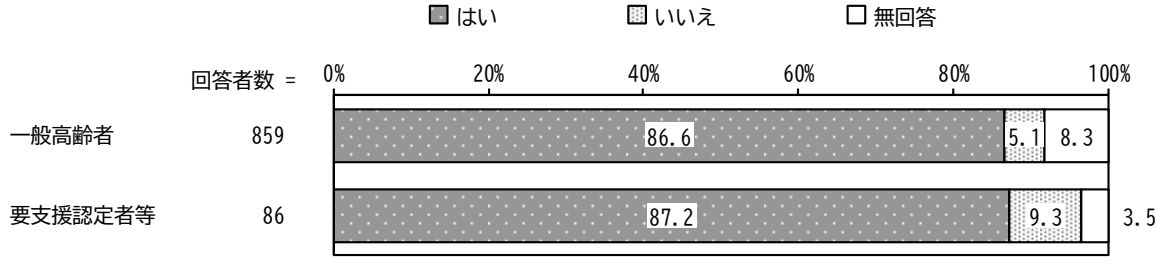
「はい」の割合が 86.7%、「いいえ」の割合が 5.5%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



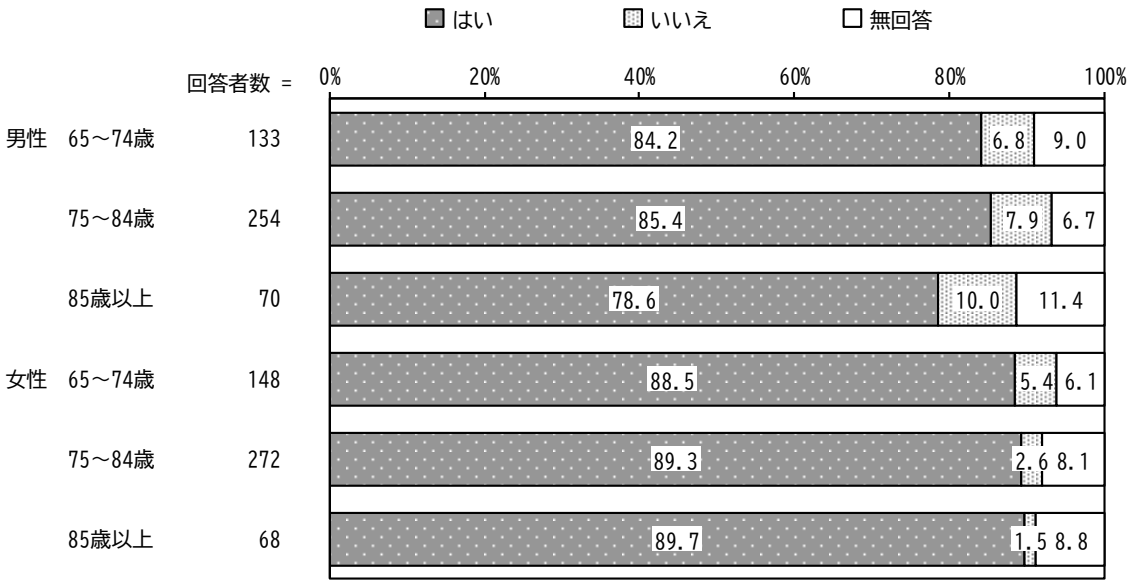
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



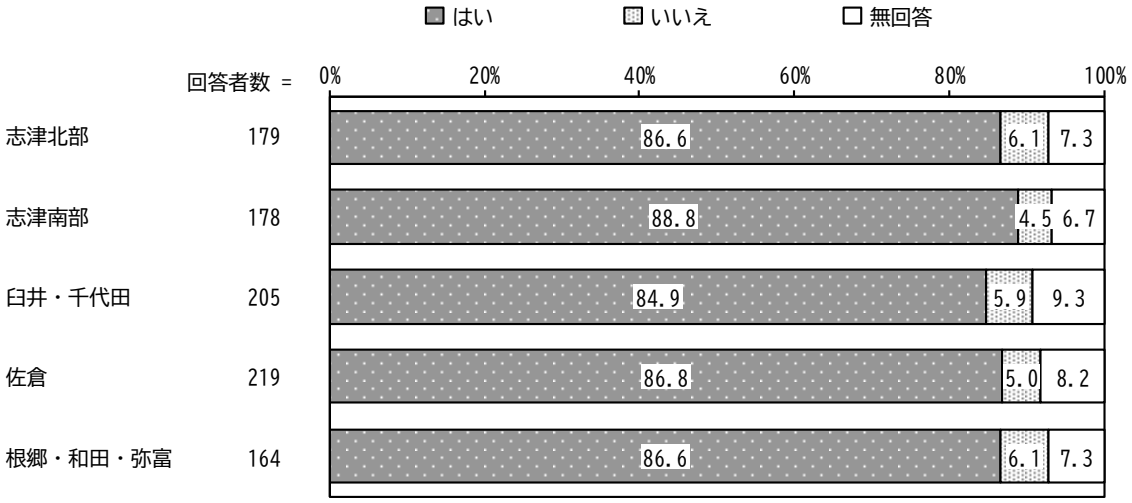
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の 85 歳以上で「はい」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

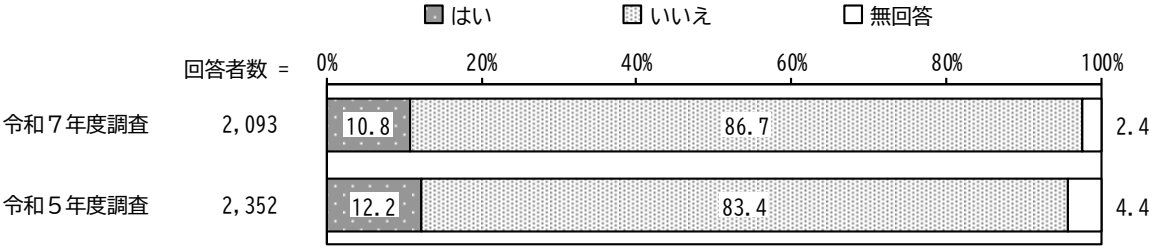
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（7）６か月間で２～３ｋｇ以上の体重減少がありましたか

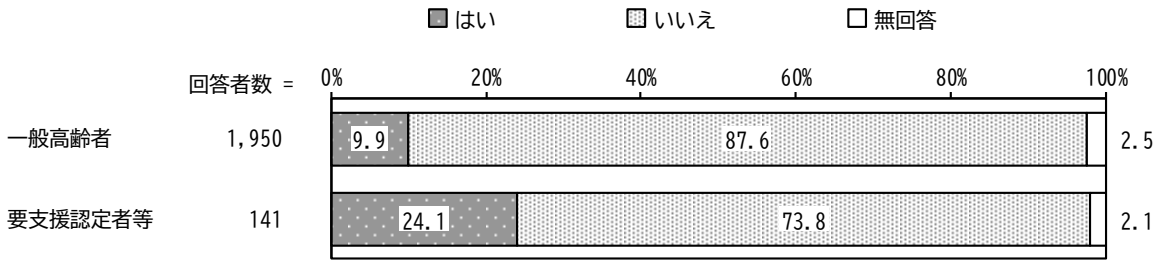
「はい」の割合が 10.8%、「いいえ」の割合が 86.7%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



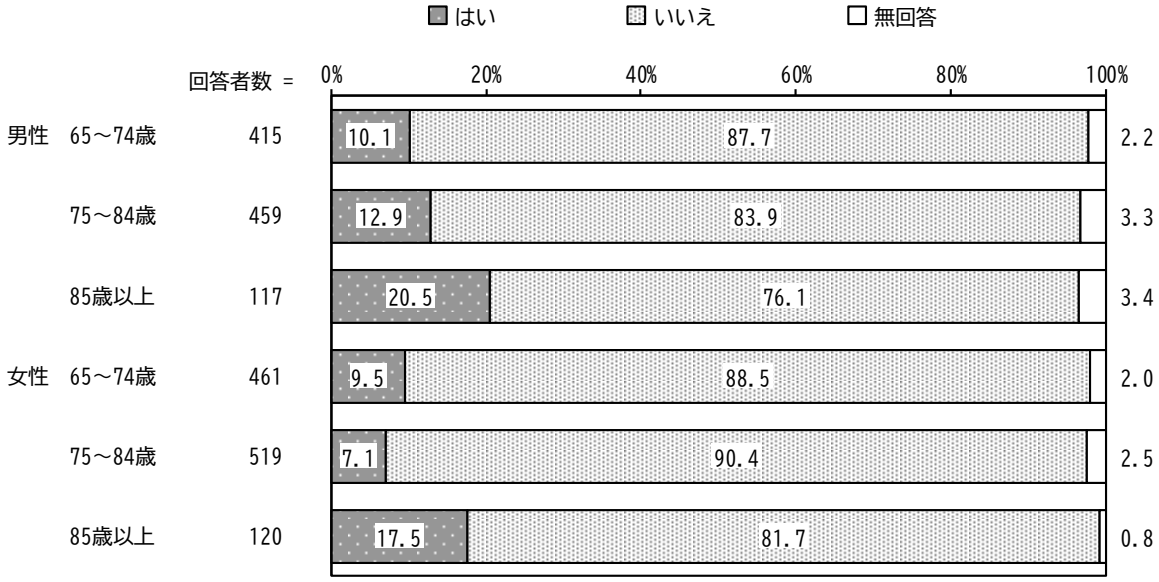
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、要支援認定者等で「はい」の割合が高くなっています。



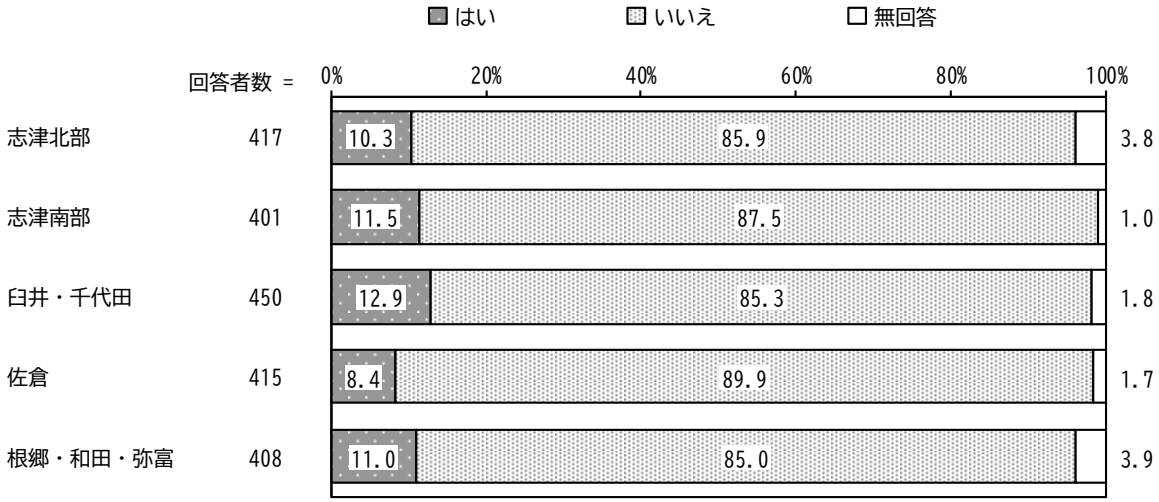
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

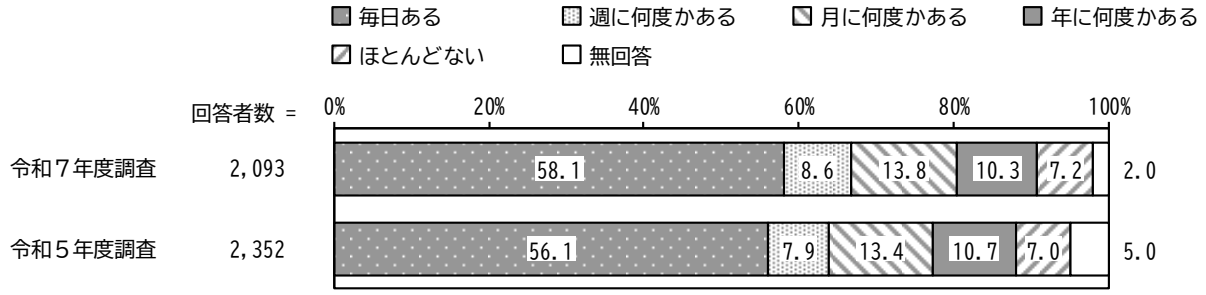
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（8）どなたかと食事をともにする機会はありますか

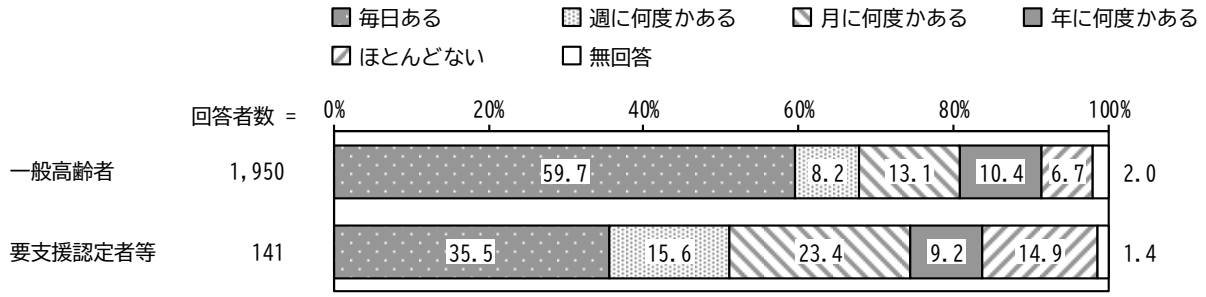
「毎日ある」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 13.8%、「年に何度かある」の割合が 10.3%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



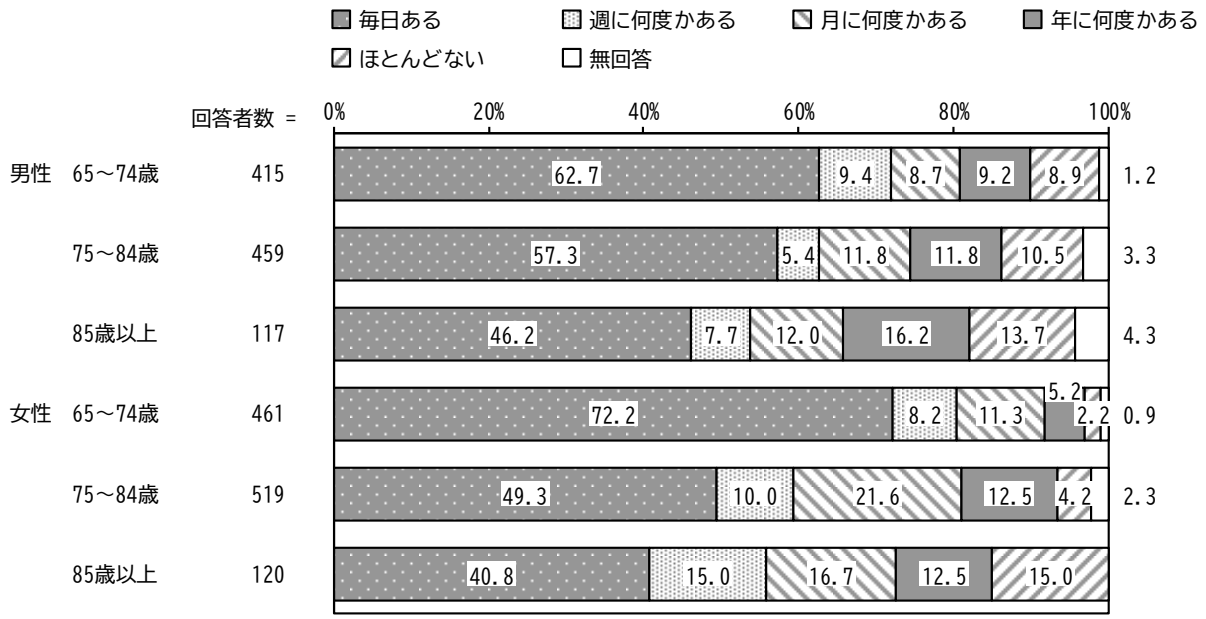
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「毎日ある」の割合が高く、要支援認定者等で「週に何度かある」「月に何度かある」「ほとんどない」の割合が高くなっています。



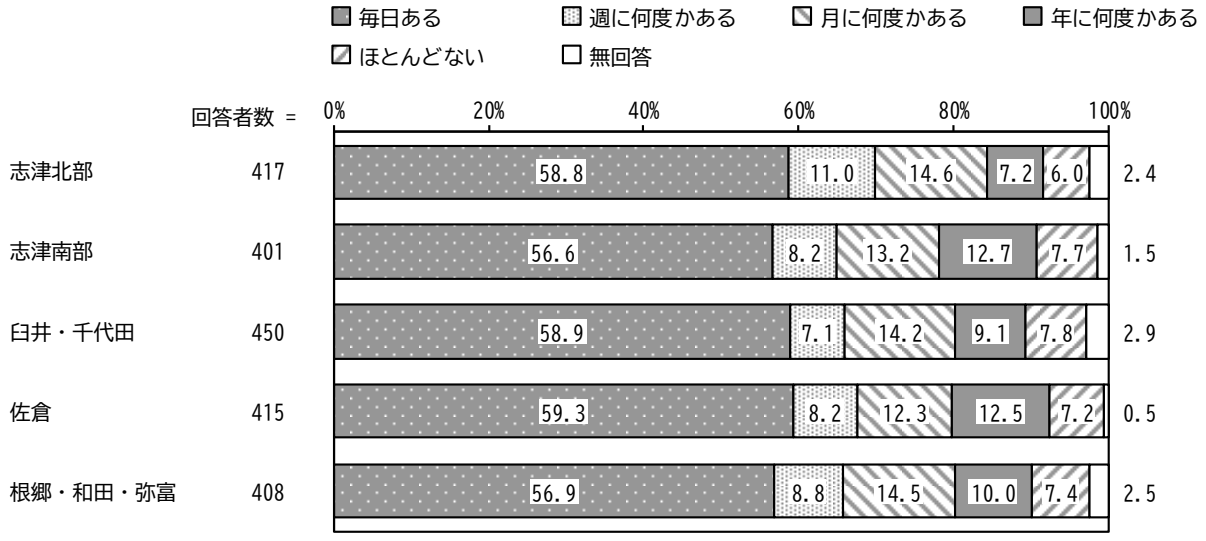
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「毎日ある」の割合が低く、男性では「年に何度かある」「ほとんどない」の割合が高く、女性では「週に何度かある」「ほとんどない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

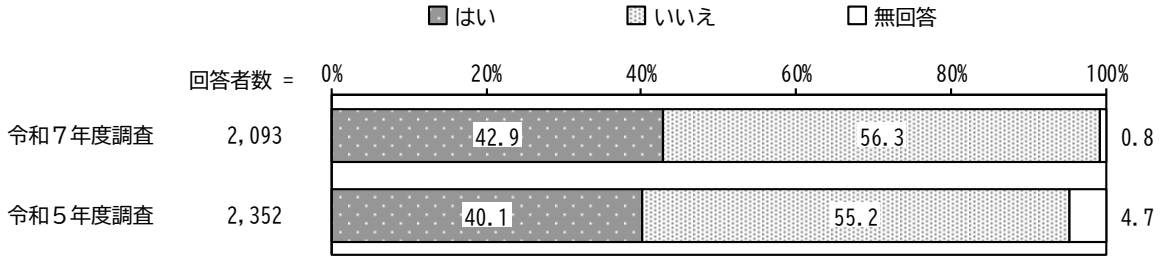
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



問４　毎日の生活について

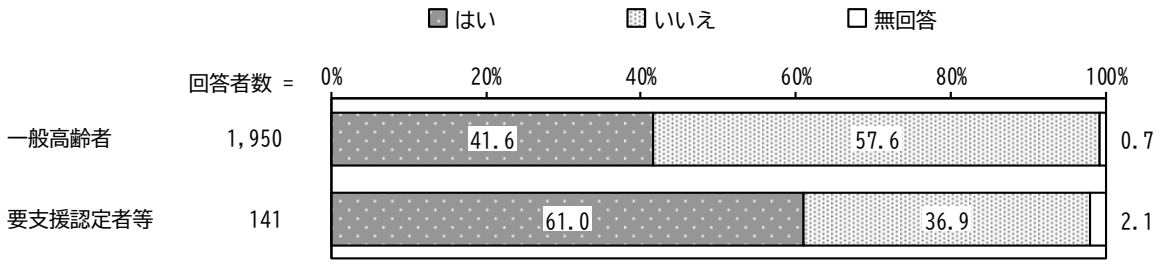
（１）物忘れが多いと感じますか

「はい」の割合が 42.9%、「いいえ」の割合が 56.3%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



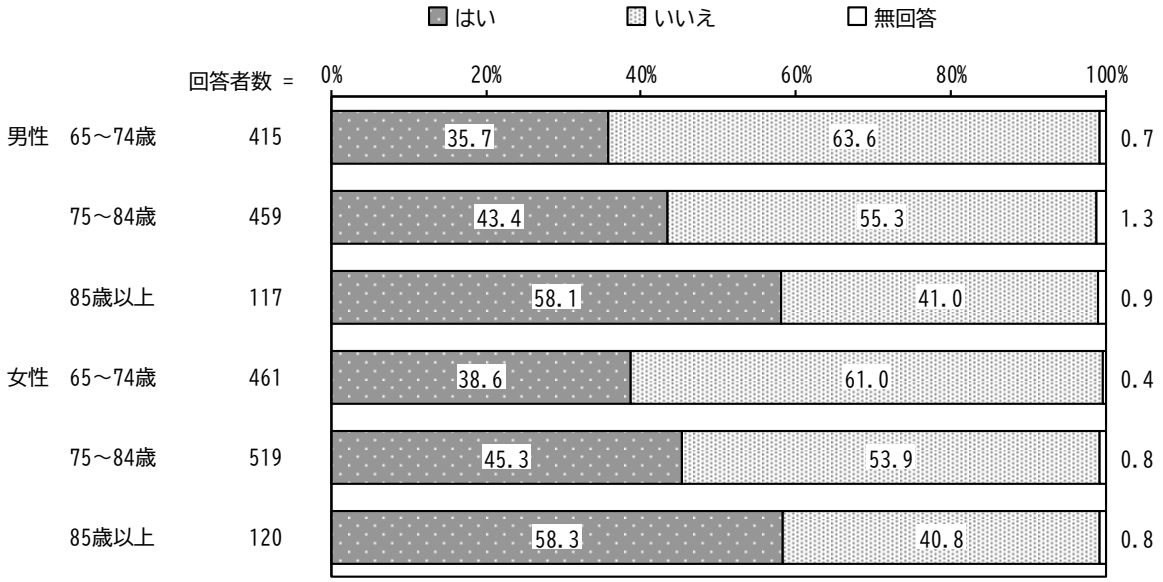
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



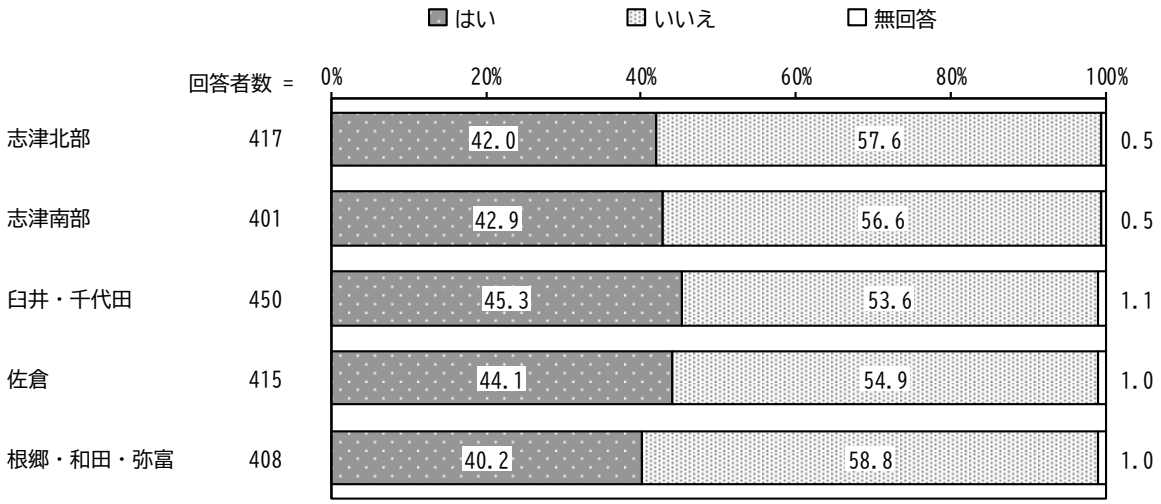
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、男性の 85 歳以上、女性の 85 歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

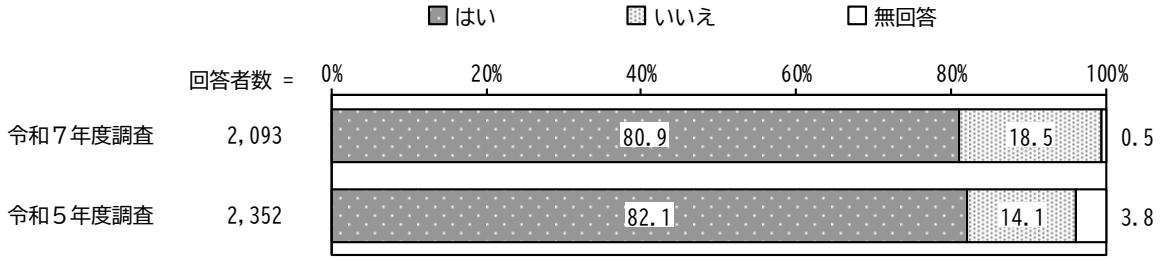
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

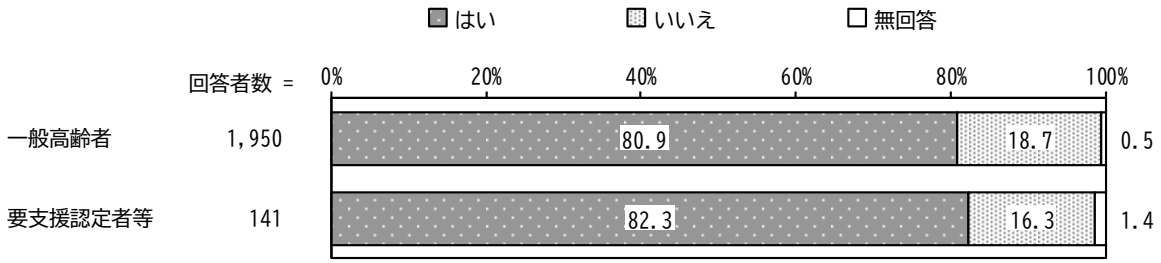
「はい」の割合が 80.9%、「いいえ」の割合が 18.5%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



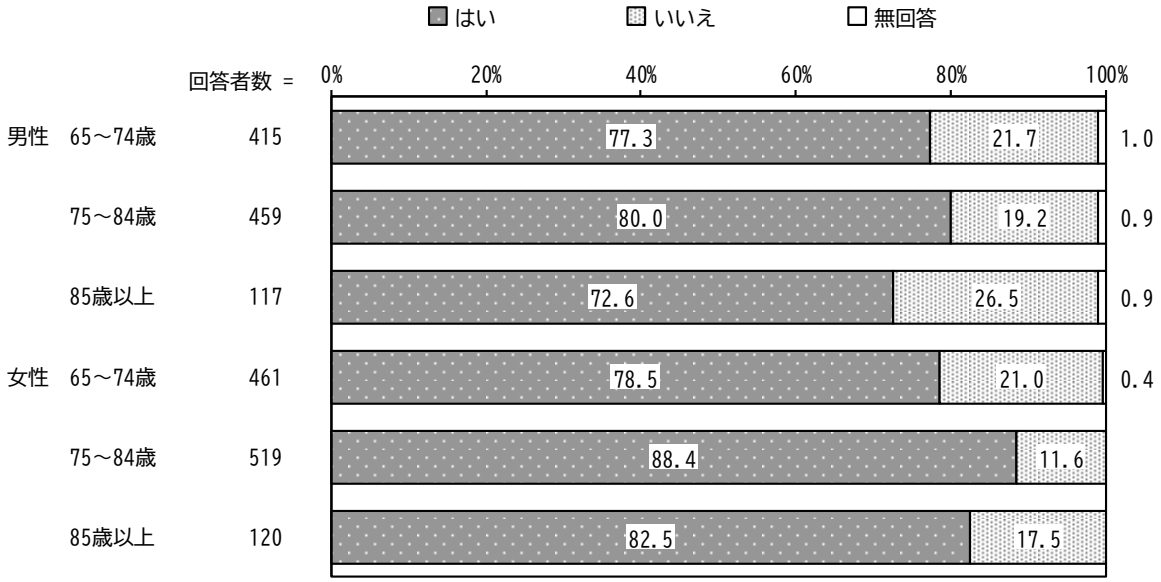
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



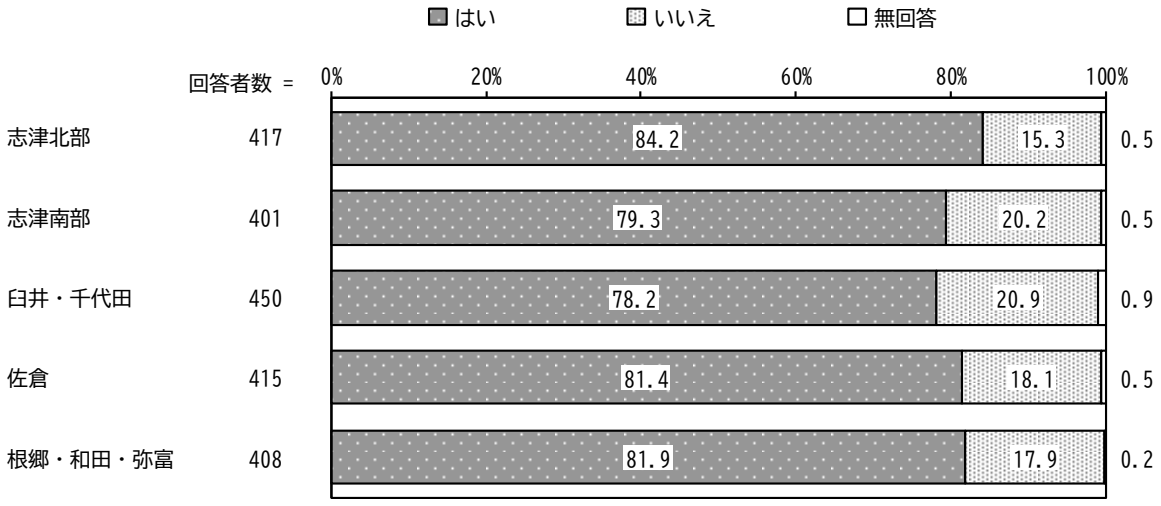
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 75～84 歳で「はい」、男性の 85 歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



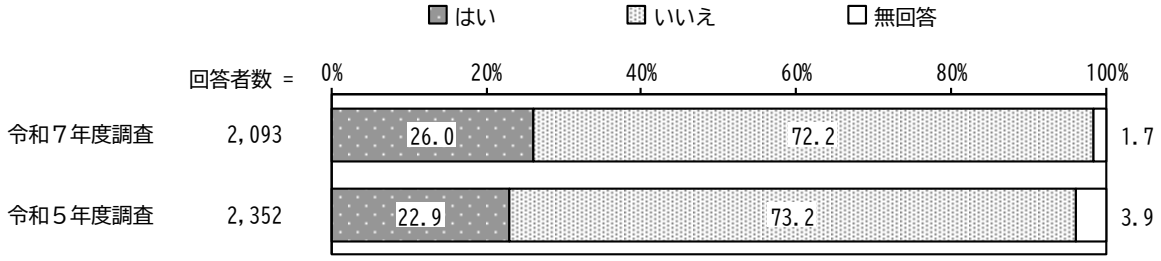
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



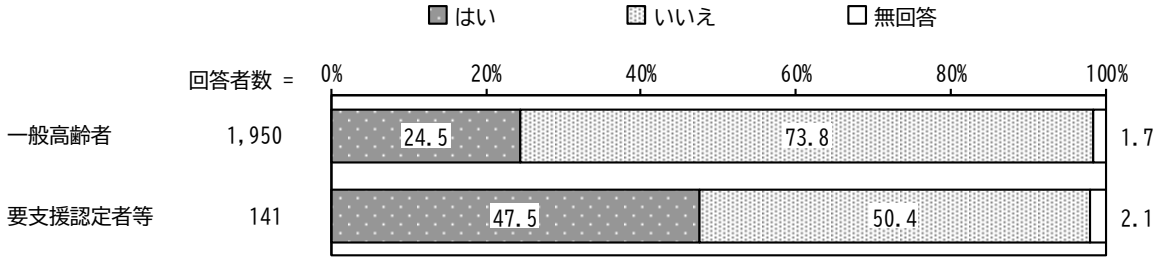
（3）今日が何月何日かわからない時がありますか

「はい」の割合が 26.0%、「いいえ」の割合が 72.2%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



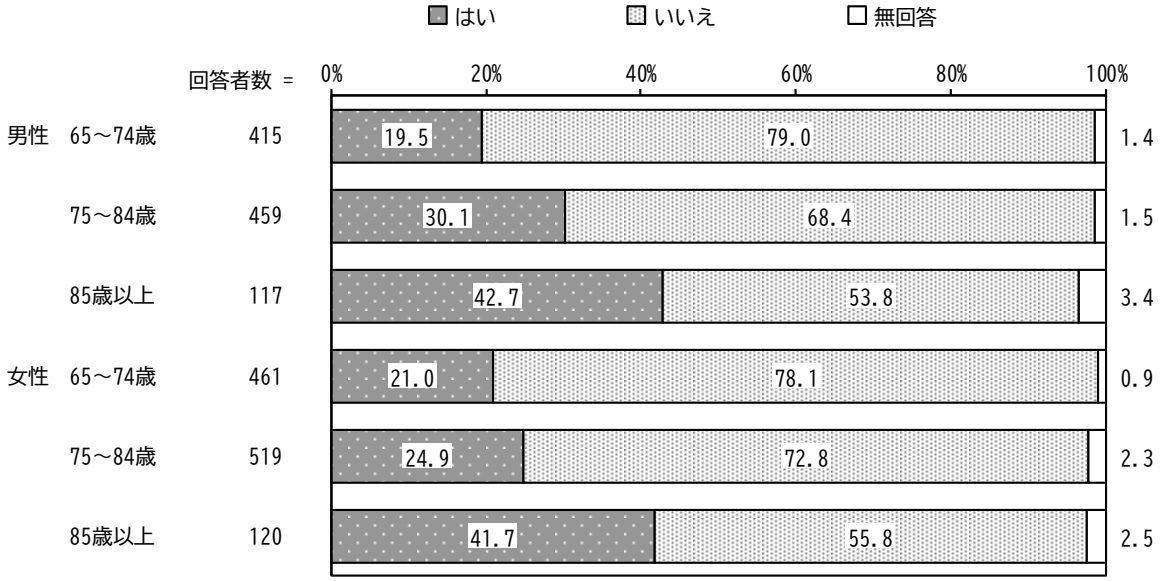
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



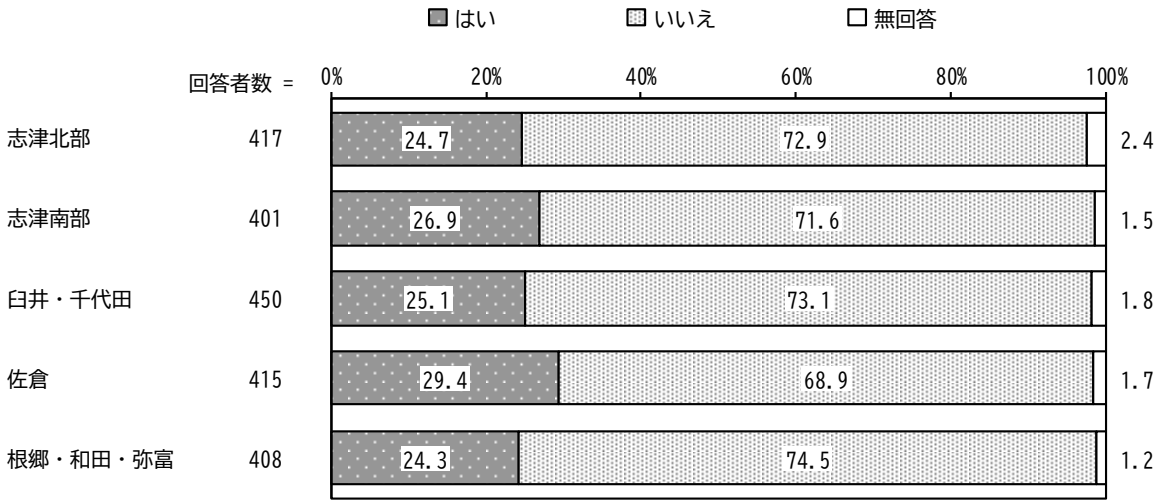
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、男性の 85 歳以上、女性の 85 歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

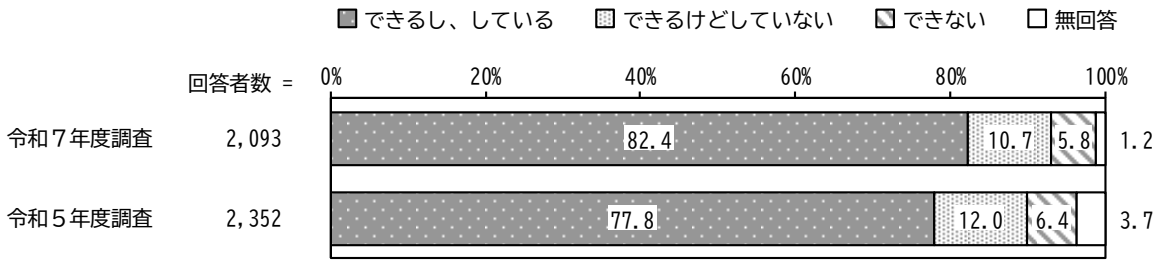
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（4）バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）

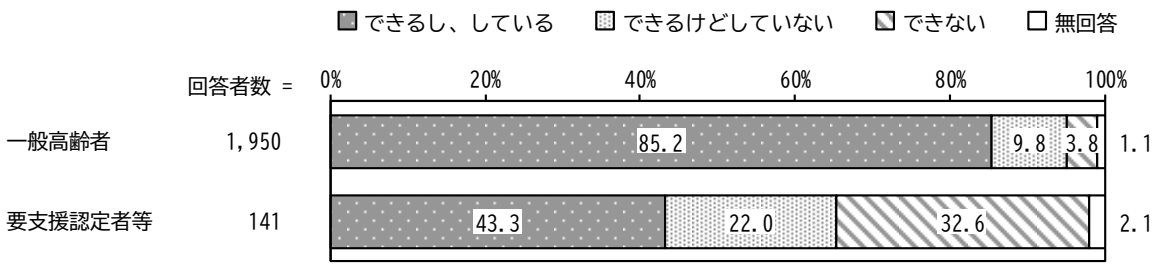
「できるし、している」の割合が 82.4%、「できるけどしていない」の割合が 10.7%、「できない」の割合が 5.8%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



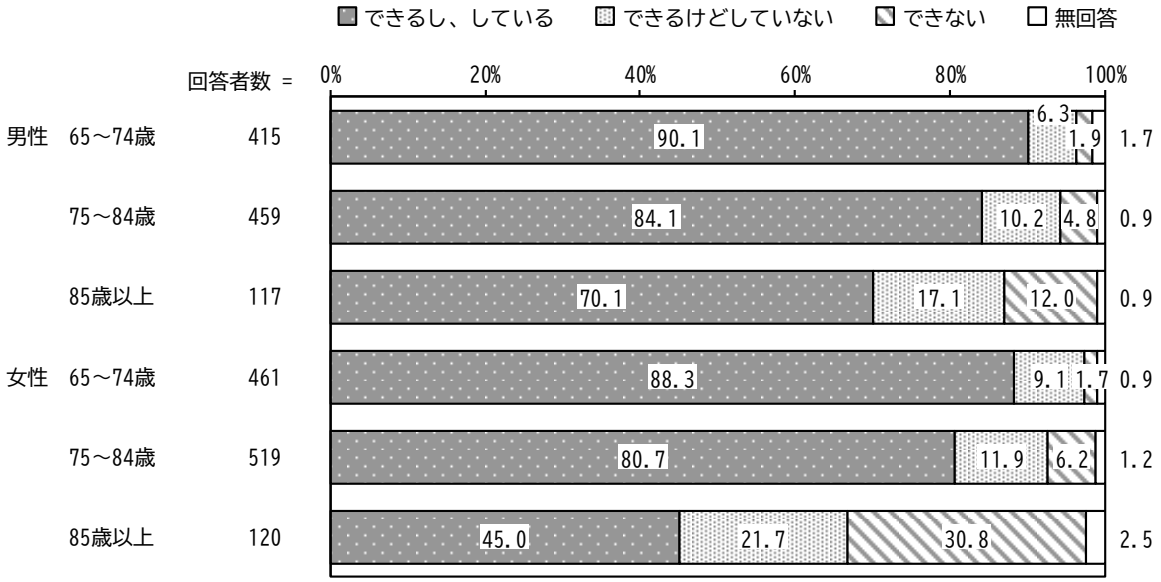
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者等で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



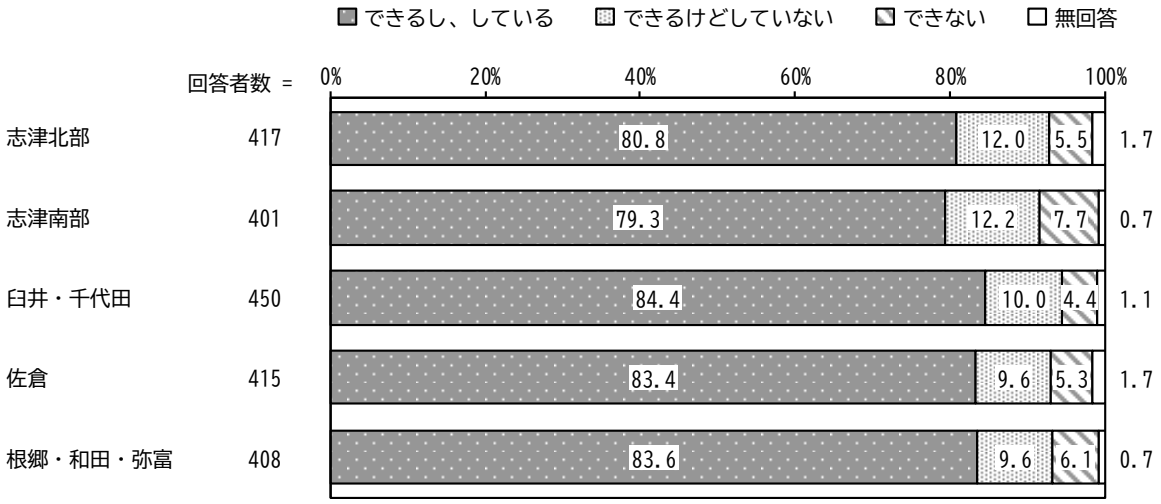
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

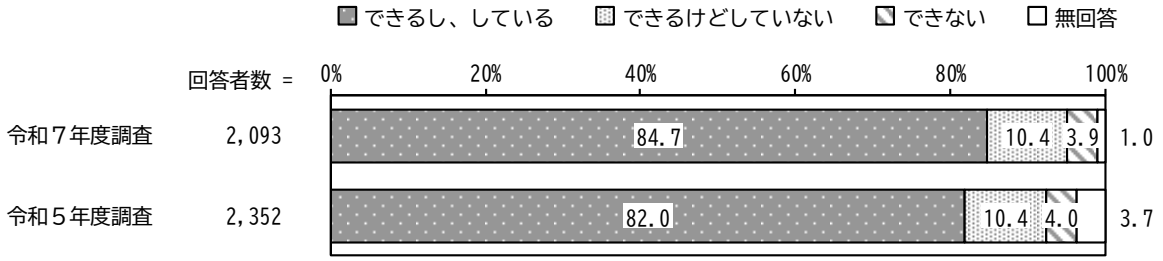
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（5）自分で食品・日用品の買物をしていますか

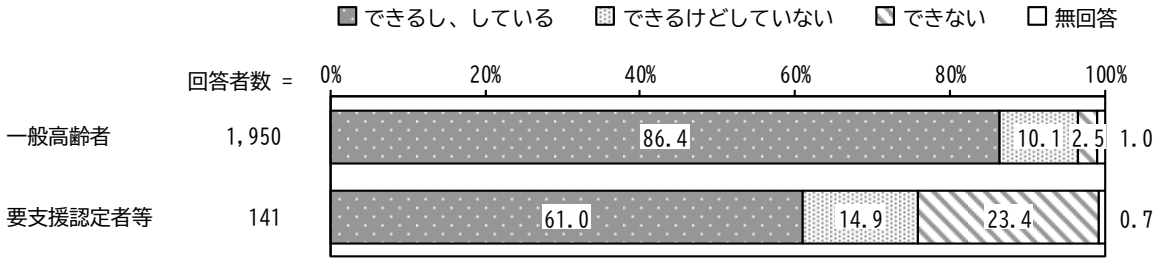
「できるし、している」の割合が 84.7%、「できるけどしていない」の割合が 10.4%、「できない」の割合が 3.9%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



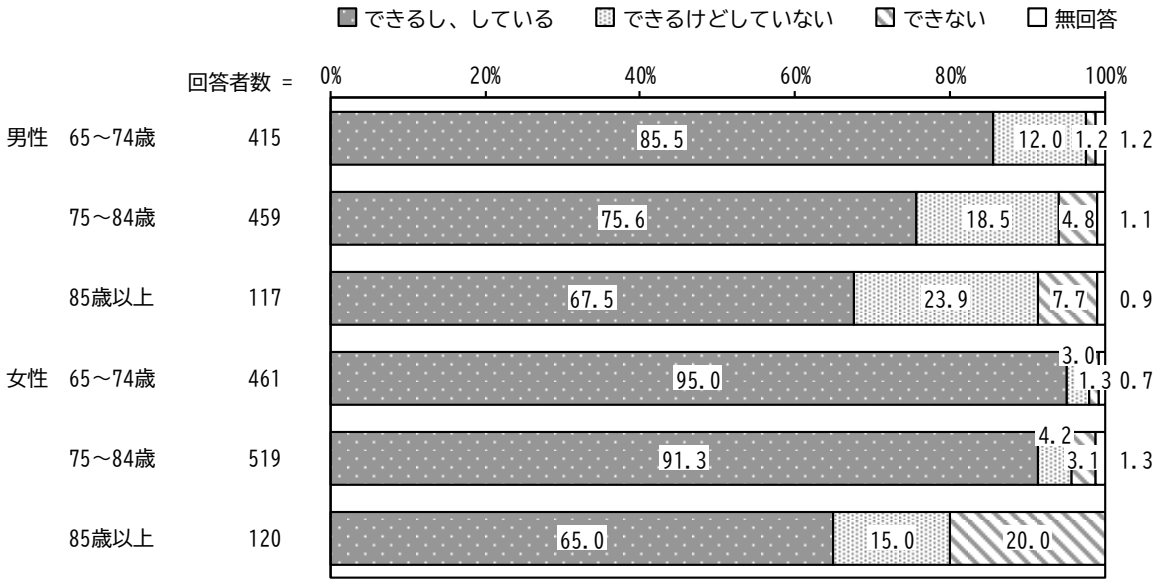
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者等で「できない」の割合が高くなっています。



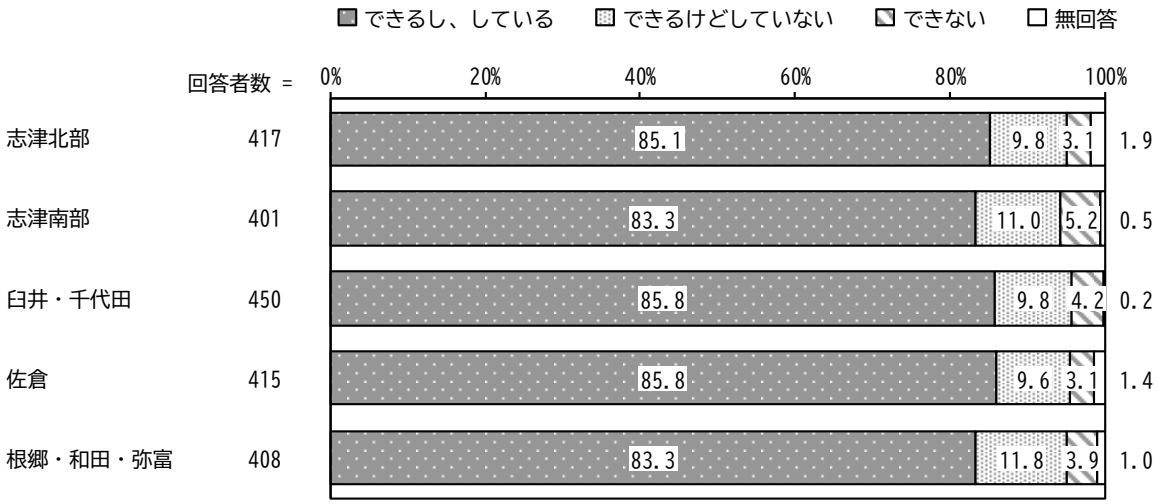
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるし、している」の割合が低く、男性では「できるけどしていない」の割合が高く、女性では「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

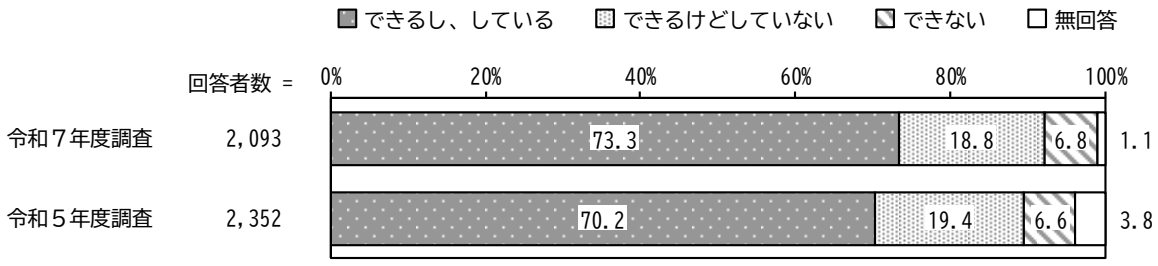
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（6）自分で食事の用意をしていますか

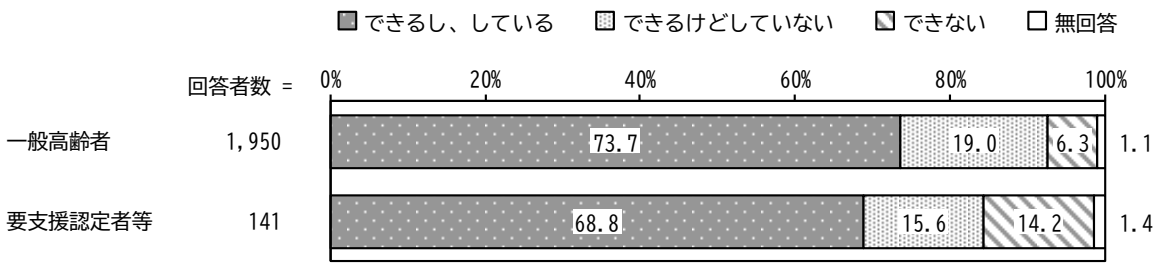
「できるし、している」の割合が 73.3%、「できるけどしていない」の割合が 18.8%、「できない」の割合が 6.8%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



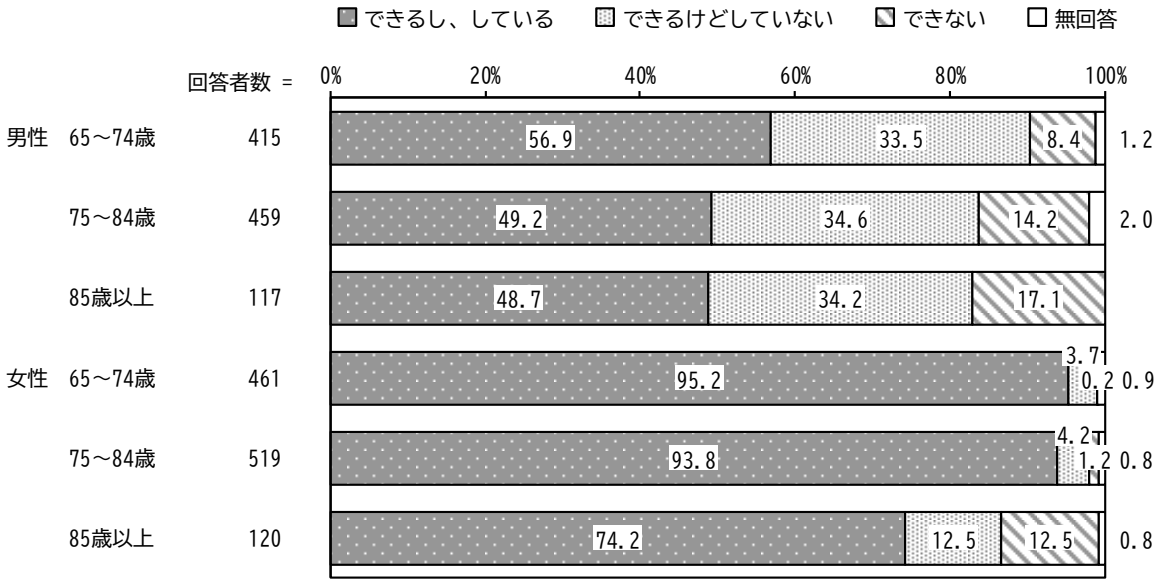
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、要支援認定者等で「できない」の割合が高くなっています。



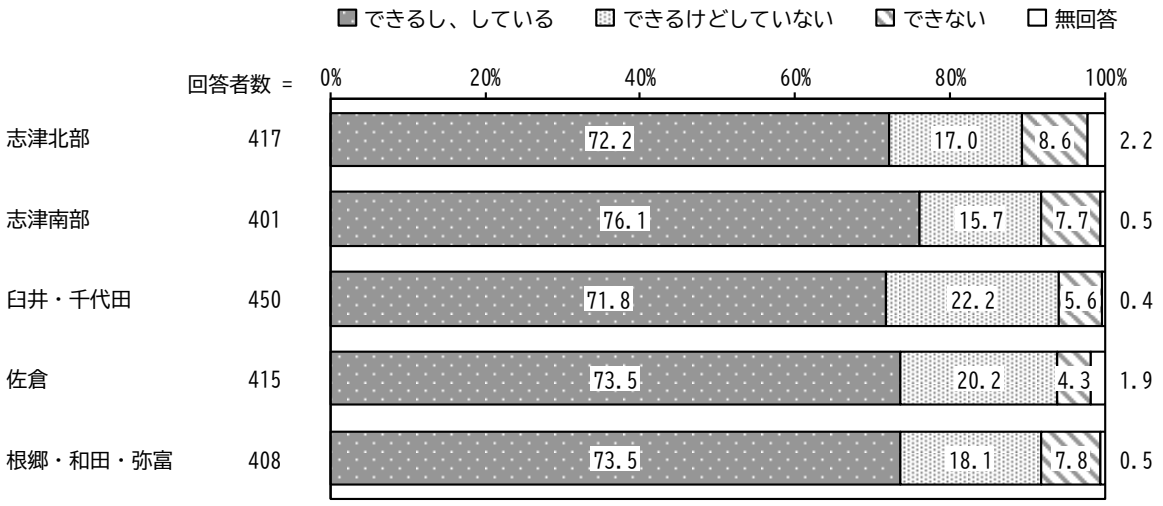
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるし、している」の割合が低く、男性では「できない」の割合が高く、女性では「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

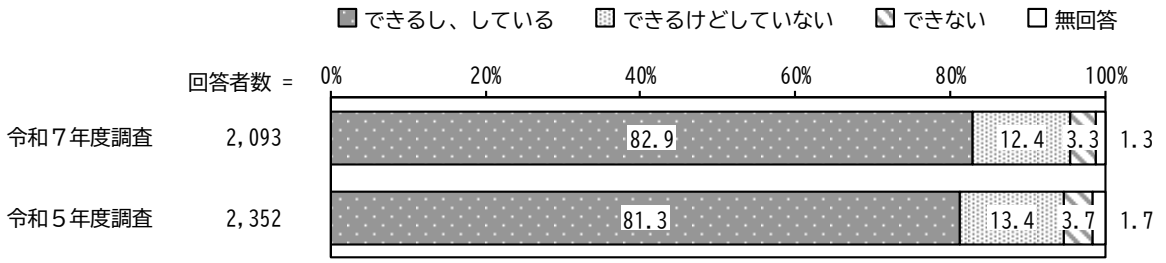
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（7）自分で請求書の支払いをしていますか

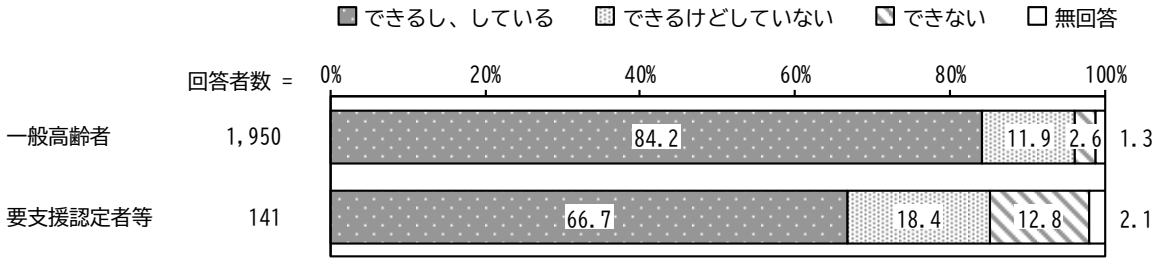
「できるし、している」の割合が 82.9%、「できるけどしていない」の割合が 12.4%、「できない」の割合が 3.3%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



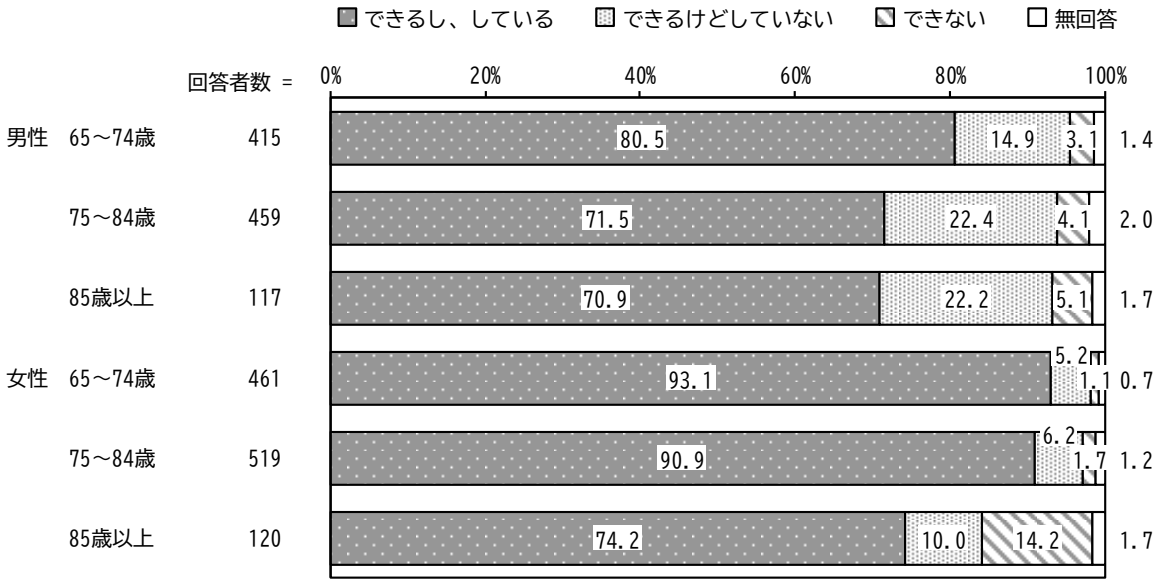
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者等で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



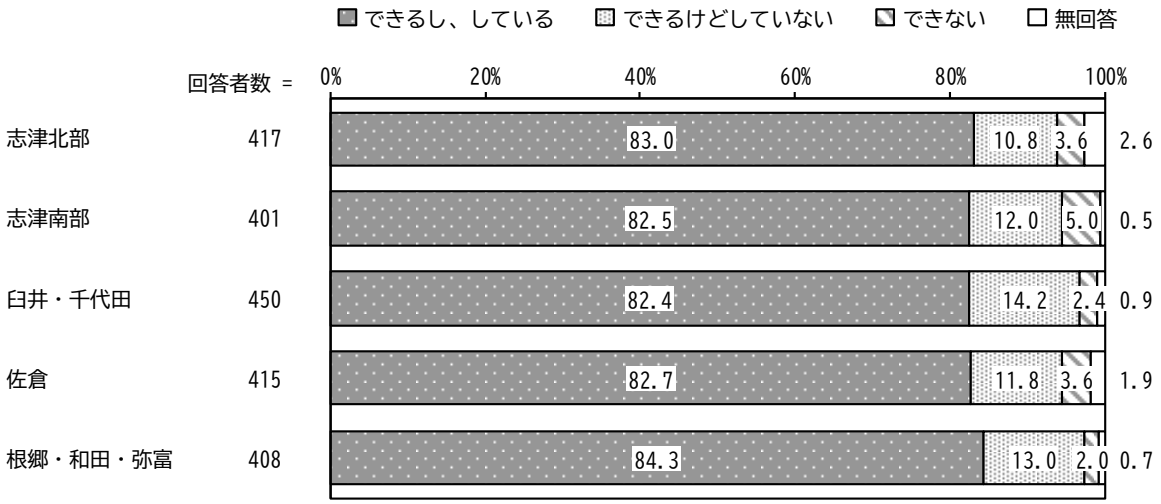
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「できるし、している」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

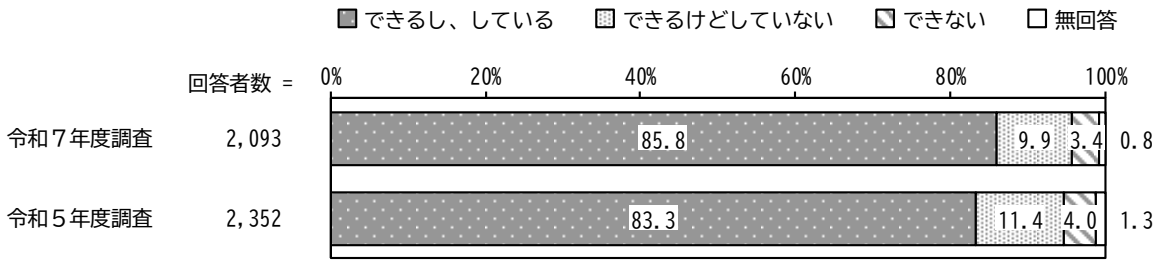
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（8）自分で預貯金の出し入れをしていますか

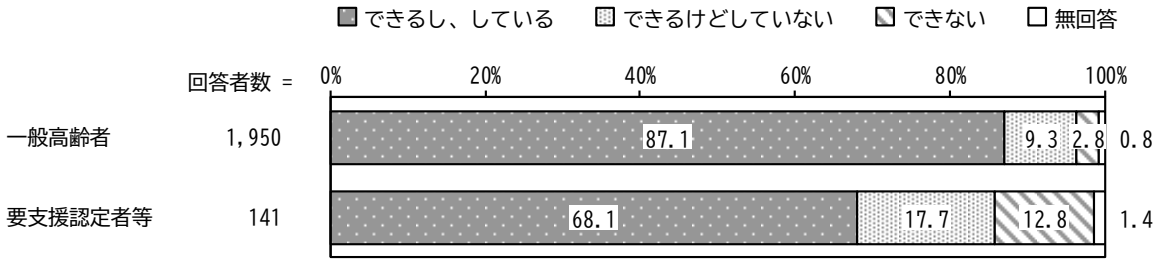
「できるし、している」の割合が 85.8%、「できるけどしていない」の割合が 9.9%、「できない」の割合が 3.4%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



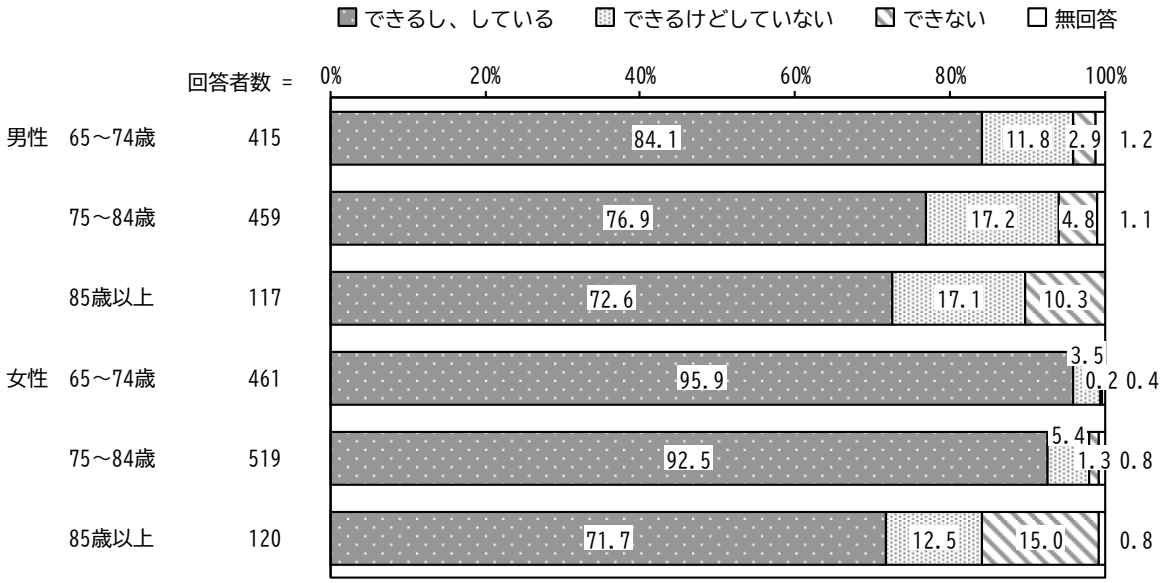
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者等で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



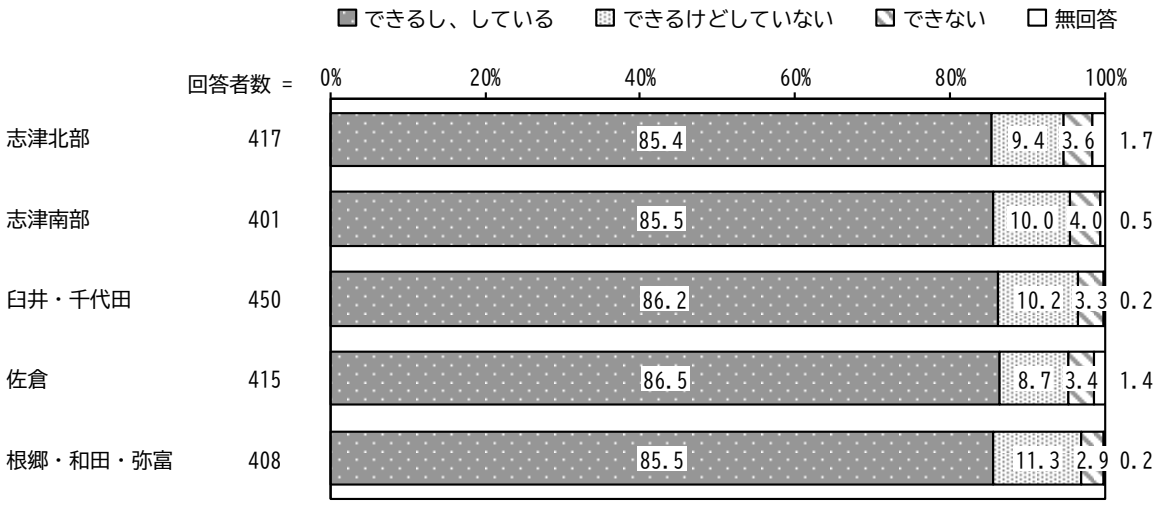
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるし、している」の割合が低く、男性では「できない」の割合が高く、女性では「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



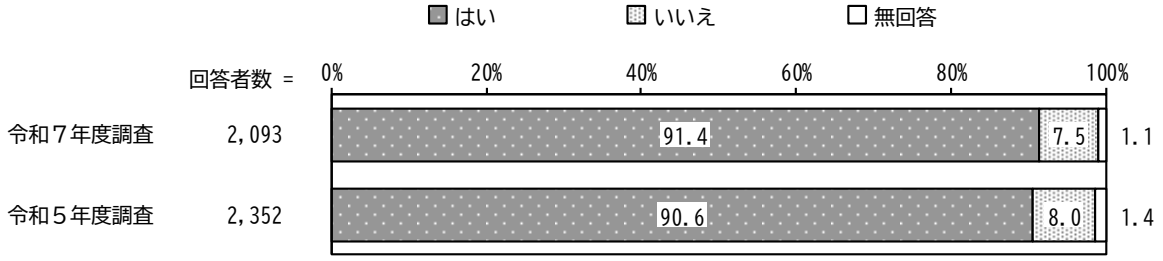
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



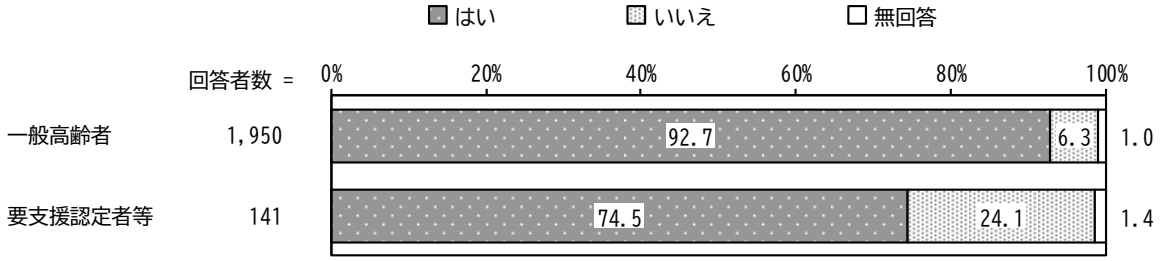
（9）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

「はい」の割合が 91.4%、「いいえ」の割合が 7.5%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



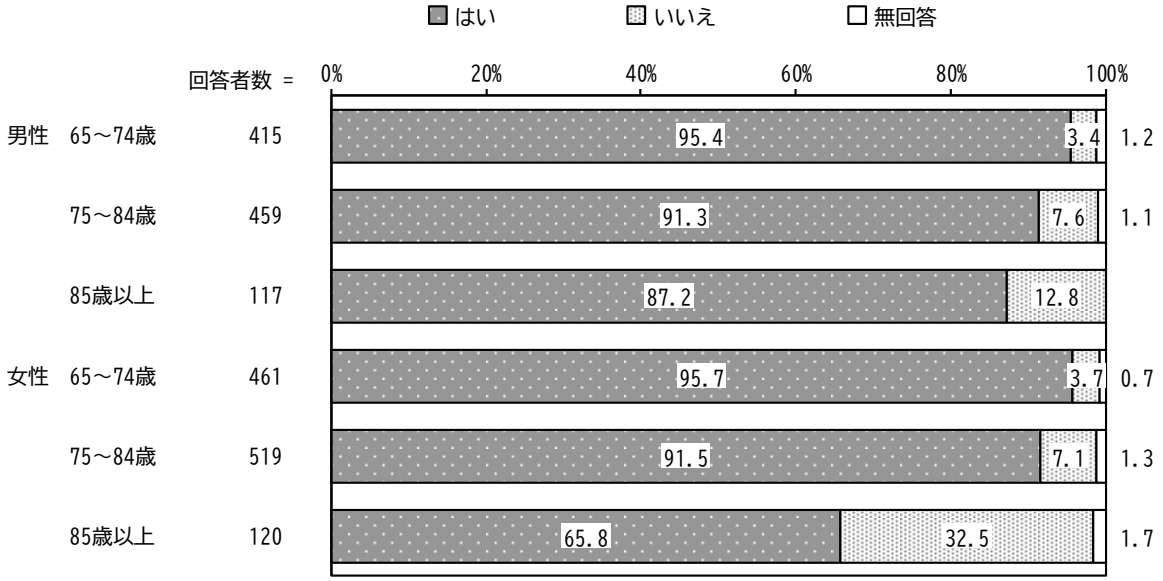
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



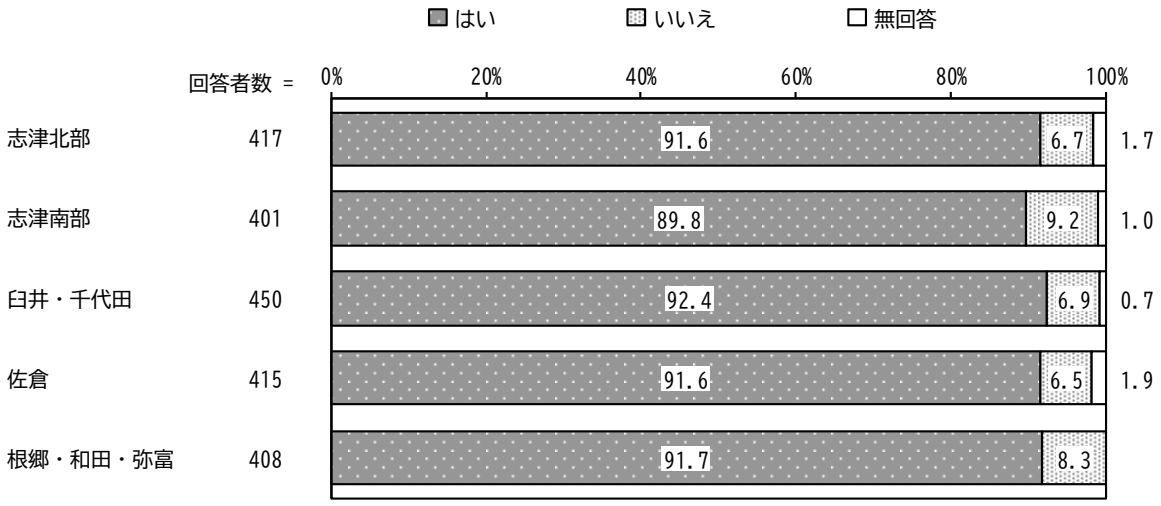
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。また、女性の 85 歳以上で「はい」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

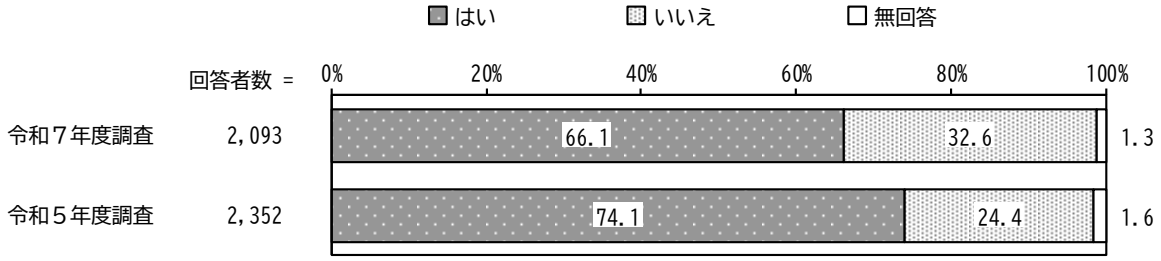
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（10）新聞を読んでいますか

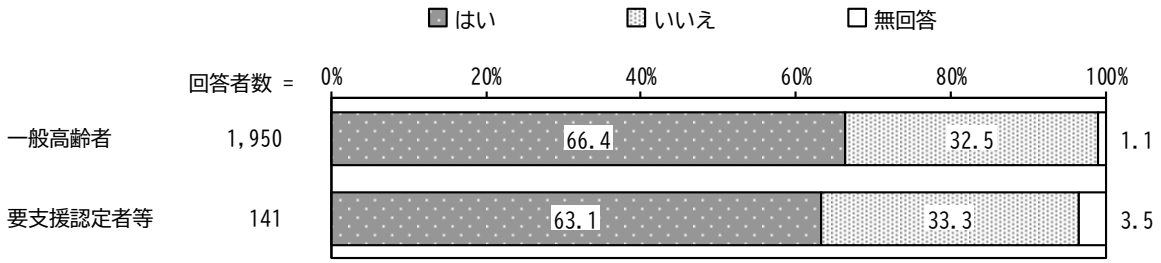
「はい」の割合が 66.1%、「いいえ」の割合が 32.6%となっています。

令和５年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



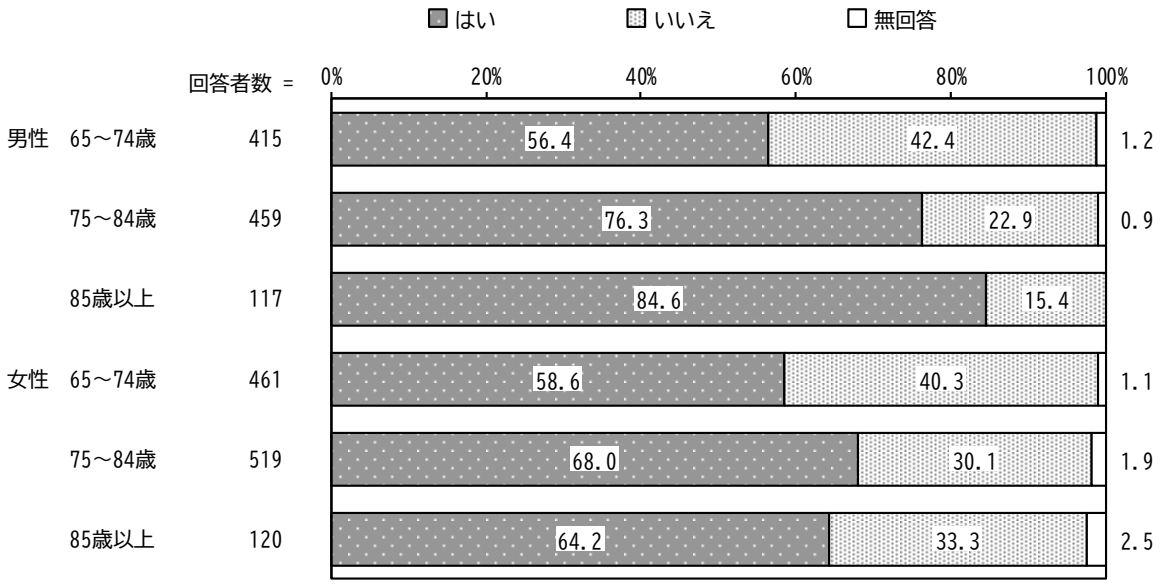
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



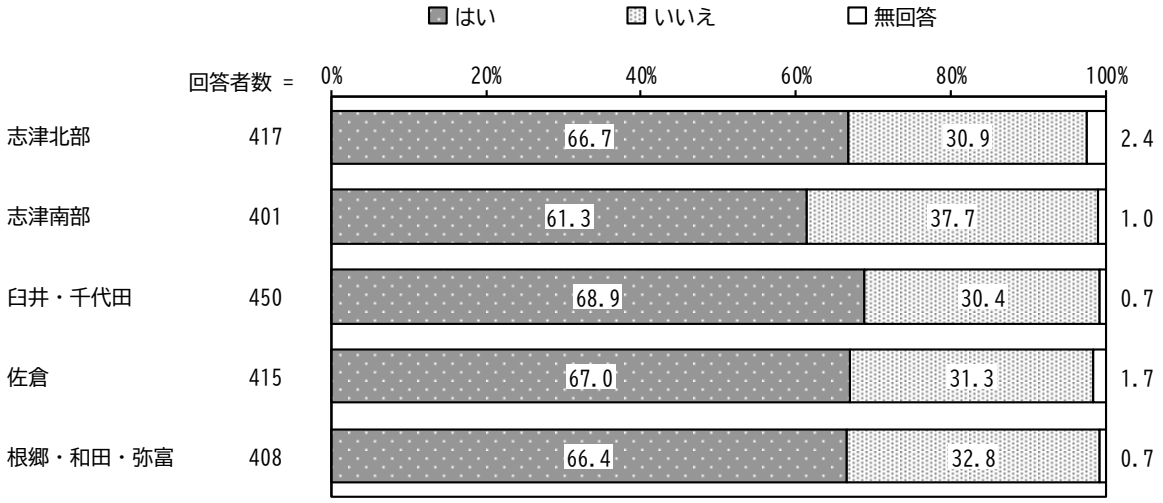
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

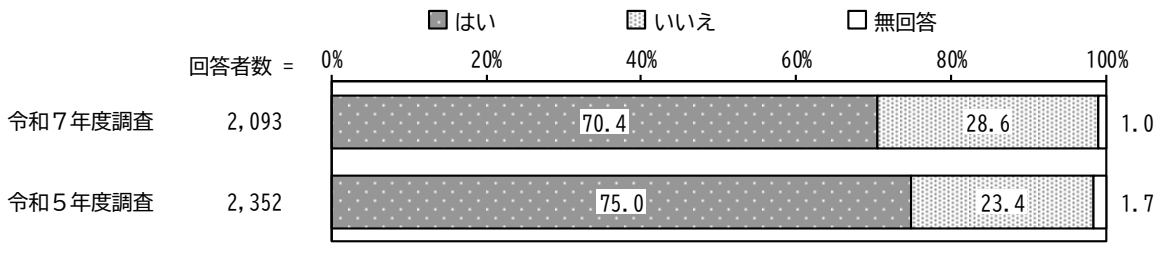
日常生活圏域別にみると、志津南部で「いいえ」の割合が高くなっています。



（11）本や雑誌を読んでいますか

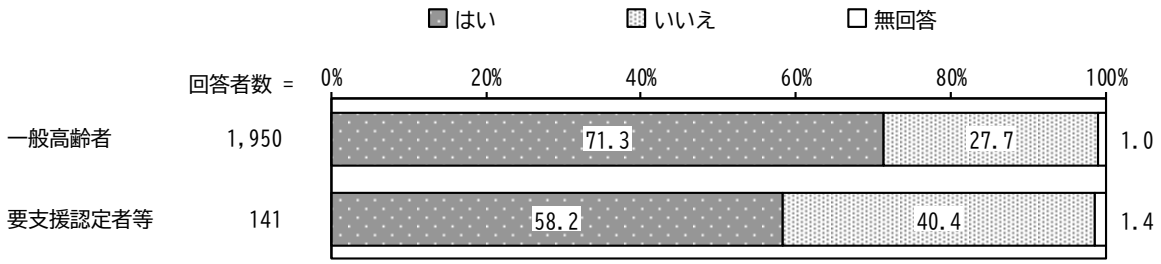
「はい」の割合が 70.4%、「いいえ」の割合が 28.6%となっています。

令和５年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



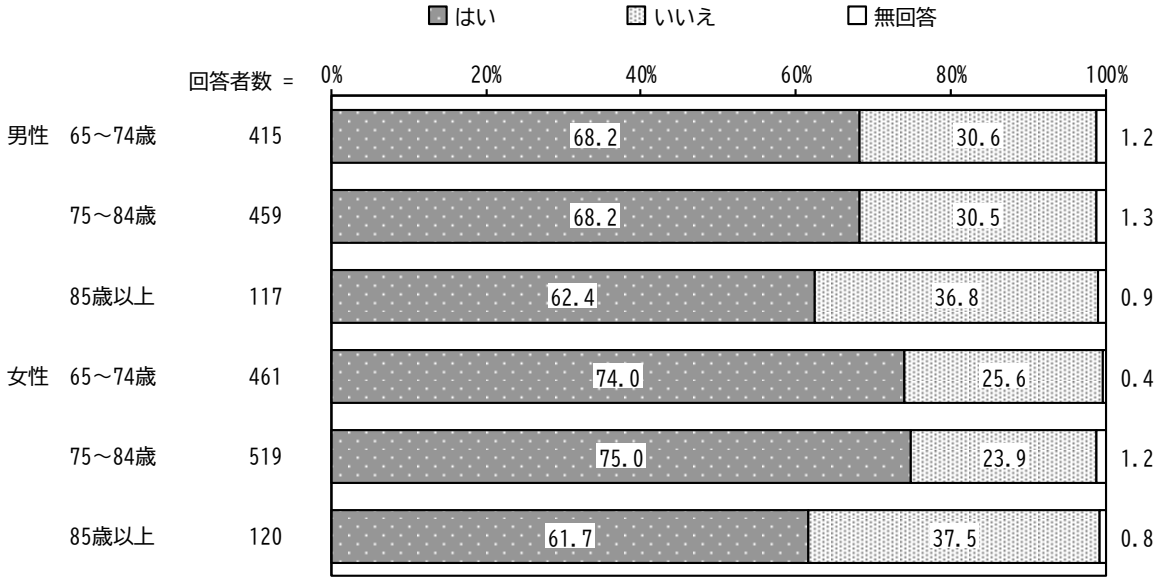
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



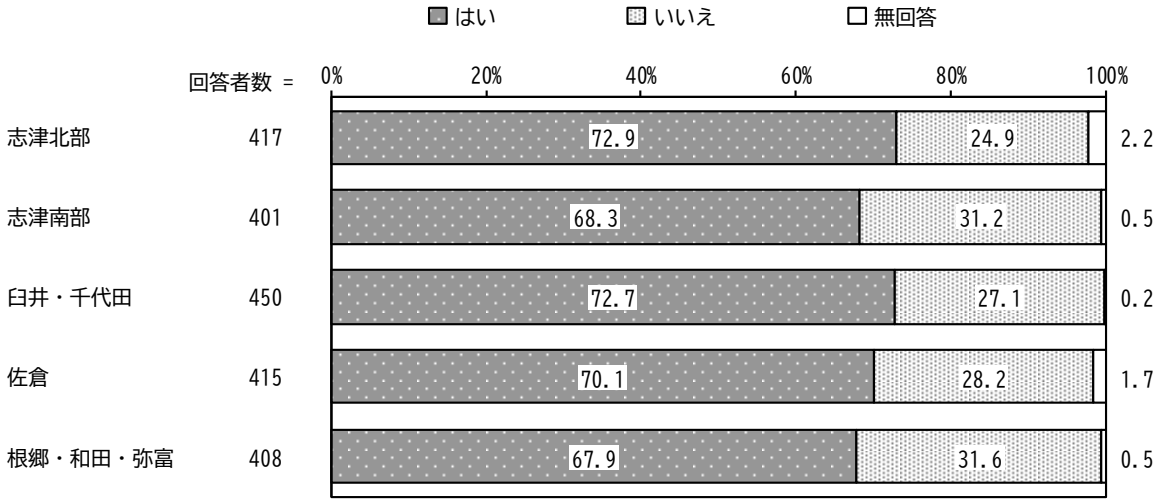
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の 85 歳以上、女性の 85 歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



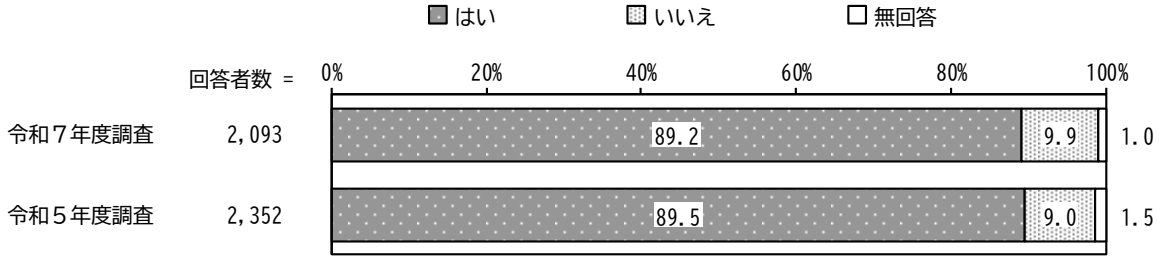
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



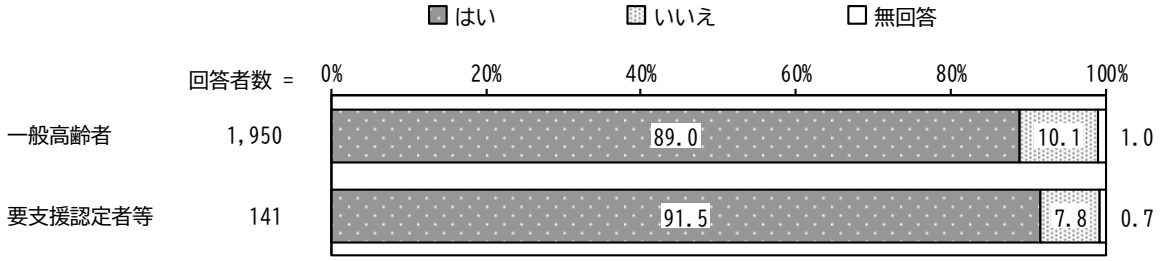
（12）健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」の割合が 89.2%、「いいえ」の割合が 9.9%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



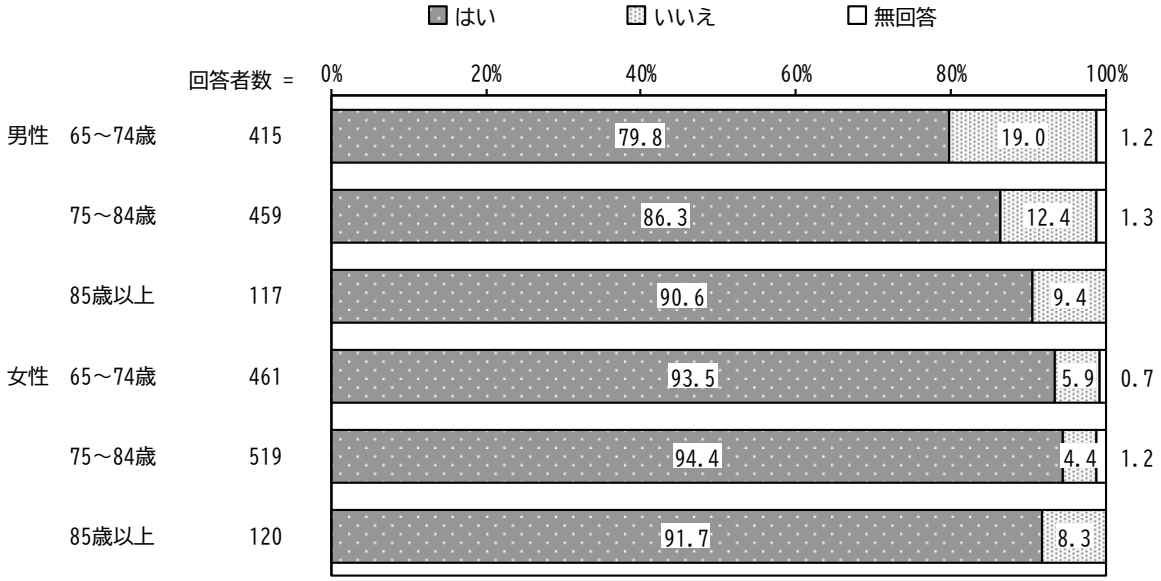
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



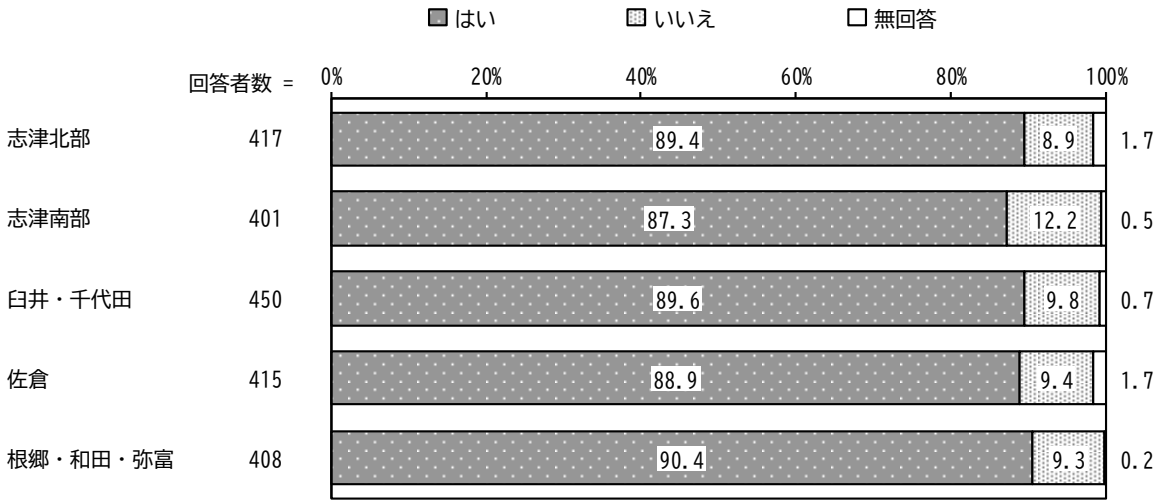
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、各年代において、男性より女性の方が「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

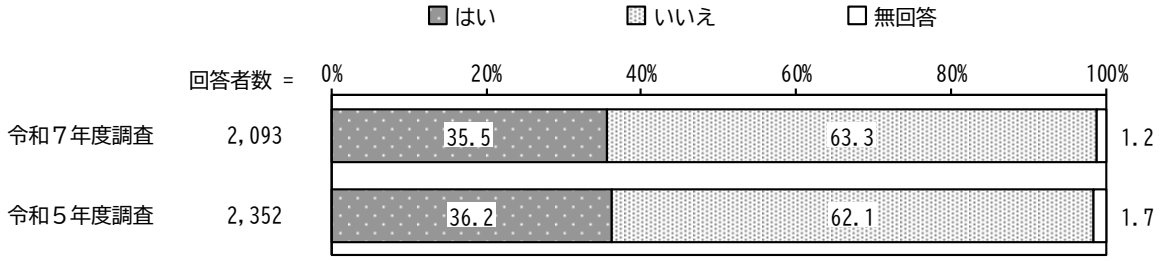
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（13）友人の家を訪ねていますか

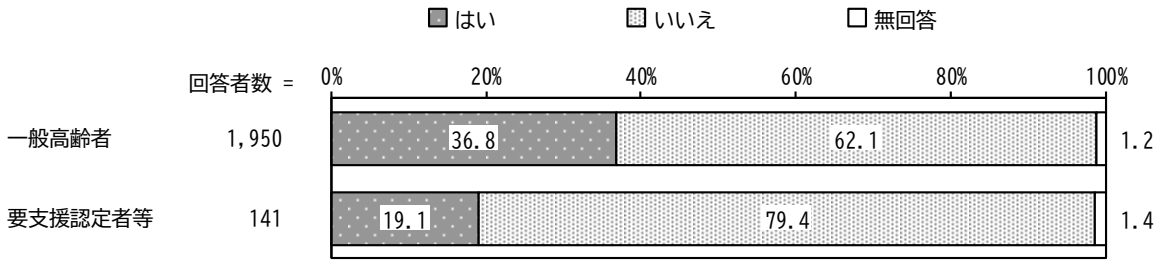
「はい」の割合が 35.5%、「いいえ」の割合が 63.3%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



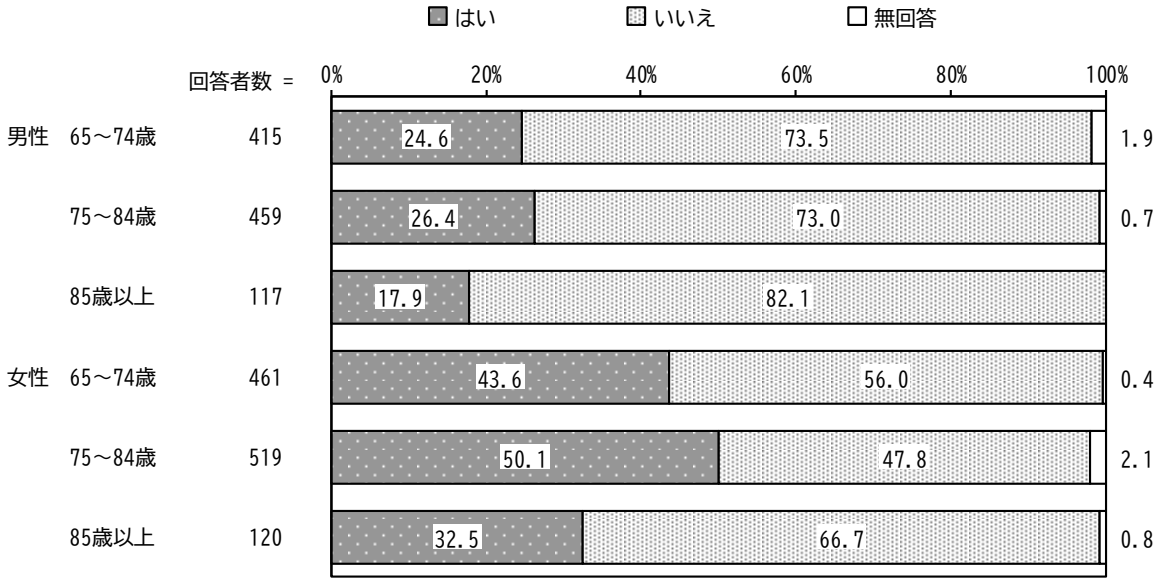
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



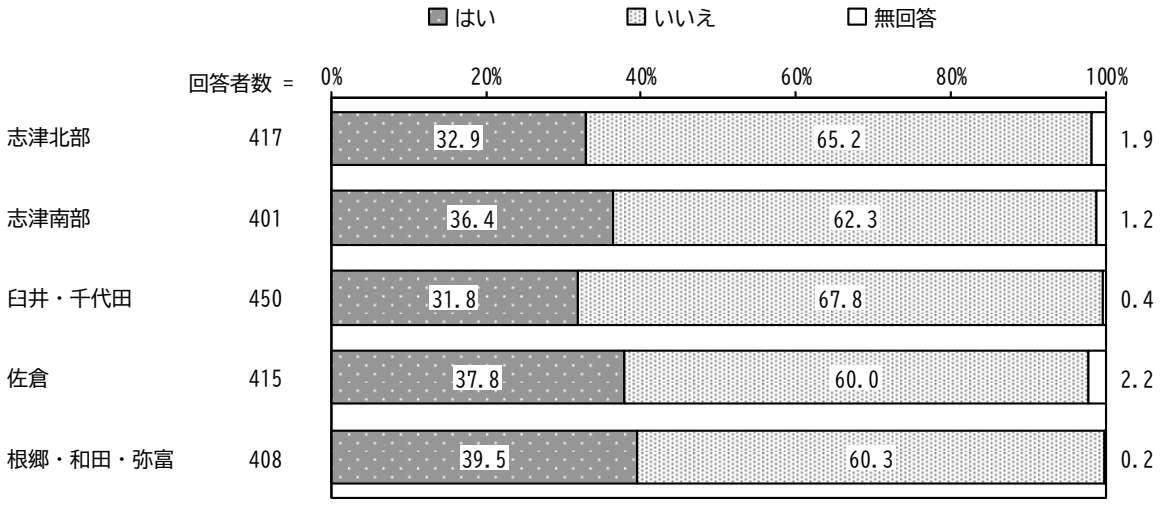
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 75～84 歳で「はい」、男性の 85 歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



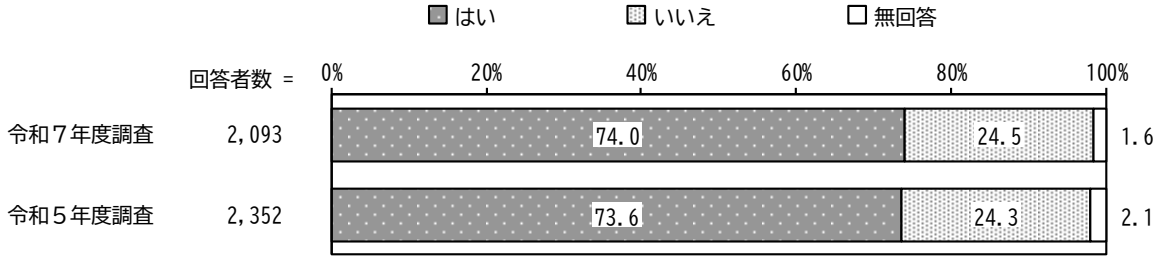
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



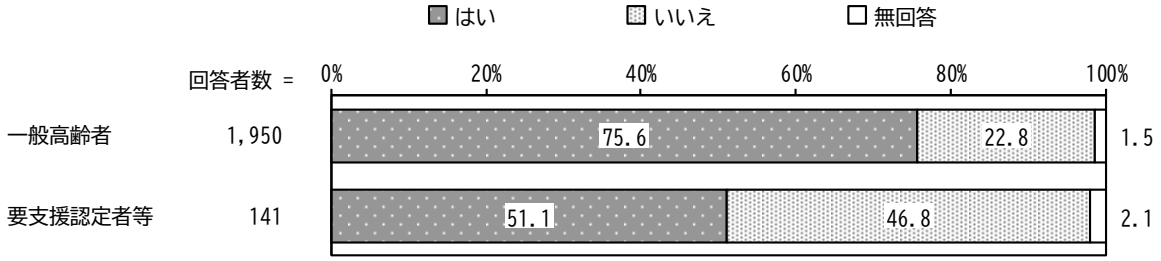
（14）家族や友人の相談にのっていますか

「はい」の割合が 74.0%、「いいえ」の割合が 24.5%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



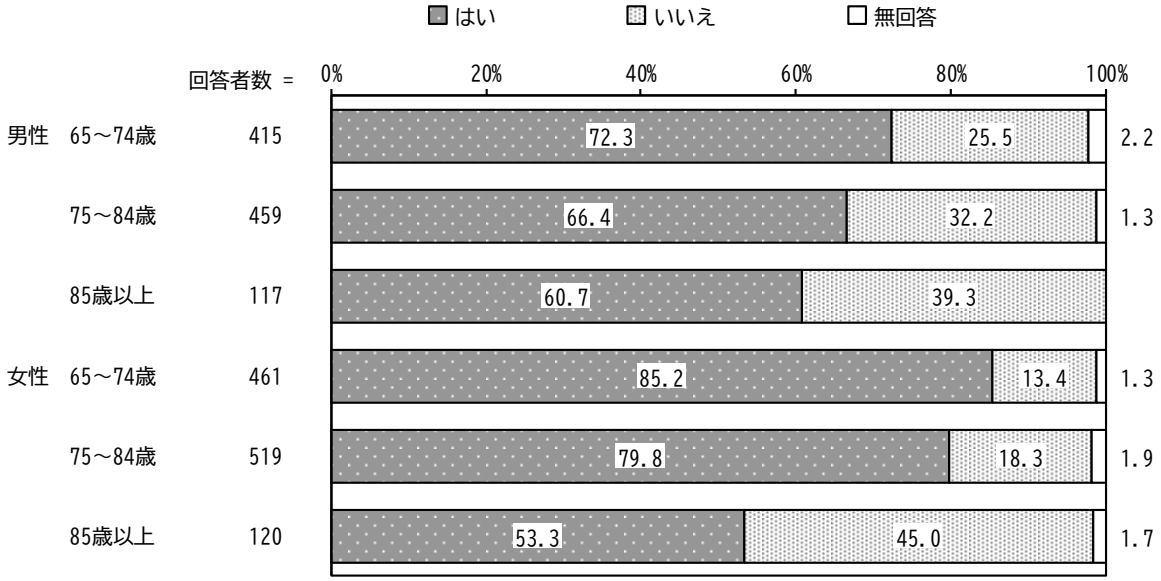
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



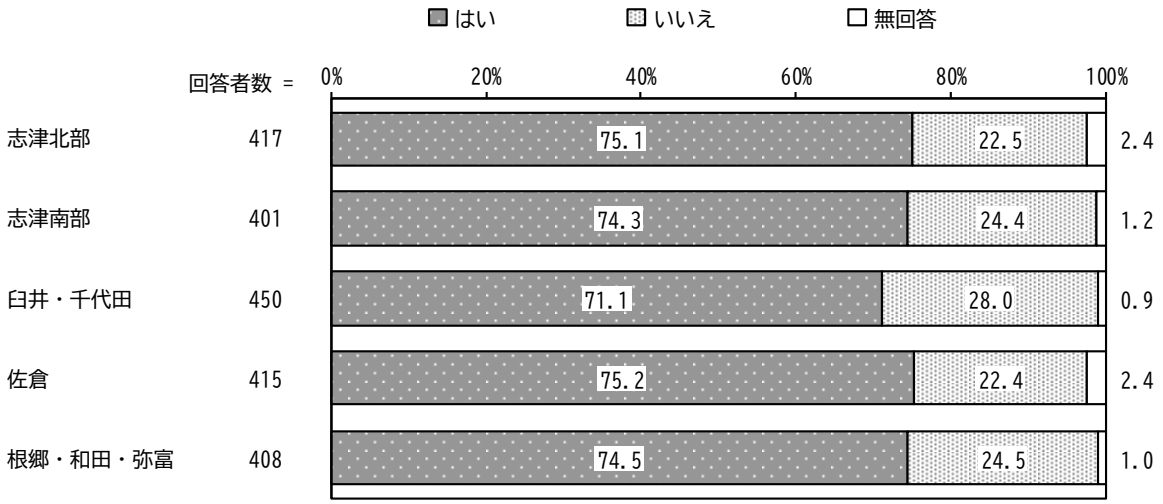
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。また、女性の 65～74 歳で「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

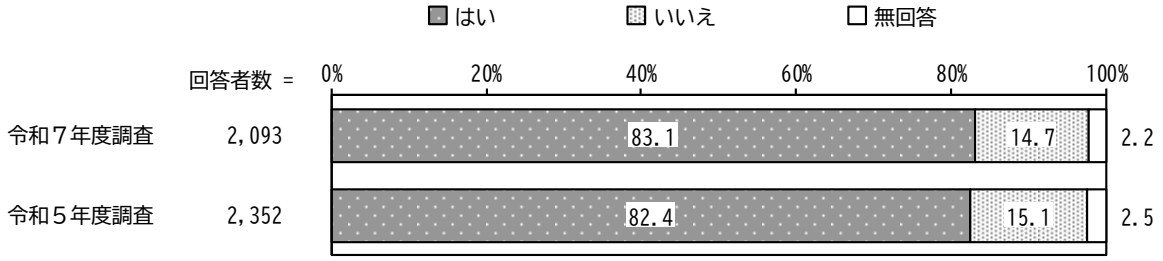
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（15）病人を見舞うことができますか

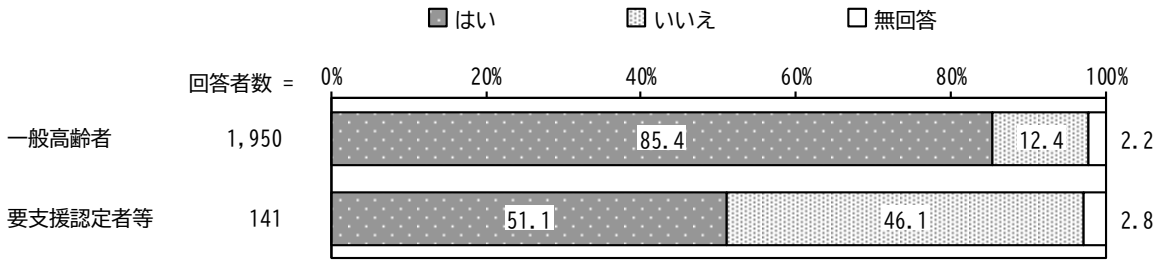
「はい」の割合が 83.1%、「いいえ」の割合が 14.7%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



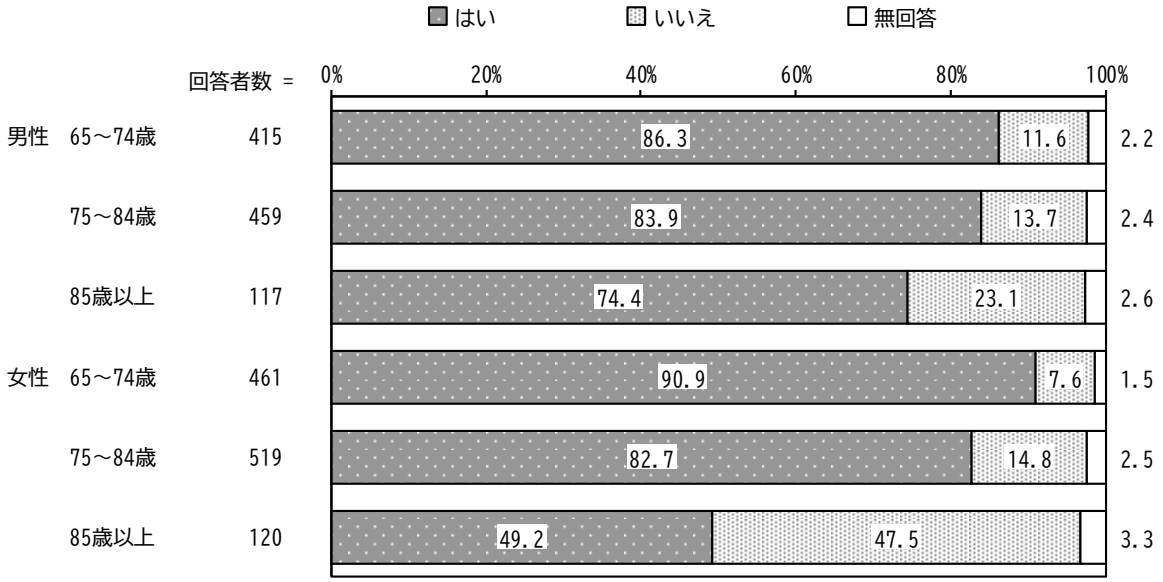
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



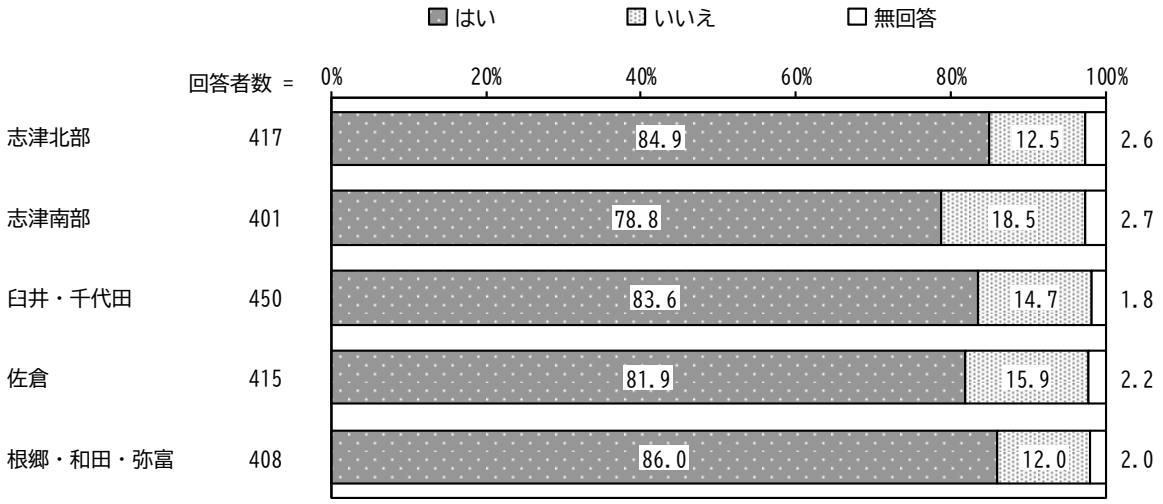
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。また、女性の 85 歳以上で「はい」の割合が低くなっています。



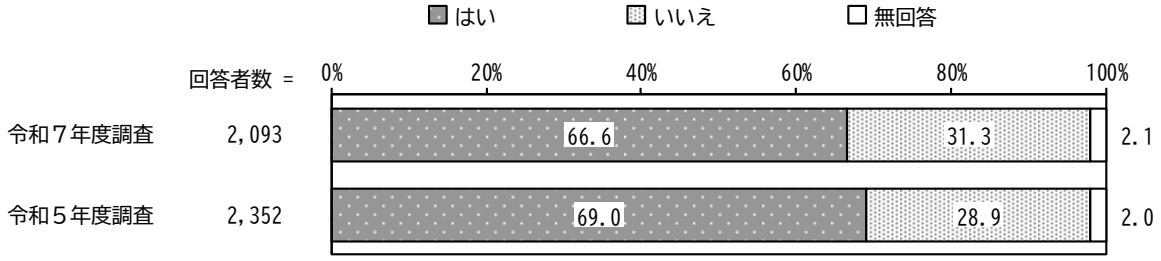
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



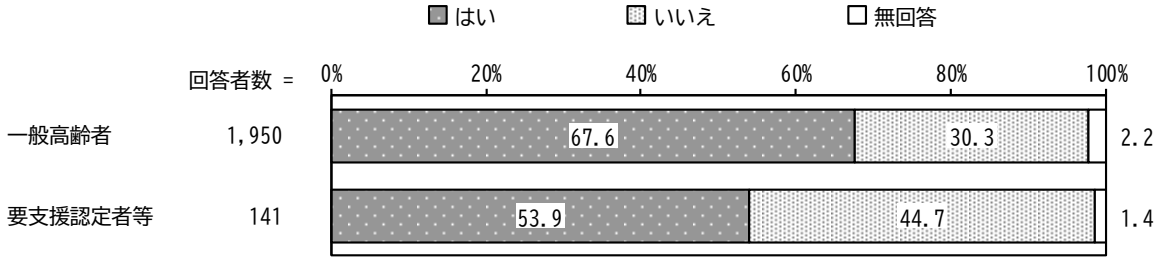
（16）若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」の割合が 66.6%、「いいえ」の割合が 31.3%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



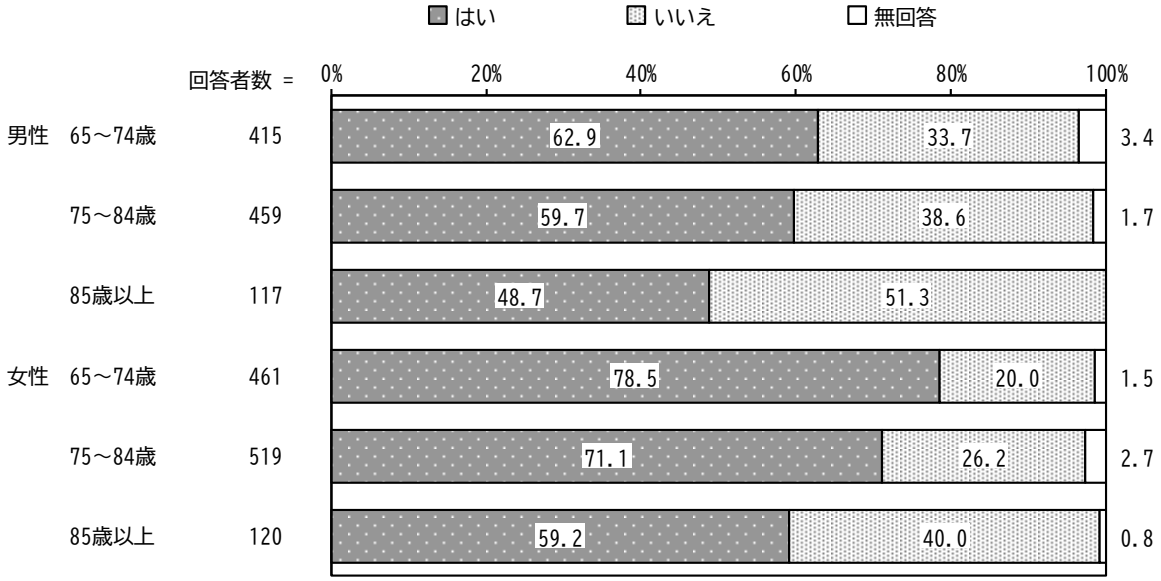
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、要支援認定者等で「いいえ」の割合が高くなっています。



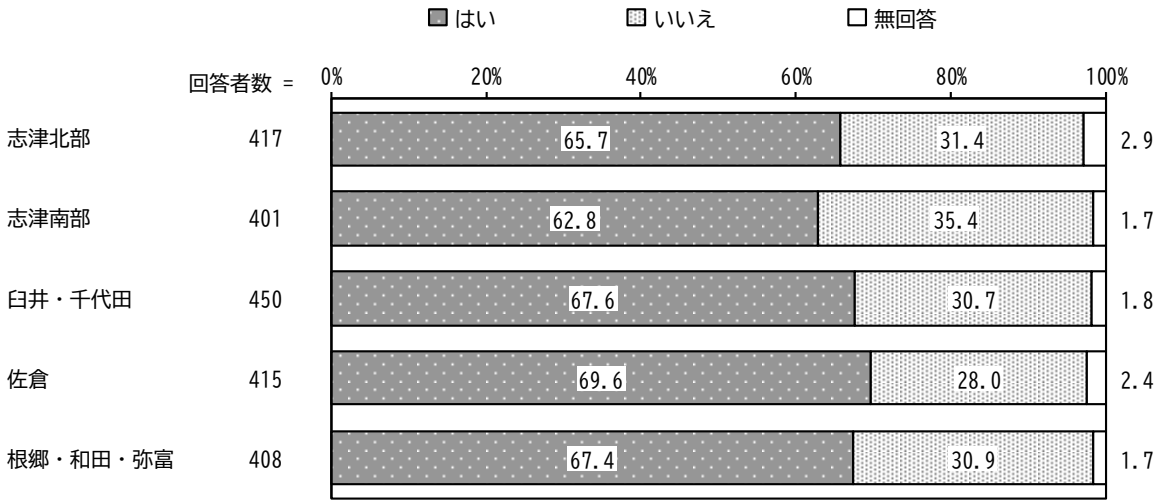
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。また、女性の 65～74 歳で「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

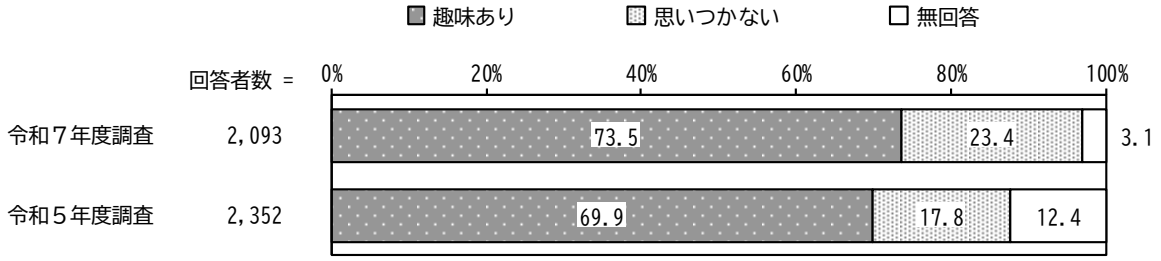
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（17）趣味はありますか

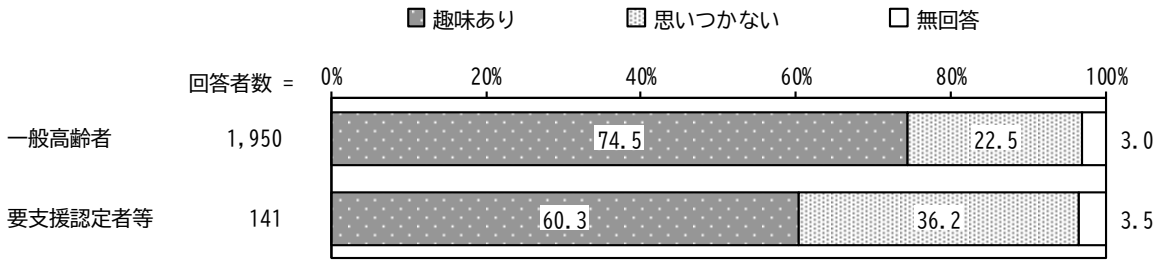
「趣味あり」の割合が 73.5%、「思いつかない」の割合が 23.4%となっています。

令和５年度調査と比較すると、「思いつかない」の割合が増加しています。



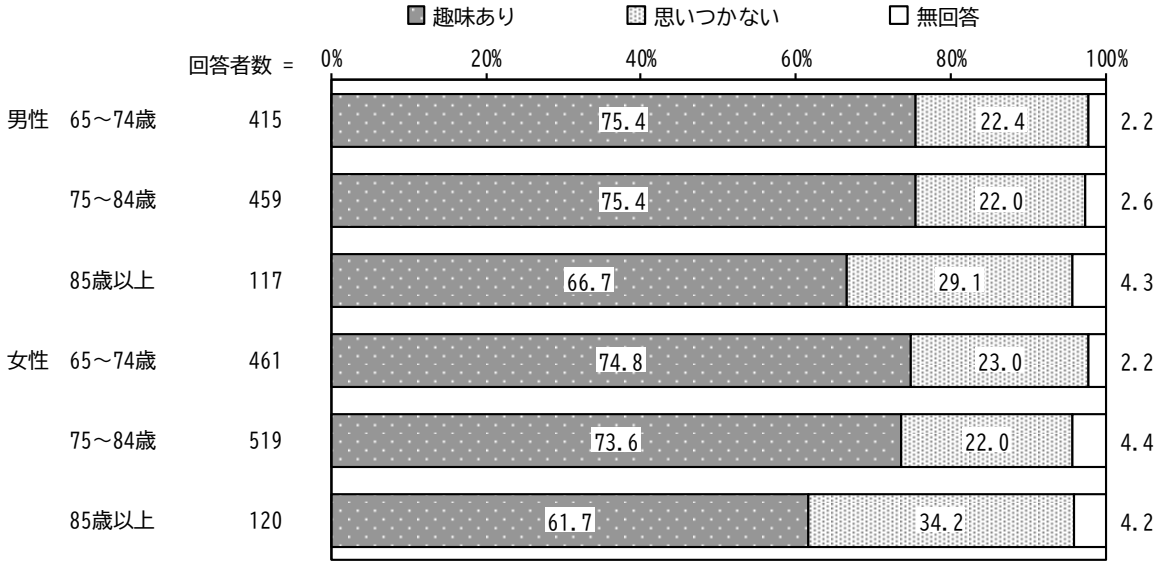
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「趣味あり」の割合が高くなっています。



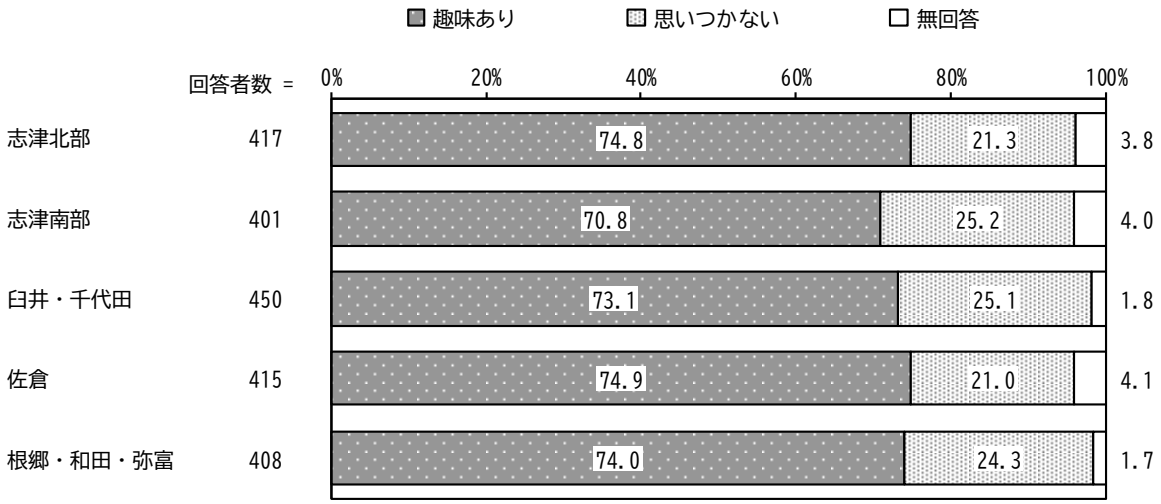
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「趣味あり」の割合が高くなっています。



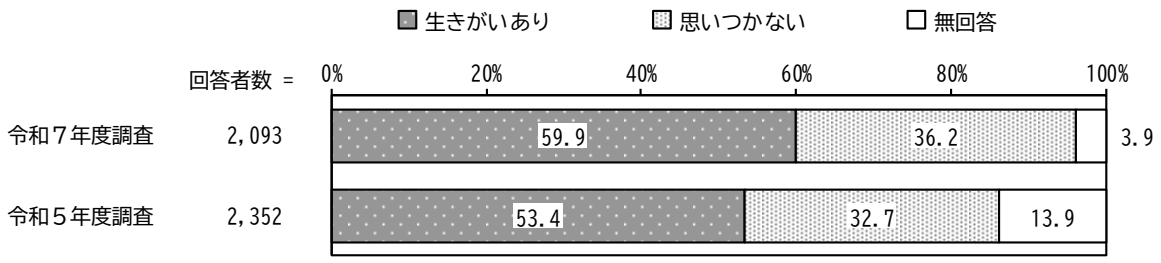
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



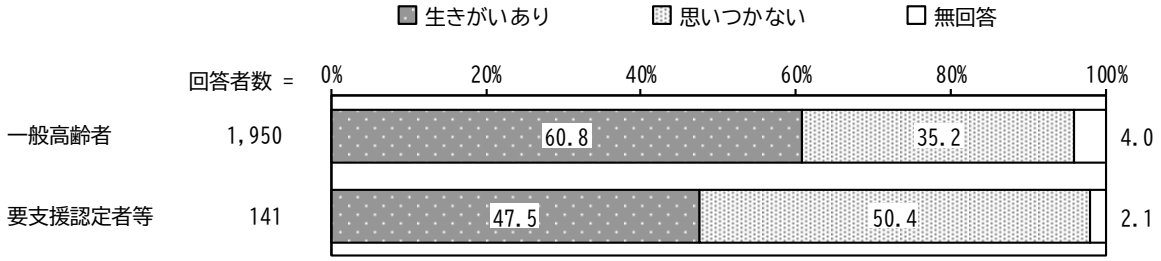
（18）生きがいはありますか

「生きがいあり」の割合が 59.9%、「思いつかない」の割合が 36.2%となっています。
令和５年度調査と比較すると、「生きがいあり」の割合が増加しています。



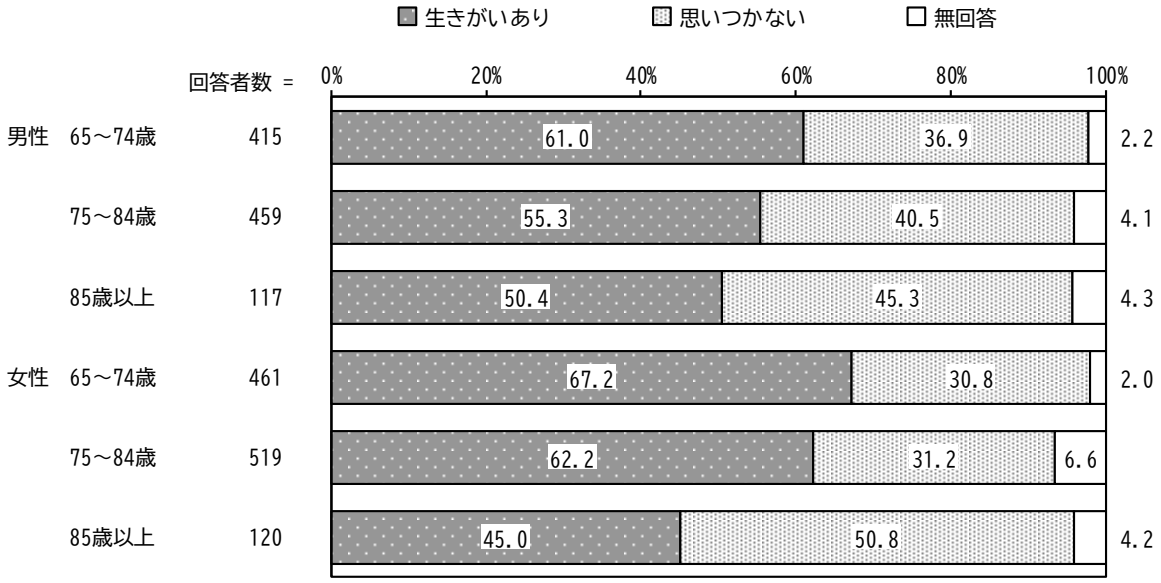
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、要支援認定者等で「思いつかない」の割合が高くなっています。



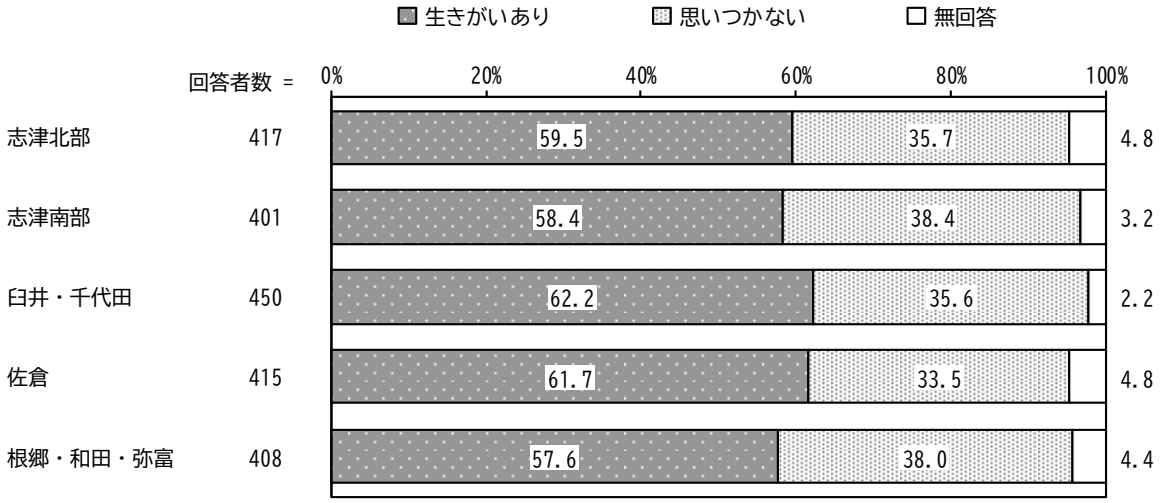
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「思いつかない」の割合が高くなっています。また、女性の 85 歳以上で「生きがいあり」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

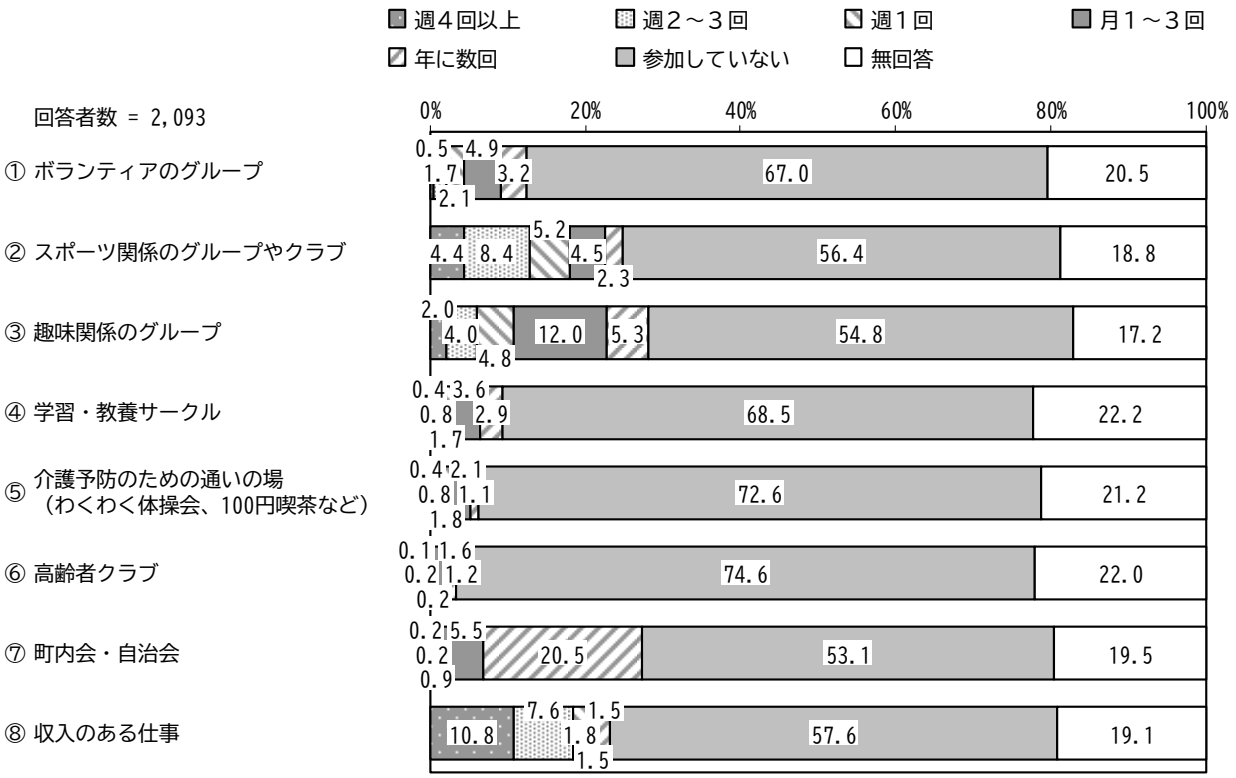
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



問５　地域での活動について

（１）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※①ー⑧それぞれに回答して下さい

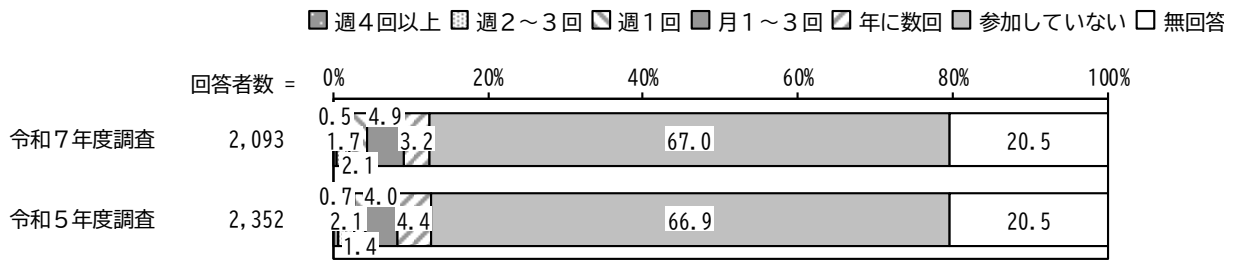
『⑧収入のある仕事』で「週４回以上」が、『②スポーツ関係のグループやクラブ』で「週２～３回」が、『③趣味関係のグループ』で「月１～３回」が、『⑦町内会・自治会』で「年に数回」の割合が高くなっています。



①ボランティアのグループ

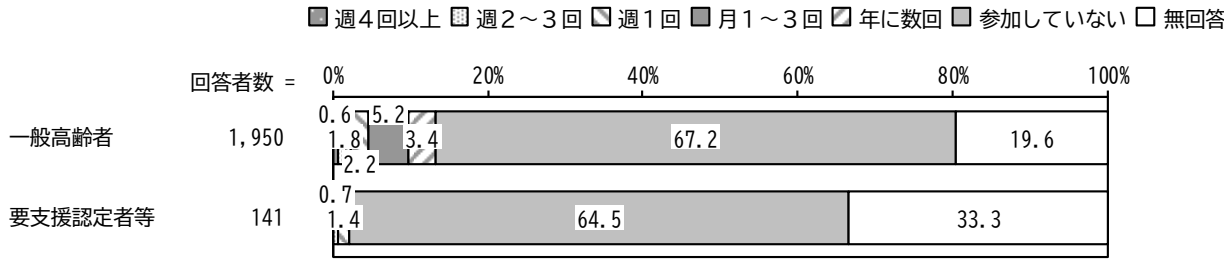
【経年比較】

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



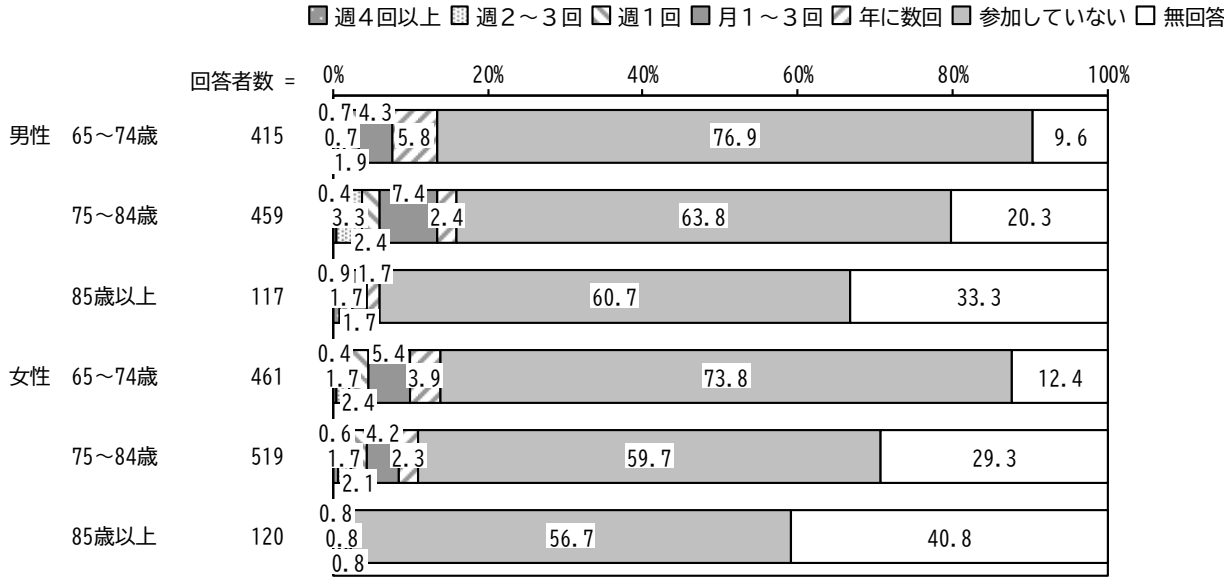
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「月１～３回」の割合が高くなっています。



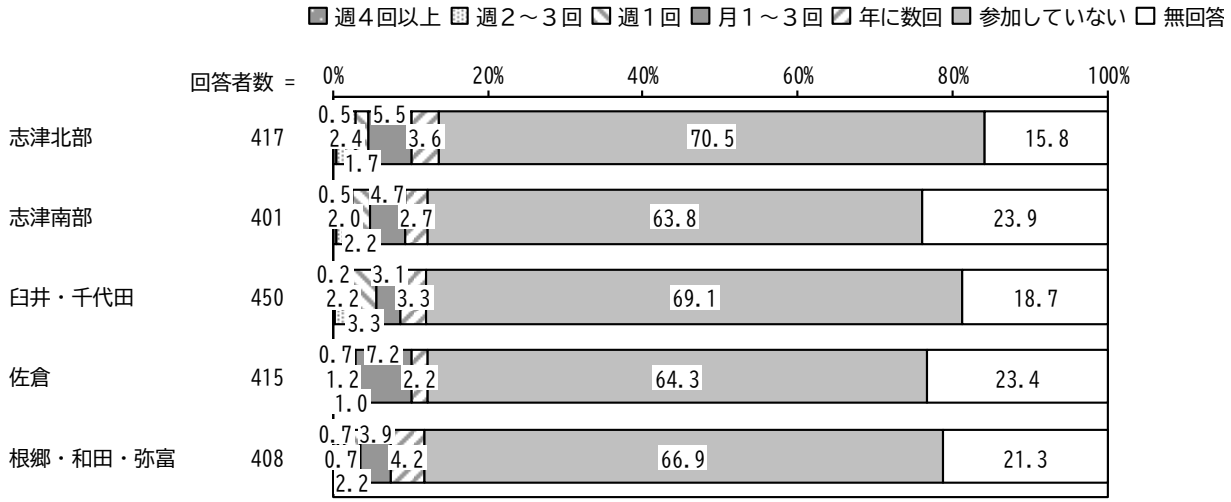
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

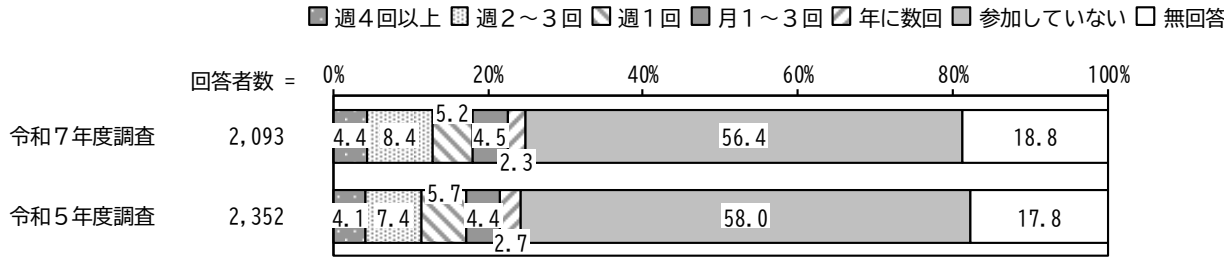
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



②スポーツ関係のグループやクラブ

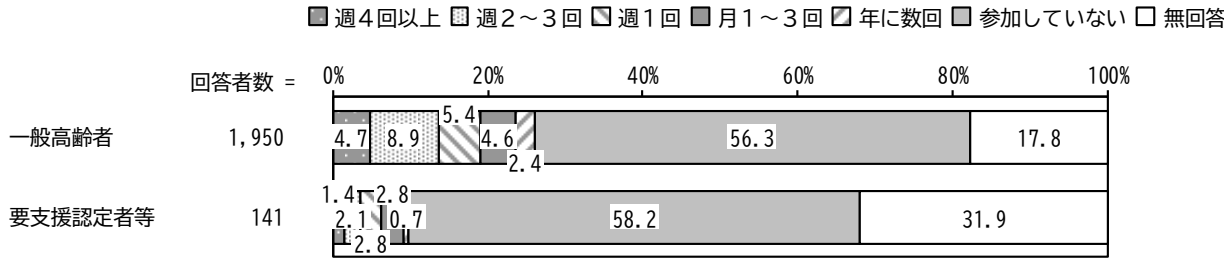
【経年比較】

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



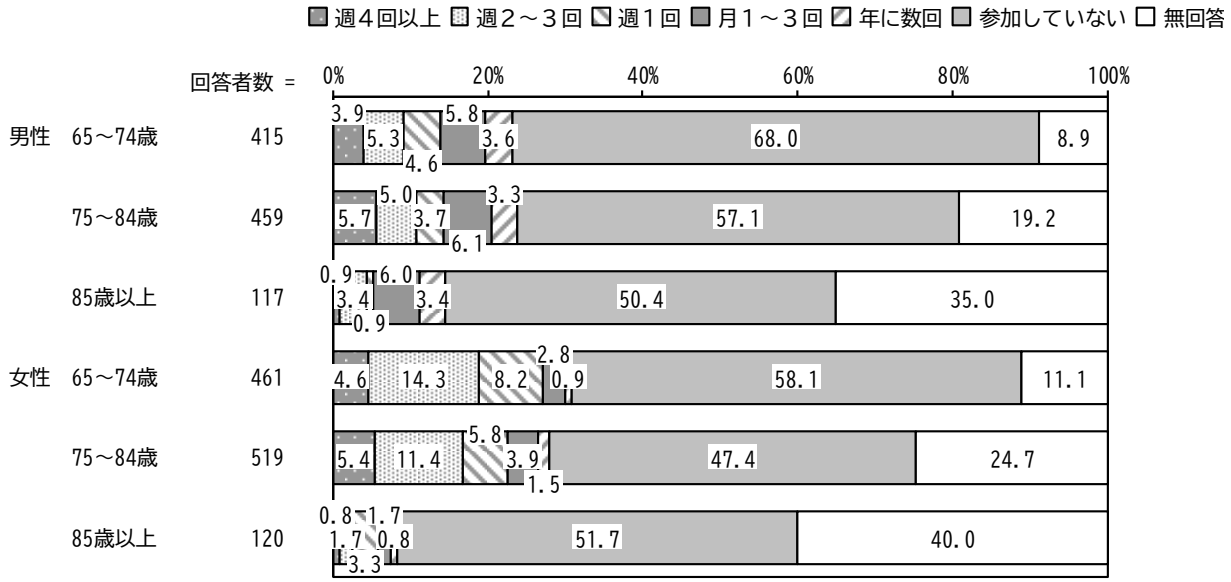
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で“週１回以上”の割合が高くなっています。



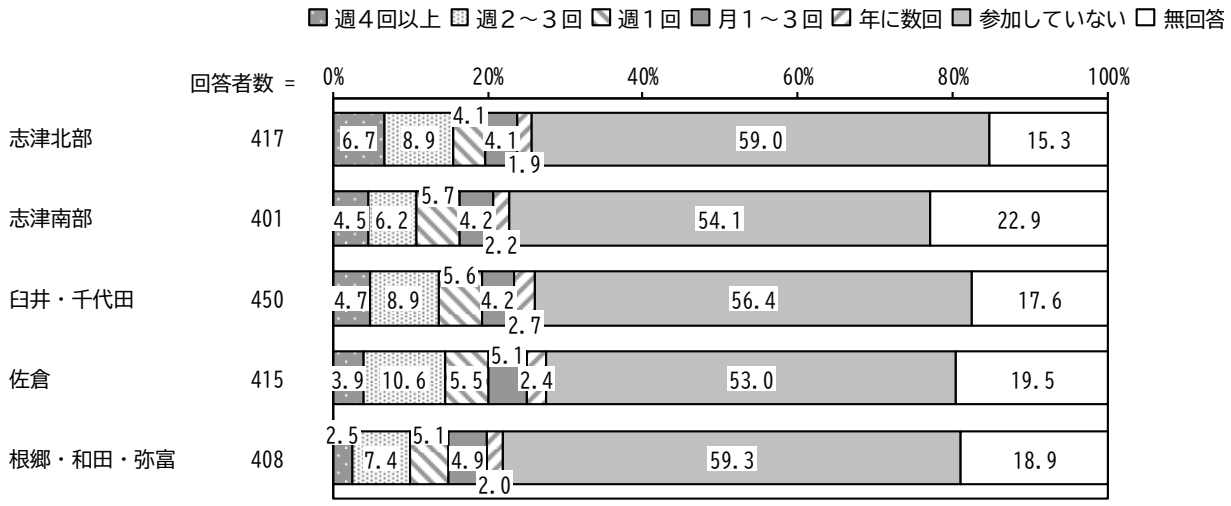
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「参加していない」の割合が高く、女性では“週１回以上”の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

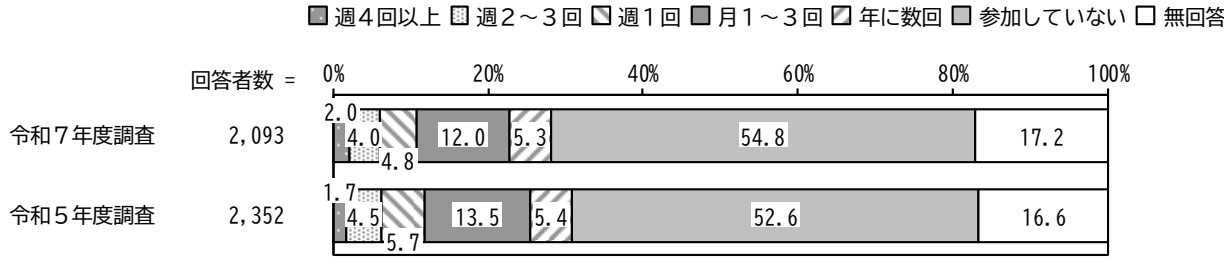
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



③趣味関係のグループ

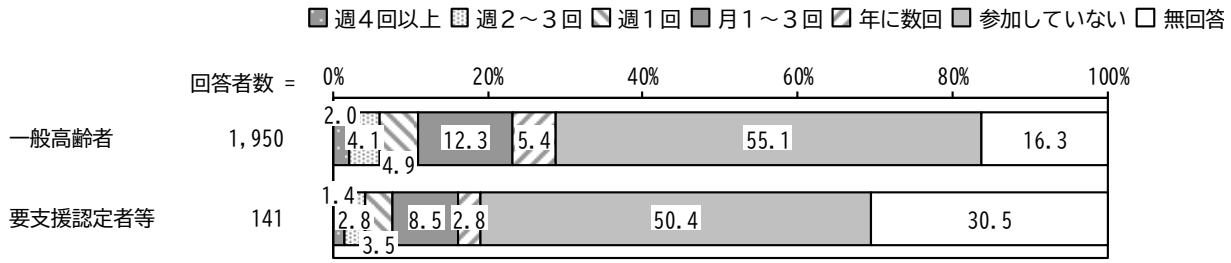
【経年比較】

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



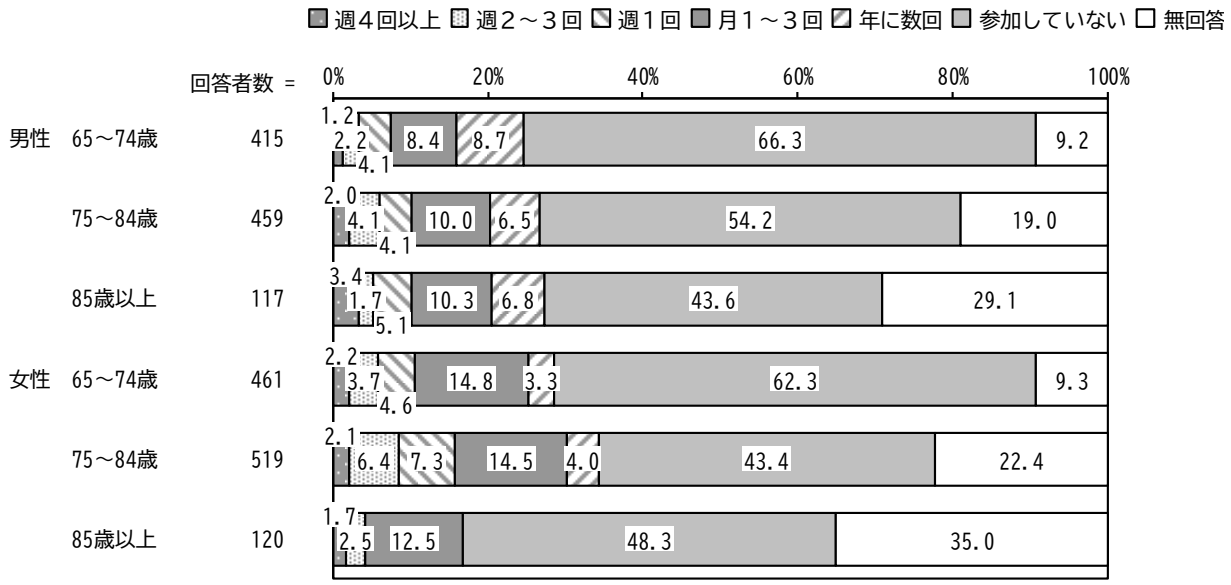
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



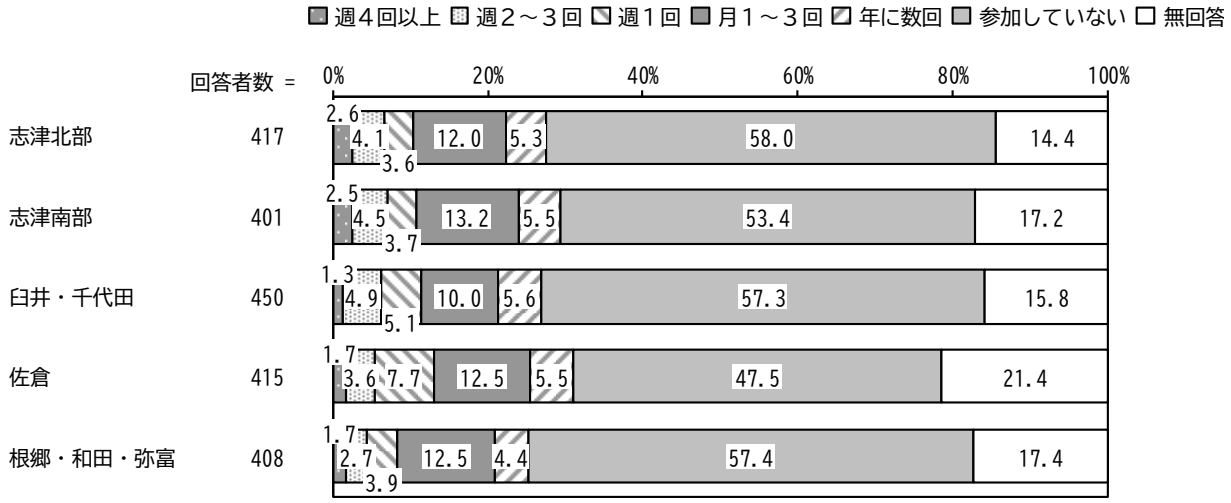
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

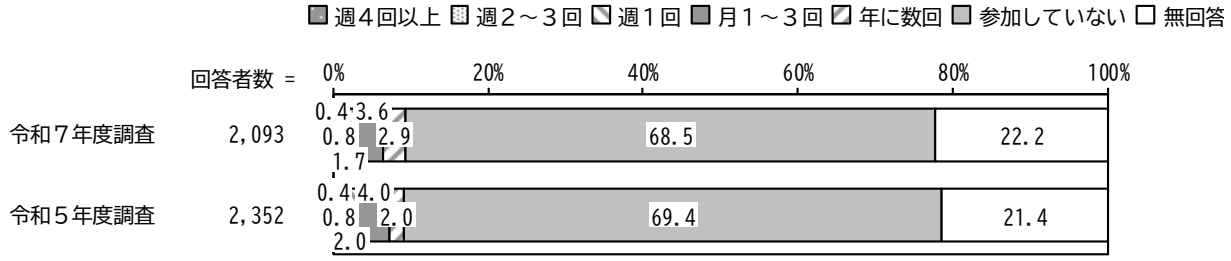
日常生活圏域別にみると、佐倉で「参加していない」の割合が低くなっています。



④学習・教養サークル

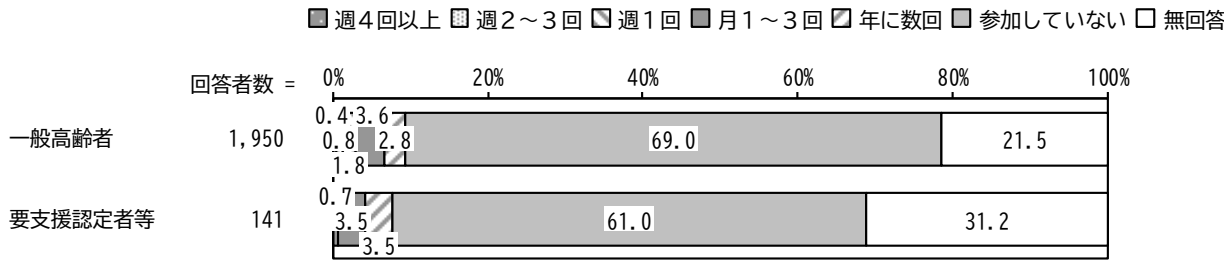
【経年比較】

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



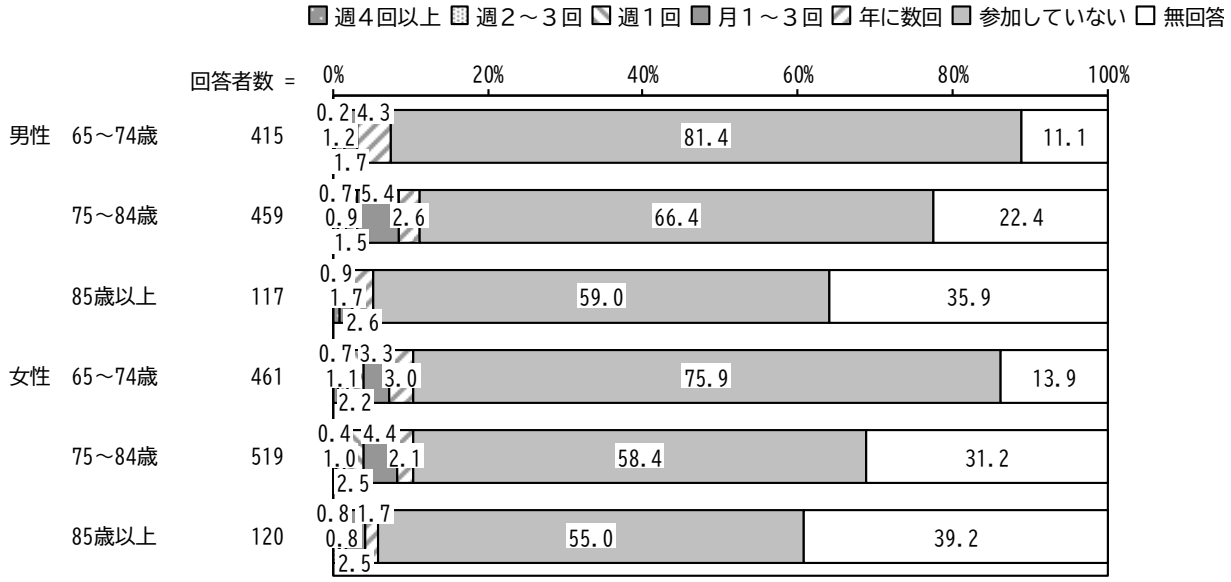
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。



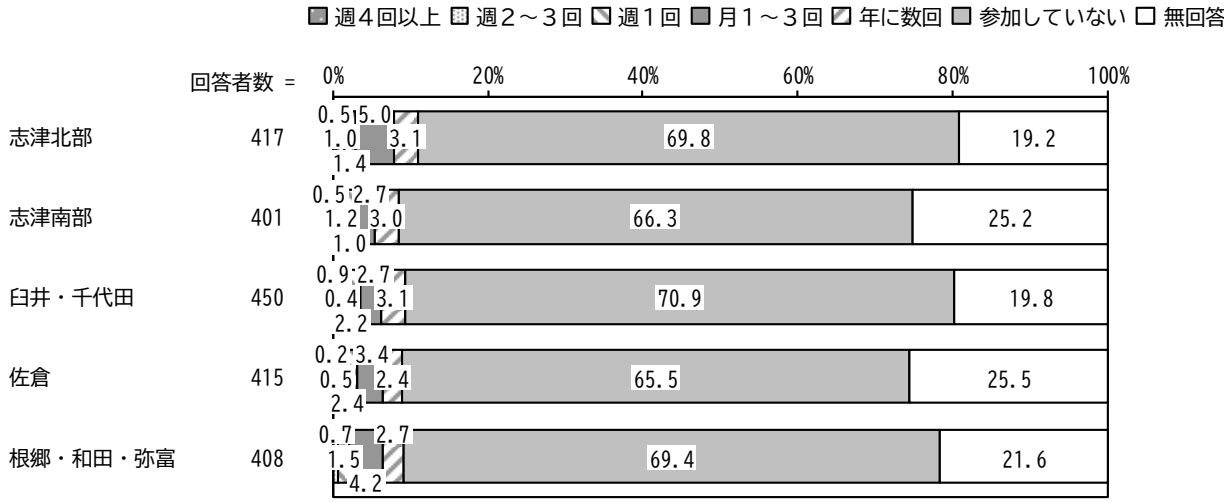
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

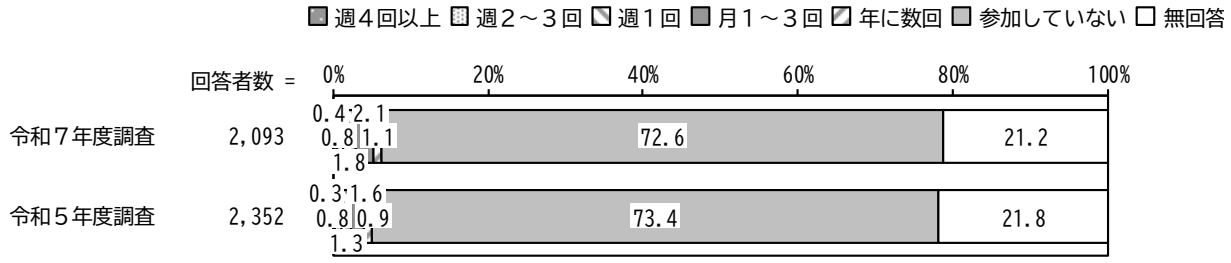
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



⑤介護予防のための通いの場（わくわく体操会、100 円喫茶など）

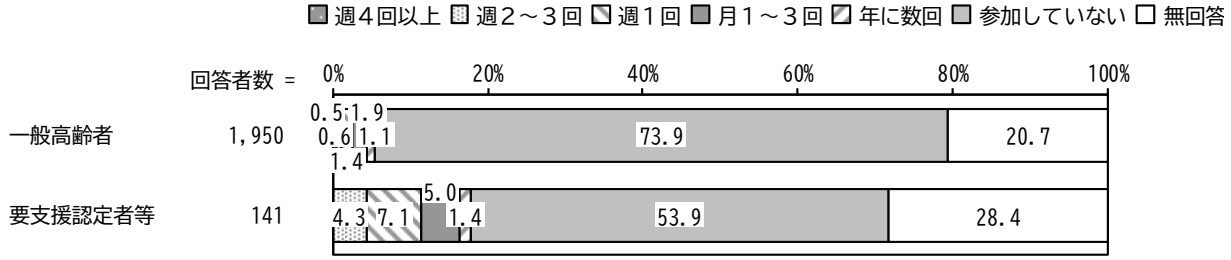
【経年比較】

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



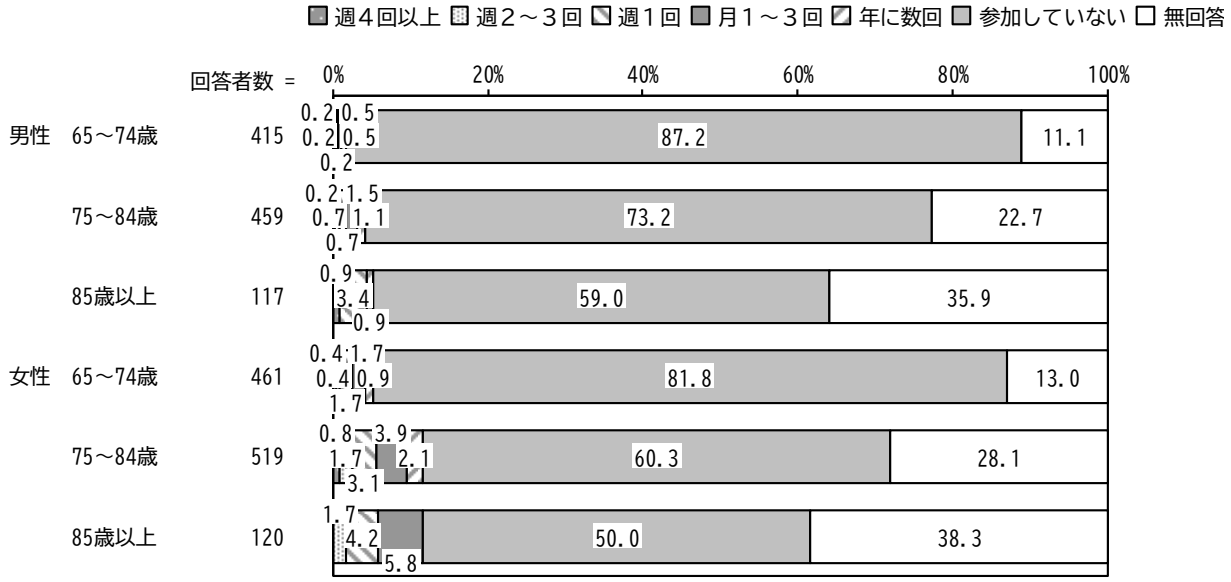
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。



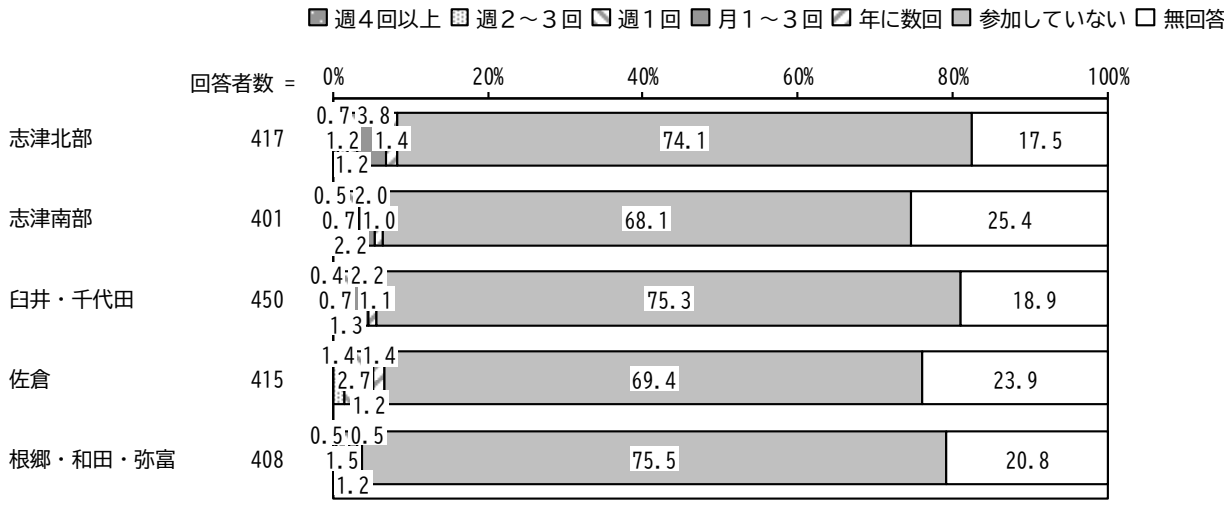
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

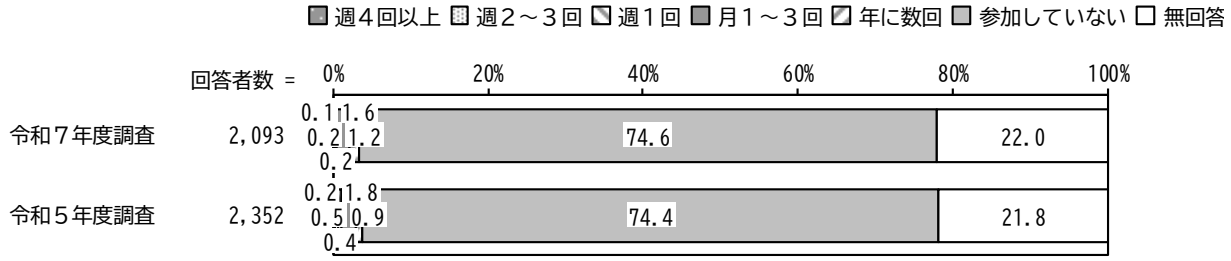
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



⑥高齢者クラブ

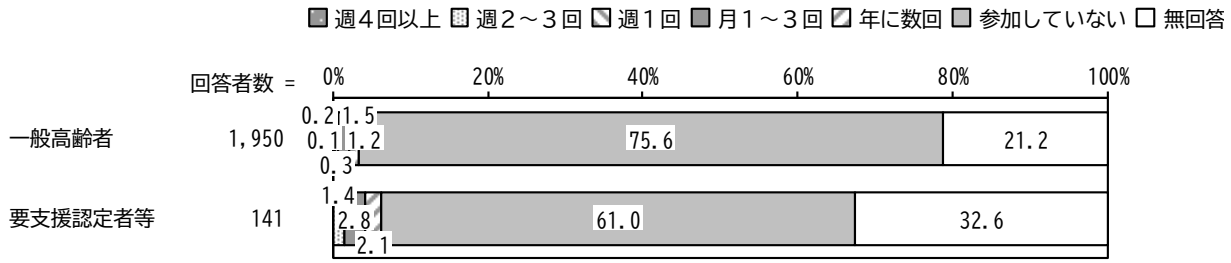
【経年比較】

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



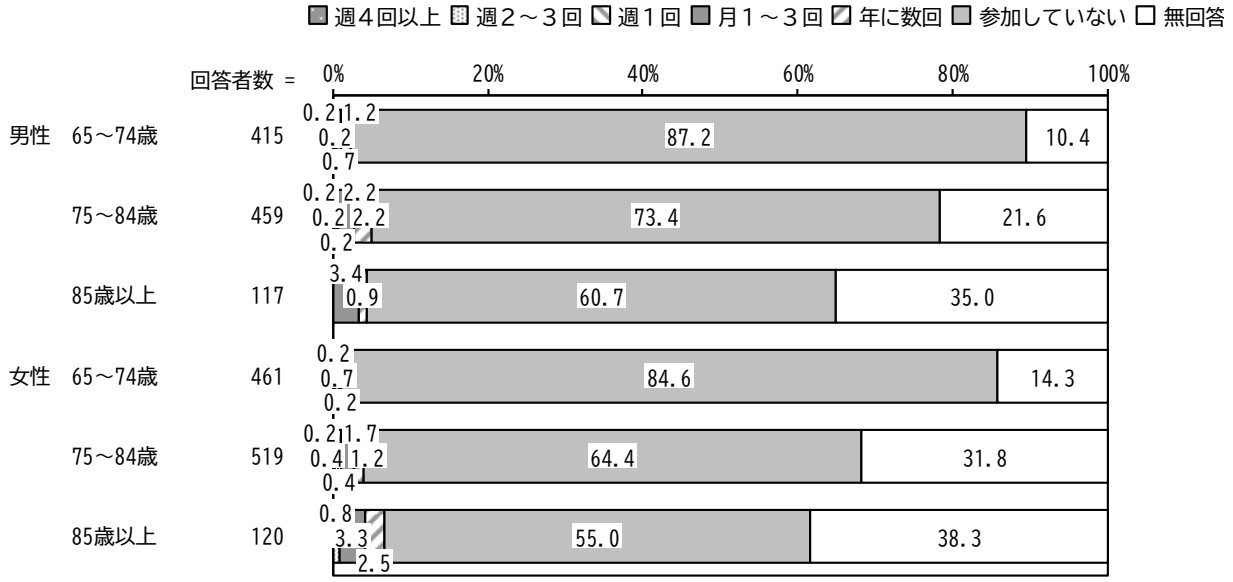
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。



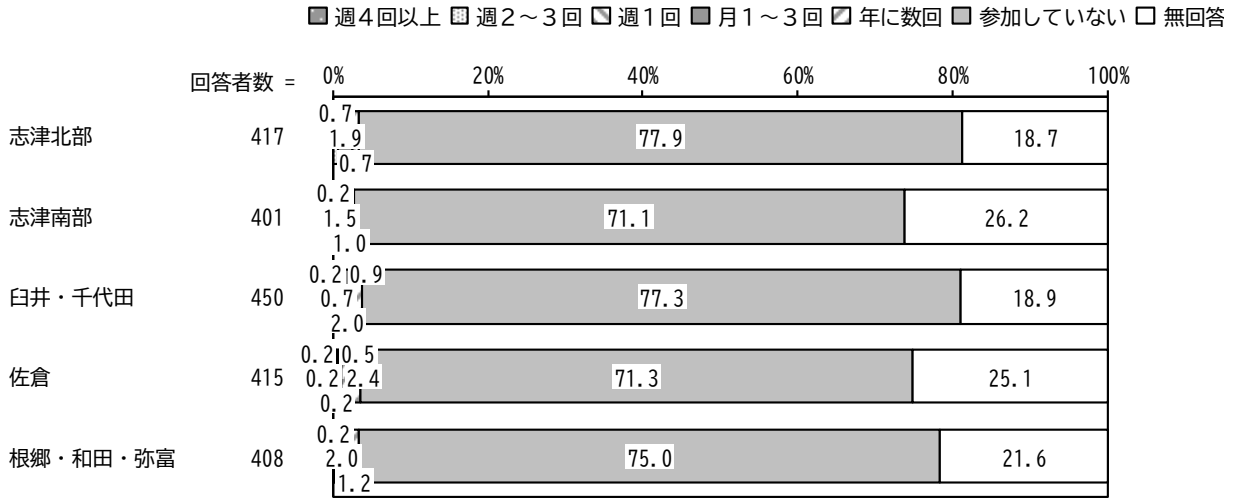
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

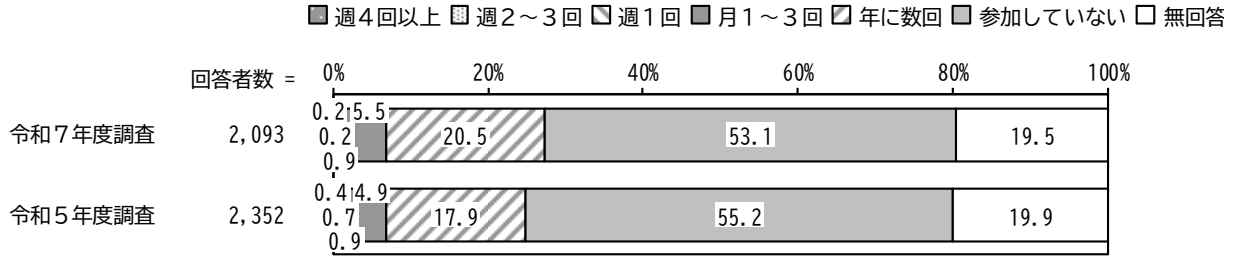
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



⑦町内会・自治会

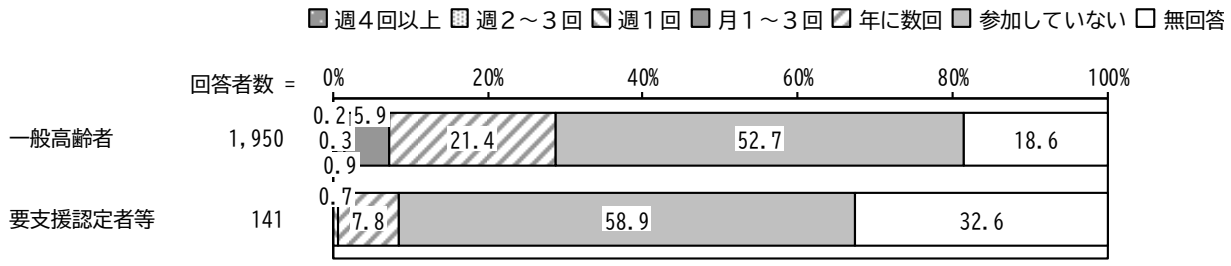
【経年比較】

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



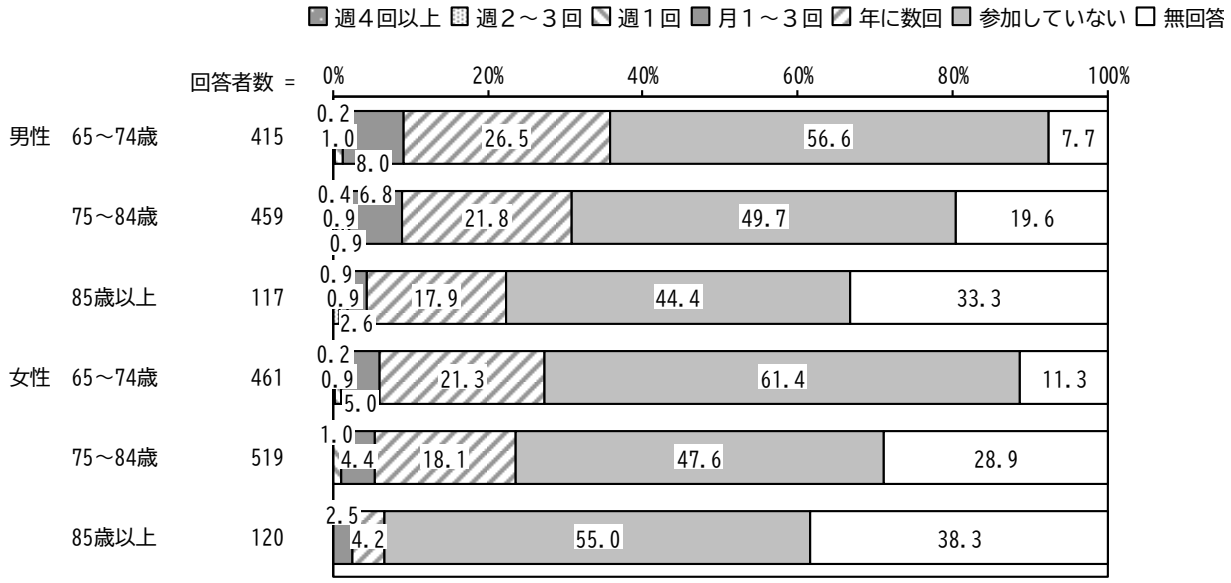
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「年に数回」の割合が高くなっています。



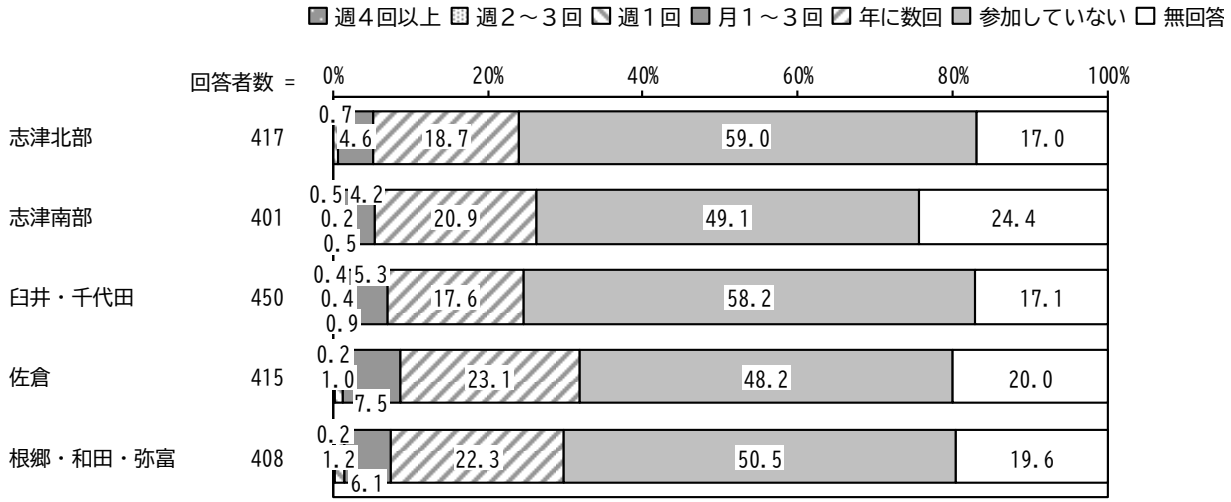
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。また、女性の 85 歳以上で「年に数回」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

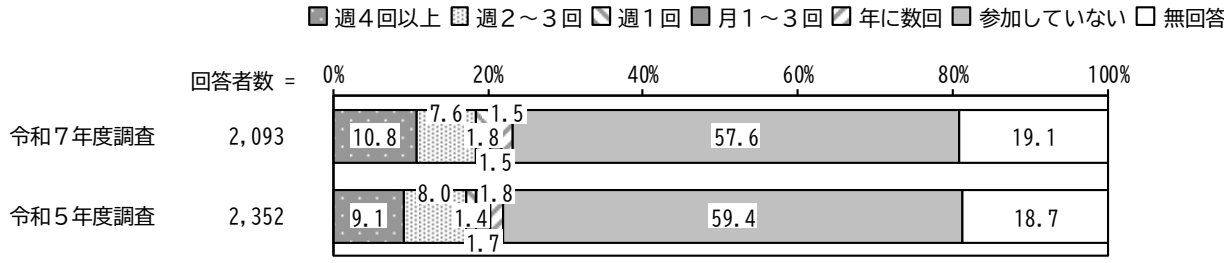
日常生活圏域別にみると、志津北部、臼井・千代田で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑧収入のある仕事

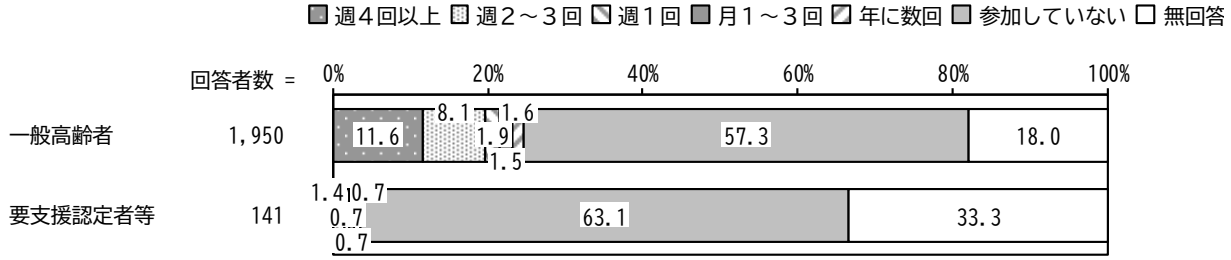
【経年比較】

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



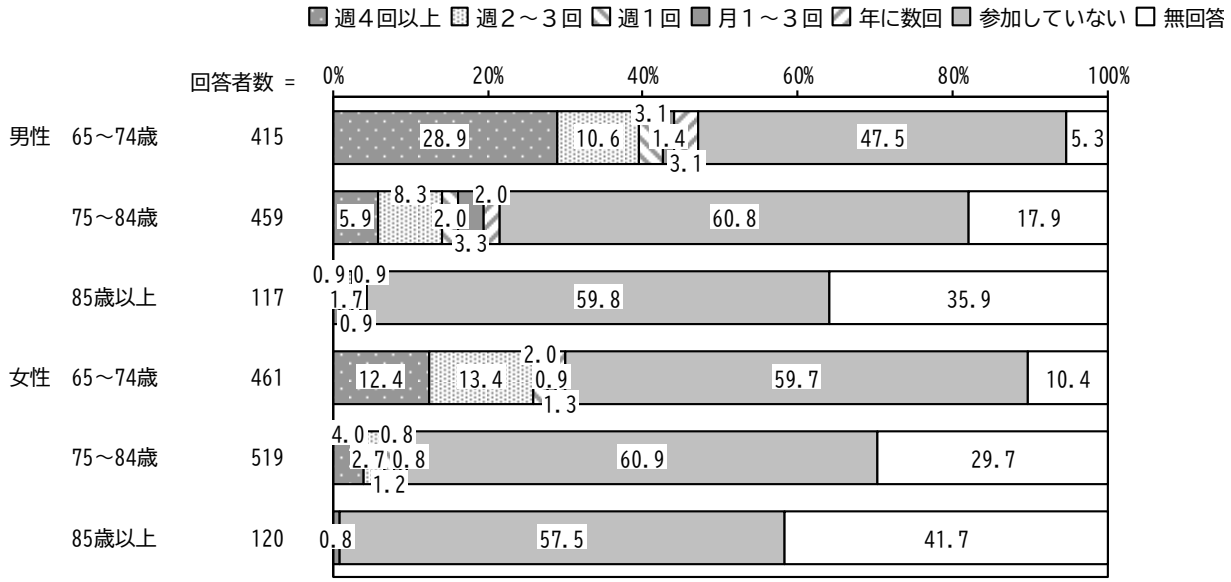
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で“週１回以上”の割合が高くなっています。



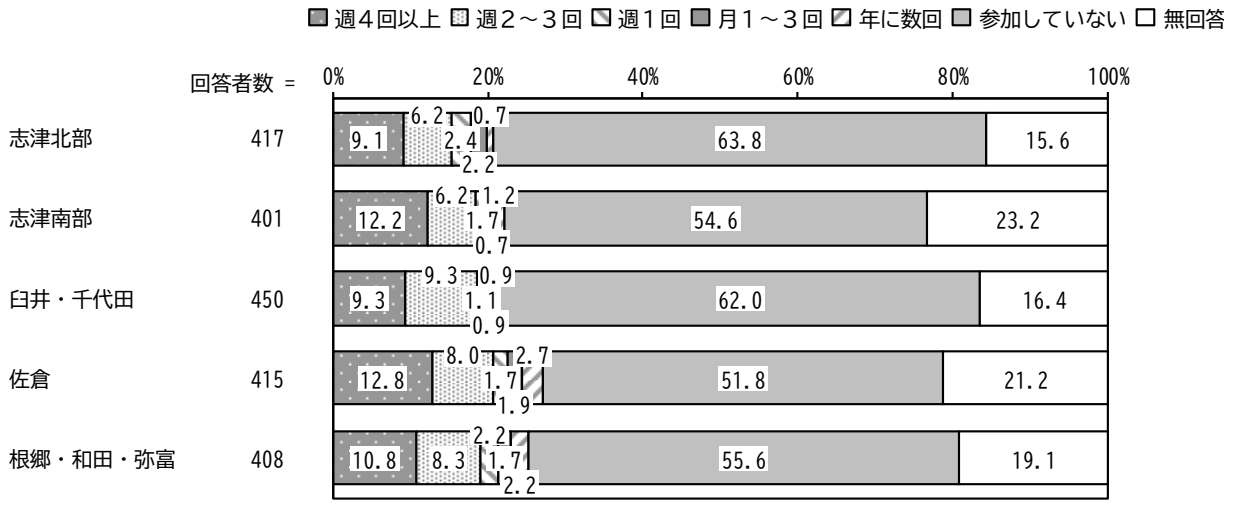
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど“週１回以上”の割合が高くなっています。また、男性 65～74 歳で「週４回以上」の割合が高く、「参加していない」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

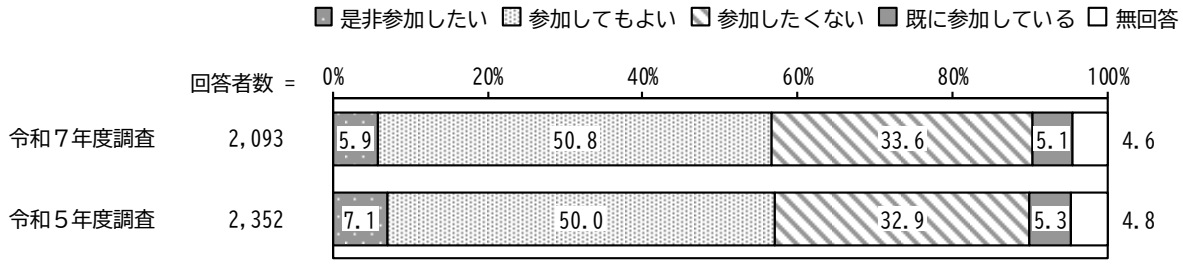
日常生活圏域別にみると、志津北部で「参加していない」の割合が高くなっています。



（２）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

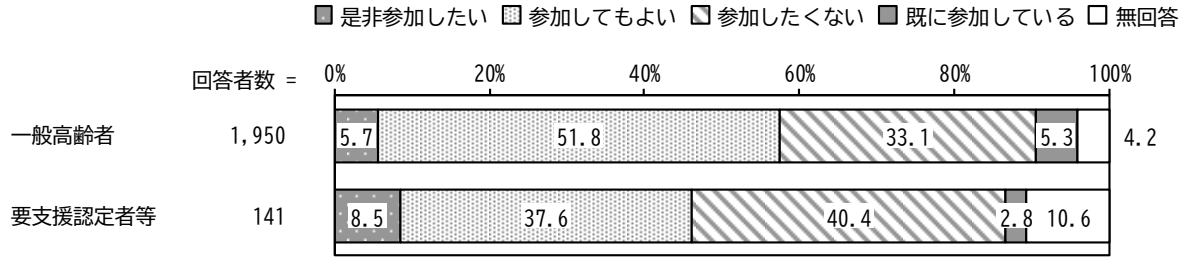
「参加してもよい」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 33.6%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



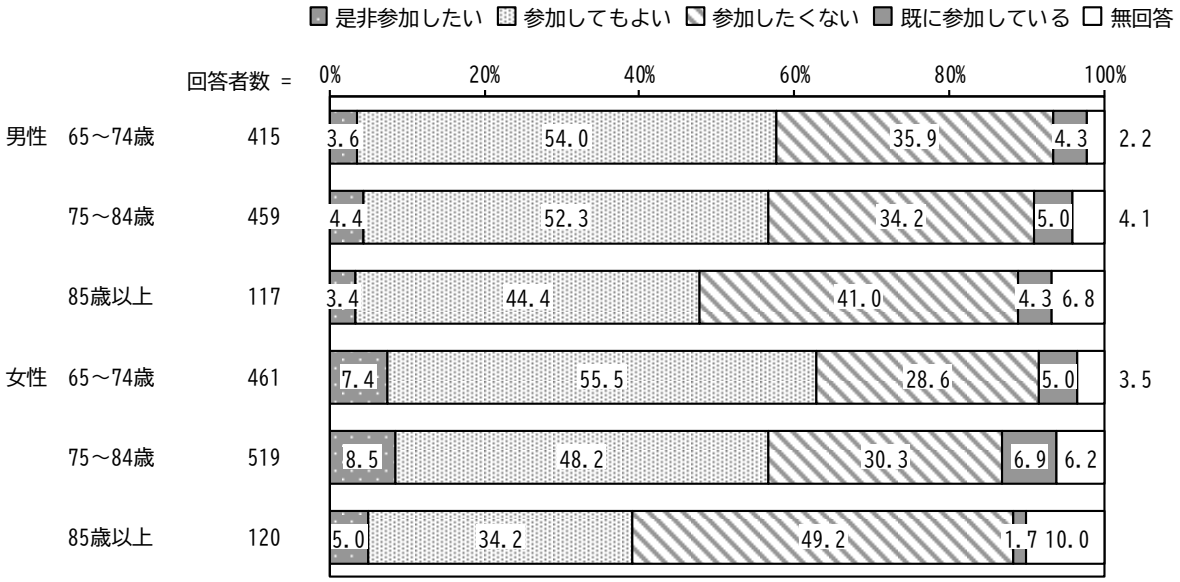
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高く、要支援認定者等で「参加したくない」の割合が高くなっています。



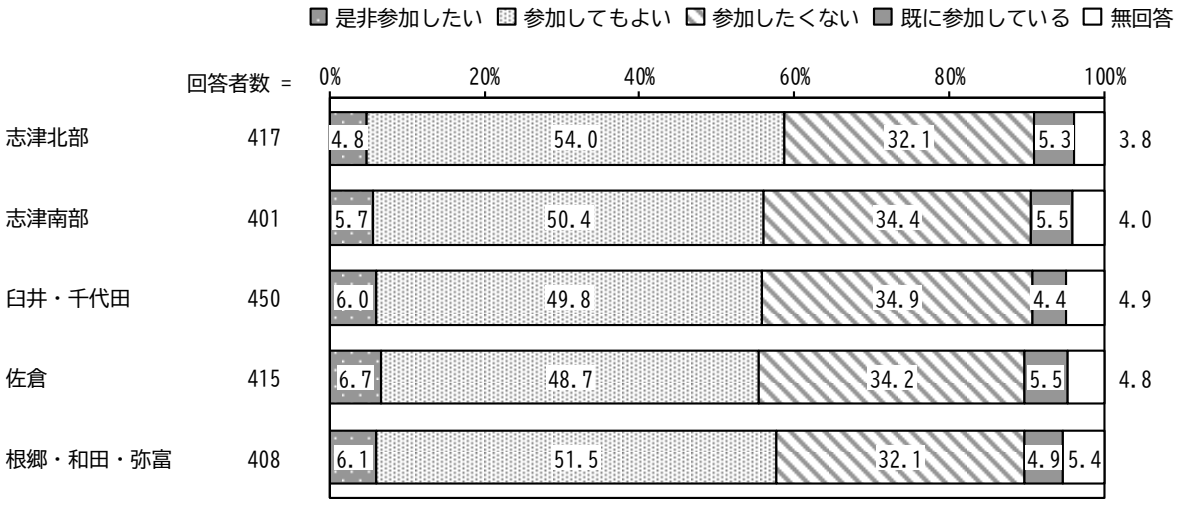
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加してもよい」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「参加したくない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

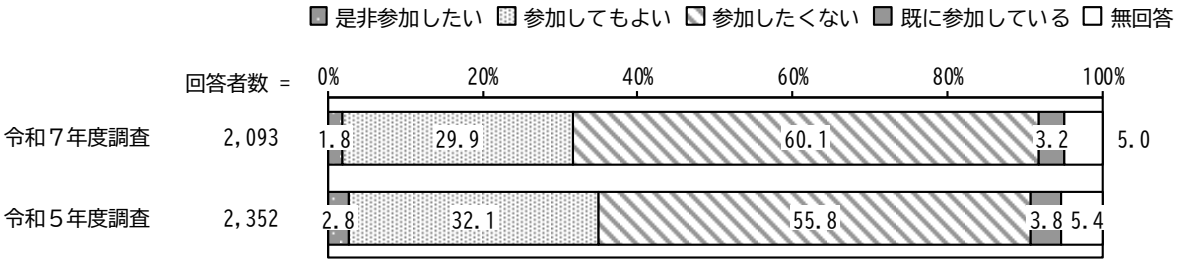
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

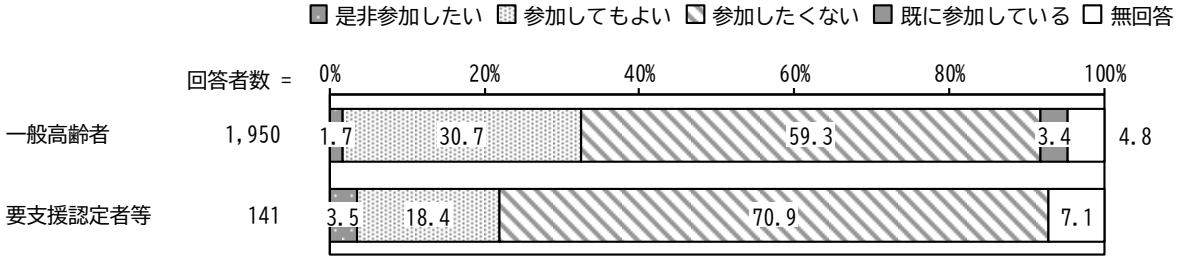
「参加したくない」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 29.9%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



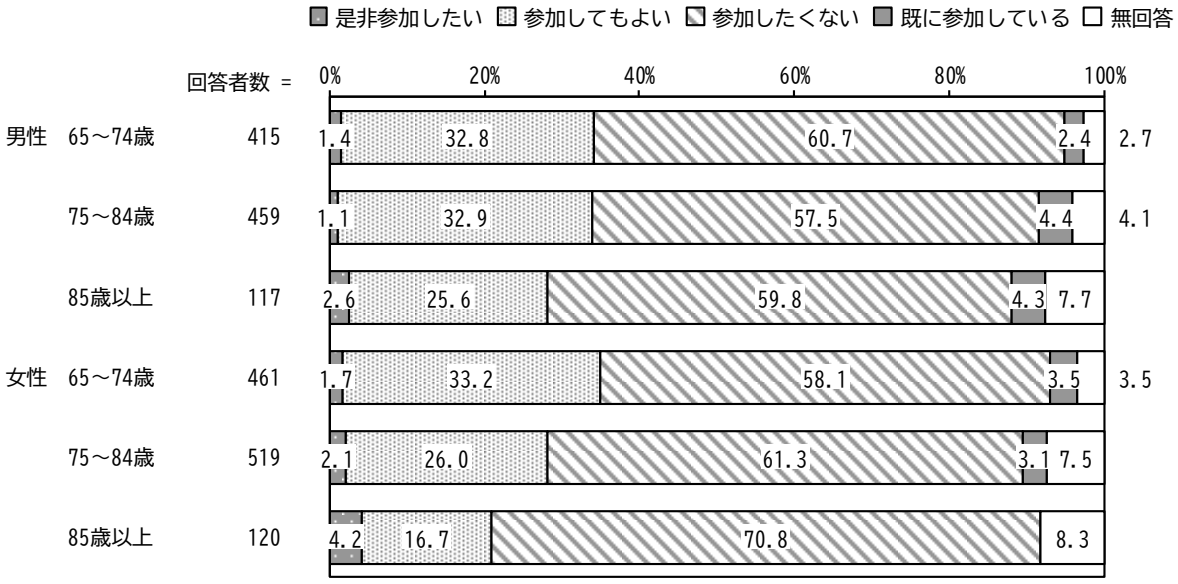
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高く、要支援認定者等で「参加したくない」の割合が高くなっています。



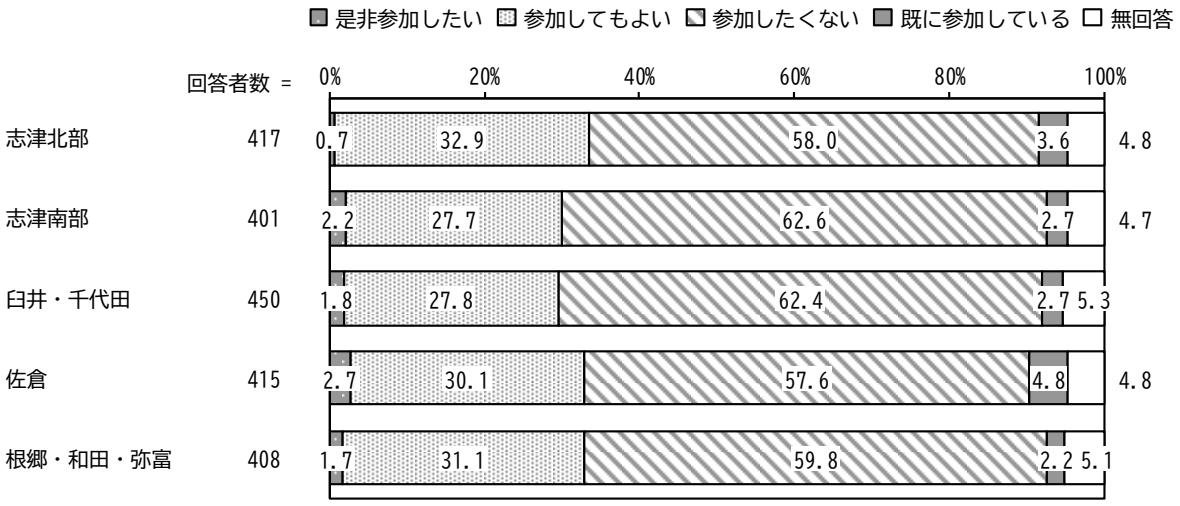
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「参加したくない」の割合が高く、「参加してもよい」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

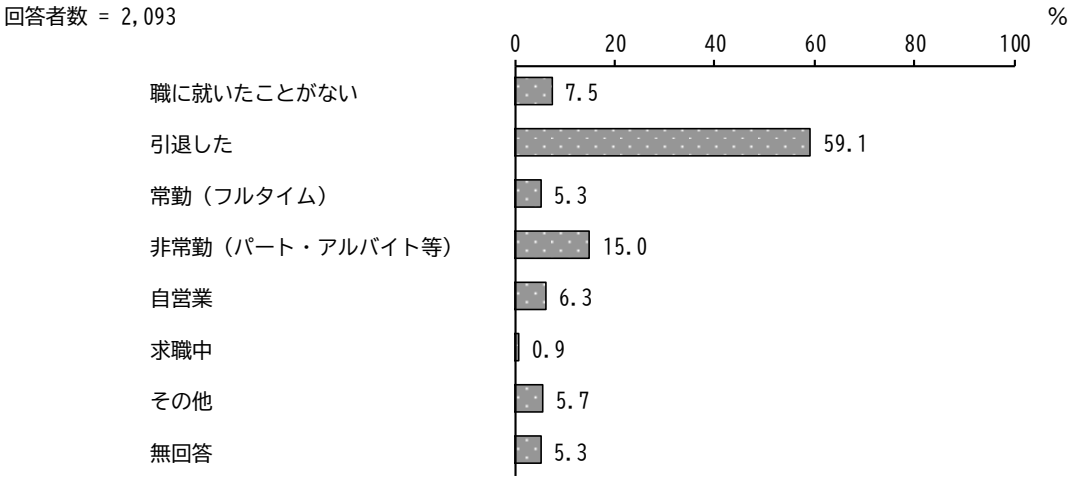
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



問6　就労について

（1）現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

「引退した」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が 15.0%となっています。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が高く、要支援認定者等で「引退した」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全　体	2,093	7.5	59.1	5.3	15.0	6.3	0.9	5.7	5.3
一般高齢者	1,950	7.5	58.7	5.6	15.8	6.3	0.9	5.5	4.8
要支援認定者等	141	7.8	66.7	0.7	2.8	5.7	0.7	7.1	12.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「常勤（フルタイム）」「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が高く、「引退した」の割合が低くなっています。また、女性では年齢が上がるほど「職に就いたことがない」の割合が高く、「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全　体	2,093	7.5	59.1	5.3	15.0	6.3	0.9	5.7	5.3
男性　65～74歳	415	2.4	47.2	17.3	21.0	9.2	2.4	4.8	1.4
75～84歳	459	4.4	70.4	2.2	12.4	7.8	0.0	2.8	3.7
85歳以上	117	5.1	86.3	0.9	1.7	5.1	1.7	0.9	2.6
女性　65～74歳	461	6.5	52.9	3.5	24.1	3.9	1.5	7.2	4.1
75～84歳	519	14.1	61.3	1.7	9.4	4.4	0.0	7.7	8.3
85歳以上	120	15.0	46.7	2.5	5.8	7.5	0.0	9.2	19.2

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

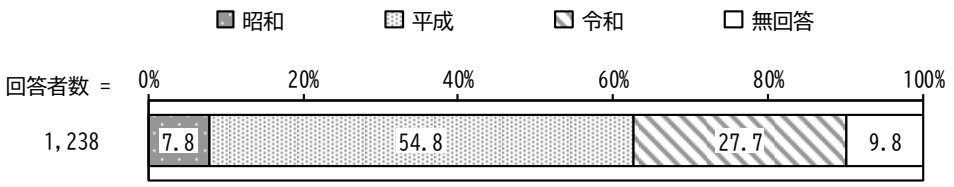
単位：％

区分	回答者数（件）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全　体	2,093	7.5	59.1	5.3	15.0	6.3	0.9	5.7	5.3
志津北部	417	9.4	62.4	5.0	12.2	4.1	1.4	5.8	4.3
志津南部	401	9.5	58.9	5.7	13.5	7.5	0.7	5.5	5.0
臼井・千代田	450	7.8	59.1	3.3	16.4	5.1	1.3	4.9	5.8
佐倉	415	5.8	58.1	6.5	17.8	5.3	0.5	7.2	5.3
根郷・和田・弥富	408	5.1	57.6	6.1	14.7	9.3	0.5	4.9	6.1

【（１）において「引退した」の方のみ】

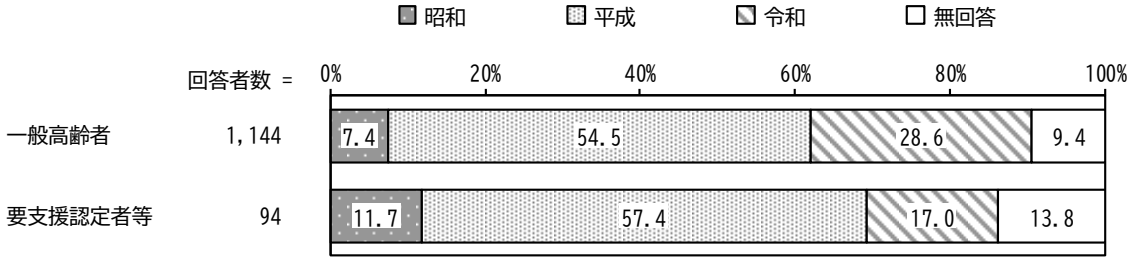
①あなたはいつ引退しましたか

「昭和」の割合が 7.8%、「平成」の割合が 54.8%、「令和」の割合が 27.7%となっています。



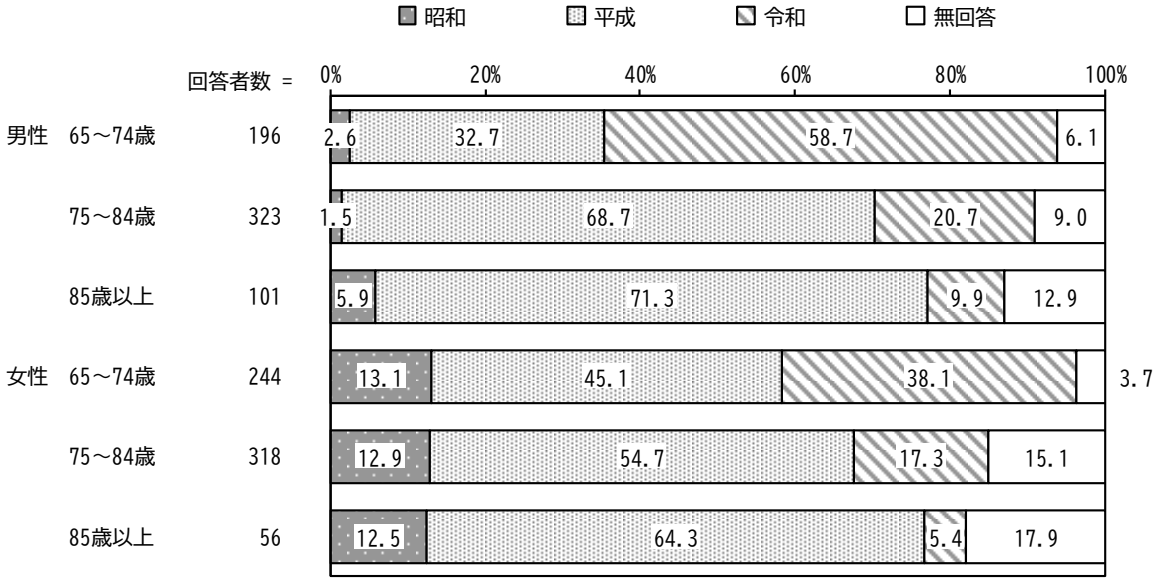
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「令和」の割合が高くなっています。



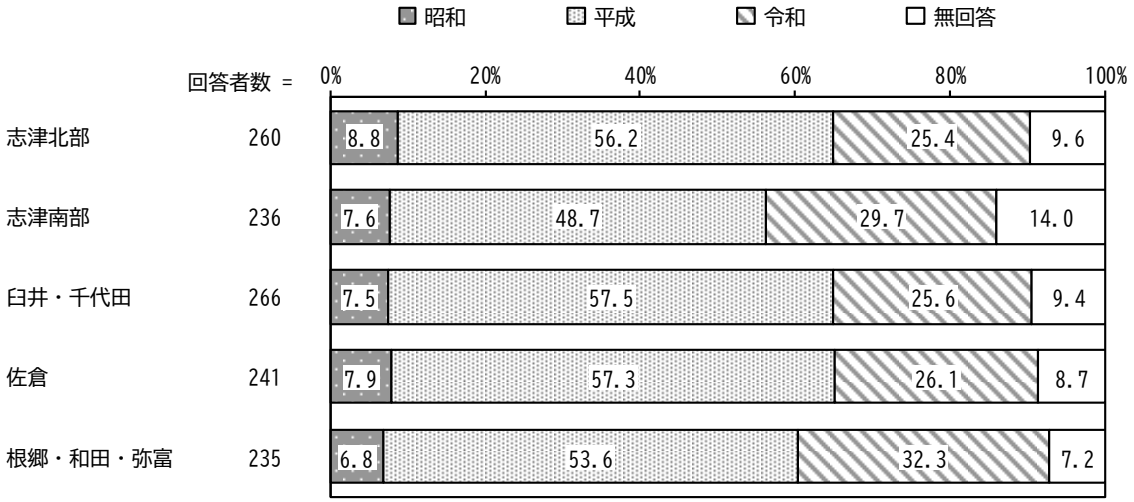
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「平成」の割合が高く、「令和」の割合が低くなっています。また、男性に比べ女性の各年代で「昭和」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、志津南部で「平成」の割合が低くなっています。

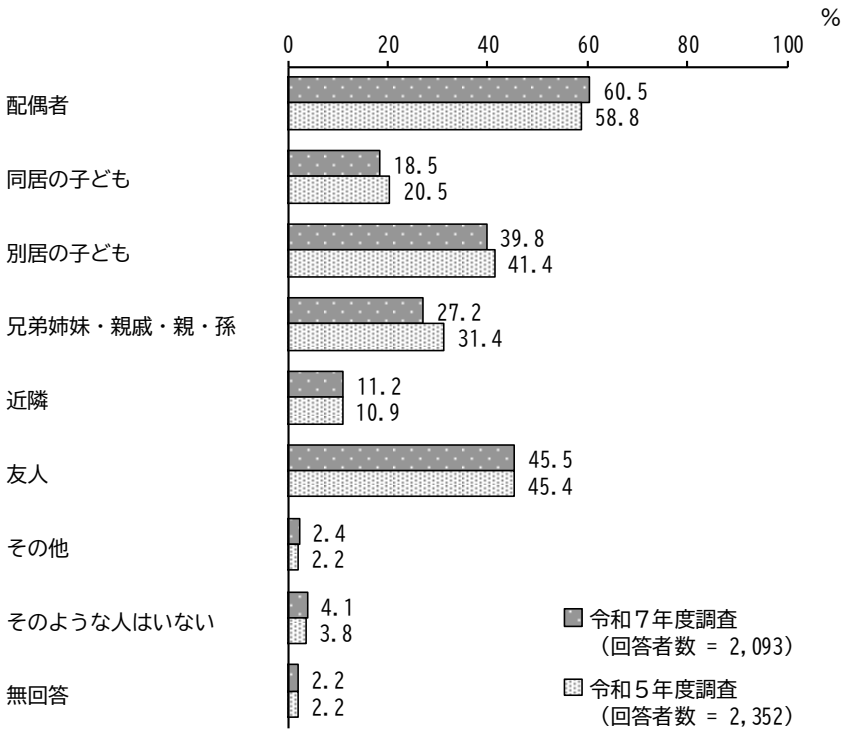


問７　たすけあいについて

（１）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「友人」の割合が 45.5%、「別居の子ども」の割合が 39.8%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「配偶者」「友人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	60.5	18.5	39.8	27.2	11.2	45.5	2.4	4.1	2.2
一般高齢者	1,950	62.8	18.6	39.8	27.5	11.2	46.2	2.4	3.8	2.1
要支援認定者等	141	29.1	17.7	40.4	24.1	11.3	36.9	2.8	7.8	3.5

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高く、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「配偶者」「友人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	60.5	18.5	39.8	27.2	11.2	45.5	2.4	4.1	2.2
男性　65～74歳	415	78.1	12.0	27.7	22.7	4.8	32.3	3.4	6.7	1.7
75～84歳	459	78.2	13.1	33.1	18.5	5.2	31.2	1.5	5.0	2.8
85歳以上	117	59.0	16.2	43.6	12.8	6.0	18.8	1.7	9.4	2.6
女性　65～74歳	461	61.0	22.8	47.1	33.8	16.9	67.0	2.6	1.5	1.1
75～84歳	519	41.0	22.2	48.2	36.4	16.8	56.6	2.1	2.3	2.5
85歳以上	120	16.7	31.7	40.8	25.8	15.0	42.5	3.3	3.3	3.3

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

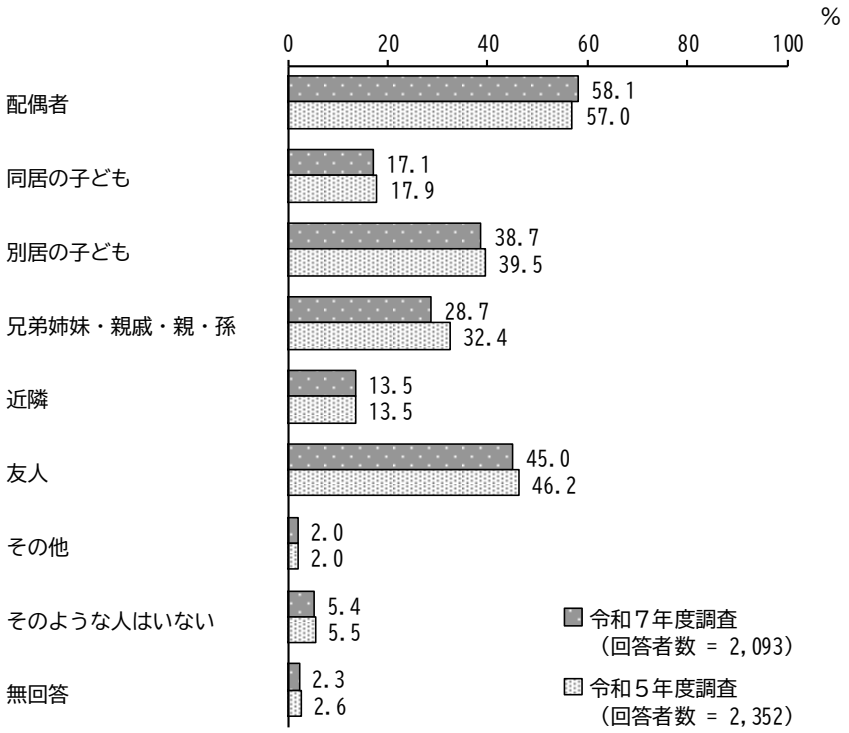
単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	60.5	18.5	39.8	27.2	11.2	45.5	2.4	4.1	2.2
志津北部	417	60.0	17.5	44.1	26.9	9.1	49.6	2.6	3.4	1.2
志津南部	401	57.4	18.7	39.2	26.2	9.2	46.9	1.5	4.5	2.2
臼井・千代田	450	65.3	15.8	39.6	26.9	10.9	44.0	2.2	5.3	3.1
佐倉	415	59.5	20.7	38.1	27.2	14.0	43.1	3.9	4.1	1.2
根郷・和田・弥富	408	60.0	20.1	38.5	29.2	12.7	44.4	1.7	2.9	2.9

（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「友人」の割合が 45.0%、「別居の子ども」の割合が 38.7%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	58.1	17.1	38.7	28.7	13.5	45.0	2.0	5.4	2.3
一般高齢者	1,950	60.5	17.1	39.2	29.6	13.4	45.8	2.0	4.9	1.9
要支援認定者等	141	25.5	17.0	32.6	16.3	15.6	34.0	1.4	12.1	7.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が低く、「別居の子ども」の割合が高く、女性では「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	58.1	17.1	38.7	28.7	13.5	45.0	2.0	5.4	2.3
男性　65～74歳	415	77.1	13.3	30.8	24.1	5.3	31.3	2.7	7.5	1.2
75～84歳	459	77.3	10.9	34.0	22.9	7.4	29.6	1.1	6.1	2.8
85歳以上	117	63.2	17.1	37.6	12.0	7.7	17.9	3.4	10.3	2.6
女性　65～74歳	461	56.8	20.6	48.4	38.0	19.7	66.8	2.6	2.0	1.1
75～84歳	519	36.6	21.0	42.4	34.5	20.0	59.0	1.5	3.1	3.3
85歳以上	120	12.5	23.3	32.5	22.5	19.2	34.2	0.8	13.3	5.0

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、志津北部で「友人」の割合が高くなっています。

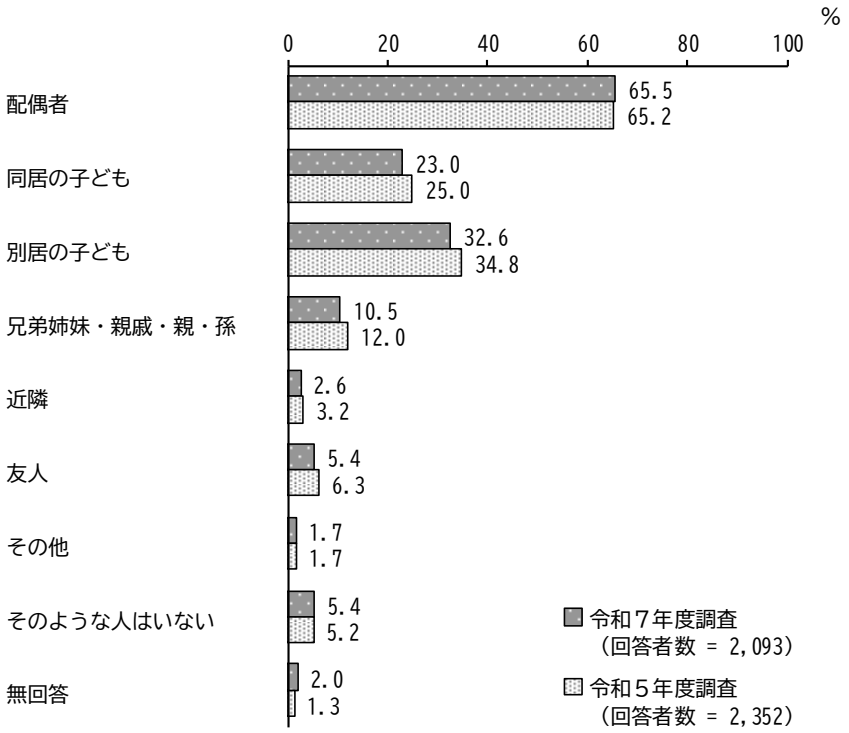
単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	58.1	17.1	38.7	28.7	13.5	45.0	2.0	5.4	2.3
志津北部	417	59.7	14.1	42.4	26.9	11.5	50.6	1.4	5.3	1.7
志津南部	401	54.9	19.0	36.9	27.7	11.7	45.1	1.5	5.2	2.2
臼井・千代田	450	62.0	14.4	40.4	30.4	14.4	42.4	1.8	5.3	3.1
佐倉	415	56.9	18.8	36.4	28.0	14.5	43.4	3.9	5.5	1.9
根郷・和田・弥富	408	56.9	19.4	37.3	30.4	15.4	43.9	1.2	5.4	2.7

（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 32.6%、「同居の子ども」の割合が 23.0%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「配偶者」の割合が高く、要支援認定者等で「別居の子ども」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	65.5	23.0	32.6	10.5	2.6	5.4	1.7	5.4	2.0
一般高齢者	1,950	67.7	22.8	31.7	10.5	2.5	5.4	1.4	5.1	1.9
要支援認定者等	141	34.8	27.0	44.7	10.6	4.3	5.0	4.3	8.5	2.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高く、女性では「同居の子ども」の割合が高く、「配偶者」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	65.5	23.0	32.6	10.5	2.6	5.4	1.7	5.4	2.0
男性　65～74歳	415	82.2	14.9	19.0	7.7	0.7	1.9	1.2	7.0	1.9
75～84歳	459	83.0	16.6	27.7	7.2	0.7	2.6	0.4	4.8	2.4
85歳以上	117	60.7	23.9	46.2	8.5	3.4	4.3	5.1	2.6	0.9
女性　65～74歳	461	68.3	26.0	34.1	13.0	3.9	9.8	1.1	5.0	1.1
75～84歳	519	46.8	27.4	41.8	13.5	4.6	7.1	2.7	5.0	2.3
85歳以上	120	15.8	45.0	40.0	11.7	1.7	4.2	1.7	7.5	3.3

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

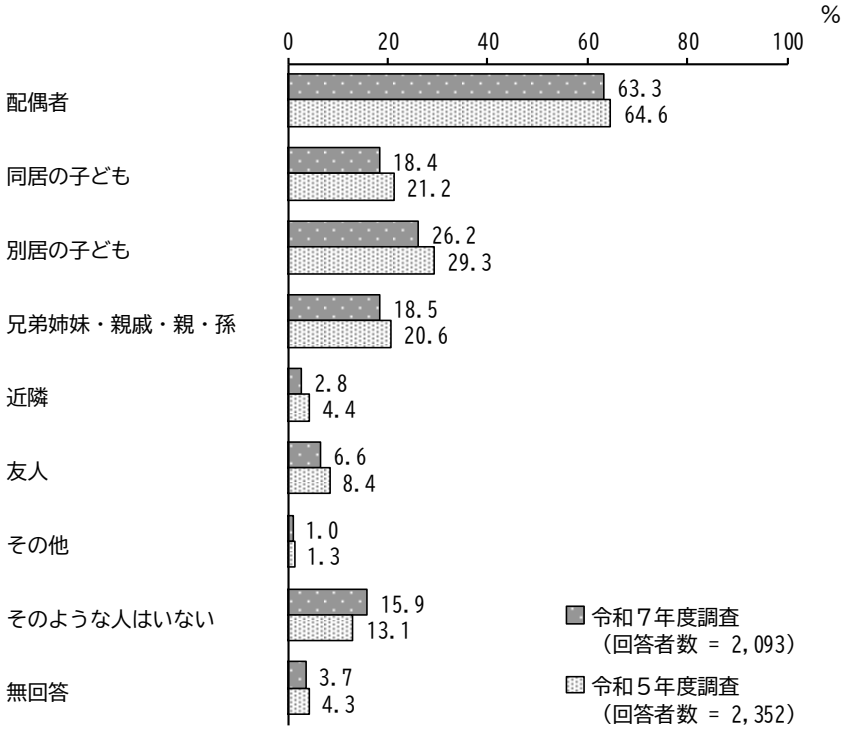
単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	65.5	23.0	32.6	10.5	2.6	5.4	1.7	5.4	2.0
志津北部	417	66.7	20.6	33.1	9.1	2.6	6.7	2.6	5.8	1.4
志津南部	401	61.3	25.7	33.4	10.5	2.7	7.0	1.2	6.2	2.5
臼井・千代田	450	70.4	19.1	33.3	7.1	2.4	4.2	0.4	4.9	2.0
佐倉	415	63.6	26.5	32.8	13.3	2.4	4.8	2.7	5.8	1.7
根郷・和田・弥富	408	65.0	23.8	30.4	12.7	2.7	4.2	1.2	4.2	2.2

（4）反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 26.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 18.5%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。要支援認定者等で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	63.3	18.4	26.2	18.5	2.8	6.6	1.0	15.9	3.7
一般高齢者	1,950	65.6	18.9	27.2	19.4	2.9	6.7	0.8	14.3	3.2
要支援認定者等	141	31.9	12.1	12.8	6.4	0.7	5.7	2.1	39.0	9.9

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。女性の 85 歳以上で「そのような人はいない」の割合が多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	63.3	18.4	26.2	18.5	2.8	6.6	1.0	15.9	3.7
男性　65～74歳	415	75.7	14.7	20.5	17.3	1.4	4.3	0.5	14.9	1.2
75～84歳	459	74.9	12.6	17.9	12.0	0.4	2.4	0.9	17.0	3.3
85歳以上	117	65.8	18.8	16.2	3.4	2.6	0.9	1.7	17.9	4.3
女性　65～74歳	461	67.5	23.9	38.6	30.2	5.6	10.4	1.1	10.0	1.5
75～84歳	519	48.7	19.8	32.8	20.6	3.9	10.4	0.8	16.8	6.0
85歳以上	120	20.8	26.7	11.7	8.3	0.8	5.8	1.7	32.5	11.7

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

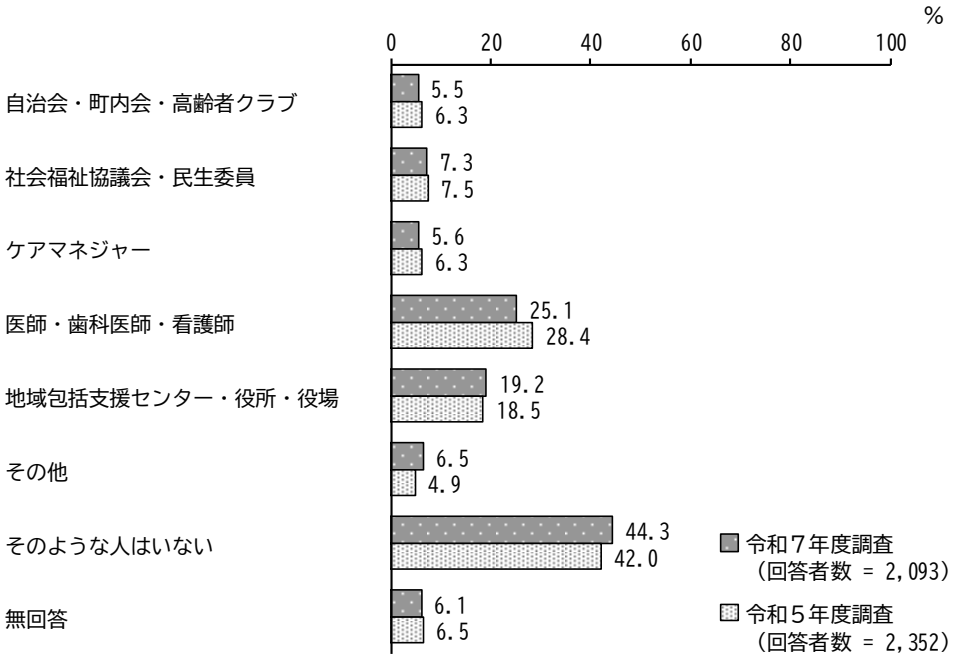
単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	63.3	18.4	26.2	18.5	2.8	6.6	1.0	15.9	3.7
志津北部	417	63.8	16.5	29.3	17.5	2.6	7.2	1.4	16.3	2.9
志津南部	401	59.9	15.7	23.7	17.2	3.7	7.2	0.5	17.0	5.2
臼井・千代田	450	68.0	16.7	28.0	16.7	2.4	4.7	0.9	16.2	2.7
佐倉	415	61.7	22.9	24.3	18.8	2.7	6.0	1.2	16.4	4.6
根郷・和田・弥富	408	62.7	20.6	25.5	22.5	2.5	8.3	0.5	13.7	3.2

（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

「そのような人はいない」の割合が 44.3%で、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が 25.1%、「地域包括支援センター・役所・役場」の割合が 19.2%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、要支援認定者等で「ケアマネジャー」「地域包括支援センター・役所・役場」の割合が高くなっています。一般高齢者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自治会・町内会・高齢者クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	5.5	7.3	5.6	25.1	19.2	6.5	44.3	6.1
一般高齢者	1,950	5.7	7.1	3.0	24.9	18.2	6.7	46.0	6.1
要支援認定者等	141	2.8	9.9	41.8	28.4	33.3	3.5	20.6	6.4

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女とも年齢が下がるほど「そのような人はいない」の割合が高く、また、女性では年齢が上がるほど「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自治会・町内会・高齢者クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	5.5	7.3	5.6	25.1	19.2	6.5	44.3	6.1
男性　65～74歳	415	5.1	4.6	2.7	26.0	13.5	10.6	49.9	2.2
75～84歳	459	8.3	9.6	2.6	27.7	15.0	4.8	47.7	5.2
85歳以上	117	9.4	10.3	10.3	26.5	18.8	6.0	38.5	6.8
女性　65～74歳	461	3.9	6.3	3.5	25.2	21.5	7.2	45.8	3.9
75～84歳	519	4.0	7.9	8.1	22.7	24.7	5.0	39.7	10.0
85歳以上	120	5.8	6.7	20.0	21.7	22.5	3.3	31.7	14.2

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

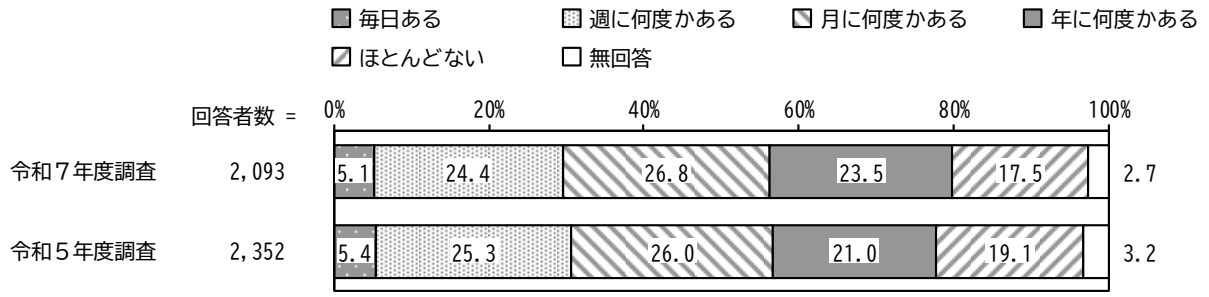
単位：%

区分	回答者数（件）	自治会・町内会・高齢者クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	2,093	5.5	7.3	5.6	25.1	19.2	6.5	44.3	6.1
志津北部	417	4.1	6.2	7.2	24.2	20.4	5.0	45.8	6.0
志津南部	401	6.5	8.5	6.7	26.9	17.2	7.2	42.9	6.7
臼井・千代田	450	5.8	8.0	5.1	27.1	18.0	4.4	43.6	6.9
佐倉	415	6.5	8.4	4.1	22.7	23.4	7.2	43.4	5.1
根郷・和田・弥富	408	4.9	5.4	4.9	24.8	16.9	8.8	45.8	5.9

（6）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

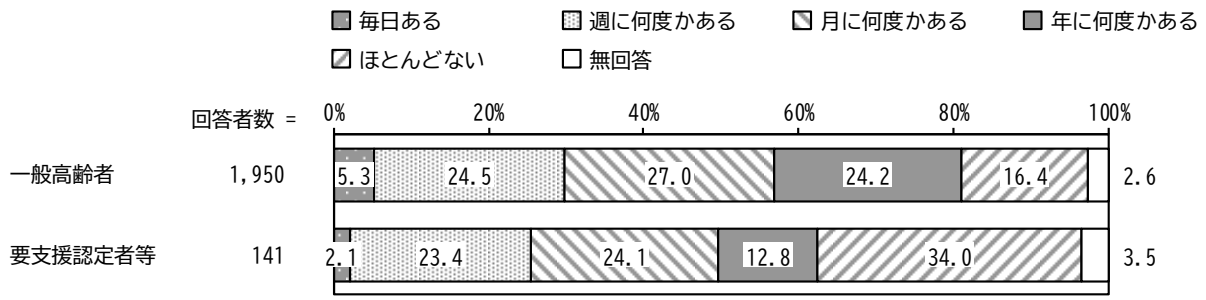
「月に何度かある」の割合が 26.8%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が 24.4%、「年に何度かある」の割合が 23.5%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



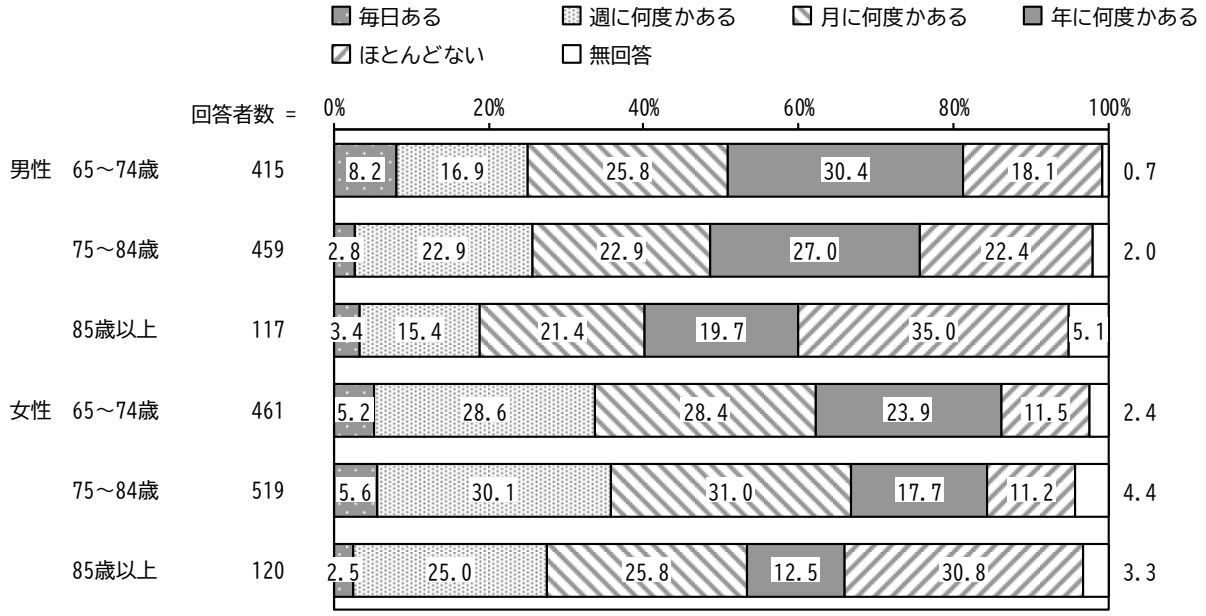
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「年に何度かある」の割合が高く、要支援認定者等で「ほとんどない」の割合が高くなっています。



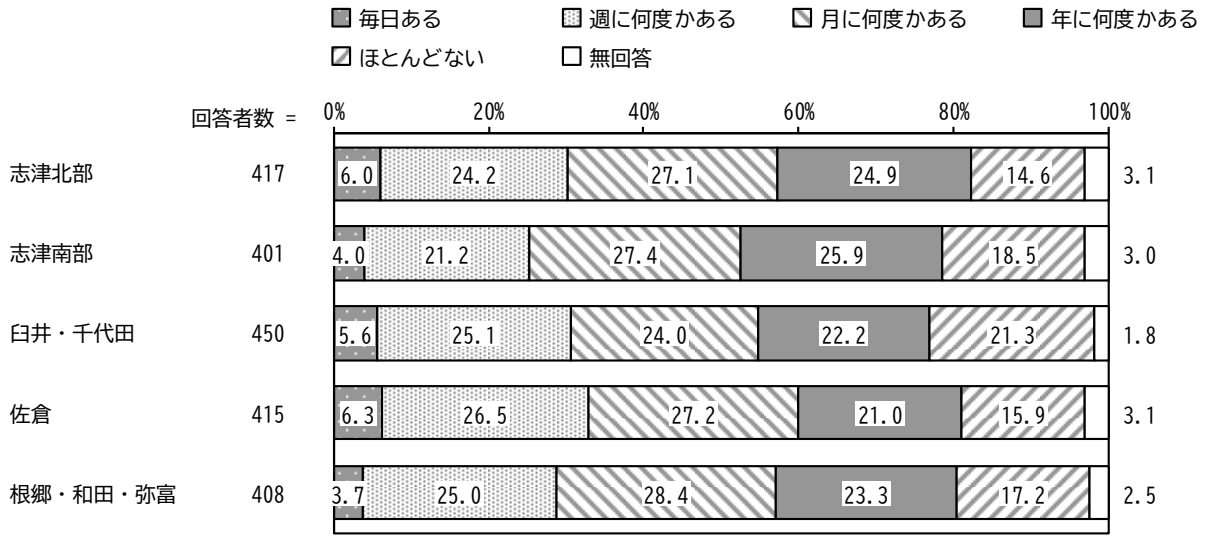
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「月に何度かある」「年に何度かある」の割合が高く、「ほとんどない」の割合が低く、女性では「年に何度かある」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

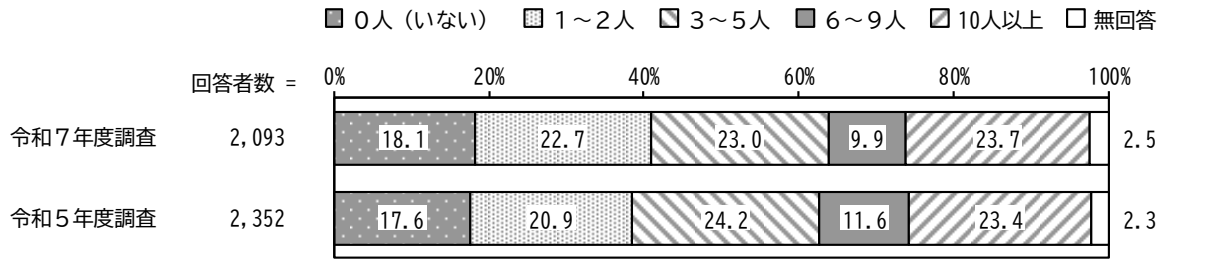
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（7）この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか（同じ人には何度会っても１人と数えることとします）

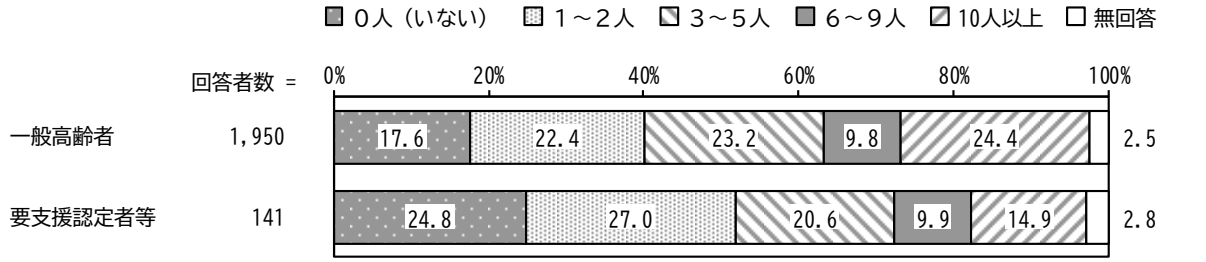
「10 人以上」の割合が 23.7%と最も高く、次いで「３～５人」の割合が 23.0%、「１～２人」の割合が 22.7%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



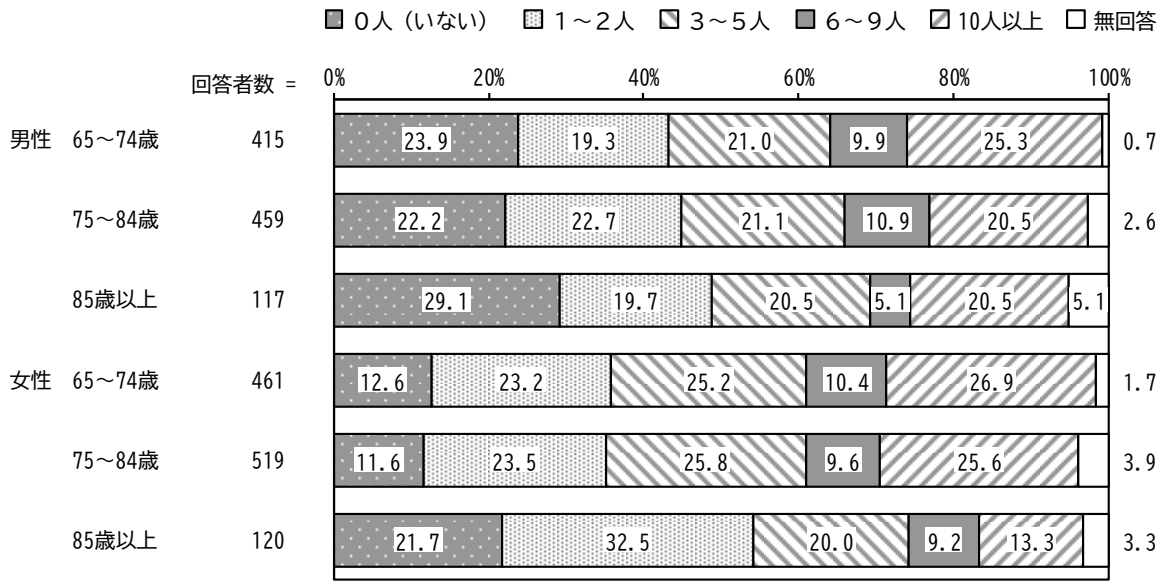
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「10 人以上」の割合が高く、要支援認定者等で「０人（いない)」の割合が高くなっています。



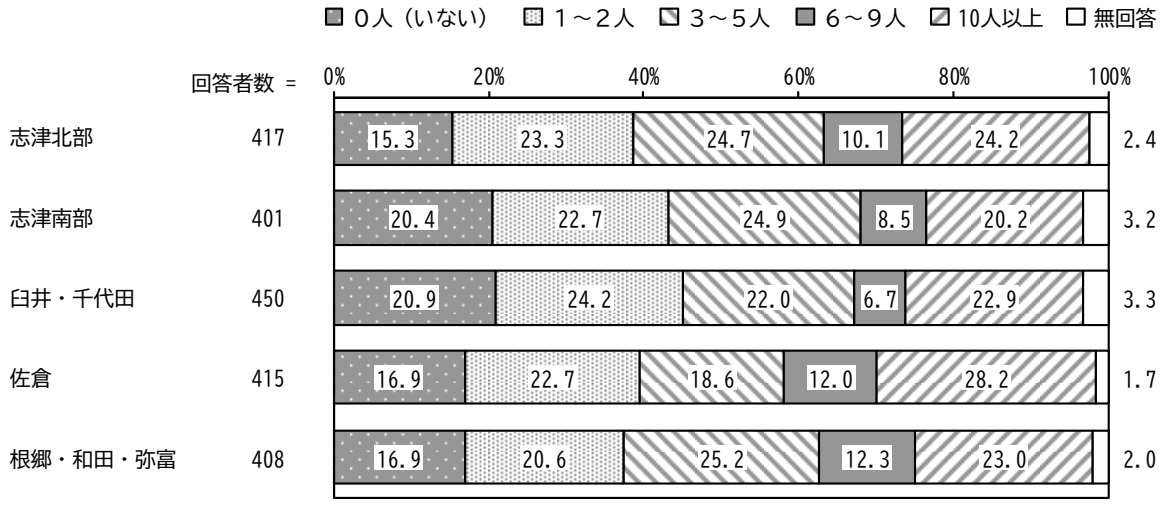
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「１～２人」の割合が高く、「10 人以上」の割合が低くなっています。また、男性の 85 歳以上で「０人（いない）」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

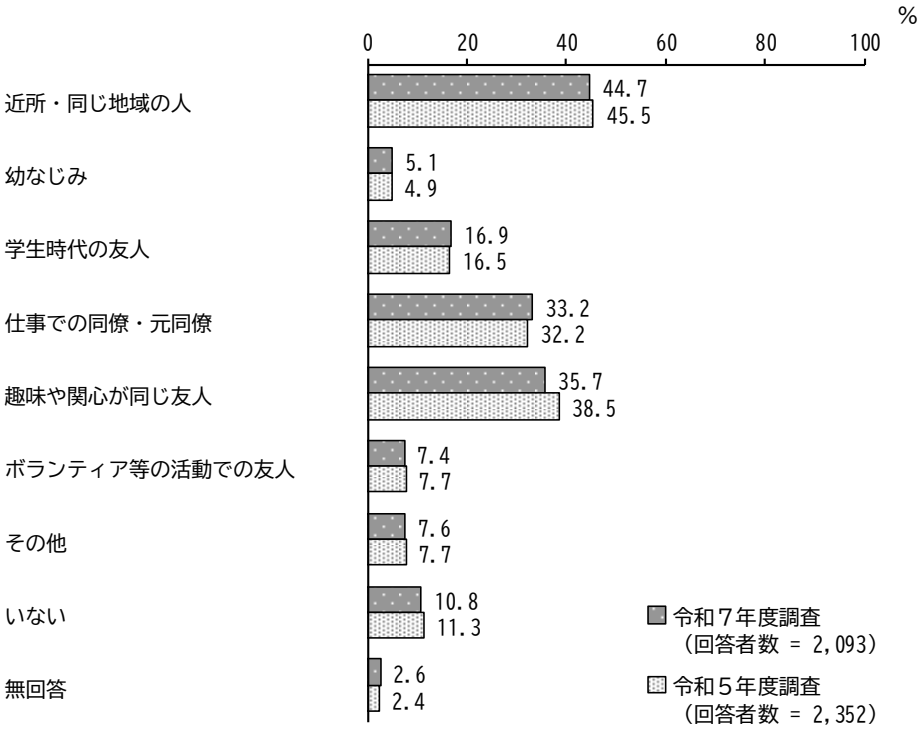
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

「近所･同じ地域の人」の割合が 44.7%と最も高く､次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が 35.7%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が 33.2%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全　体	2,093	44.7	5.1	16.9	33.2	35.7	7.4	7.6	10.8	2.6
一般高齢者	1,950	45.0	5.3	17.8	34.7	36.5	7.6	7.0	9.9	2.5
要支援認定者等	141	41.8	2.1	4.3	12.8	26.2	5.0	14.9	22.0	4.3

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」の割合が高く、男性では「近所・同じ地域の人」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全　体	2,093	44.7	5.1	16.9	33.2	35.7	7.4	7.6	10.8	2.6
男性　65～74歳	415	27.0	6.5	23.6	50.8	29.9	5.8	6.5	11.6	0.7
75～84歳	459	41.6	5.0	17.9	33.8	32.0	10.0	6.3	15.5	2.2
85歳以上	117	41.9	3.4	6.0	14.5	26.5	4.3	7.7	21.4	6.0
女性　65～74歳	461	48.6	5.4	20.4	39.5	40.1	8.9	7.8	6.9	2.0
75～84歳	519	56.5	4.2	12.7	22.7	43.7	6.9	8.7	5.6	3.9
85歳以上	120	55.8	4.2	5.8	10.0	28.3	2.5	10.0	16.7	4.2

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

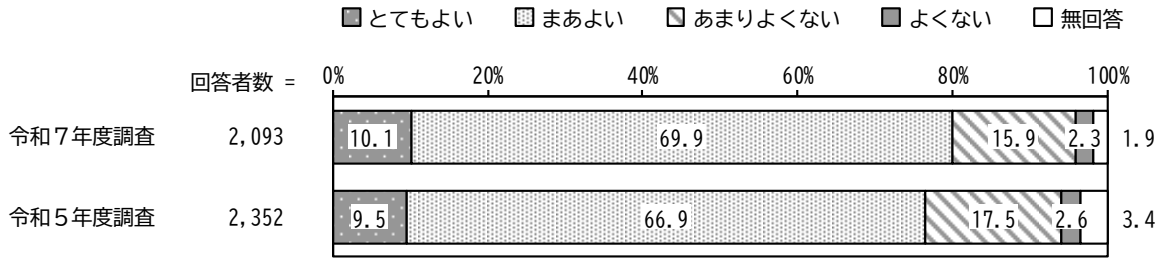
区分	回答者数（件）	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全　体	2,093	44.7	5.1	16.9	33.2	35.7	7.4	7.6	10.8	2.6
志津北部	417	44.4	5.8	18.7	34.5	37.9	7.9	10.1	8.9	2.4
志津南部	401	44.9	2.5	16.0	33.7	32.2	7.0	9.0	12.0	3.2
臼井・千代田	450	41.6	3.1	17.8	32.7	35.1	7.3	6.4	12.2	2.4
佐倉	415	47.0	5.3	15.4	30.4	34.7	7.7	6.3	9.9	2.7
根郷・和田・弥富	408	46.3	8.8	16.7	35.0	39.0	7.1	6.1	10.8	2.2

問８　健康について

（１）現在のあなたの健康状態はいかがですか

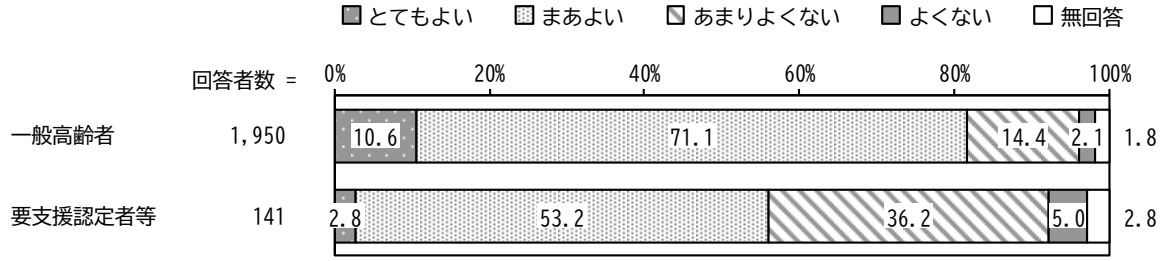
「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 80.0%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 18.2%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



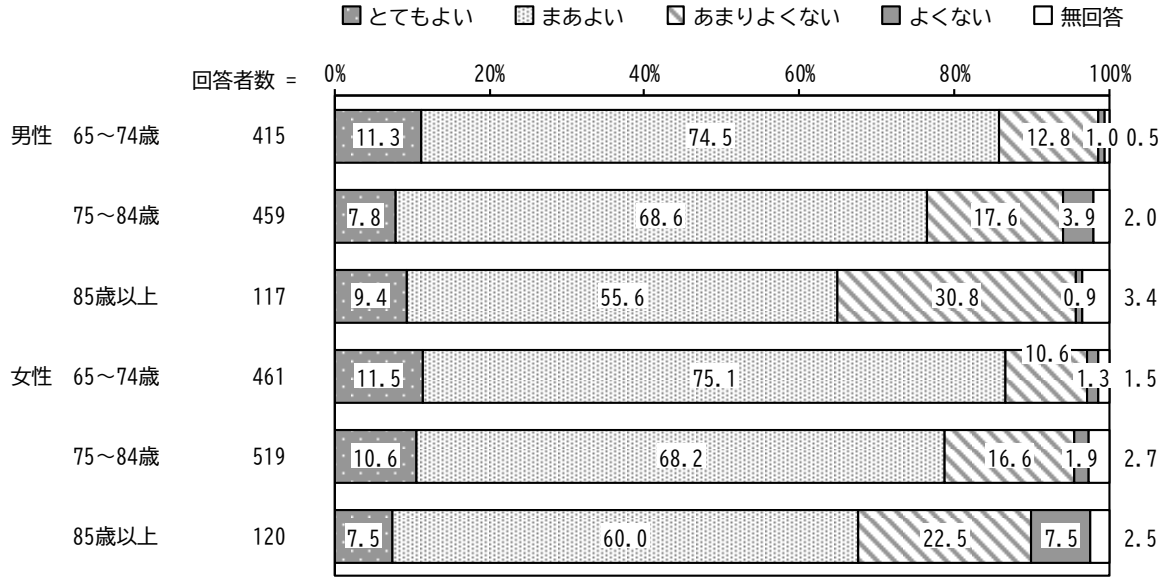
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で“よい”の割合が高くなっています。



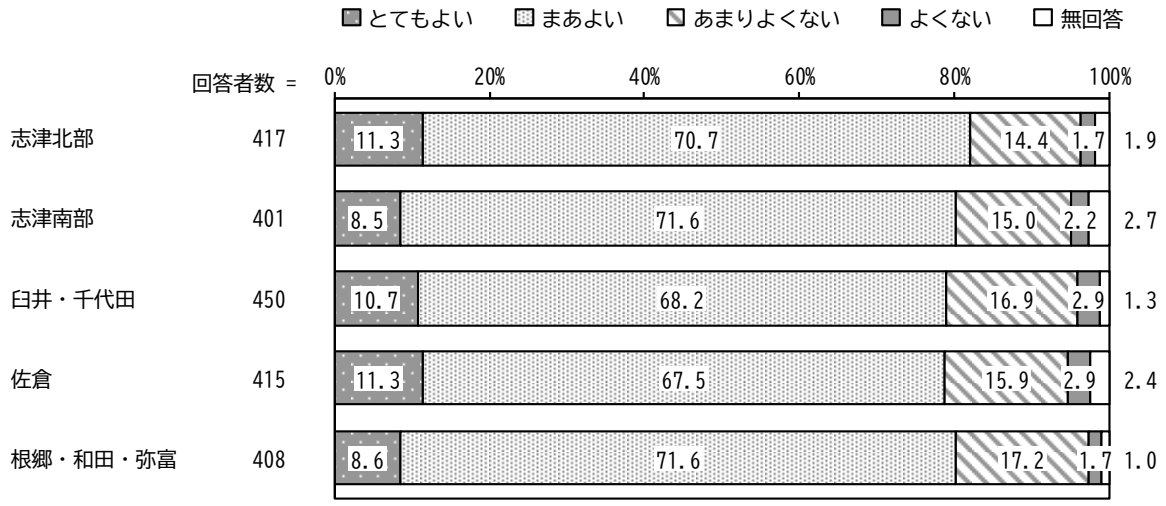
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“よくない”の割合が高くなっています。また、男性の 85 歳以上で「あまりよくない」の割合が高く、「まあよい」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

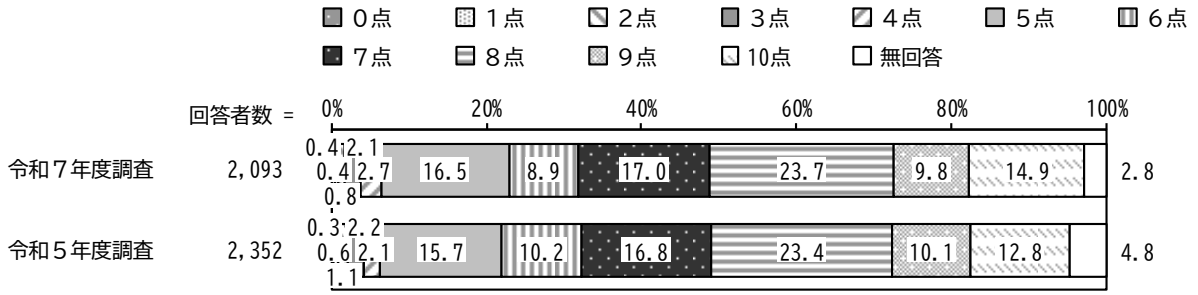
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（２）あなたは、現在どの程度幸せですか
（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください）

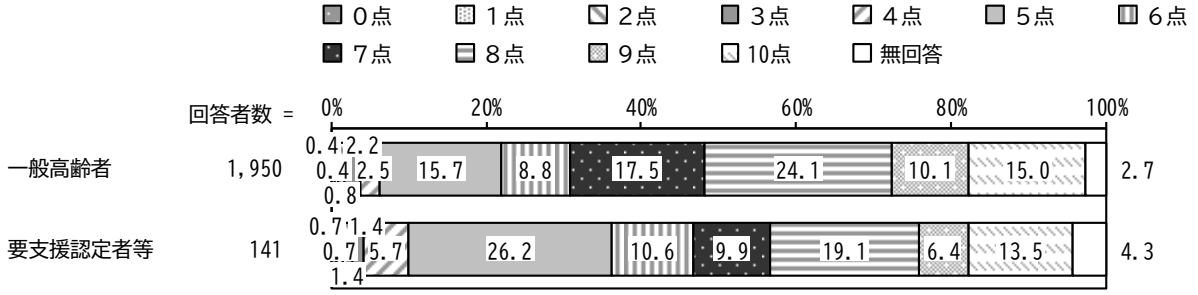
「８点」の割合が 23.7%と最も高く、次いで「７点」の割合が 17.0%、「５点」の割合が 16.5%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



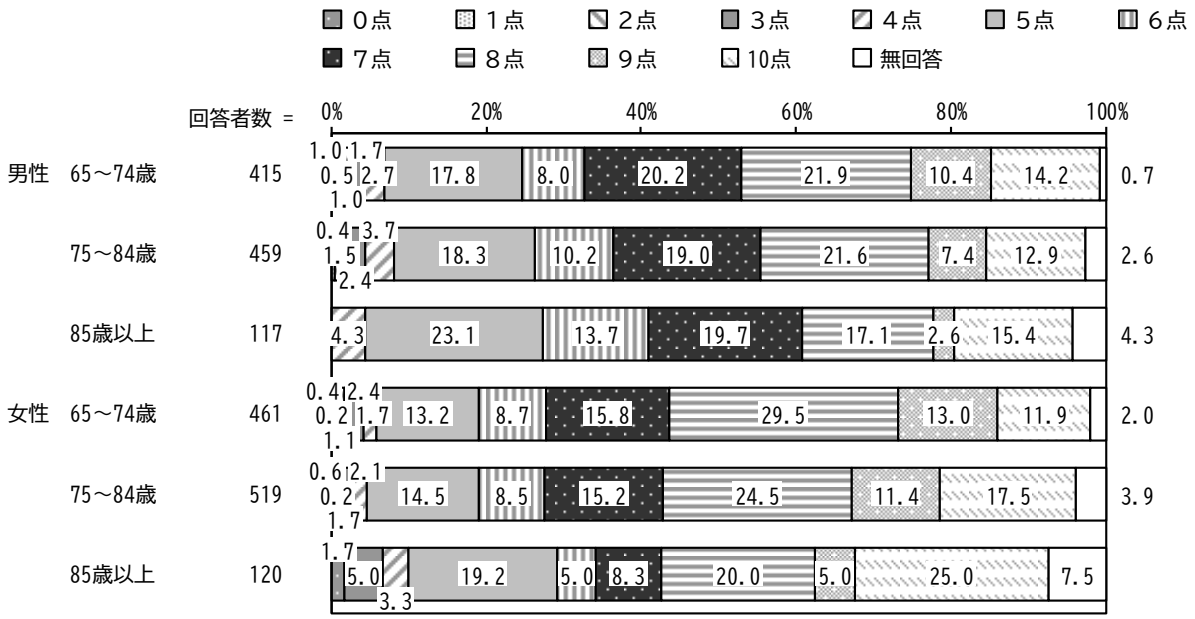
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「７点」「８点」の割合が高く、要支援認定者等で「５点」の割合が高くなっています。



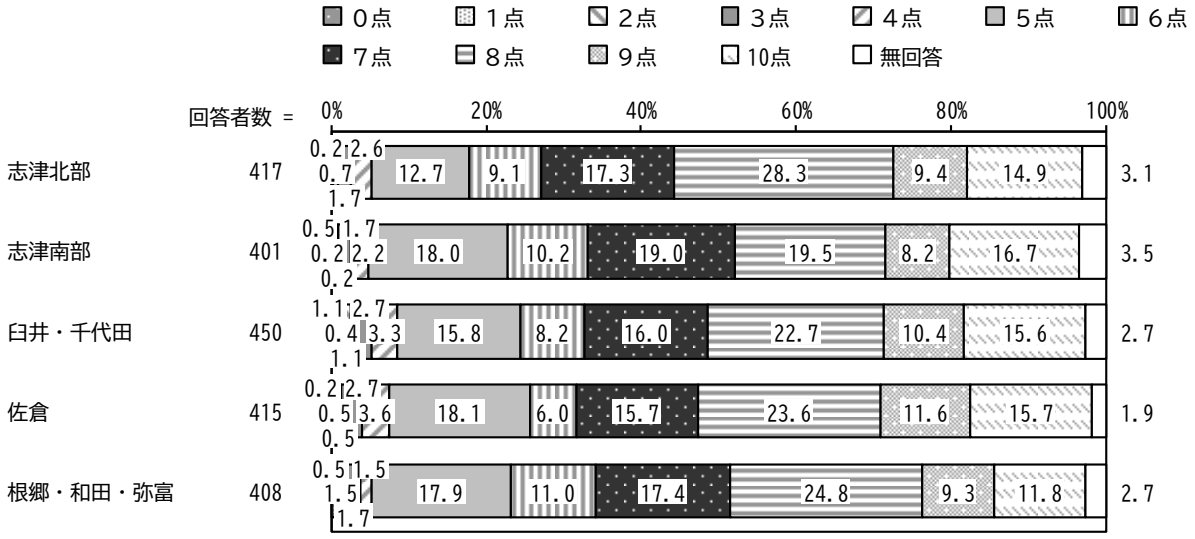
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「５点」「６点」の割合が高く、「８点」「９点」の割合が低く、女性では「７点」「８点」「９点」の割合が低く、「５点」「10 点」の割合が高くなっています。



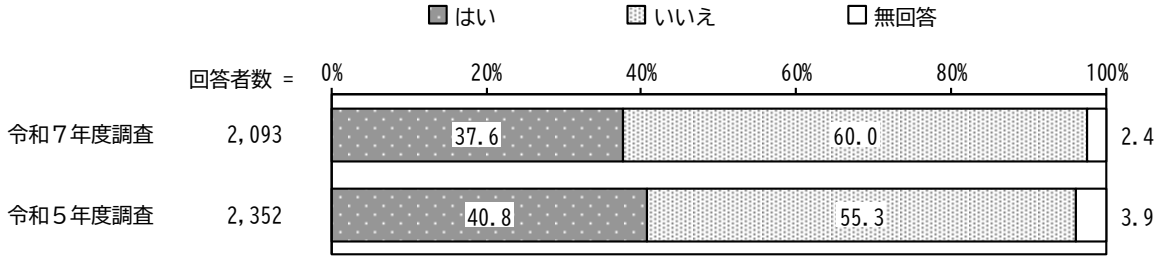
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



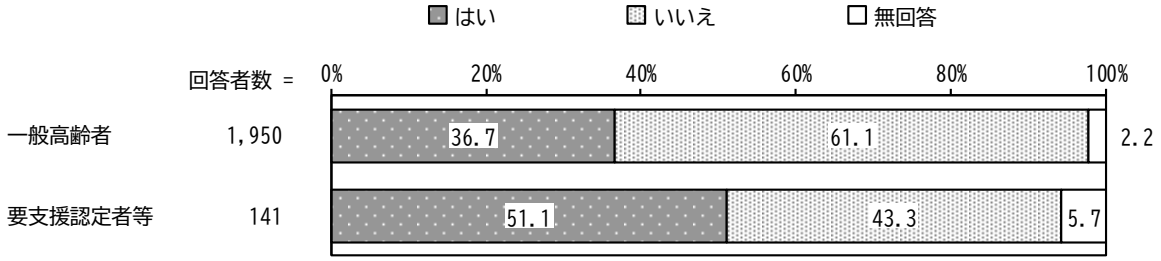
（3）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」の割合が 37.6%、「いいえ」の割合が 60.0%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



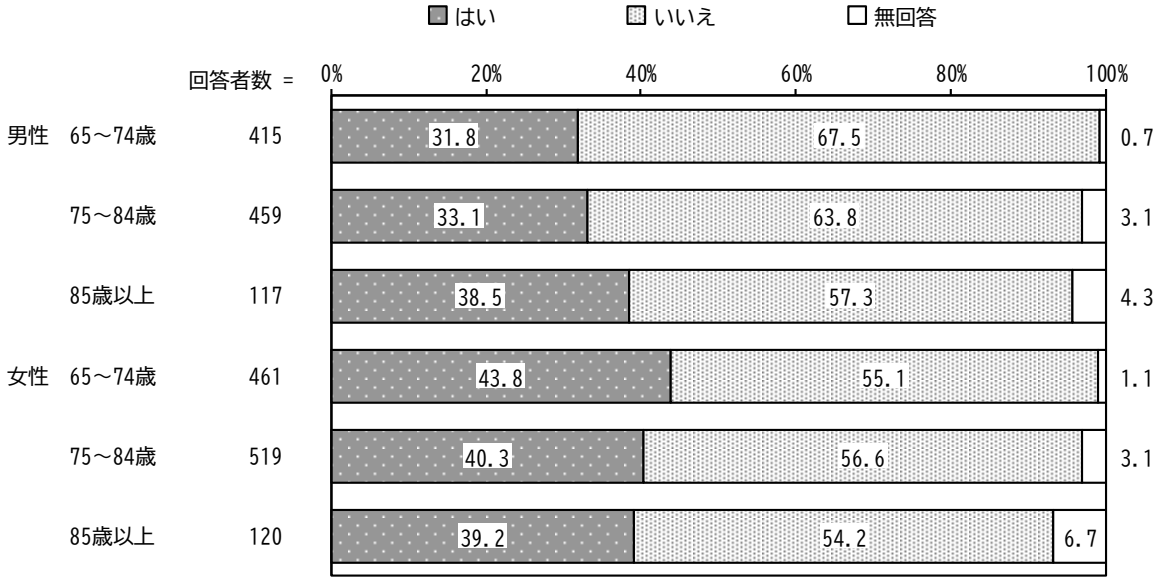
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



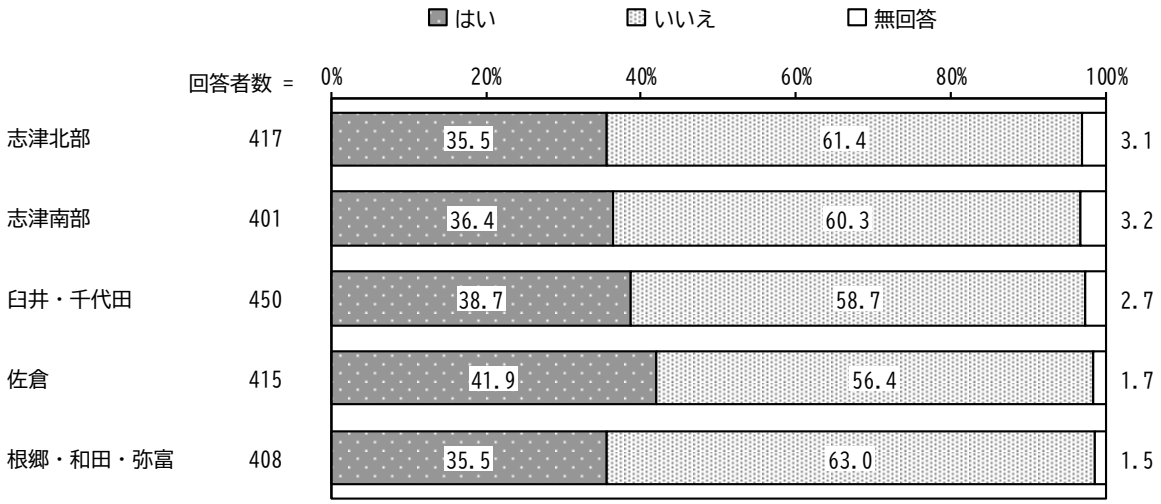
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど、女性では年齢が下がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

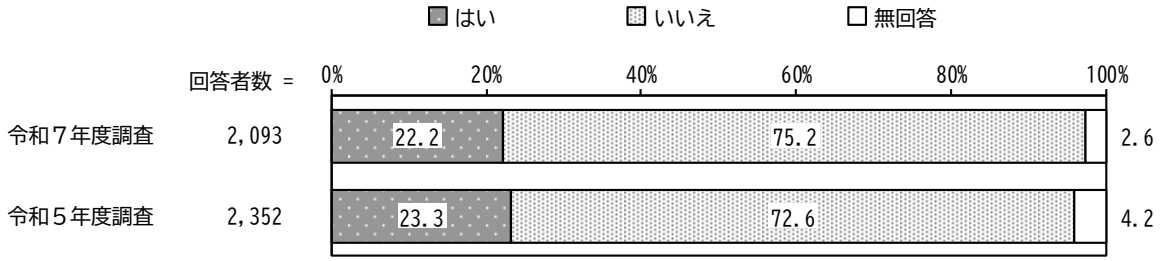
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（4）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

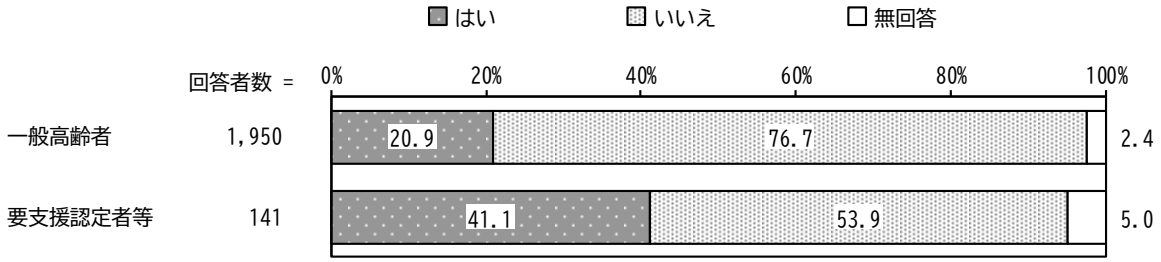
「はい」の割合が 22.2%、「いいえ」の割合が 75.2%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



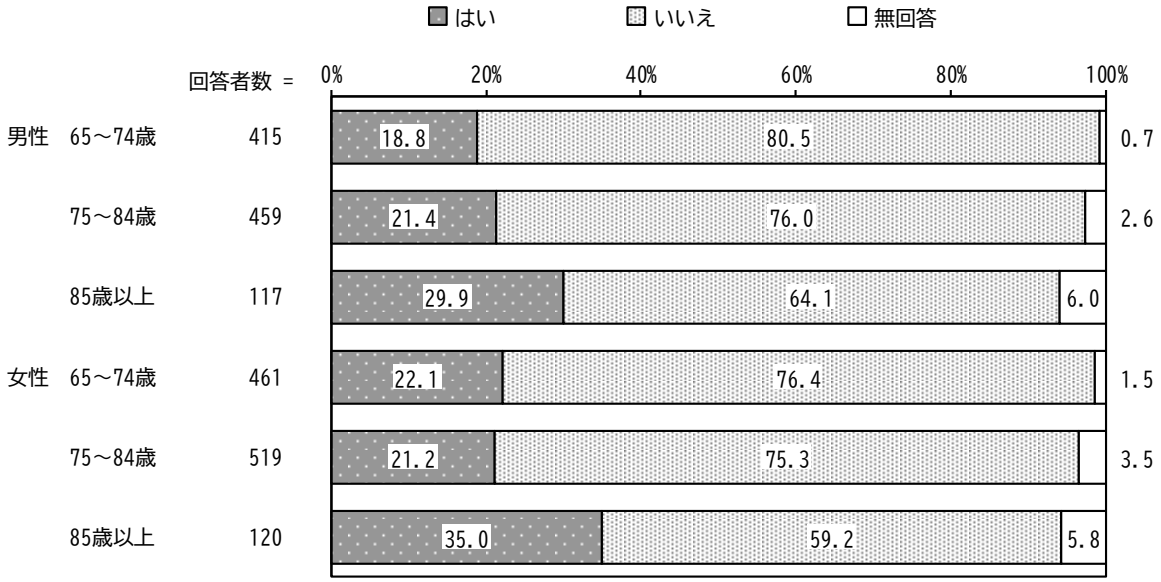
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



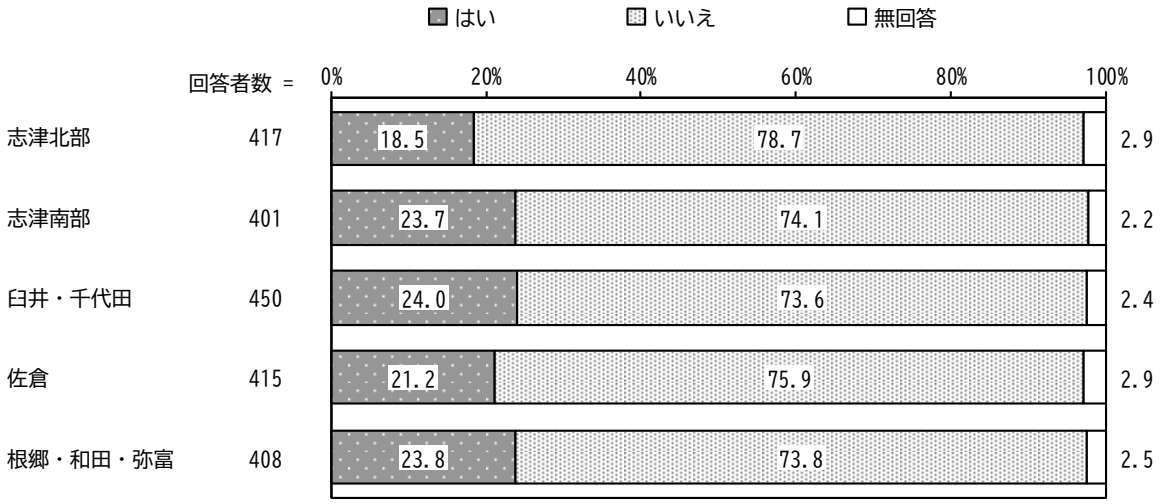
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高く、女性では年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

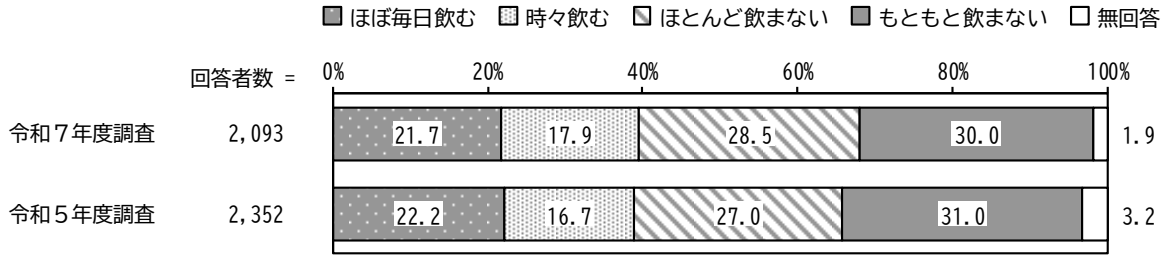
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（5）お酒は飲みますか

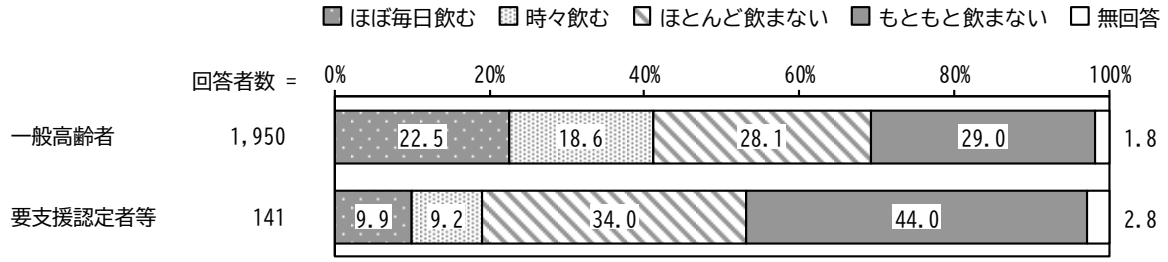
「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」を合わせた“飲む”の割合が 39.6%、「ほとんど飲まない」「もともと飲まない」を合わせた“飲まない”の割合が 58.5%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



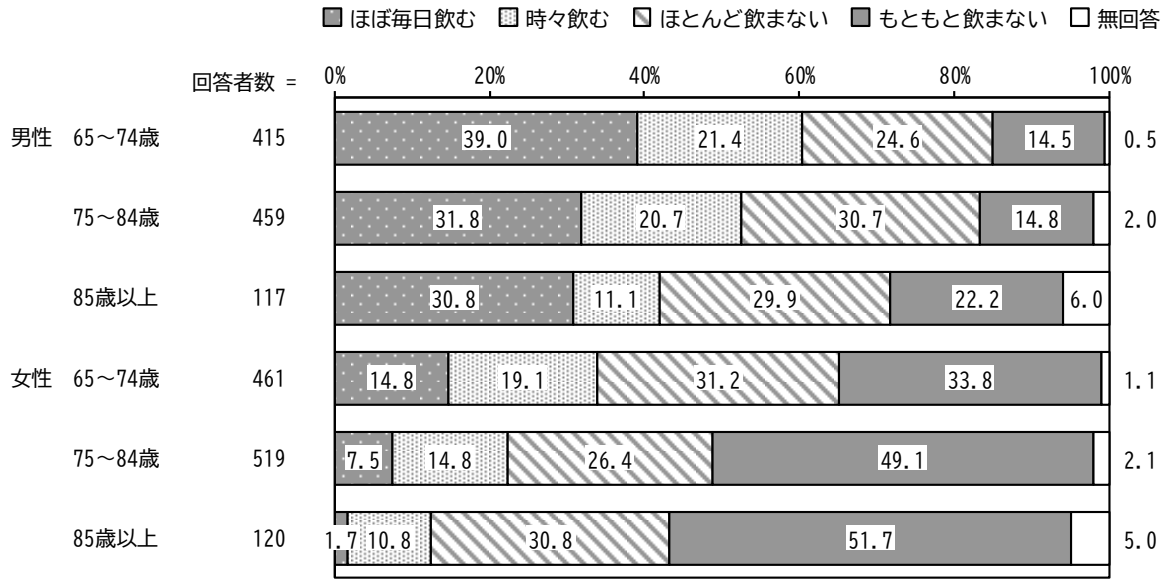
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で“飲む”の割合が高く、要支援認定者等で“飲まない”の割合が高くなっています。



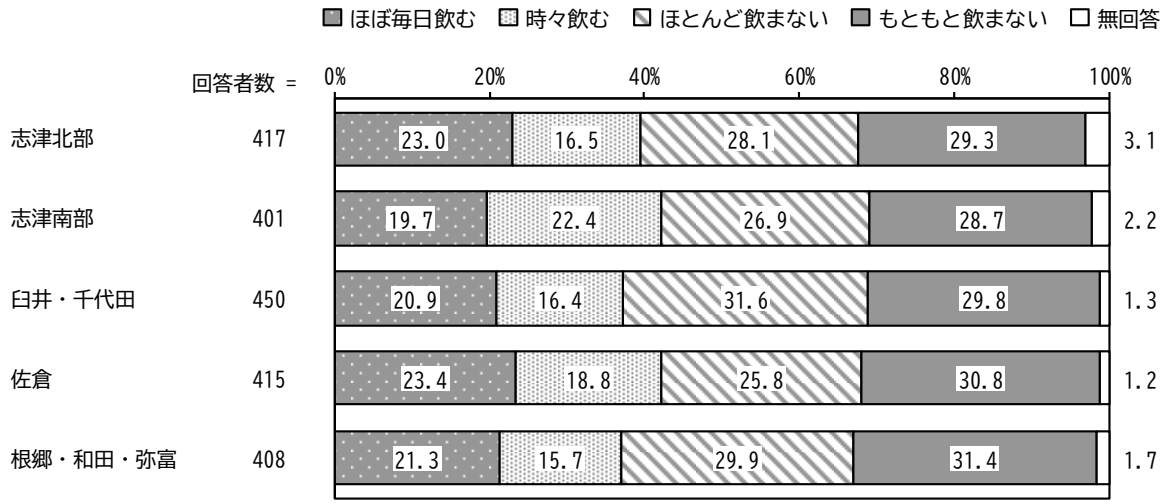
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“飲まない”の割合が高くなっています。また、男性の 65～74 歳で「ほぼ毎日飲む」、女性の 75～84 歳、85 歳以上で「もともと飲まない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

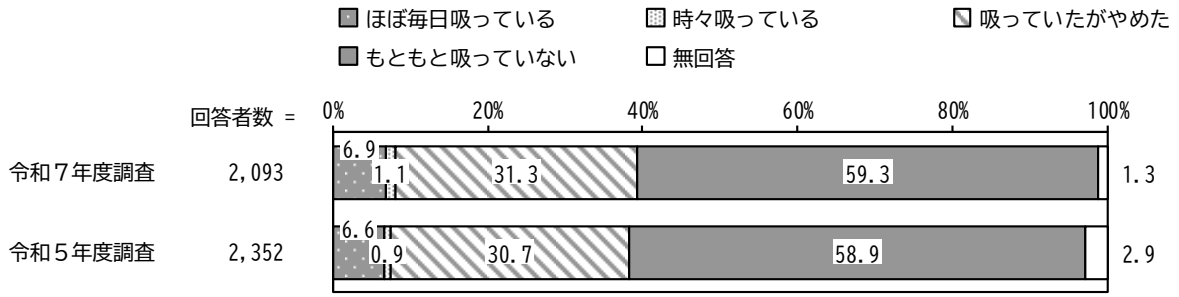
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（6）タバコは吸っていますか

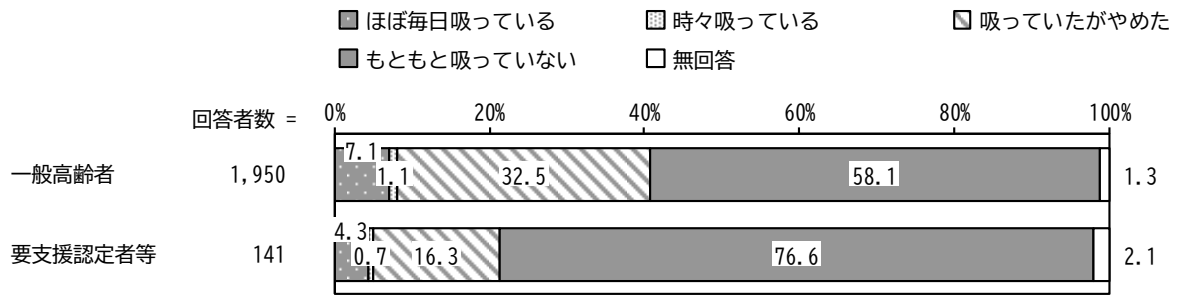
「もともと吸っていない」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 31.3%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



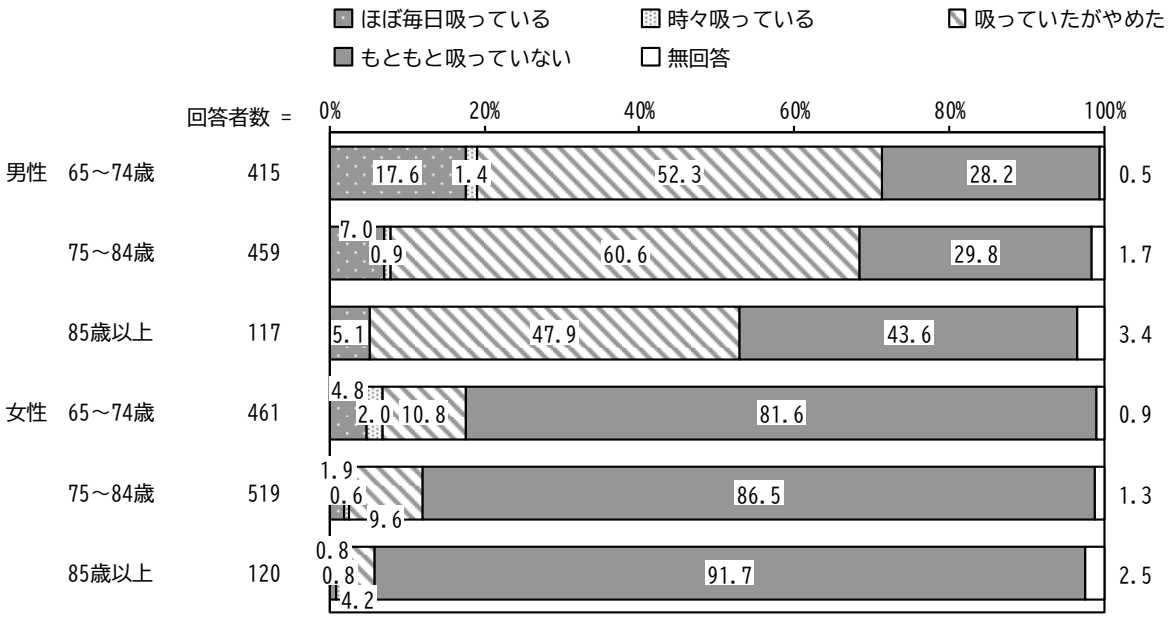
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「吸っていたがやめた」の割合が高く、要支援認定者等で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



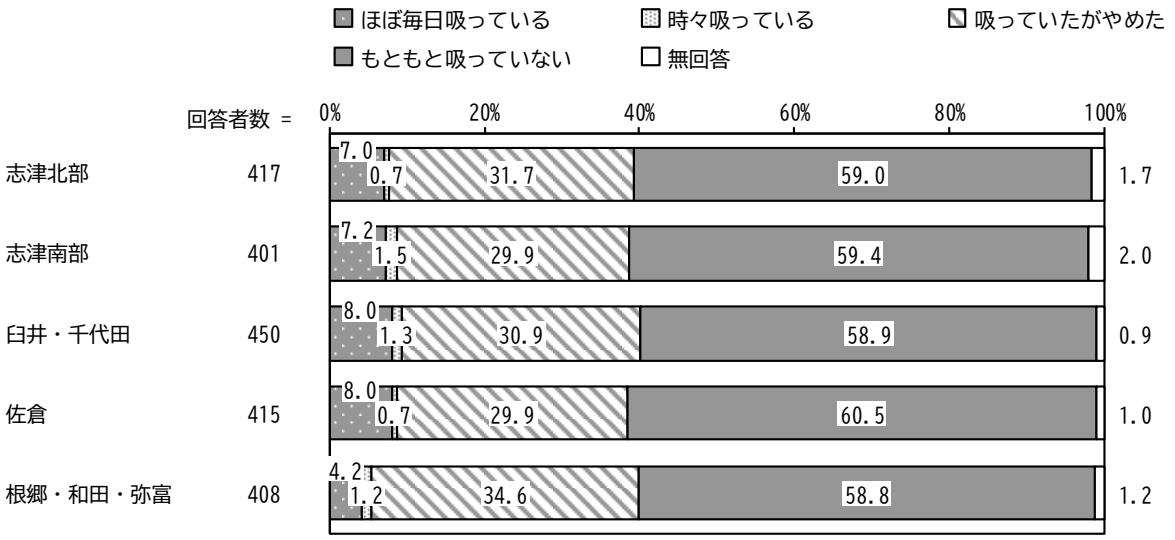
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「もともと吸っていない」の割合が高く、男性では「ほぼ毎日吸っている」の割合が低く、女性では「吸っていたがやめた」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

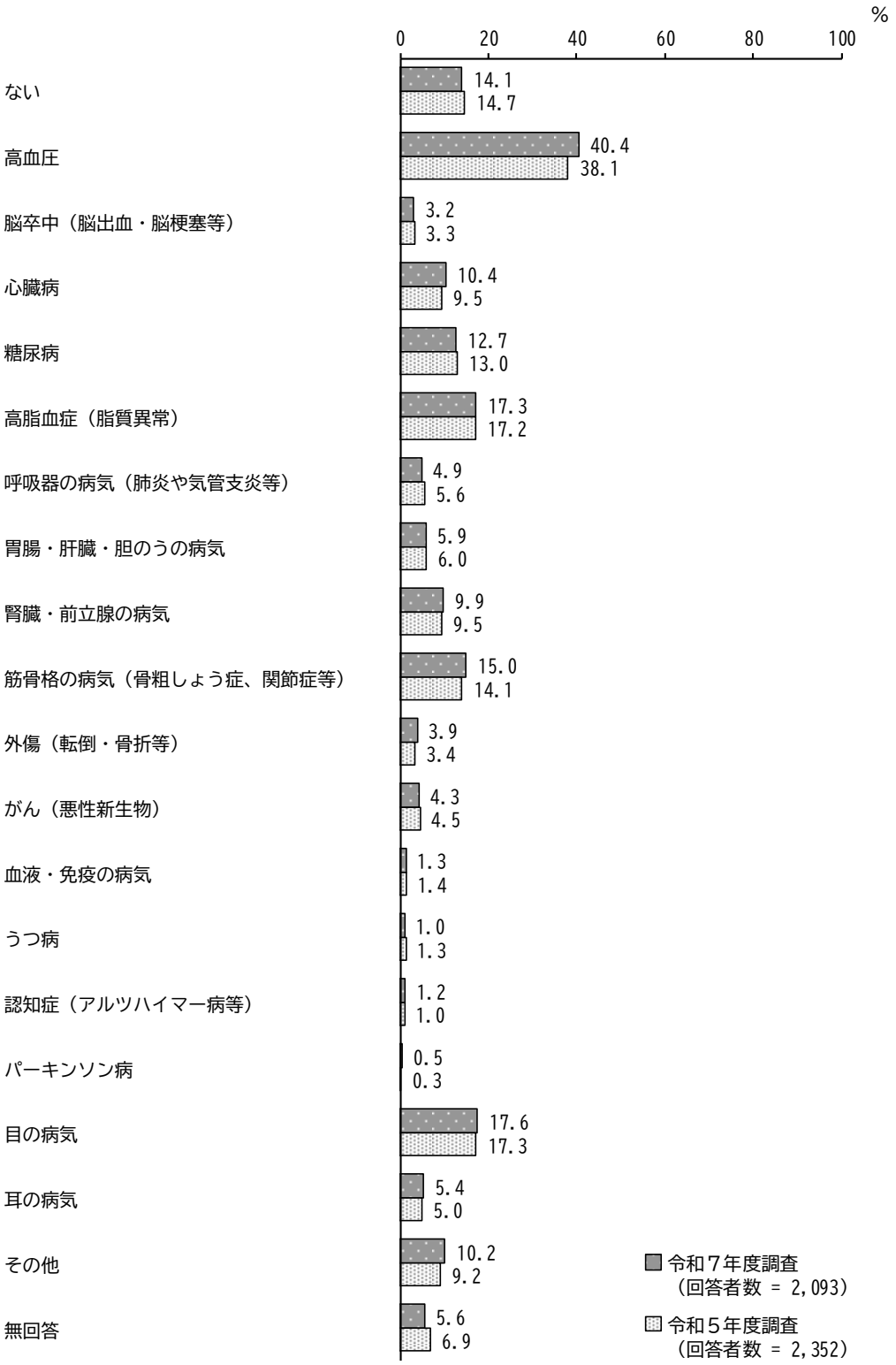
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（7）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 17.6%、「高脂血症（脂質異常）」の割合が 17.3%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「心臓病」「腎臓・前立腺の病気」「耳の病気」の割合が低く、要支援認定者等で「高血圧」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」「腎臓・前立腺の病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「目の病気」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全　体	2,093	14.1	40.4	3.2	10.4	12.7	17.3	4.9	5.9	9.9	15.0
一般高齢者	1,950	14.7	39.9	2.6	9.7	12.7	17.6	4.7	5.6	9.4	13.5
要支援認定者等	141	5.7	47.5	12.8	19.9	12.1	13.5	7.8	9.9	17.0	35.5

区分	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全　体	3.9	4.3	1.3	1.0	1.2	0.5	17.6	5.4	10.2	5.6
一般高齢者	3.0	4.4	1.2	1.0	1.1	0.4	17.2	5.1	9.9	5.7
要支援認定者等	16.3	2.8	2.8	1.4	3.5	2.1	22.7	9.9	13.5	3.5

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「ない」の割合が低く、女性では「高血圧」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」「糖尿病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「目の病気」の割合が高く、「ない」「高脂血症（脂質異常）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全　体	2,093	14.1	40.4	3.2	10.4	12.7	17.3	4.9	5.9	9.9	15.0
男性　65～74歳	415	14.7	43.6	1.9	10.8	18.1	20.0	4.8	3.4	12.5	4.8
75～84歳	459	10.9	43.8	4.6	11.8	17.6	11.8	5.0	7.4	20.7	5.0
85歳以上	117	7.7	40.2	6.0	22.2	13.7	14.5	5.1	8.5	27.4	7.7
女性　65～74歳	461	21.3	31.5	1.3	5.4	5.4	23.2	3.7	5.9	2.2	20.6
75～84歳	519	13.1	39.9	2.5	8.7	10.2	17.5	5.6	6.2	2.5	25.2
85歳以上	120	7.5	53.3	10.8	18.3	12.5	9.2	5.8	5.8	4.2	30.0

区分	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全　体	3.9	4.3	1.3	1.0	1.2	0.5	17.6	5.4	10.2	5.6
男性　65～74歳	1.7	4.1	1.7	1.0	0.7	0.5	15.7	3.9	11.1	5.1
75～84歳	3.3	7.2	1.1	1.5	1.1	0.7	20.5	5.4	9.4	5.9
85歳以上	3.4	2.6	1.7	0.0	3.4	0.0	20.5	11.1	10.3	7.7
女性　65～74歳	2.2	3.3	0.9	1.1	0.7	0.0	14.1	4.1	11.3	6.1
75～84歳	5.4	3.3	1.5	0.6	1.3	0.6	17.3	5.8	10.2	4.8
85歳以上	15.0	3.3	0.8	1.7	3.3	1.7	25.0	8.3	5.8	5.0

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

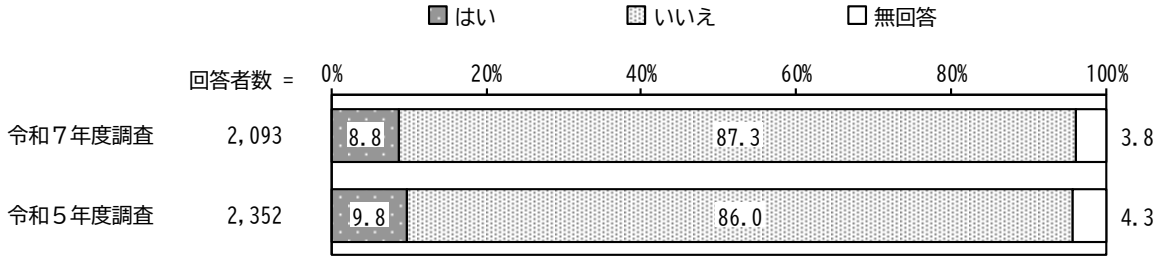
区分	回答者数（件）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全　体	2,093	14.1	40.4	3.2	10.4	12.7	17.3	4.9	5.9	9.9	15.0
志津北部	417	15.3	38.8	3.1	10.1	12.7	17.7	5.5	7.2	11.0	14.9
志津南部	401	13.0	40.1	3.5	11.7	12.5	16.7	5.7	4.2	9.0	16.7
臼井・千代田	450	14.4	39.6	3.1	10.7	14.4	16.9	4.7	4.7	8.9	12.2
佐倉	415	11.6	43.9	2.7	11.1	12.5	17.6	3.1	6.7	9.2	14.7
根郷・和田・弥富	408	16.2	39.7	3.9	8.3	11.0	17.9	5.4	6.9	11.5	16.9

区分	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全　体	3.9	4.3	1.3	1.0	1.2	0.5	17.6	5.4	10.2	5.6
志津北部	4.6	3.4	0.5	0.7	1.2	0.5	18.7	5.8	9.8	6.0
志津南部	4.2	4.5	0.7	1.0	1.2	0.5	16.2	5.2	10.5	6.7
臼井・千代田	3.8	4.7	2.2	1.8	2.0	0.2	18.4	5.6	12.0	4.0
佐倉	4.3	4.6	1.7	0.7	1.2	0.7	16.9	5.5	9.2	5.8
根郷・和田・弥富	2.7	4.2	1.2	0.7	0.5	0.5	17.6	4.9	9.3	5.4

問９　認知症にかかる相談窓口の把握について

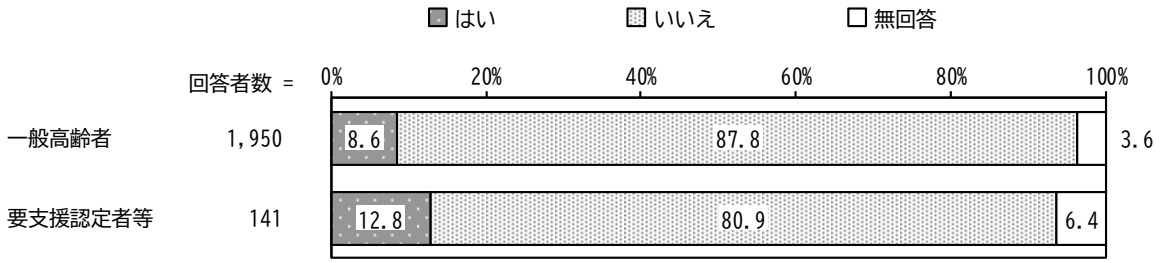
（１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」の割合が 8.8%、「いいえ」の割合が 87.3%となっています。
令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



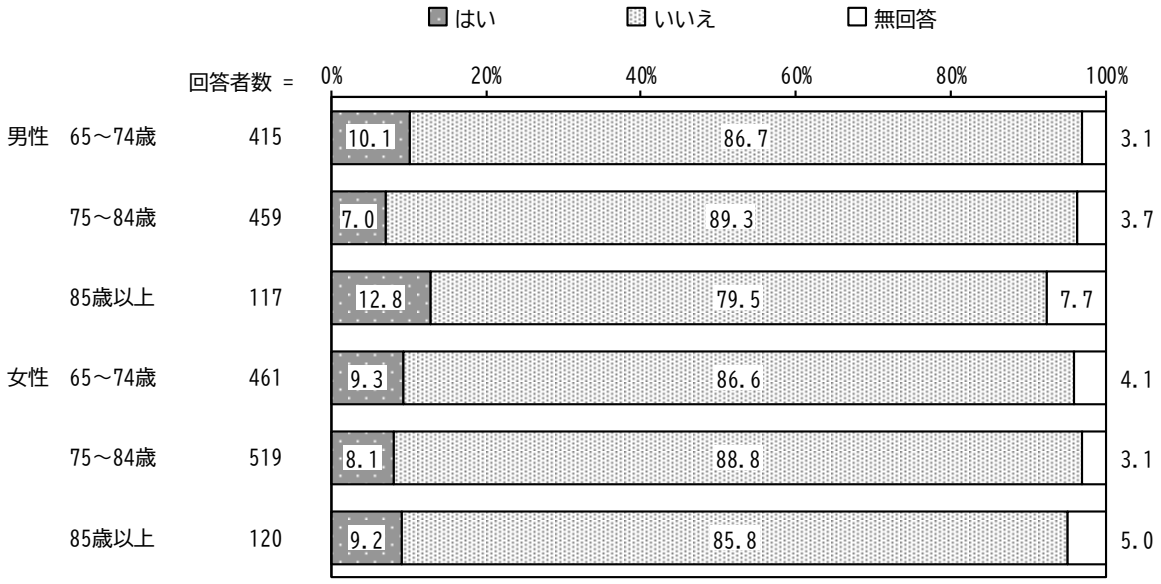
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



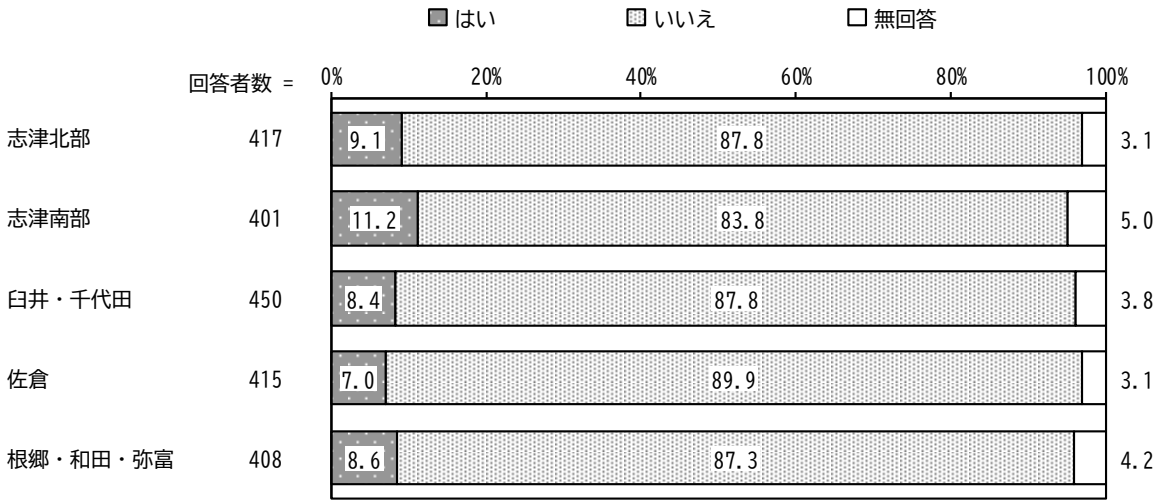
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 85 歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

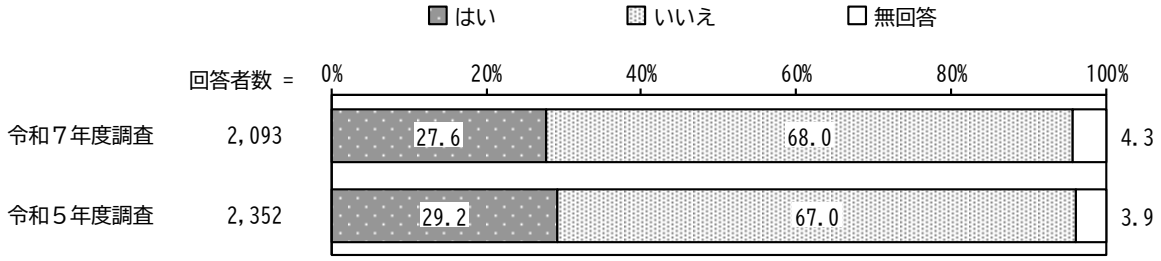
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（２）認知症に関する相談窓口を知っていますか

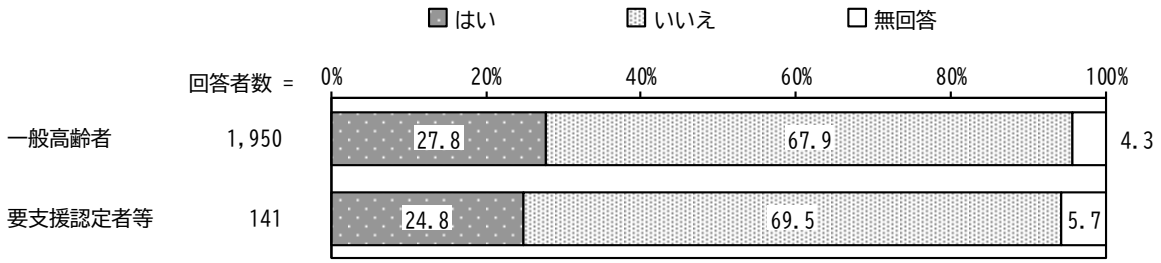
「はい」の割合が 27.6%、「いいえ」の割合が 68.0%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



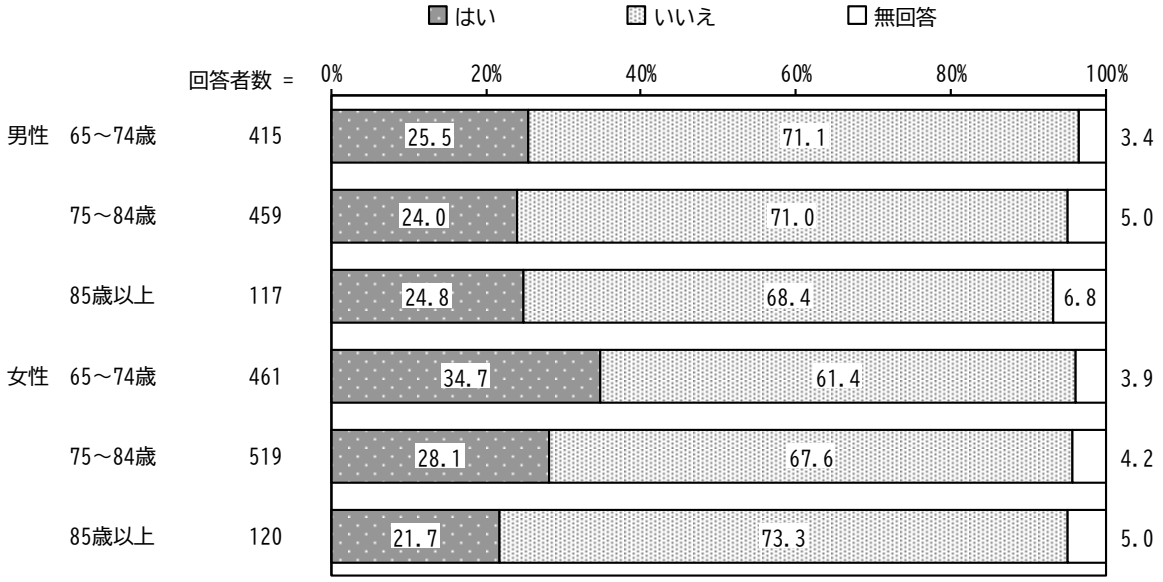
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



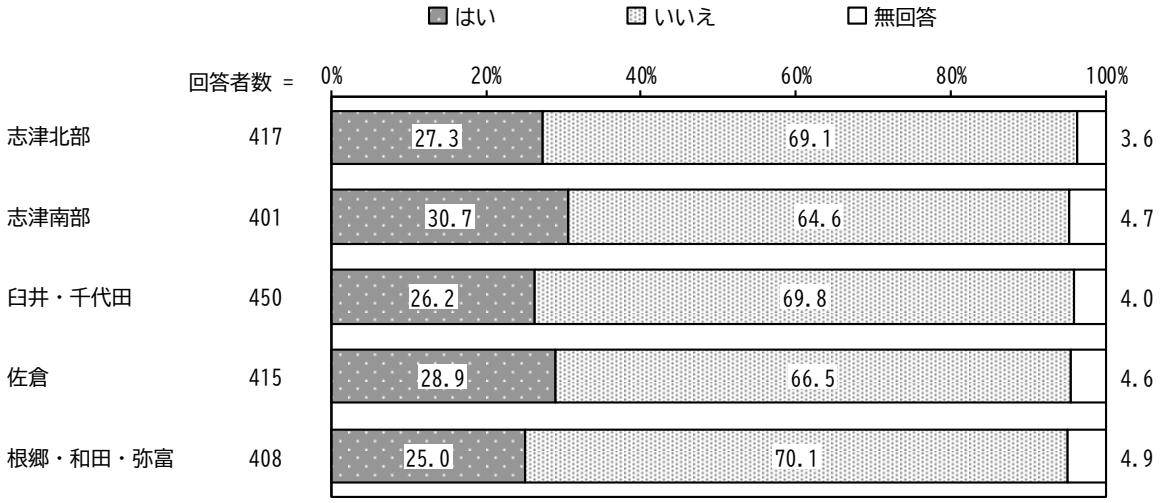
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

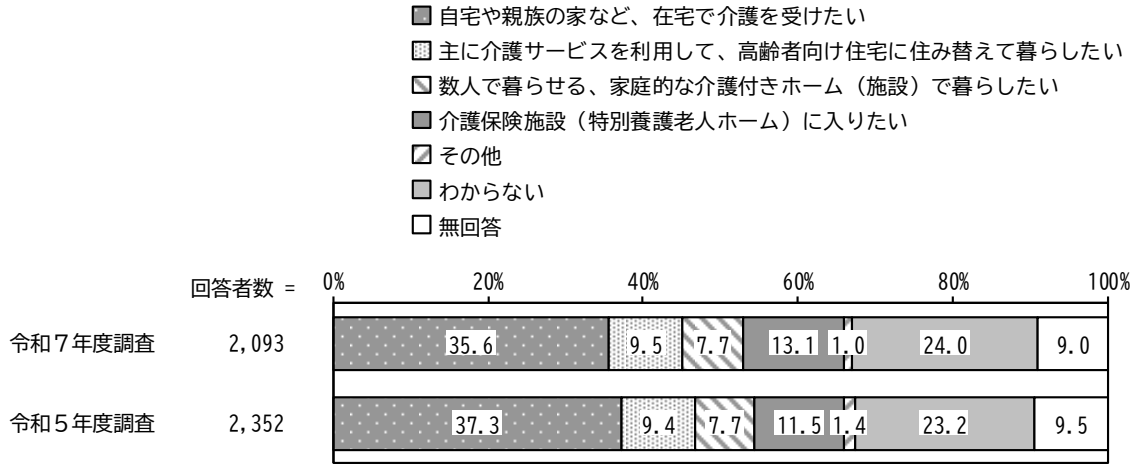


問 10　今後の介護保険制度にかかわる施策について

（1）あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか

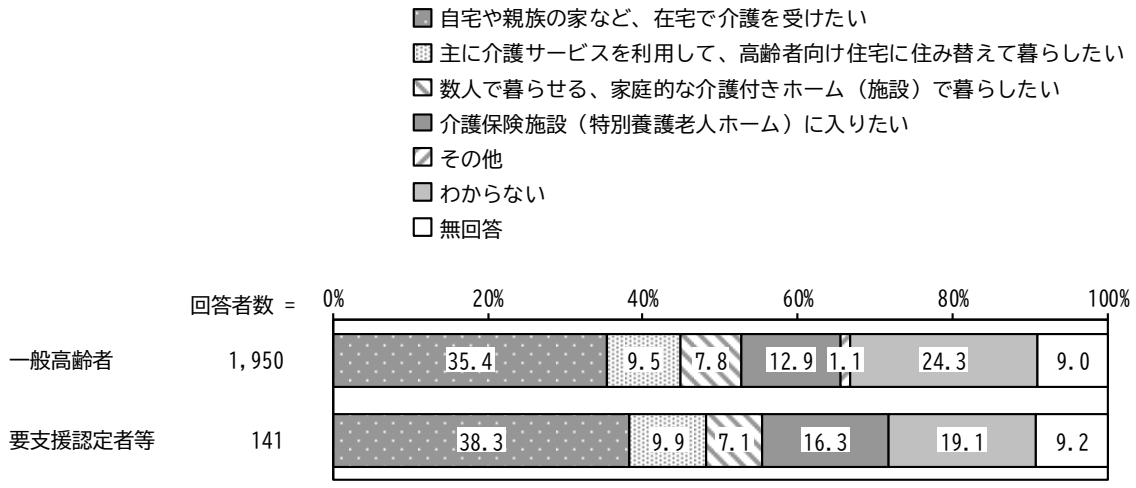
「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「介護保険施設（特別養護老人ホーム）に入りたい」の割合が 13.1%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



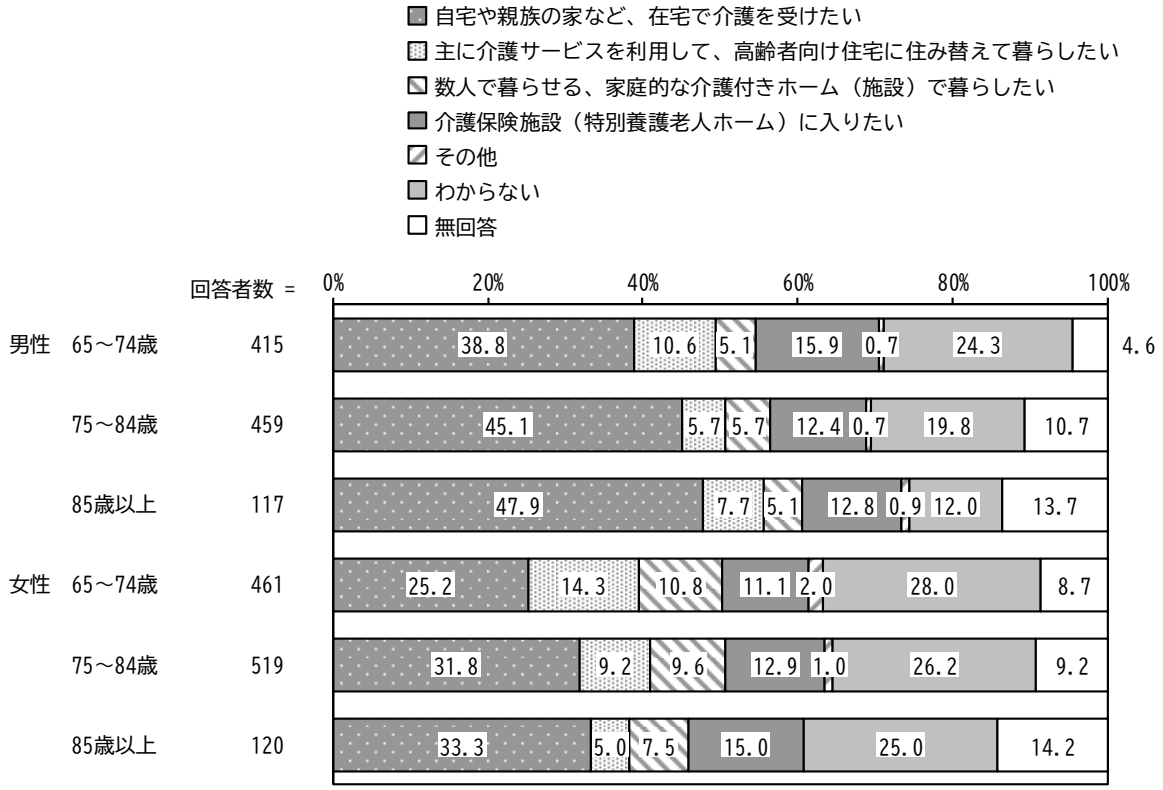
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



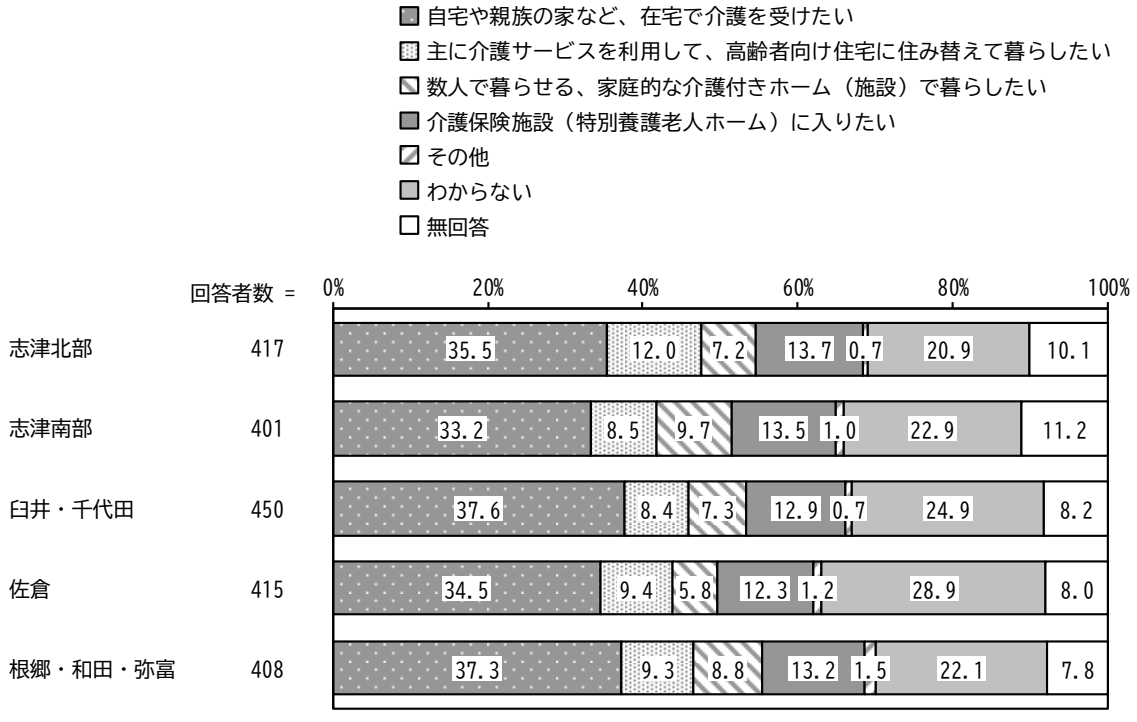
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」の割合が高く、女性では「主に介護サービスを利用して、高齢者向け住宅に住み替えて暮らしたい」「数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい」の割合が低くなっていきます。



【日常生活圏域別】

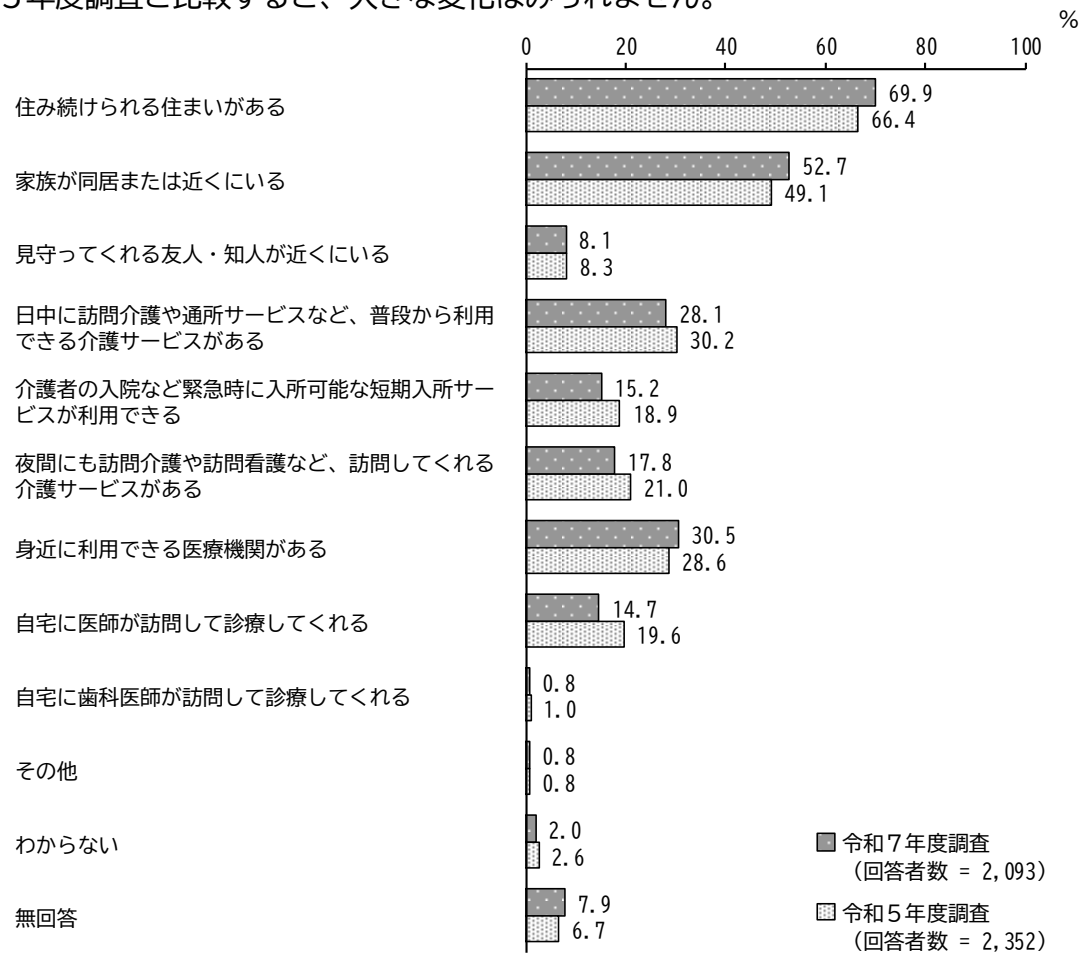
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（2）自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが必要であると思いますか（３つまでに○）

「住み続けられる住まいがある」の割合が 69.9%と最も高く、次いで「家族が同居または近くにいる」の割合が 52.7%、「身近に利用できる医療機関がある」の割合が 30.5%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「住み続けられる住まいがある」「家族が同居または近くにいる」「身近に利用できる医療機関がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる	夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある	身近に利用できる医療機関がある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	自宅に歯科医師が訪問して診療してくれる	その他	わからない	無回答
全　体	2,093	69.9	52.7	8.1	28.1	15.2	17.8	30.5	14.7	0.8	0.8	2.0	7.9
一般高齢者	1,950	70.7	53.6	8.0	28.1	15.4	17.7	31.3	14.6	0.7	0.8	1.9	7.4
要支援認定者等	141	58.2	39.7	9.9	29.1	12.8	19.1	19.9	16.3	2.1	0.7	2.1	14.2

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」「夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある」の割合が高く、「自宅に医師が訪問して診療してくれる」の割合が低くなっています。

また、女性では年齢が下がるほど「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」「介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる」「夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある」「身近に利用できる医療機関がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる	夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある	身近に利用できる医療機関がある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	自宅に歯科医師が訪問して診療してくれる	その他	わからない	無回答
全　体	2,093	69.9	52.7	8.1	28.1	15.2	17.8	30.5	14.7	0.8	0.8	2.0	7.9
男性　65～74歳	415	72.0	59.5	6.5	28.9	14.9	17.6	34.7	10.1	1.0	1.0	1.2	7.2
75～84歳	459	74.9	59.9	6.5	22.4	9.6	13.3	37.5	13.3	0.4	1.1	2.2	7.0
85歳以上	117	67.5	45.3	12.8	19.7	12.0	12.8	23.1	18.8	1.7	0.9	0.0	13.7
女性　65～74歳	461	65.7	50.5	8.2	38.6	20.4	23.0	29.1	16.1	0.9	0.4	1.7	6.3
75～84歳	519	70.1	42.6	10.0	27.2	17.1	18.9	26.0	17.7	0.6	0.6	2.9	8.9
85歳以上	120	60.0	60.0	6.7	20.0	12.5	15.8	22.5	14.2	1.7	0.8	1.7	10.0

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

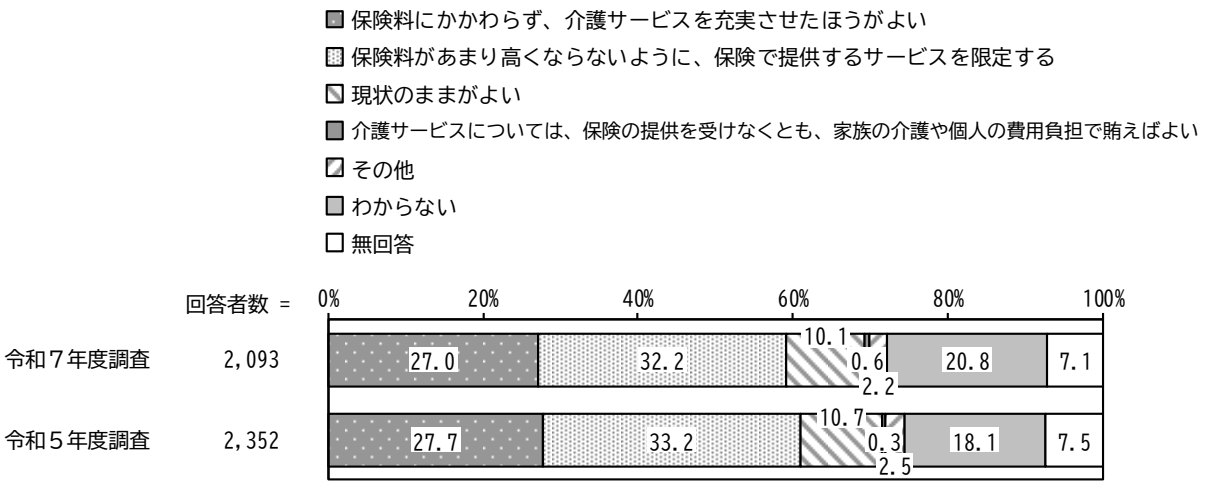
単位：%

区分	回答者数（件）	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる	夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある	身近に利用できる医療機関がある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	自宅に歯科医師が訪問して診療してくれる	その他	わからない	無回答
全　体	2,093	69.9	52.7	8.1	28.1	15.2	17.8	30.5	14.7	0.8	0.8	2.0	7.9
志津北部	417	70.5	49.6	8.4	30.2	16.8	20.4	33.1	16.1	1.2	0.5	1.2	6.5
志津南部	401	68.3	54.6	9.5	28.7	13.2	14.7	30.4	13.2	1.2	1.2	1.7	8.5
臼井・千代田	450	71.3	50.7	8.2	27.1	16.9	20.0	30.0	16.0	0.9	0.4	1.8	7.3
佐倉	415	71.6	55.9	7.5	26.3	13.5	14.7	31.8	13.0	0.2	1.0	2.2	8.0
根郷・和田・弥富	408	67.4	52.7	7.1	28.7	15.4	18.9	27.5	15.2	0.5	0.7	2.7	9.3

（3）あなたは、保険料の負担と介護保険のサービスについてどう思いますか

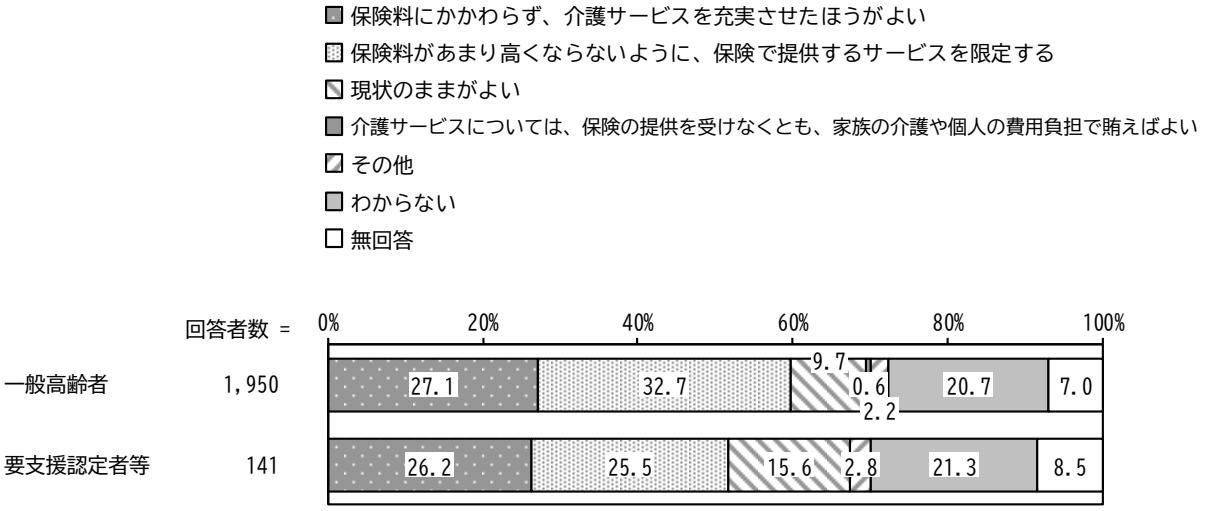
「保険料があまり高くならないように、保険で提供するサービスを限定する」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「保険料にかかわらず、介護サービスを充実させたほうがよい」の割合が 27.0%、「現状のままがよい」の割合が 10.1%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



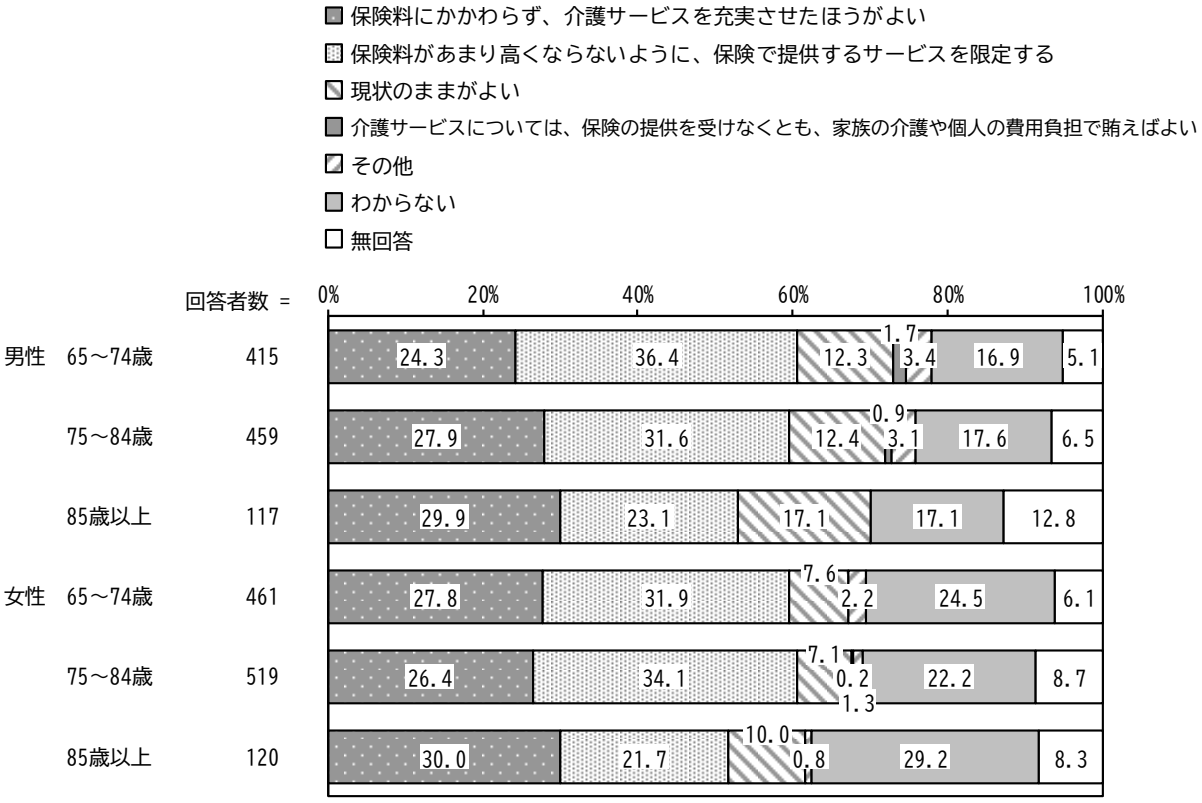
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「保険料があまり高くならないように、保険で提供するサービスを限定する」の割合が高く、要支援認定者等で「現状のままがよい」の割合が高くなっています。



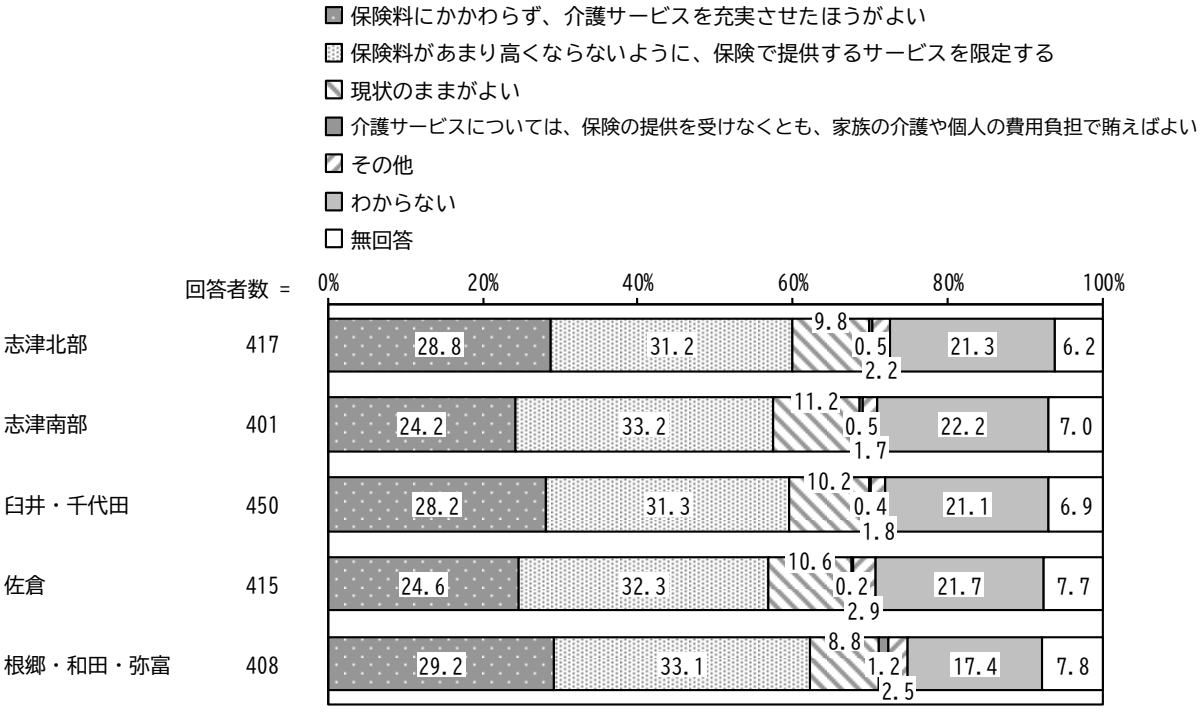
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「保険料にかかわらず、介護サービスを充実させたほうがよい」「現状のままがよい」の割合が高く、「保険料があまり高くならないように、保険で提供するサービスを限定する」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

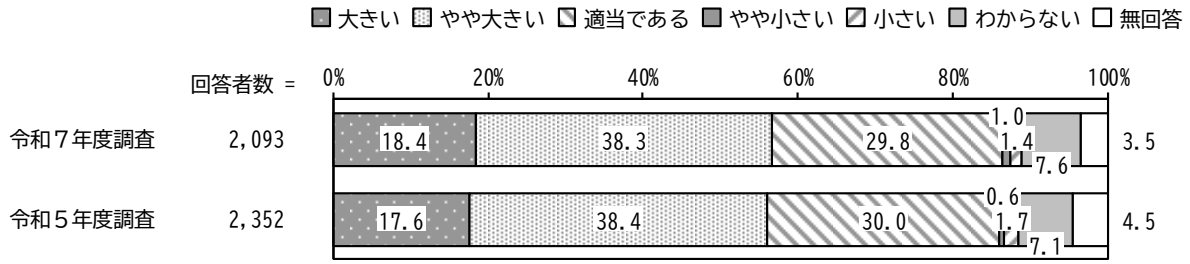
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（４）現在、あなたが納付されている介護保険料について、家計への影響は次のうちどれに近いですか

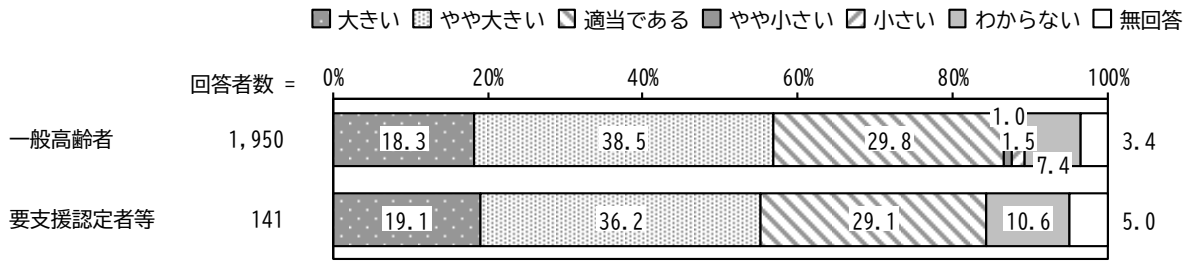
「大きい」「やや大きい」を合わせた“大きい”の割合が 56.7%、「適当である」の割合が 29.8%、「やや小さい」「小さい」を合わせた“小さい”の割合が 2.4%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



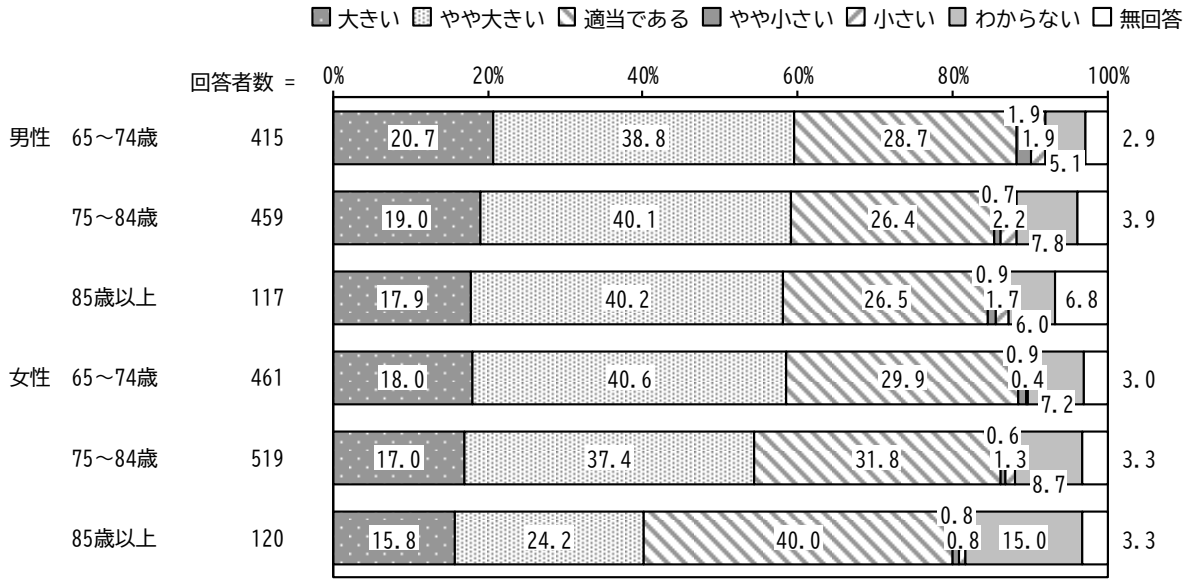
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、大きな差はみられません。



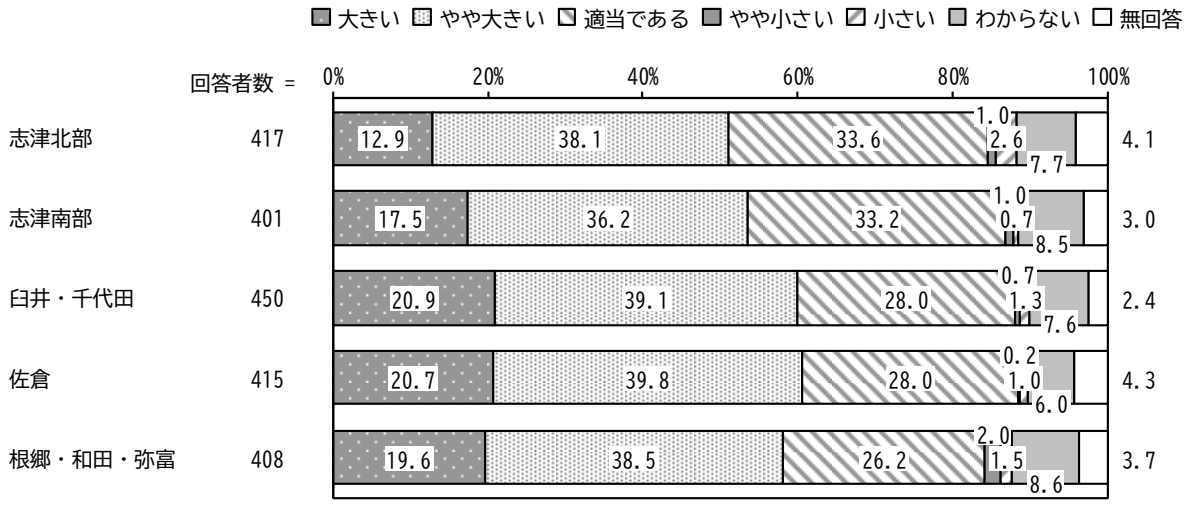
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「適当である」の割合が高く、“大きい”の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

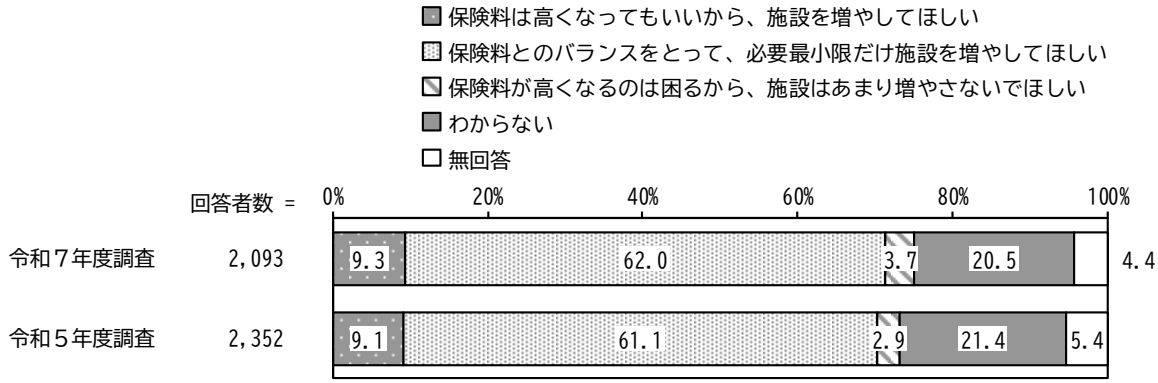
日常生活圏域別にみると、志津北部で“大きい”の割合が低くなっています。



（５）特別養護老人ホームの整備に関するお考えに最も近いものは、次のうちどれですか

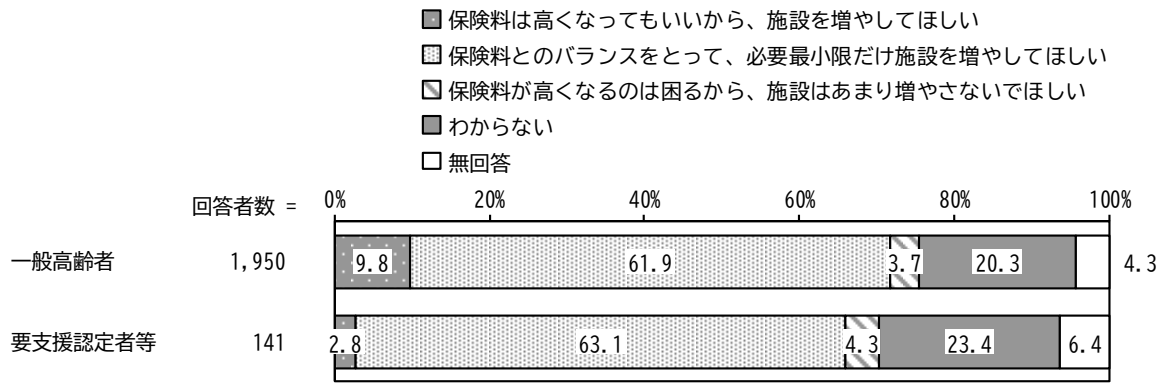
「保険料は高くなってもいいから、施設を増やしてほしい」の割合が 9.3%、「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」の割合が 62.0%、「保険料が高くなるのは困るから、施設はあまり増やさないでほしい」の割合が 3.7%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



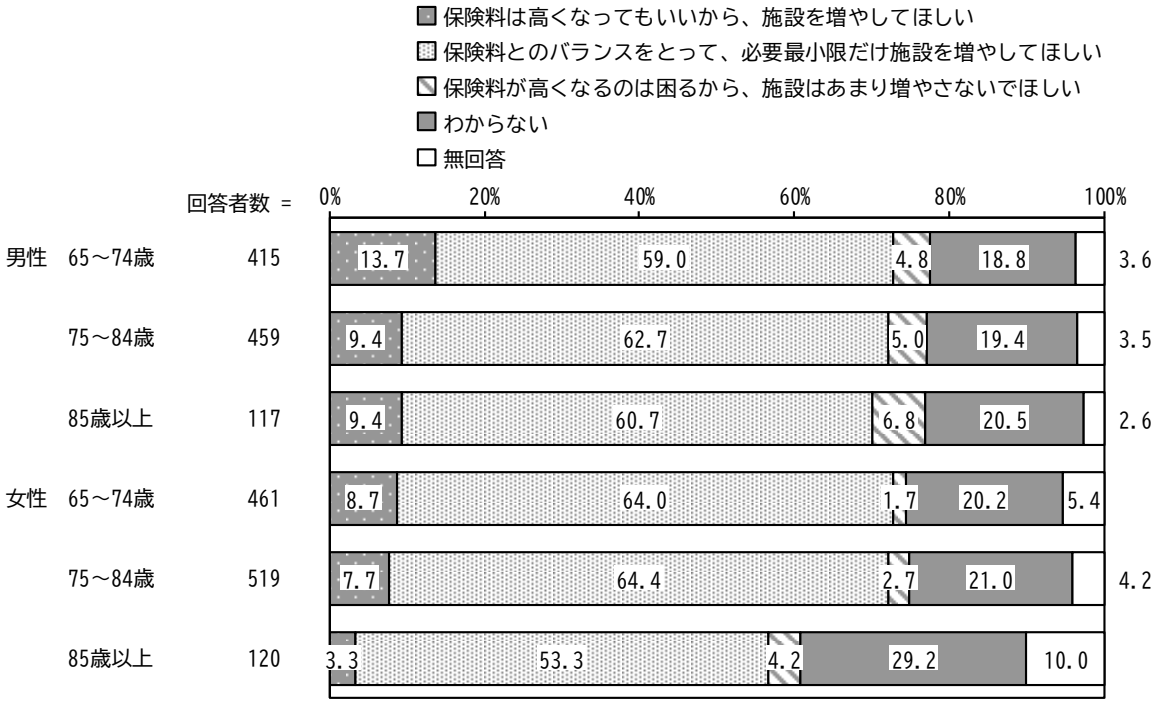
【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「保険料は高くなってもいいから、施設を増やしてほしい」の割合が高くなっています。



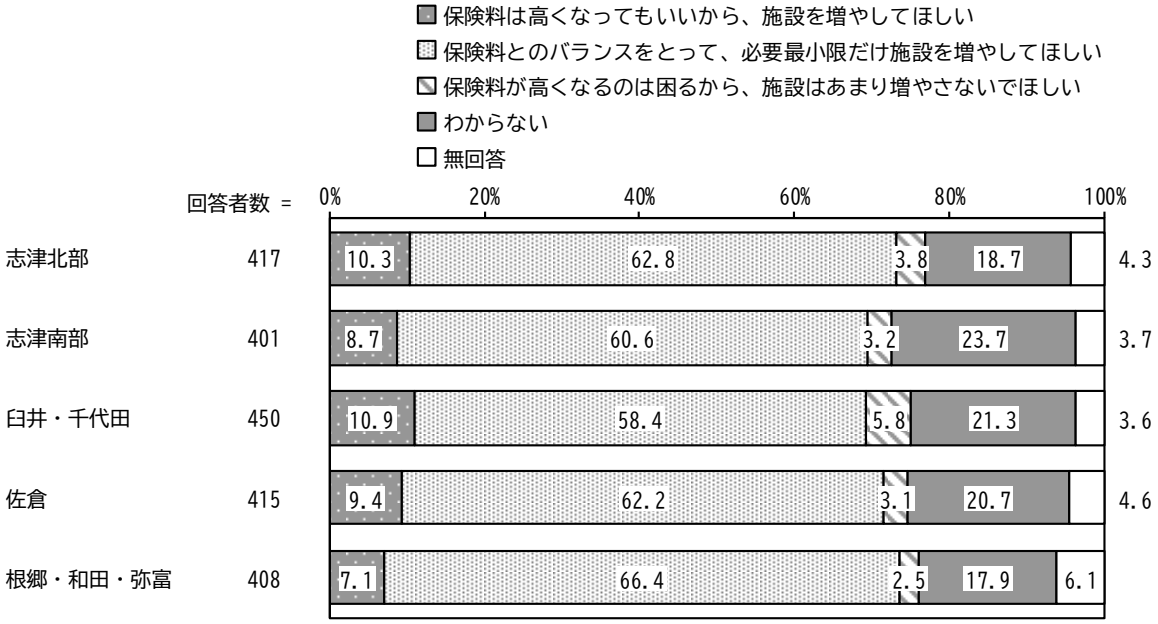
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の「85 歳以上で「保険料は高くなってもいいから、施設を増やしてほしい」「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」の割合が低くなっています。



【日常生活圏域別】

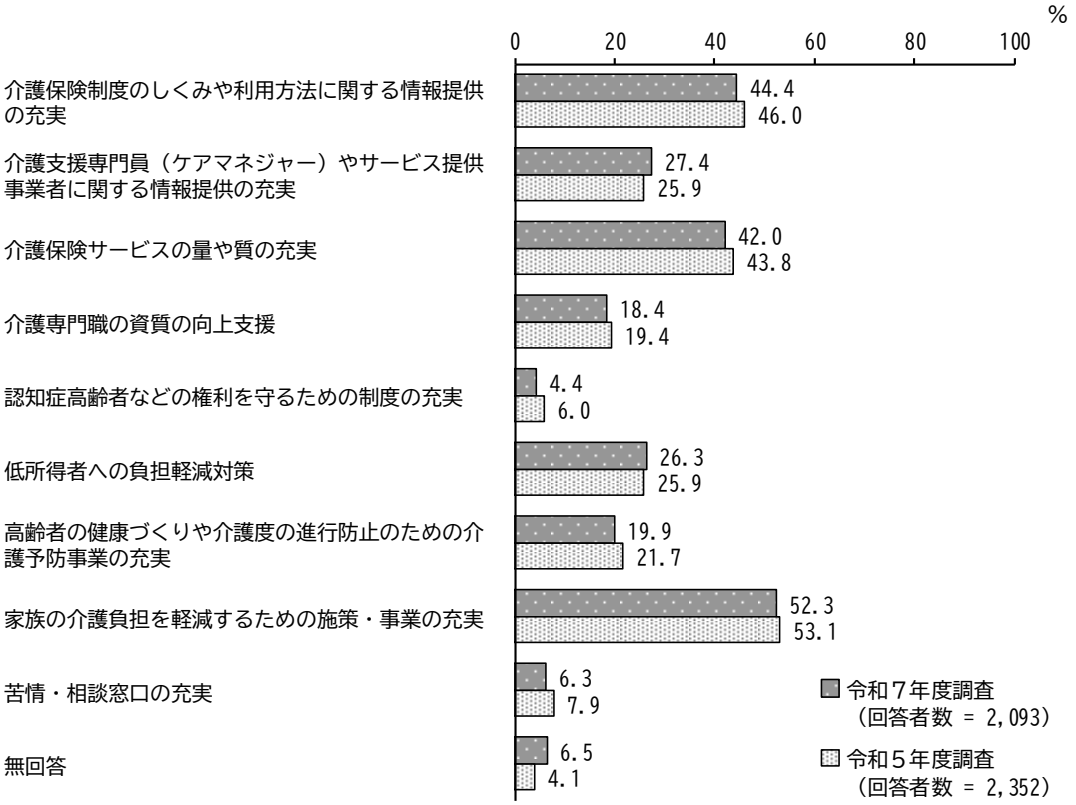
日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



（6）介護保険に関わる施策で重点的に取り組んでほしいものは何ですか（３つまでに○）

「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実」の割合が 44.4%、「介護保険サービスの量や質の充実」の割合が 42.0%となっています。

令和５年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【一般・認定者別】

一般・認定者別にみると、一般高齢者で「介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実」「介護専門職の資質の向上支援」「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」の割合が高く、要支援認定者等で「低所得者への負担軽減対策」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実	介護支援専門員（ケアマネジャー）やサービス提供事業者に関する情報提供の充実	介護保険サービスの量や質の充実	介護専門職の資質の向上支援	認知症高齢者などの権利を守るための制度の充実	低所得者への負担軽減対策	高齢者の健康づくりや介護度の進行防止のための介護予防事業の充実	家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実	苦情・相談窓口の充実	無回答
全　体	2,093	44.4	27.4	42.0	18.4	4.4	26.3	19.9	52.3	6.3	6.5
一般高齢者	1,950	45.3	27.1	42.3	19.0	4.4	25.9	20.1	53.2	5.9	6.1
要支援認定者等	141	30.5	31.9	38.3	9.9	5.0	32.6	18.4	40.4	9.9	12.1

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「介護専門職の資質の向上支援」「低所得者への負担軽減対策」「高齢者の健康づくりや介護度の進行防止のための介護予防事業の充実」の割合が高く、「介護支援専門員（ケアマネジャー）やサービス提供事業者に関する情報提供の充実」の割合が低くなっています。

女性では年齢が下がるほど「介護専門職の資質の向上支援」「高齢者の健康づくりや介護度の進行防止のための介護予防事業の充実」「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」の割合が高く、「低所得者への負担軽減対策」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実	介護支援専門員（ケアマネジャー）やサービス提供事業者に関する情報提供の充実	介護保険サービスの量や質の充実	介護専門職の資質の向上支援	認知症高齢者などの権利を守るための制度の充実	低所得者への負担軽減対策	高齢者の健康づくりや介護度の進行防止のための介護予防事業の充実	家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実	苦情・相談窓口の充実	無回答
全　体	2,093	44.4	27.4	42.0	18.4	4.4	26.3	19.9	52.3	6.3	6.5
男性　65～74歳	415	41.0	22.9	40.7	22.4	5.5	29.2	23.6	54.9	5.3	3.6
75～84歳	459	48.1	25.7	39.2	16.6	3.9	28.8	19.2	55.8	6.8	5.4
85歳以上	117	46.2	30.8	44.4	16.2	0.9	21.4	17.1	43.6	9.4	7.7
女性　65～74歳	461	44.3	29.3	50.8	20.8	3.0	19.1	21.0	59.4	4.8	5.2
75～84歳	519	44.9	29.9	38.0	16.6	6.2	28.9	19.1	46.1	6.7	8.5
85歳以上	120	37.5	28.3	39.2	12.5	4.2	29.2	12.5	38.3	7.5	15.0

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実	介護支援専門員（ケアマネジャー）やサービス提供事業者に関する情報提供の充実	介護保険サービスの量や質の充実	介護専門職の資質の向上支援	認知症高齢者などの権利を守るための制度の充実	低所得者への負担軽減対策	高齢者の健康づくりや介護度の進行防止のための介護予防事業の充実	家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実	苦情・相談窓口の充実	無回答
全　体	2,093	44.4	27.4	42.0	18.4	4.4	26.3	19.9	52.3	6.3	6.5
志津北部	417	45.3	27.8	44.4	20.9	5.8	24.5	21.8	50.6	4.8	5.5
志津南部	401	45.1	29.9	42.6	17.0	4.5	27.2	20.4	49.4	6.7	7.7
臼井・千代田	450	44.2	29.1	40.7	18.2	4.0	24.0	21.1	53.1	5.8	5.3
佐倉	415	41.4	23.4	40.7	17.8	5.1	28.7	19.8	54.9	8.0	6.3
根郷・和田・弥富	408	45.6	26.7	41.9	18.1	2.9	27.7	16.4	53.4	5.9	7.6

（7）介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、 ご自由にお書きください。

分類回答	件数
1．介護保険料、利用料負担、利用限度額等について	57
2．介護保険制度の利用条件や使いやすさなど	33
3．サービス内容について	37
4．介護サービスの質の向上、人材確保・育成	52
5．施設サービス、施設整備	58
6．制度に関する理解促進、情報提供	79
7．家族や介護者の負担・支援	17
8．介護認定について	13
9．介護予防・健康増進	44
10．交通手段	47
11．その他	130

【分類別の主な意見など】

※複数のカテゴリに該当する意見については、いずれか一つのカテゴリに掲載しています。また、掲載に当たり、一部表現を要約・加工しています。

1　介護保険料、利用料負担、利用限度額等について

- 収入の多少、有無にかかわらず、すべての高齢者が同等の介護・福祉サービスを受けられる制度が望ましい。
- 介護保険料は、フロー（収入）だけでなく、ストック（資産状況）も含めて設定できるとよい。
- 「介護施策には費用がかかる」ということを前提にせず、保険料を低く抑え充実した施策の提供に努力してほしい。
- 年金生活者であるが、介護保険料の負担が大きく、また制度の運営や費用対効果に疑問を感じているので、もう少し保険料を下げてほしい。
- 年金から介護保険料が引かれることは介護のために必要と思っているが、全く介護を利用していない者においても現状の生活は厳しいので、その事を考えて取り組んでほしい。
- 低所得者の介護保険に関わる負担を出来るだけ軽減してほしい。
- 介護サービスの充実は大切であるが、過剰なサービスはどうか。年金生活者にとって介護保険料、健康保険料は高いので、生活資金に不安を感じている。
- 現在の異常な物価高で生活が大変な中、介護保険料は高いので上がるのは困る。
- 介護保険料金は高く今後も上がる可能性が大きいので、保険料を抑えて個々に適切な介護ができるか、もっと考えてほしい。
- 介護保険料は、収入段階をもう少し細かく分類してほしい。

- 過剰なサービス利用は介護保険料の上昇を招くので、サービス利用者の自己負担を多くした方がよい。
- 病気もせず健康なので介護サービスを利用していない。介護保険料を何らかの形で割り引く制度を考えてほしい。
- 介護サービスを受けていない人の保険料が高いので、介護サービスを受けている人の負担は多少増やすべきではないか。
- 介護保険料は高いと感じているが、介護サービスを維持するためには仕方ないと思う。
- 年金で生活でき必要な介護サービスと高齢者福祉サービスを受けられれば、安心して生活できる。
- 自宅で最期を迎えるには主治医や介護サービスが必須ですが、高額年金者はより高い負担でもよいのではないか。
- 年金生活者にとって介護保険料の増額はとても大変なので、もう少し若い時から保険料を徴収してもよいと思う。
- 認知症になっても介護サービス（ショートステイ）を利用しながら、自宅で生活できていることに感謝しているが、今後の利用料について不安がある。

2　介護保険制度の利用条件や使いやすさなど

- 介護保険制度、高齢者福祉サービスは、シンプルで持続可能な制度設計を行い、利用者が長期にわたって安心して使えるようにしてほしい。
- 介護保険制度等には様々な書類が求められるが、手続は簡素化して分かりやすくしてほしい。
- 佐倉市は、ケアマネジャーや介護施設、介護サービスの量が他の市と比べ不足している。
- 本人が望むサービスを受けられるよう、介護従事者の待遇改善等を通じて介護サービスを充実させてほしい。
- 日常生活上の支援（掃除、ごみ出し等）を行った元気な高齢者にポイントを与え、自身が介護サービスを受ける際に、このポイントを利用できるようにしたらどうか。介護保険制度でカバーできない部分をフォローできる。

3　サービス内容について

- 特別養護老人ホームなどの施設の利用には、資金や人数に制限があるので、自宅で訪問介護・看護、医療等のサポートを受けながら、その人らしく暮らせるよう介護サービス等を充実させてほしい。
- 病院に入院中でも、在宅介護者と同様に紙おむつの補助を受けられるようにしてほしい。
- 一人暮らし高齢者が増加することから、緊急時の短期入所サービスを充実させてほしい。
- 誰もがサービス付高齢者向け住宅や有料老人ホームに入居できないので、自宅で過ごすことができるよう訪問介護事業を充実させてほしい。
- 高齢者のみ世帯で１人が入院し、もう１人が単独で生活できない場合に、宿泊等の生活支援を受けられる施設等がほしい。
- 認知症高齢者がデイサービスの利用に向けて、介護者も参加できる、介護事業所での昼食会等の開催を市で支援してほしい。
- 高齢化社会において、介護・福祉サービスの量を増やし、質を高める施策を充実してほしい。

4　介護サービスの質の向上、人材確保・育成

- 介護が必要な高齢者は増加していくので、介護専門職の質の向上を図るための研修を重ねたり、賃金を上げたりすることが重要です。
- 介護保険制度の充実はありがたいが、利用者を支えるケアマネジャーや介護施設職員の待遇改善も必要と思う。
- 介護専門職の資質の向上のための研修や給料の支援を公的財源で行ってほしい。
- 介護専門職が働きがいを感じることのできる労働環境と収入の改善が必要で、佐倉市独自の手当などを考えてよいのではないか。
- 介護従事者の社会的評価を向上させるとともに、待遇改善により介護人材の確保とレベルアップを図ってほしい。
- 高齢者が高齢者を介護する機会が増えていくので、介護人材の不足に対する対策を早急に検討すべきである。
- 介護施設で働いている外国人等の方が日本語をきちんと使えているかという懸念があります。外国人労働力が必要となっている現状を踏まえ、日本語を学ぶ機会を作ってほしい。
- 介護施設には、認知症対応の専門知識を持った職員による認知機能の機能維持・向上のための生活支援を行ってほしい。
- 施設は建てられても、そこで働く職員は確保できるのか、人手の足りない施設には入りたくない。
- 介護サービスを利用しようとして、なかなかケアマネジャーが見つからないことがあったが、ケアマネジャーが不足しているのではないか。よい制度があっても入り口で足踏み状態となってしまう。
- 介護サービスの質と効果を分析し、無駄のないサービス提供に係る研究と努力をしてほしい。
- 認知症が進行すると在宅生活は難しくなるため、デイサービスやショートステイを利用しながら、一日でも長く自宅で暮らせることがよいと思う。
- 人材不足の影響か介護サービスの提供が不十分との話を聞くが、自らの体験からも実感できる。施設を増やせば、その分人手不足が増大するというジレンマにどう対処していくのか。
- 介護施設を利用する際に、施設の信頼度や利便性に関する情報提供をしてほしい。
- 公的な機関が、介護事業所・施設の管理運営状況を把握し、適正管理に係る指導をするべき。

5　施設サービス、施設整備

- 要介護認定を受けても特別養護老人ホームになかなか入所できない、年金生活者には有料老人ホームへの入居は無理な状況となっている。高齢者が安心して生活できる社会にしてほしい。
- 特別養護老人ホームの入居待ちがとても多いので、特別養護老人ホームに限って保険料が多少上がっても増やしてほしい。
- 高齢者施設を維持していくためには多額の資金を必要とし経営は大変と思いますので、市補助金等の充実が必要です。
- 介護施設の利用が必要となったときに、施設を利用できない（受け入れ枠に空きがない、順番待ち）のは困る。
- 親の介護を経験したが、家族での介護は精神的、肉体的にとても大変なので、介護施設をもっと増やしてほしい。
- 自分ひとりでの生活が難しくなった時に、年金でも利用できる介護施設を充実させてほしい。
- 介護施設が駅やバス停から遠く離れている場合には、親族等の訪問が遠のくように思うので、交通

の便は大事です。

- 佐倉市は特別養護老人ホームが充実していると思うが、今後さらに高齢者が増加するので、自宅での生活が困難になったときに、年金で利用できる高齢者施設が増えてくれるとよい。

6　制度に関する理解促進、情報提供

- 介護保険の内容やサービス、利用料等が理解できていないので、もっと介護保険制度について情報を分かりやすく提供してほしい。
- 介護が必要になった時の相談窓口やどのような支援サービスを利用できるのか、利用方法等が分かる資料（パンフレット等）がほしい。
- 介護保険制度について、一定の年齢になったら分かりやすく広報周知すべきでないか、普段から介護保険に関する情報発信をすべきである。
- 「ヤングケアラー」や「老老介護」などの相談先を知らなかったという人が多いので、新聞やテレビを見ない人達にも、それらを伝える方法を考えてほしい。
- 一人暮らしとなった時に介護保険制度の知識がなく、心身の不調で動けなくても、１人で生活に困ることがないよう寄り添ってほしい。
- 介護保険制度や介護サービスの利用方法を、自治会回覧や市広報紙等に定期的に情報発信してほしい。介護が必要となった時に制度サービスが不安なく利用できる安心感がほしい。

7　家族や介護者の負担・支援

- 介護している家族の負担軽減策の充実を図ってほしい。
- 一人暮らし高齢者や老老介護世帯の増加に対応した施策、取組を行ってほしい。
- 介護サービスや訪問診療を利用しながら家族で在宅介護を経験しましたが、在宅介護サービスの活用で家族の負担は大分軽減したので、さらに充実させてほしい。

8　介護認定について

- 介護認定の申請から面接までに時間がかかり、面接後の認定にも時間もかかると聞いたので、改善をお願いする。
- 佐倉市は他市に比べ介護度が、厳しく判定されていると思う。
- 介護関係の窓口は優しく対応しているが、認定等の時間がかかっているので、もう少し迅速に対応してほしい。
- 介護認定申請は、切羽詰まった状況で行っているので、原則どおり３０日以内で認定結果を出してほしい。
- 介護サービスの利用手続が難しそうで、時間がかかるのではないかという不安がある。また、認定結果が適切であるか心配である。

9　介護予防・健康増進

- 一人暮らし高齢者が参加できる居場所づくりは、認知症予防を考えるうえでも大切で、地域に誰もが気軽に立ち寄れるような場所があるとよい。
- 空きのある公共施設に、外出していない、あるいは会話のない高齢者などが毎日でも通える交流の場があるとよい。
- 介護予防の健康教室や高齢者に配慮したスポーツ・体操教室の開催、散歩途中に利用できる運動器

具の公園への設置などをしてほしい。

- 自立できる高齢者となるために、50 歳代などから介護予防の意識と実践を促してほしい。
- 趣味サークルに参加しようとしたが、自動車駐車場が利用できず断念したことがある。自宅近くに同様のサークルがあれば是非参加したい。
- 将来、高齢者施設への入居は難しいと思うので、自宅で暮らし続けるためには介護予防の充実は必須です。踏み台昇降運動やマシンを使った筋トレ教室などを、公的に指導しているところもあるので、佐倉市でも導入してほしい。
- 佐倉市は介護予防の施設や教室、講座が少ないので、公的な施設や介護予防教室などを開催してほしい。
- 認知症やその予防に関する知識の普及や情報提供、健康のためのレクリエーションなど高齢者が積極的に参加できるような取組を推進してほしい。
- 将来的に、介護保険料にも限度があると思うので、介護予防の施策が必須です。
- 高齢者向けの地域交流を目指して活動していますが、参加者が元気になっていく様子をみると、高齢者の居場所、交流の場の大切さを痛感している。
- 近所に友人、知人が少ないと感じているので、気軽に参加できる健康教室など介護予防事業の充実と周知をお願いしたい。
- 高齢者福祉サービスについて、楽しく希望の持てる生活を目指して、交通費の割引など元気な高齢者への支援等を検討してほしい。

10　交通手段

- 運転免許証を返納したので、市コミュニティーバスの運行路線や本数を拡大、充実させてほしい。
- 路線バスを利用しているが、運行が少ないので運行本数を増やしてほしい。
- 今、車の運転をしているので外出できますが、前回のタクシー利用券は助かりますので、継続してほしい。
- 高齢者の通院は厳しい状況にあります。自動車での移動が困難な者にはバス移動が唯一手段になっているので、支援策を検討してほしい。
- 高齢者タクシー助成券が配られたが、買物券など他の必要なものにも利用できる方が良かった。
- 高齢なので運転を止めた方がいいと言われても、近くにバス停もないのでタクシーなどのような交通手段を提供してほしい。
- 高齢者はバス、電車などの公共交通機関を使うようになるので、バスの経路や本数を増やすとともに、シルバーパス（料金の半額・無料等）を検討してほしい。
- 運転免許証を返納してから買い物に行けないので、移動販売を利用しているが、一人暮らしの年金生活者には物価が上がっているのに加えて高い買い物をしていると感じている。
- 移動手段があれば、人と話せる通いの場等に参加したい人は多数いると思うので、歩行が困難な高齢者の送迎支援について検討してほしい。

11　その他

- 市から救急医療情報キットが配布され、これからの老後について考える機会となりました。なるべく介護サービスを受けず、健康寿命の延伸を考え過ごしていきたい。
- 介護サービスや訪問診療を利用していた親が亡くなったが、在宅で介護していた家族に感謝を述べていた。施設に入らずに良かったと思いました。
- 高齢者が増加する中、多様な事例の最適解を見つけるのは大変難しいと思うが、介護、高齢者福祉サービスを充実して住みやすい佐倉市になって欲しい。

- 家族が特別養護老人ホームに入所しているが、介護保険には助けられており感謝しています。
- 介護保険を利用していない親の認知機能や体力が低下したら、介護保険の利用を検討しなければならないけれども、出来るところまでは本人の能力で生きていけたらと考えている。
- 現在の福祉サービスで感謝しており、協力できることがあったら協力させてほしいと思っています。
- 年齢を考えると不安はありますが、佐倉はとてもいい所と思います。安心して住むことができました。
- 夫婦ともに、日常生活の家事や運動、人との関わりを大切にしながら、元気に過ごしたい。

Ⅳ　生活機能評価等に関する分析

機能別リスク該当者割合の分析

（１）運動器の機能低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、５項目のうち３項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

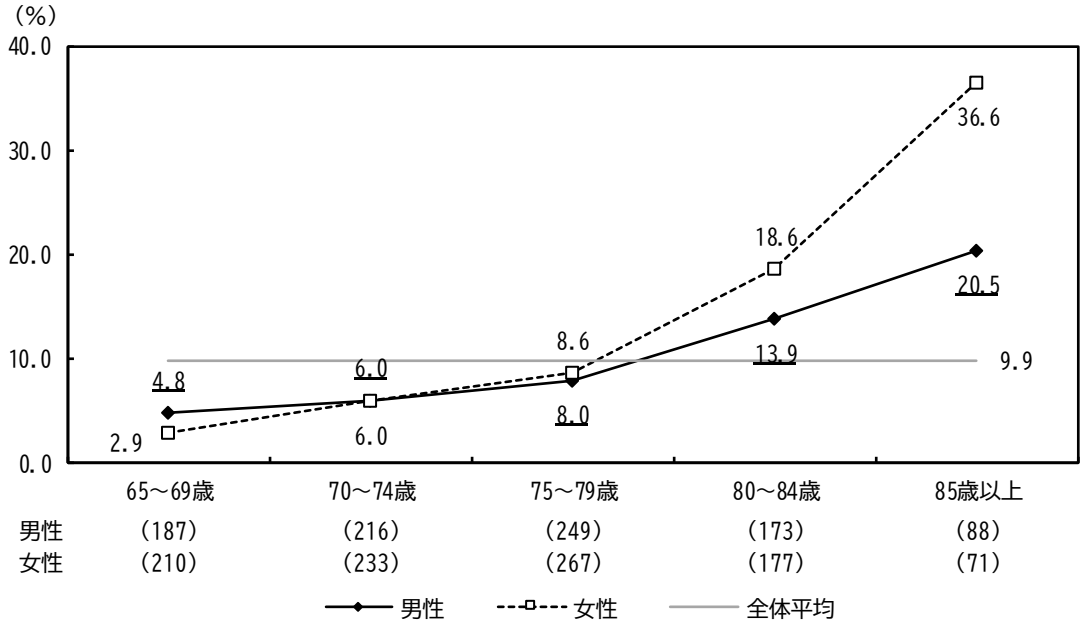
問番号	設問	該当する選択肢
問２（１）	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	３．できない
問２（２）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	３．できない
問２（３）	15分位続けて歩いていますか	３．できない
問２（４）	過去１年間に転んだ経験がありますか	１．何度もある ２．１度ある
問２（５）	転倒に対する不安は大きいですか	１．とても不安である ２．やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で 9.9%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、75～79 歳、80～84 歳、85 歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 36.6%と 80～84 歳に比べ 18.0 ポイント上昇しています。一方、男性では、85 歳以上で 20.5%と 80～84 歳に比べ 6.6 ポイント上昇しています。

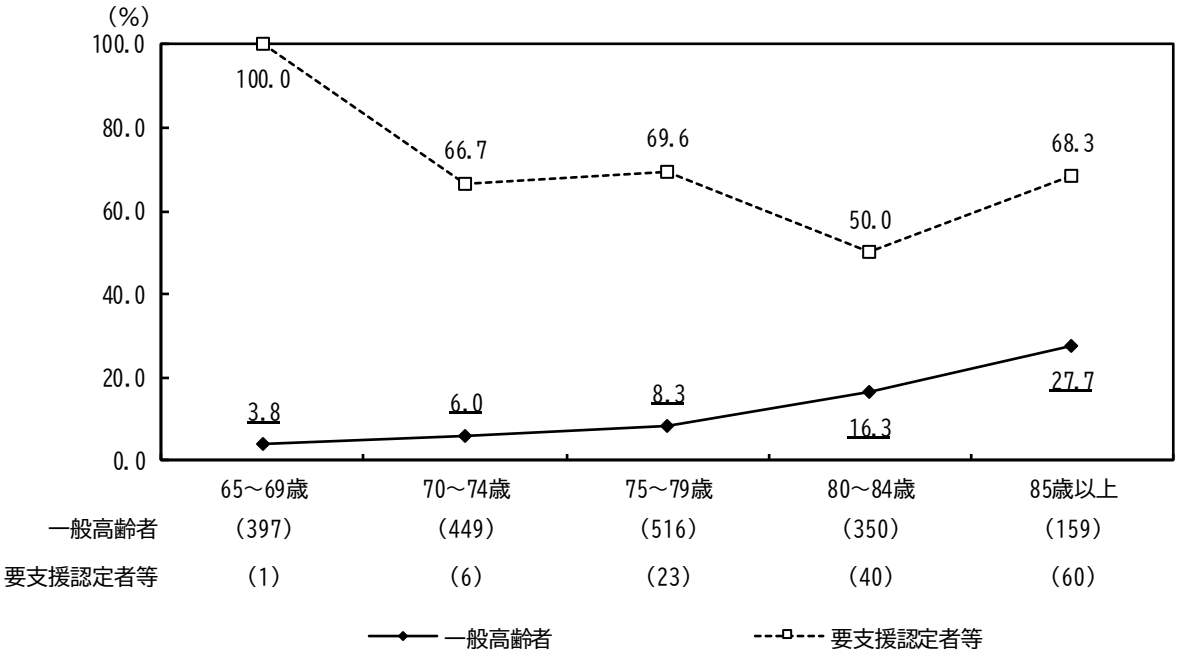
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。また、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

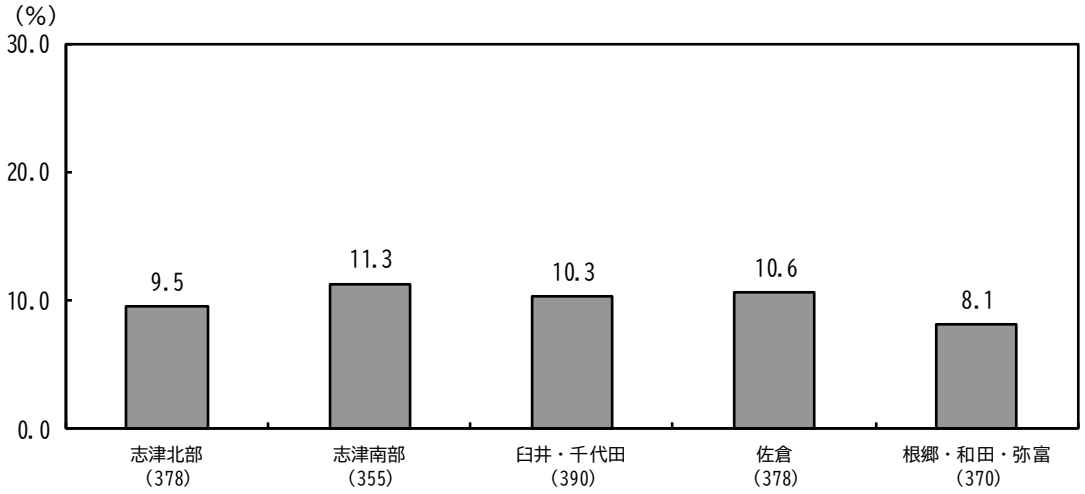
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、志津南部、臼井・千代田、佐倉で該当者割合が全体平均の 9.9%を超えています。

また、最も高い圏域は志津南部で 11.3%、最も低い圏域は根郷・和田・弥富で 8.1%となっており、3.2 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

（2）閉じこもり傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

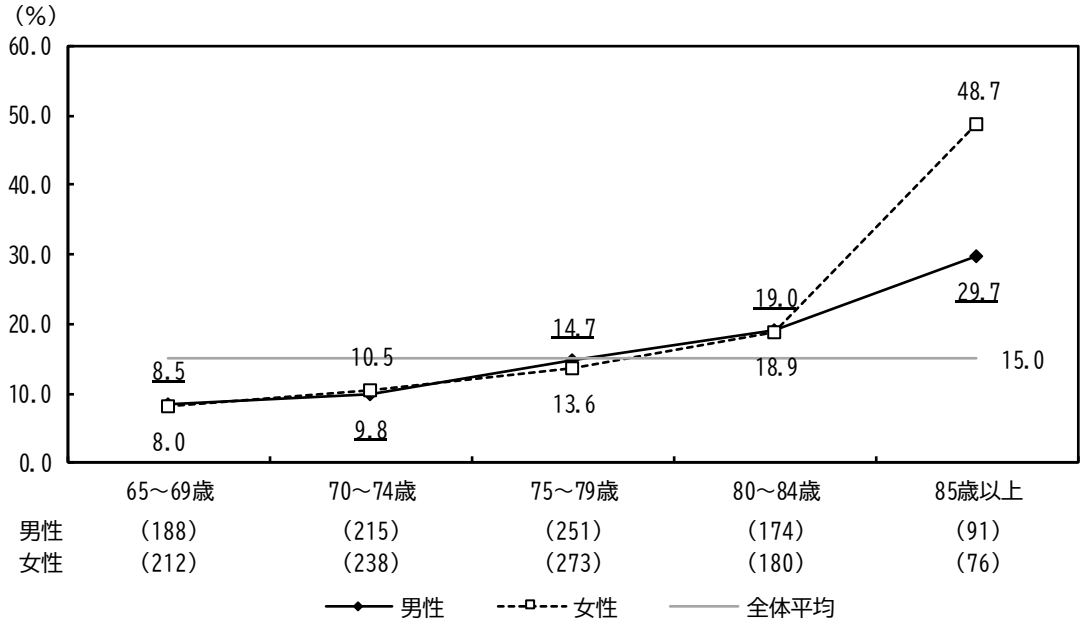
問番号	設問	該当する選択肢
問2（6）	週に1回以上は外出していますか	1．ほとんど外出しない 2．週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で 15.0%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85 歳以上で 48.7%と 80～84 歳に比べ 29.8 ポイント上昇しています。一方、男性では、65～69 歳、75～79 歳、80～84 歳で女性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 29.7%と 80～84 歳に比べ 10.7 ポイント上昇しています。

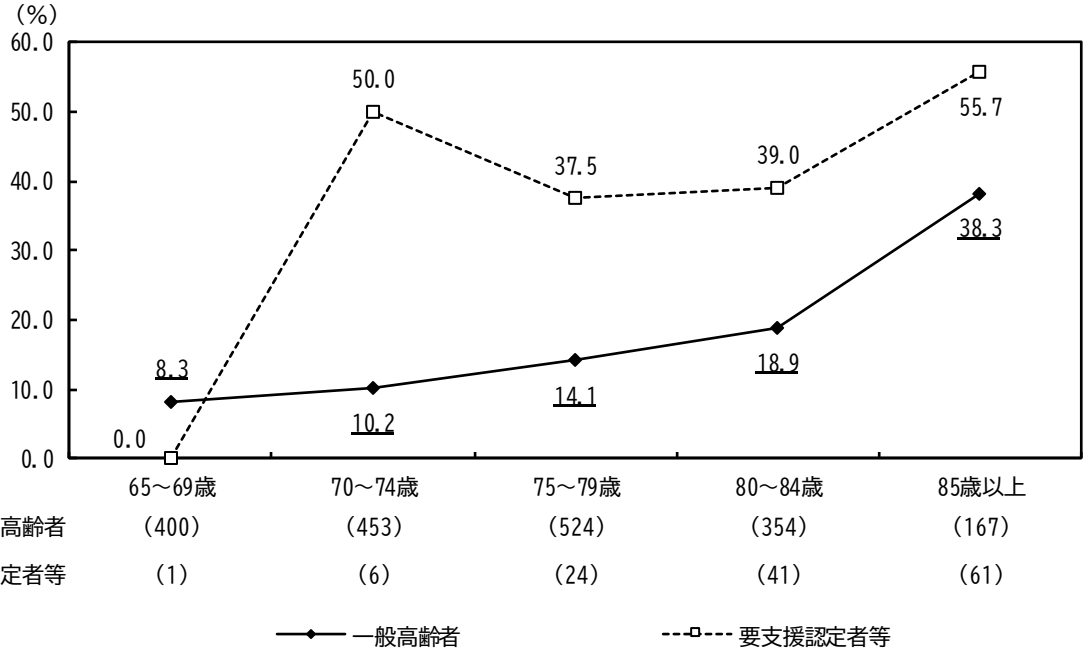
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等は 65～69 歳以外の年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85 歳以上で 55.7%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

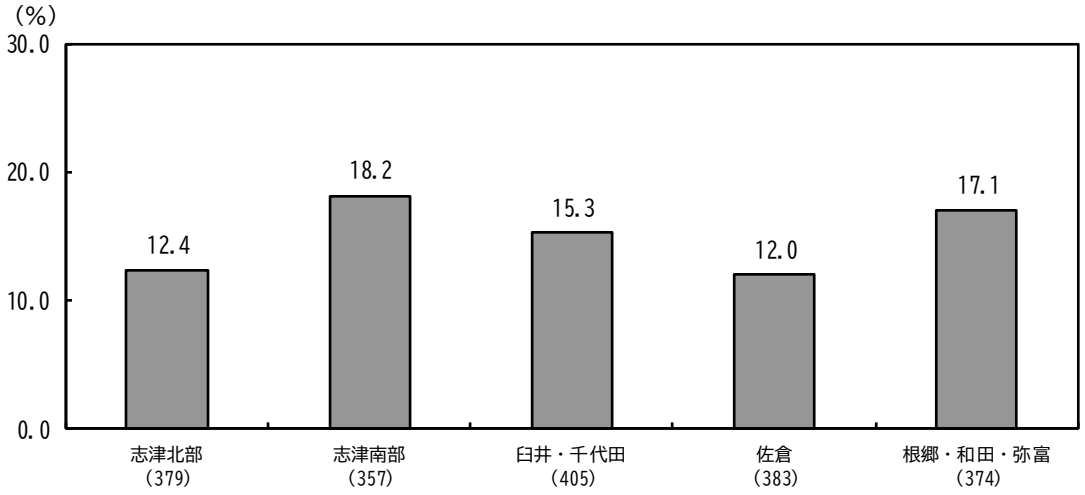
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、志津南部、臼井・千代田、根郷・和田・弥富で該当者割合が全体平均の 15.0%を超えています。

また、最も高い圏域は志津南部で 18.2%、最も低い圏域は佐倉で 12.0%となっており、6.2 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

（3）転倒リスク

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

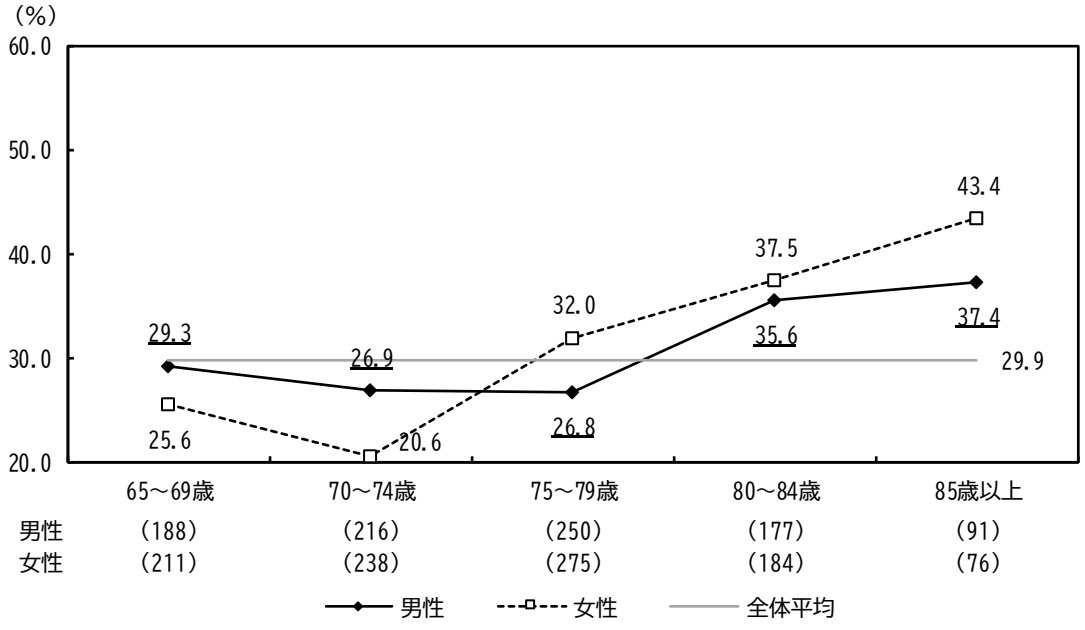
問番号	設問	該当する選択肢
問２（４）	過去１年間に転んだ経験がありますか	１．何度もある ２．１度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で 29.9%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、75～79 歳、80～84 歳、85 歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、75～79 歳で 32.0%と 70～74 歳に比べ 11.4 ポイント上昇しています。一方、男性では、80～84 歳で 35.6%と 75～79 歳に比べ 8.8 ポイント上昇しています。

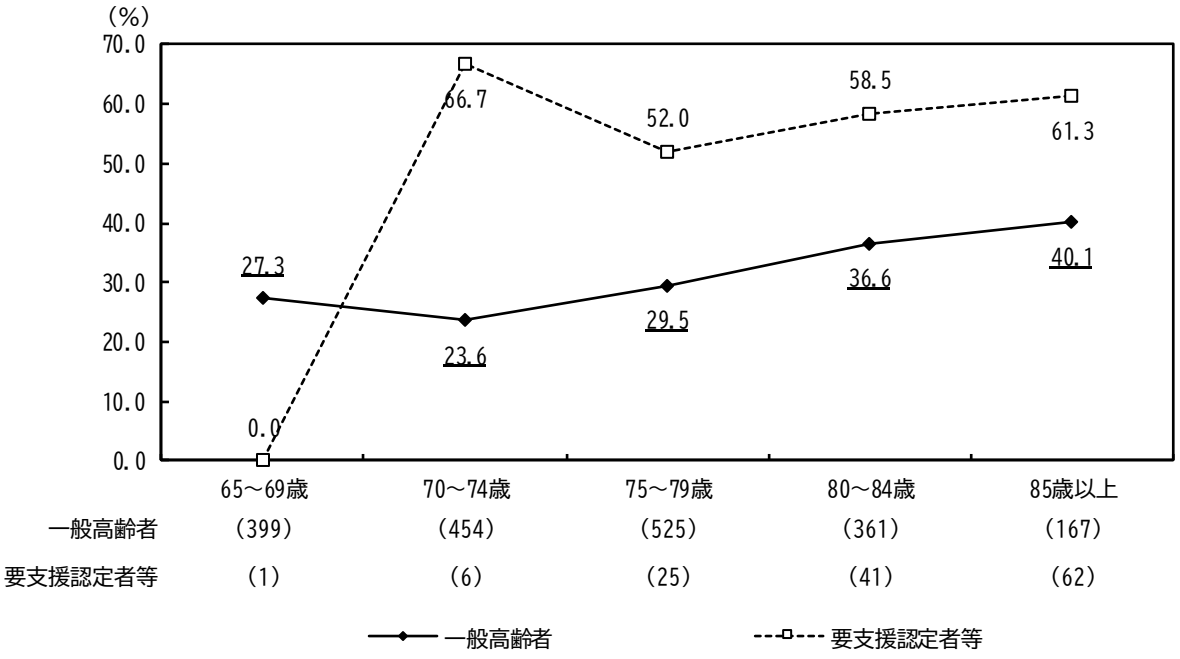
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等では 65～69 歳以外の年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、70～74 歳で 66.7%と最も高くなっています。

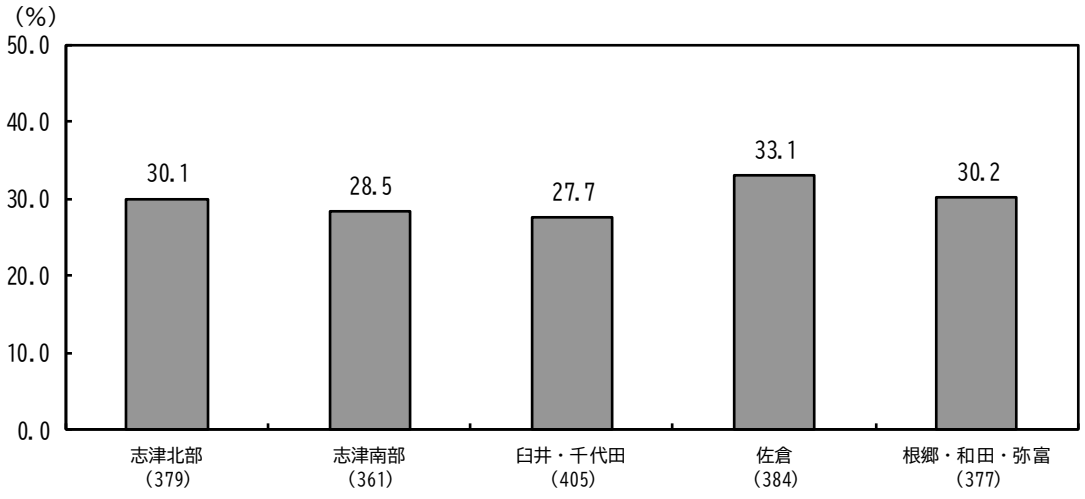
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、志津北部、佐倉、根郷・和田・弥富で該当者割合が全体平均の 29.9%を超えています。

また、最も高い圏域は佐倉で 33.1%、最も低い圏域は臼井・千代田で 27.7%となっており、5.4 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

（４）低栄養の傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、２項目のすべてに該当する人を低栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

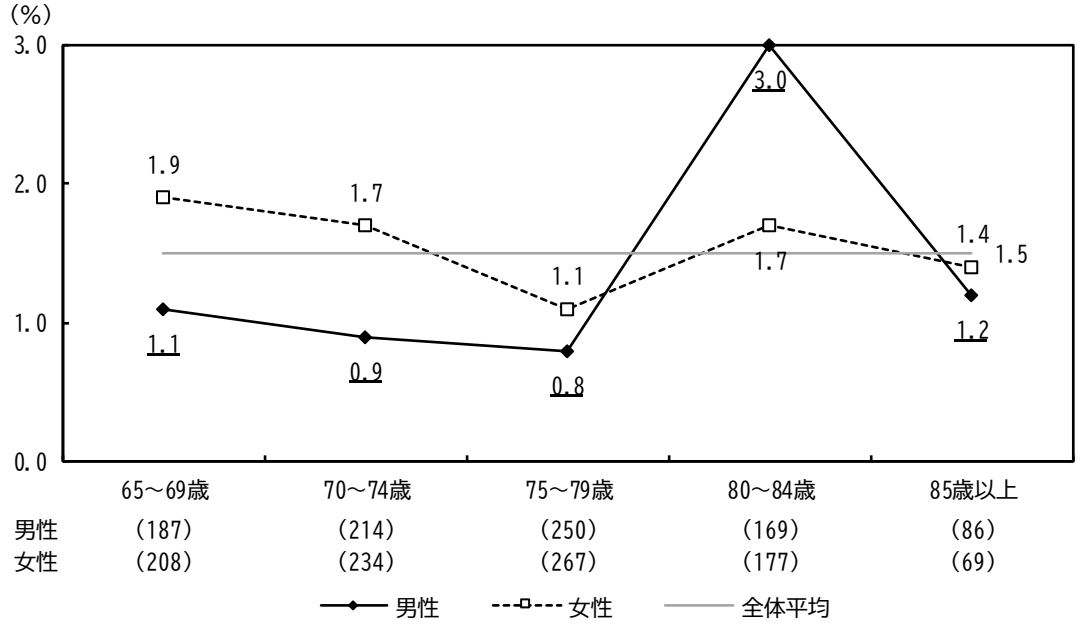
問番号	設問	該当する選択肢
問３（１）	あなたの身長と体重をお答えください	ＢＭＩ18.5未満
問３（７）	６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか	１．はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で 1.5%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84 歳以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳で 1.7%と 75～79 歳に比べ 0.6 ポイント上昇しています。一方、男性では、80～84 歳で 3.0%と 75～79 歳に比べ 2.2 ポイント上昇しています。

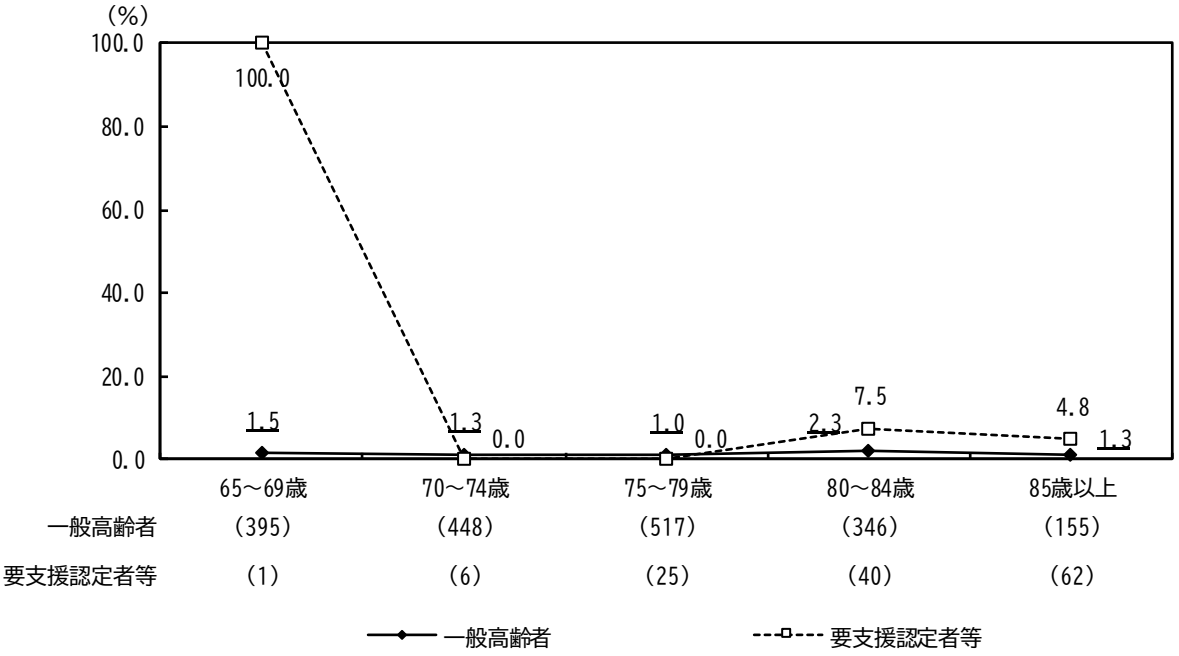
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、要支援認定者等は、一般高齢者に比べ 65～69 歳、80～84 歳、85 歳以上の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、80～84 歳で 7.5%となっています。

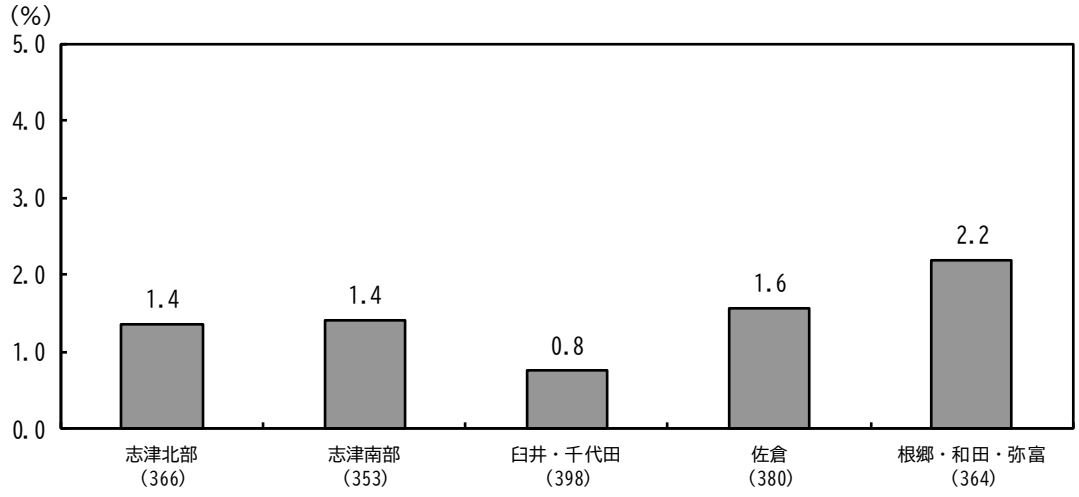
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、佐倉、根郷・和田・弥富で該当者割合が全体平均の 1.5%を超えています。

また、最も高い圏域は根郷・和田・弥富で 2.2%、最も低い圏域は臼井・千代田で 0.8%となっており、1.4 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

（５）口腔機能の低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、３項目のうち２項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

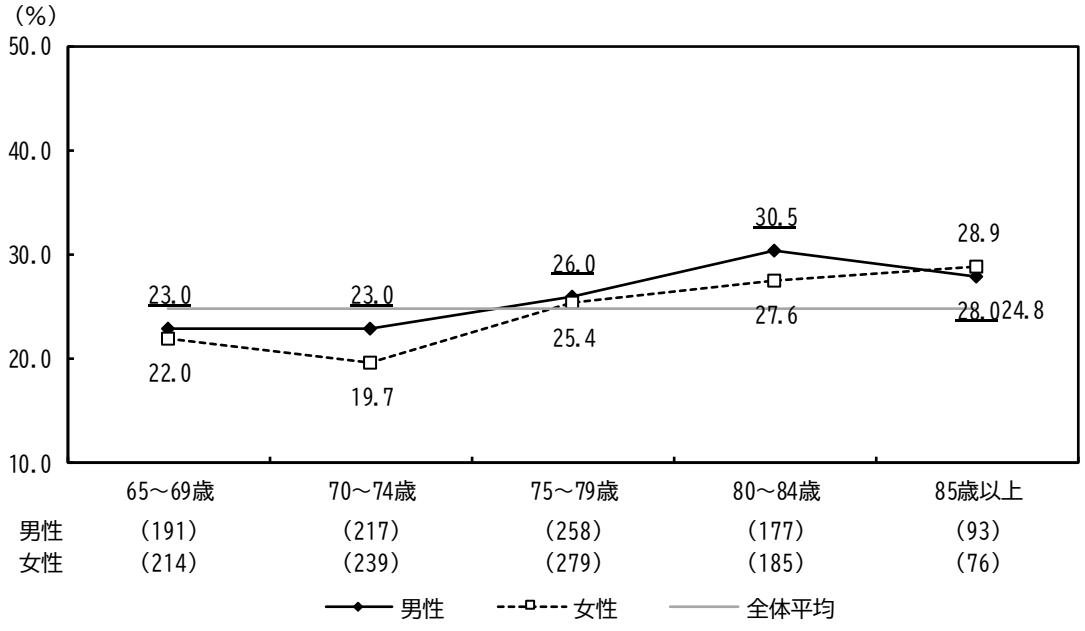
問番号	設問	該当する選択肢
問３（２）	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	１．はい
問３（３）	お茶や汁物等でむせることがありますか	１．はい
問３（４）	口の渇きが気になりますか	１．はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で 24.8%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、75～79 歳で 25.4%と 70～74 歳に比べ 5.7 ポイント上昇しています。一方、男性では、85 歳以上以外の年代で女性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳で 30.5%と 75～79 歳に比べ 4.5 ポイント上昇しています。

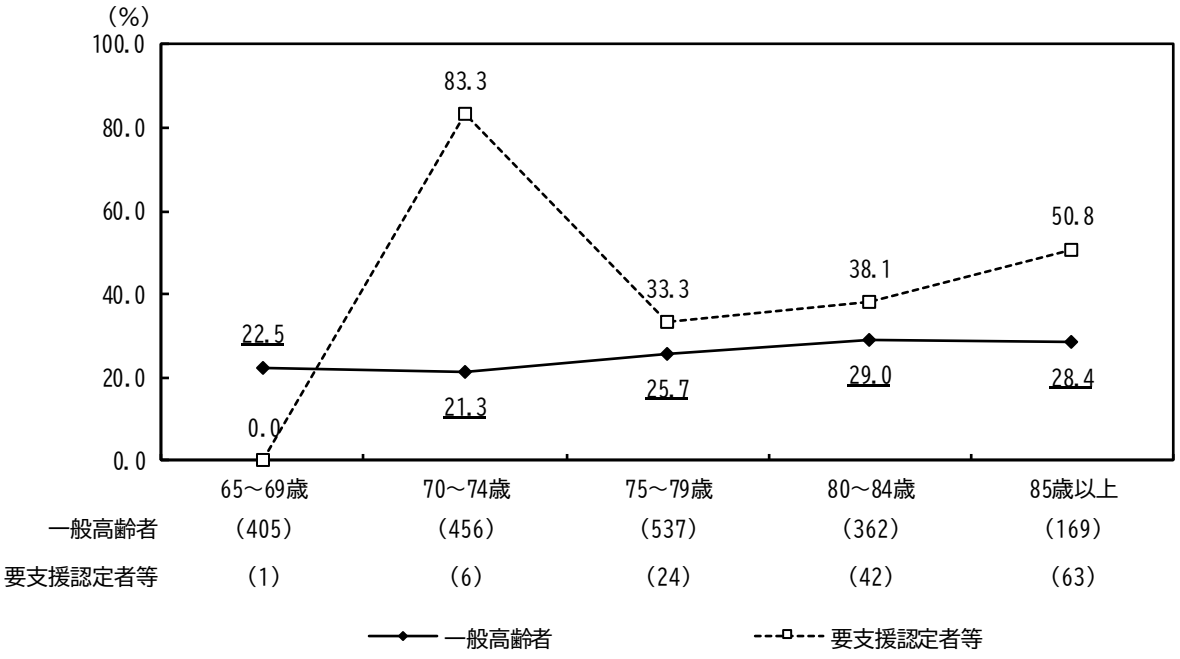
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等は 65～69 歳以外の年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、70～74 歳で 83.3%と最も高くなっています。

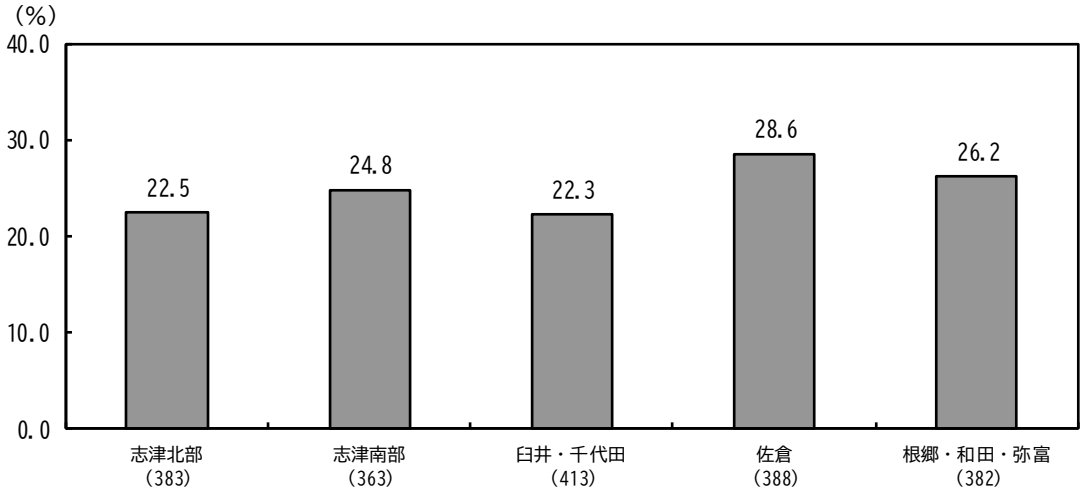
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、佐倉、根郷・和田・弥富で該当者割合が全体平均の 24.8%を超えています。

また、最も高い圏域は佐倉で 28.6%、最も低い圏域は臼井・千代田で 22.3%となっており、6.3 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

（6）認知機能

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

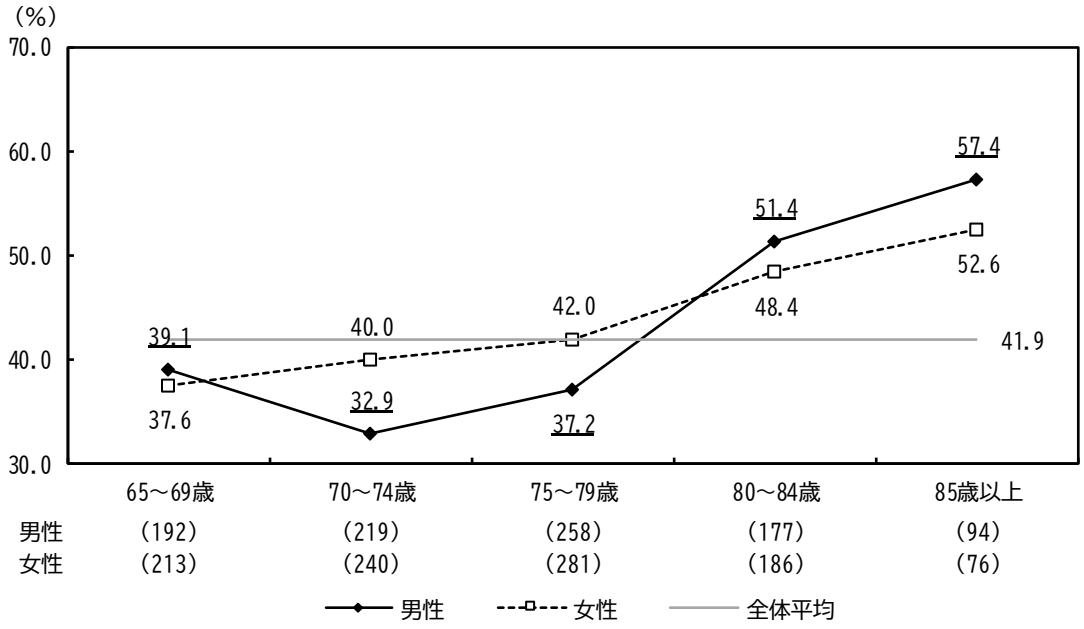
問番号	設問	該当する選択肢
問4（1）	物忘れが多いと感じますか	1．はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で 41.9%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84 歳で 48.4%と 75～79 歳に比べ 6.4 ポイント上昇しています。一方、男性では、65～69 歳、80～84 歳、85 歳以上で女性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳で 51.4%と 75～79 歳に比べ 14.2 ポイント上昇しています。

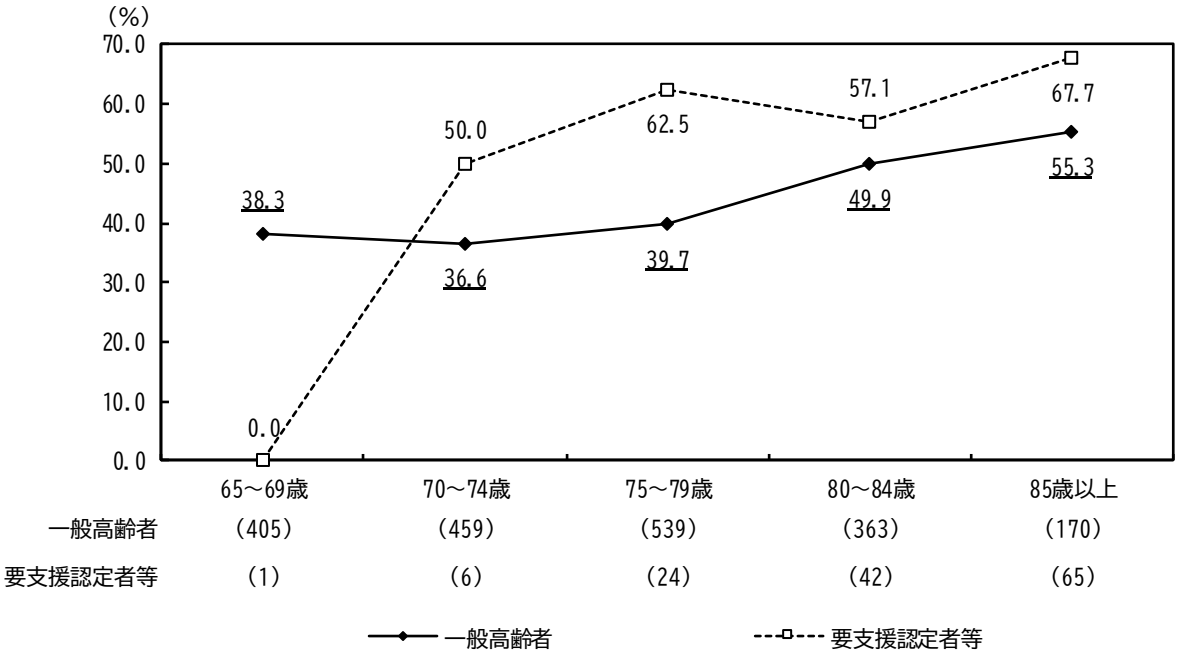
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等は 65～69 歳以外の年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85 歳以上で 67.7%と最も高くなっています。

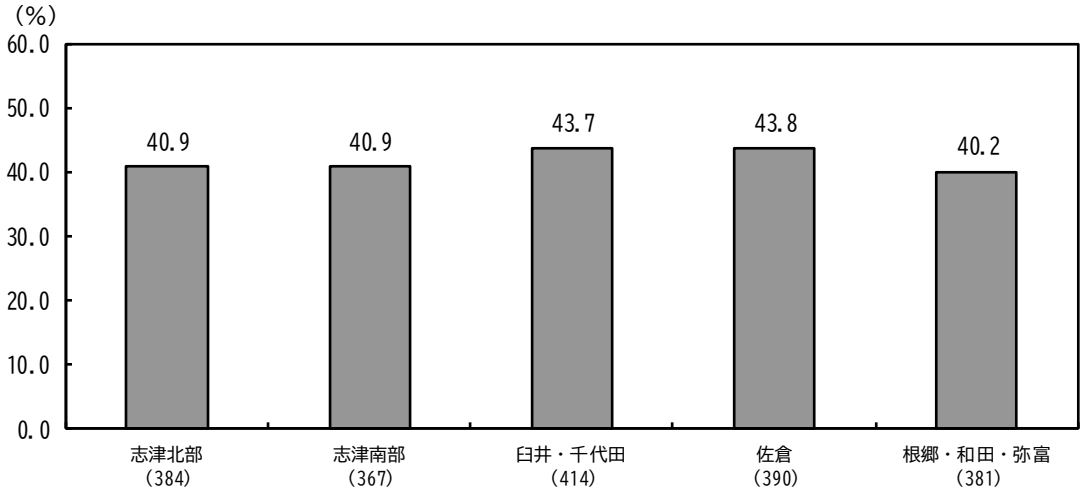
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、臼井・千代田、佐倉で該当者割合が全体平均の 41.9%を超えています。

また、最も高い圏域は佐倉で 43.8%、最も低い圏域は根郷・和田・弥富で 40.2%となっており、3.6 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

（7）うつ傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、２項目のうち１項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

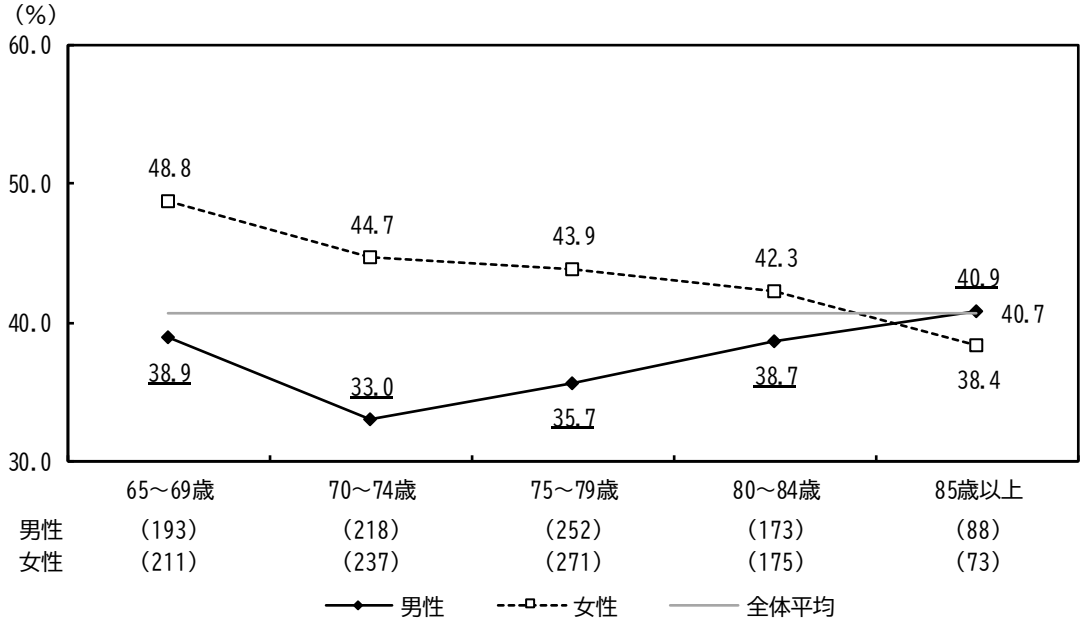
問番号	設問	該当する選択肢
問８（３）	この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	１．はい
問８（４）	この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	１．はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で 40.7%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85 歳以上以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、一方、男性では、80～84 歳で 38.7%と 75～79 歳に比べ 3.0 ポイント上昇しています。

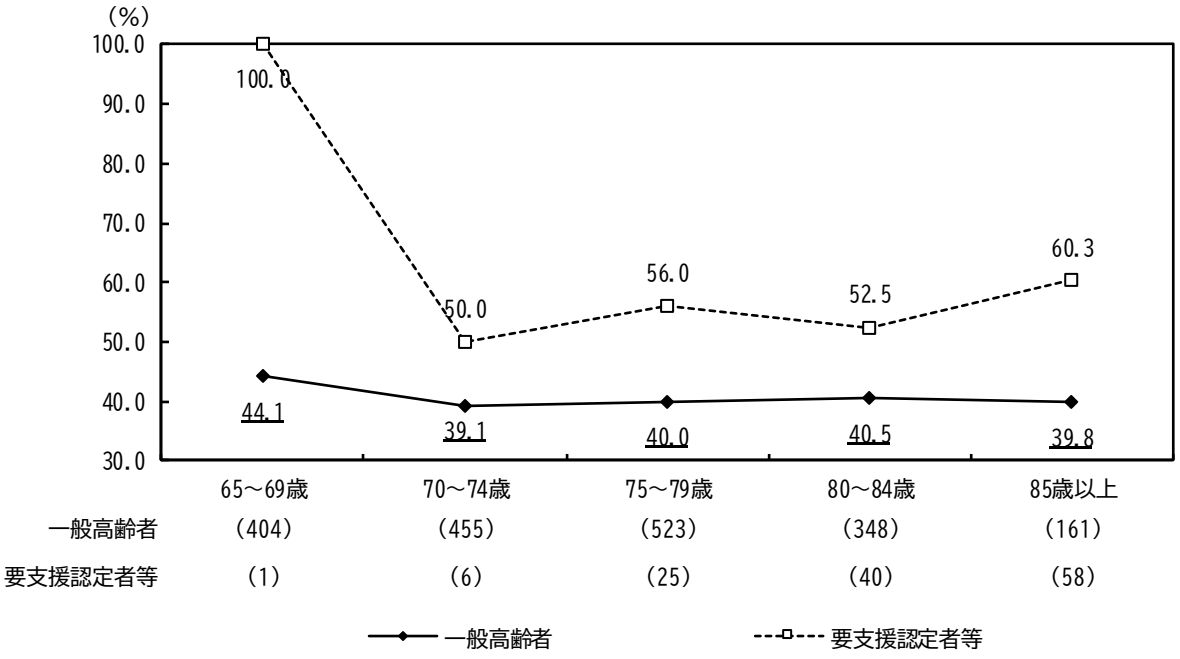
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85 歳以上で 60.3%となっています。

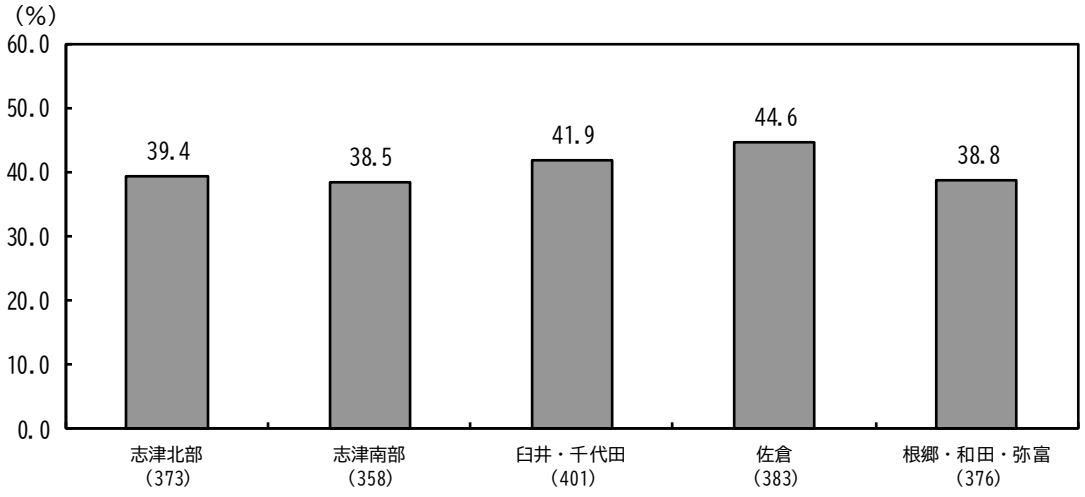
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、臼井・千代田、佐倉で該当者割合が全体平均の 40.7%を超えています。

また、最も高い圏域は佐倉で 44.6%、最も低い圏域は志津南部で 38.5%となっており、6.1 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

（8）ＩＡＤＬ（手段的自立度）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（ＩＡＤＬ）に関する設問が５問あり、「手段的自立度（ＩＡＤＬ）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を１点として、５点満点で評価し、５点を「高い」、４点を「やや低い」、３点以下を「低い」と評価しています。

また、４点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

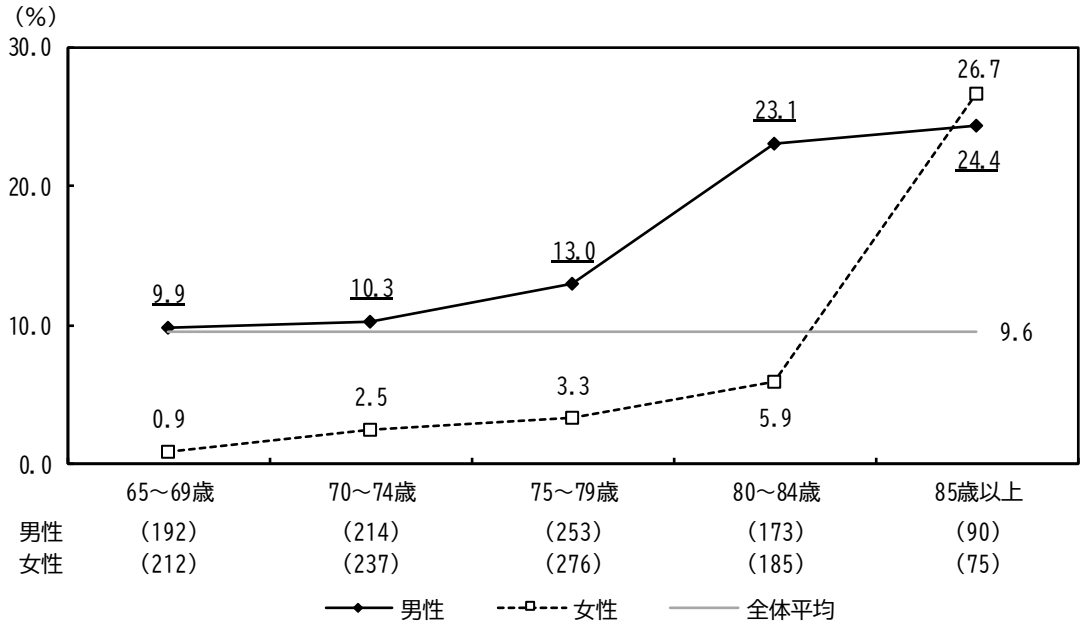
問番号	設問	該当する選択肢
問４（４）	バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）	１．できるし、している：１点 ２．できるけどしていない：１点
問４（５）	自分で食品・日用品の買物をしていますか	１．できるし、している：１点 ２．できるけどしていない：１点
問４（６）	自分で食事の用意をしていますか	１．できるし、している：１点 ２．できるけどしていない：１点
問４（７）	自分で請求書の支払いをしていますか	１．できるし、している：１点 ２．できるけどしていない：１点
問４（８）	自分で預貯金の出し入れをしていますか	１．できるし、している：１点 ２．できるけどしていない：１点

【リスク該当状況】

全体平均では 9.6%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85 歳以上で 26.7%と 80～84 歳に比べ 20.8 ポイント上昇しています。一方、男性では、85 歳以上以外の年代で女性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳で 23.1%と 75～79 歳に比べ 10.1 ポイント上昇しています。

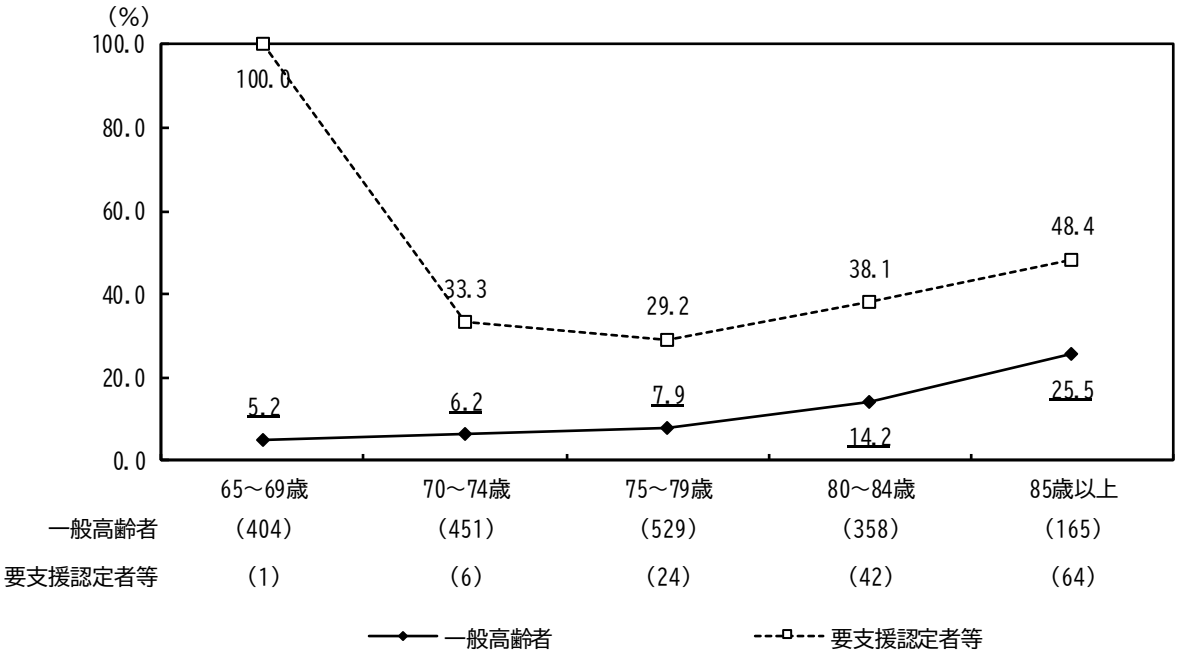
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

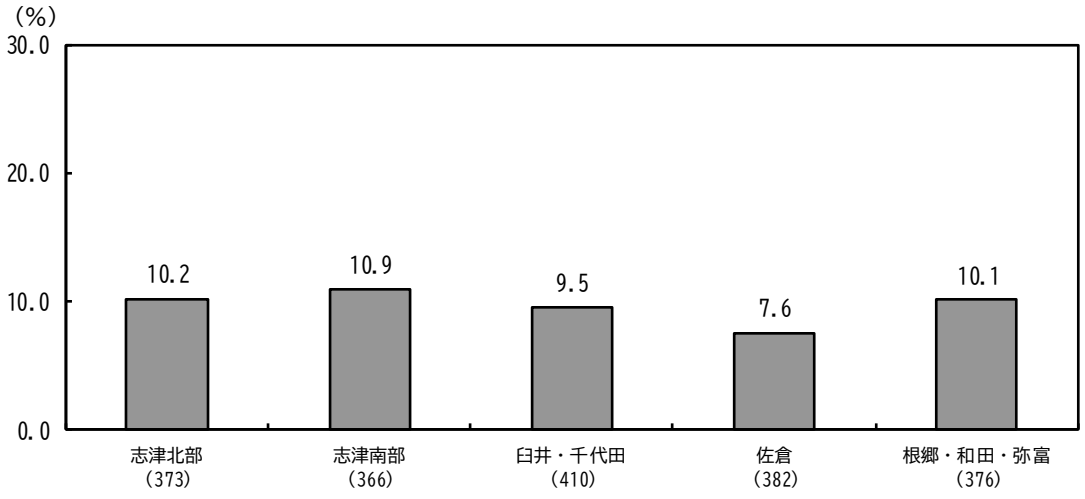
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、志津北部、志津南部、根郷・和田・弥富で該当者割合が全体平均の 9.6%を超えています。

また、最も高い圏域は志津南部で 10.9%、最も低い圏域は佐倉で 7.6%となっており、3.3 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

（９）知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が４問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を１点として、４点満点で評価し、４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」と評価しています。

また、３点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

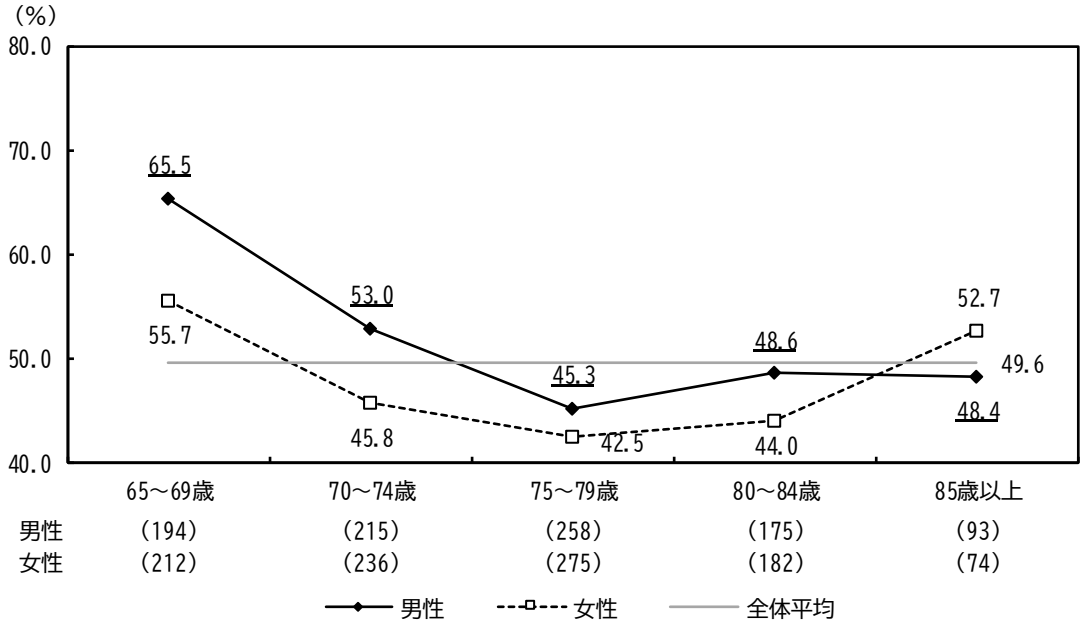
問番号	設問	該当する選択肢
問４（９）	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	１．はい：１点
問４（10）	新聞を読んでいますか	１．はい：１点
問４（11）	本や雑誌を読んでいますか	１．はい：１点
問４（12）	健康についての記事や番組に関心がありますか	１．はい：１点

【リスク該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では 49.6%となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では 85 歳以上で 52.7%と 80～84 歳に比べ 8.7 ポイント上昇しています。一方、男性では、85 歳以上以外の年代で女性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳で 48.6%と 75～79 歳に比べ 3.3 ポイント上昇しています。

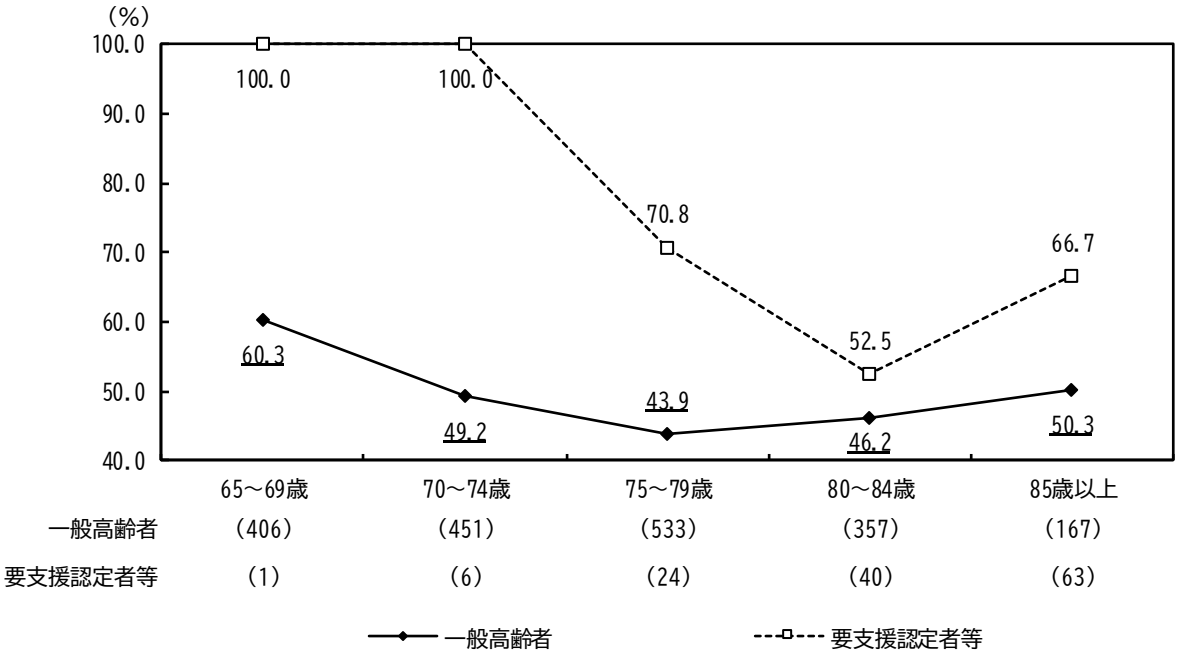
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等はすべての年代の割合が高くなっています。

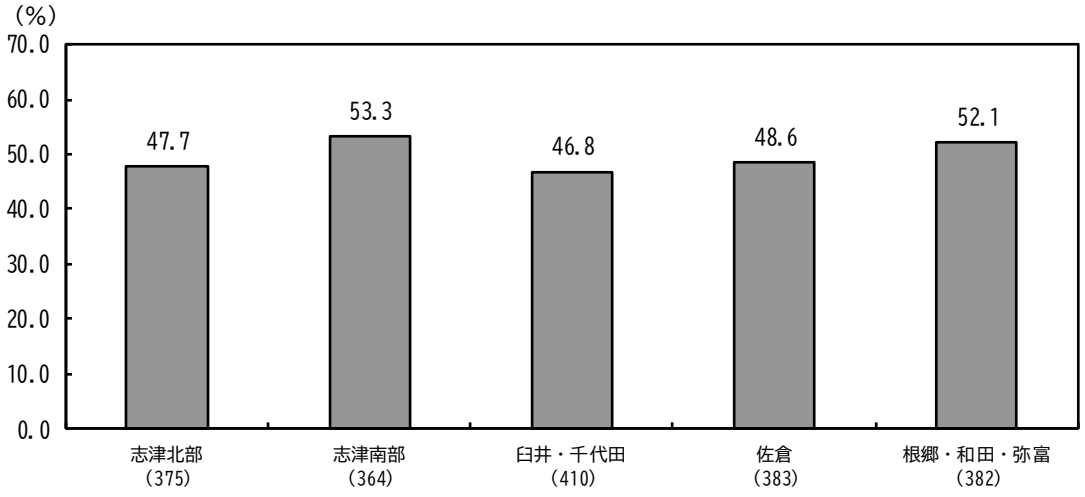
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、志津南部、根郷・和田・弥富で該当者割合が全体平均の 49.6%を超えています。

また、最も高い圏域は志津南部で 53.3%、最も低い圏域は臼井・千代田で 46.8%となっており、6.5 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

（10）社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が４問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に４点満点で評価し、４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」と評価しています。

また、３点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

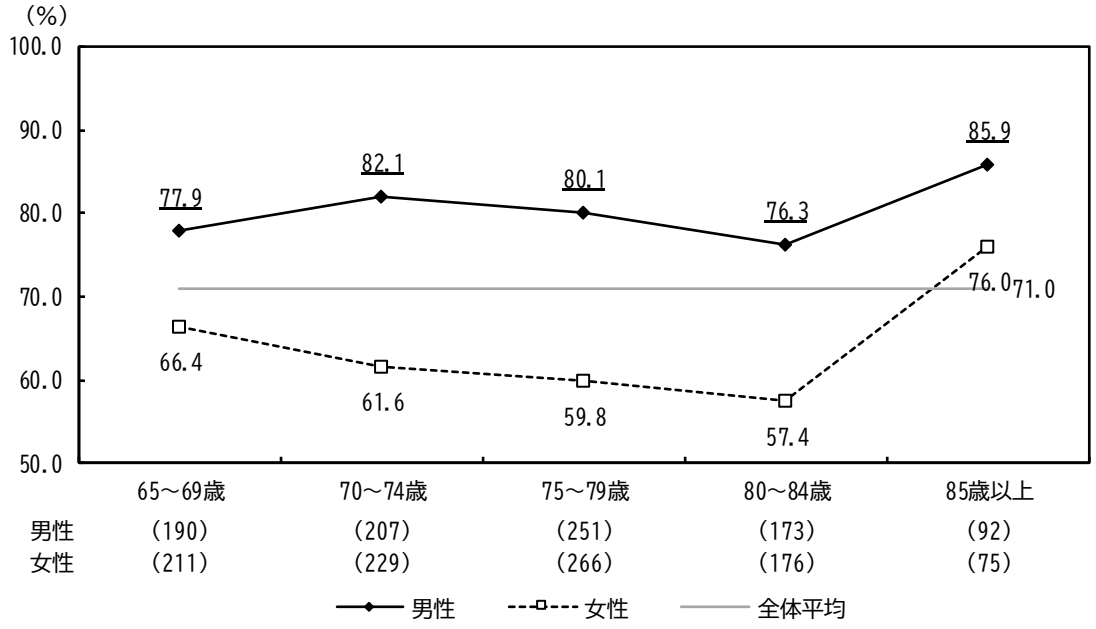
問番号	設問	該当する選択肢
問４（13）	友人の家を訪ねていますか	１．はい：１点
問４（14）	家族や友人の相談にのっていますか	１．はい：１点
問４（15）	病人を見舞うことができますか	１．はい：１点
問４（16）	若い人に自分から話しかけることがありますか	１．はい：１点

【リスク該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では 71.0%となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85 歳以上で 76.0%と 80～84 歳に比べ 18.6 ポイント上昇しています。一方、男性では、すべての年代で女性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 85.9%と 80～84 歳に比べ 9.6 ポイント上昇しています。

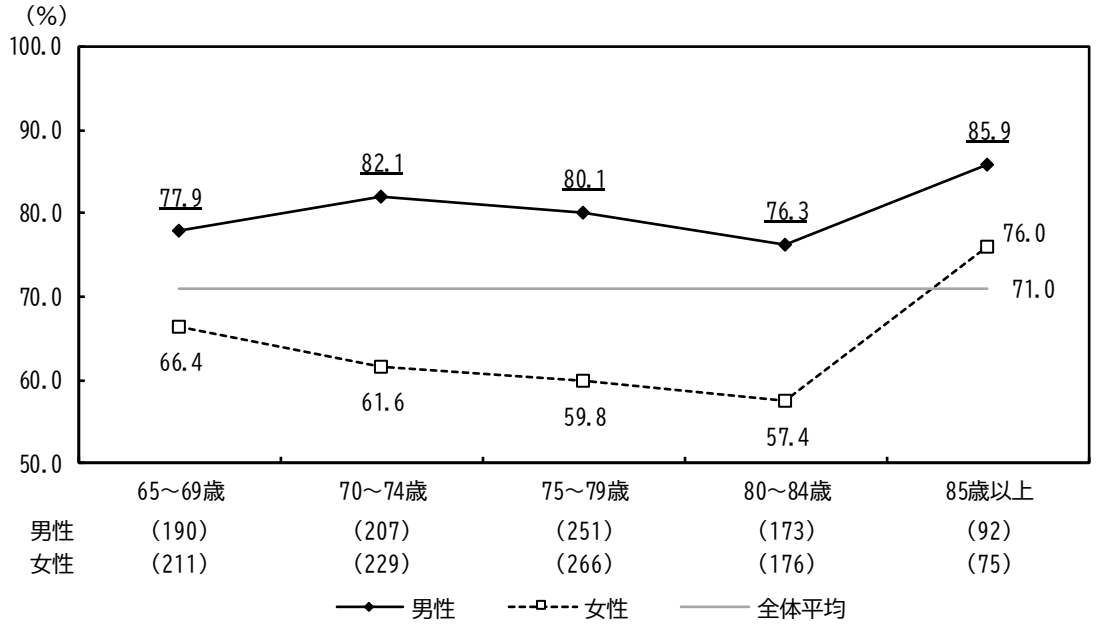
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。

【認定別・年齢階級別】

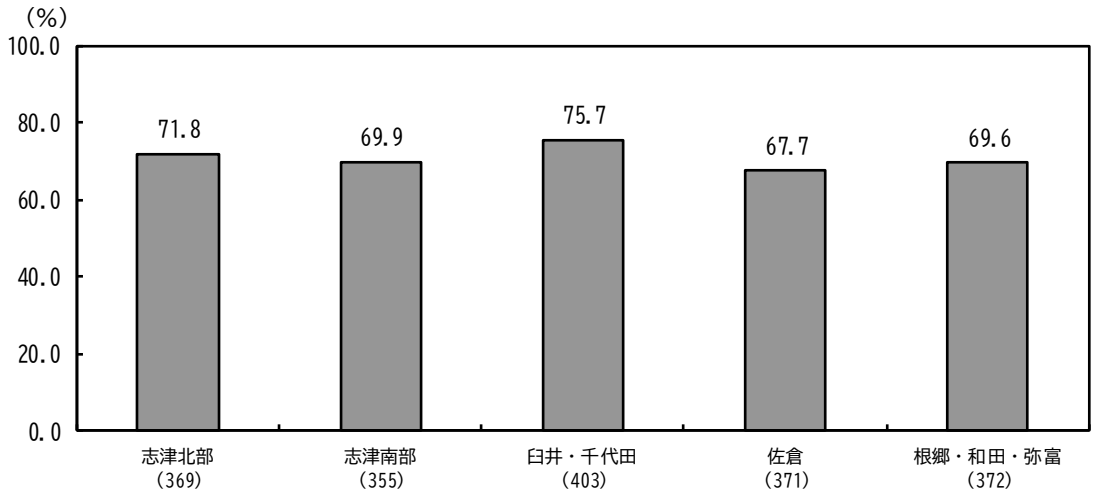


※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

圏域別にみると、志津北部、臼井・千代田で該当者割合が全体平均の 71.0%を超えています。

また、最も高い圏域は臼井・千代田で 75.7%、最も低い圏域は佐倉で 67.7%となっており、8.0 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

第 10 期(令和7年度)

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【調査票】

- **調査票を記入する際は、<u>各項目で該当する数字に「○」をつけて</u>ください。**
- **調査票記入後は、３つ折りにし、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、<u>令和８年２月２７日(金)</u>までに投函してください。**

記　入　日	令和 ８ 年　　月　　日
調査票を記入されたのはどなたですか。「 ○ 」をつけてください。	
１．あて名のご本人が記入 ２．ご家族が記入 （あて名のご本人からみた続柄　　） ３．その他	

佐倉市　福祉部　高齢者福祉課
生きがい支援班

＊＊＊＊

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。調査で得られた情報につきましては、本市による第１０期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市内で適切に管理いたします。
- ただし、第１０期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する本市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

問１　あなたのご家族や生活状況について

（１）家族構成をお教えください

1．1 人暮らし　　2．夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)

3．夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下)　　4．息子・娘との 2 世帯

5．その他

（２）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1．介護・介助は必要ない　2．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

3．現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【（２）において「 １．介護・介助は必要ない 」以外の方のみ】
① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

1．脳卒中（脳出血･脳梗塞等）　2．心臓病　3．がん（悪性新生物）

4．呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）　5．関節の病気（リウマチ等）

6．認知症（アルツハイマー病等）　7．パーキンソン病　8．糖尿病

9．腎疾患（透析）　10．視覚・聴覚障害　11．骨折・転倒

12．脊椎損傷　13．高齢による衰弱　14．その他（　　）

15．不明

【（２）において「 ３．現在、何らかの介護を受けている 」の方のみ】
② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

1．配偶者（夫・妻）　2．息子　3．娘

4．子の配偶者　5．孫　6．兄弟・姉妹

7．介護サービスのヘルパー　8．その他（　　）

（３）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1．大変苦しい　2．やや苦しい　3．ふつう

4．ややゆとりがある　5．大変ゆとりがある

（４）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

1．持家（一戸建て）　2．持家（集合住宅）

3．公営賃貸住宅　4．民間賃貸住宅（一戸建て）

5．民間賃貸住宅（集合住宅）　6．借家

7．その他

問２　からだを動かすことについて

（１）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（３）15 分位続けて歩いていますか

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（４）過去１年間に転んだ経験がありますか

1．何度もある　2．１度ある　3．ない

（５）転倒に対する不安は大きいですか

1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安でない　4．不安でない

（6）週に1回以上は外出していますか

1．ほとんど外出しない　2．週1回　3．週2~4回　4．週5回以上

（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1．とても減っている　2．減っている

3．あまり減っていない　4．減っていない

（8）外出を控えていますか

1．はい　2．いいえ

【（8）で「 1．はい 」（外出を控えている）の方のみ】
① 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

1．病気　2．障害（脳卒中の後遺症など）

3．足腰などの痛み　4．トイレの心配(失禁など)

5．耳の障害（聞こえの問題など）　6．目の障害

7．外での楽しみがない　8．経済的に出られない

9．交通手段がない　10．その他（　　）

（9）外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

1．徒歩　2．自転車　3．バイク

4．自動車(自分で運転)　5．自動車（人に乗せてもらう）　6．電車

7．路線バス　8．病院や施設のバス　9．車いす

10．電動車いす（カート）　11．歩行器・シルバーカー

12．タクシー　13．その他（　　）

（10）外出する際の移動において、自動車やバス等の移動手段がなく、困ることはありますか。

1．週1回以上ある　2．月2～3回程度ある

3．月1回程度ある　4．年に数回ある

5．ない

【(10）で「 5．ない 」以外（困っている）を選択した方のみ】
① 困っている理由は何ですか（いくつでも）

1．免許を返納している　2．（免許を保有しているが）高齢で自動車の運転が不安である

3．バス等に適当な路線や時間のものがない　4．タクシー等を利用しているが、金銭的に負担である

5．家族等に送迎を頼んでいるが、ひんぱんには頼めない　6．その他（　　）

問3　食べることについて

（1）身長・体重を教えてください

身長　　cm　体重　　kg

（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1．はい　2．いいえ

（3）お茶や汁物等でむせることがありますか

1．はい　2．いいえ

（4）口の渇きが気になりますか

1．はい　2．いいえ

（５）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

１．はい　　２．いいえ

（６）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

１．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用　２．自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし

３．自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用　４．自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

① 噛み合わせは良いですか

１．はい　　２．いいえ

②【（６）で「 １．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 」「 ３．自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 」の方のみ】　毎日入れ歯の手入れをしていますか

１．はい　　２．いいえ

（７）6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか

１．はい　　２．いいえ

（８）どなたかと食事をともにする機会はありますか

１．毎日ある　　２．週に何度かある　　３．月に何度かある

４．年に何度かある　　５．ほとんどない

問４　毎日の生活について

（１）物忘れが多いと感じますか

１．はい　　２．いいえ

（２）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

１．はい　　２．いいえ

（３）今日が何月何日かわからない時がありますか

１．はい　　２．いいえ

（４）バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（５）自分で食品・日用品の買物をしていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（６）自分で食事の用意をしていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（７）自分で請求書の支払いをしていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（８）自分で預貯金の出し入れをしていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（９）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

１．はい　　２．いいえ

(10) 新聞を読んでいますか

１．はい　　２．いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか

１．はい　　２．いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

１．はい　　２．いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか

1．はい　　2．いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか

1．はい　　2．いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか

1．はい　　2．いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

1．はい　　2．いいえ

(17) 趣味はありますか（「1.趣味あり」の方は（　）内に趣味を記入ください）

1．趣味あり　→（　　）

2．思いつかない

(18) 生きがいはありますか（「 1.生きがいあり 」の方は（　）内に生きがいを記入ください）

1．生きがいあり　→（　　）

2．思いつかない

問５　地域での活動について

（１）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※ ① － ⑧ それぞれに回答してください

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場（わくわく体操会、100円喫茶など）	1	2	3	4	5	6
⑥ 高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

（２）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1．是非参加したい　2．参加してもよい　3．参加したくない　4．既に参加している

（３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1．是非参加したい　2．参加してもよい　3．参加したくない　4．既に参加している

問６　就労について

（１）現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

１．職に就いたことがない　２．引退した　３．常勤（フルタイム）
４．非常勤（パート・アルバイト等）　５．自営業　６．求職中
７．その他

【（１）において「 ２．引退した 」の方のみ】
①　あなたはいつ引退しましたか

１．昭和 □□ 年　２．平成 □□ 年　３．令和 □□ 年

問７　たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

（１）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

（２）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

（３）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

（４）反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

（５）家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

１．自治会・町内会・高齢者クラブ　２．社会福祉協議会・民生委員
３．ケアマネジャー　４．医師・歯科医師・看護師
５．地域包括支援センター・役所・役場　６．その他
７．そのような人はいない

（６）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

１．毎日ある　２．週に何度かある　３．月に何度かある
４．年に何度かある　５．ほとんどない

（７）この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか
（同じ人には何度会っても１人と数えることとします）

１．0 人（いない）　２．1～2 人　３．3～5 人
４．6～9 人　５．10 人以上

（８）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

１．近所・同じ地域の人　２．幼なじみ　３．学生時代の友人
４．仕事での同僚・元同僚　５．趣味や関心が同じ友人　６．ボランティア等の活動での友人
７．その他　８．いない

問８　健康について

（１）現在のあなたの健康状態はいかがですか

１．とてもよい　　２．まあよい　　３．あまりよくない　　４．よくない

（２）あなたは、現在どの程度幸せですか
（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

とても不幸										とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

（３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

１．はい　　２．いいえ

（４）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

１．はい　　２．いいえ

（５）お酒は飲みますか

１．ほぼ毎日飲む　　２．時々飲む　　３．ほとんど飲まない

４．もともと飲まない

（６）タバコは吸っていますか

１．ほぼ毎日吸っている　　２．時々吸っている　　３．吸っていたがやめた

４．もともと吸っていない

（７）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

１．ない　　２．高血圧　　３．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）

４．心臓病　　５．糖尿病　　６．高脂血症（脂質異常）

７．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）　　８．胃腸・肝臓・胆のうの病気

９．腎臓・前立腺の病気　　10．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）

11．外傷（転倒・骨折等）　　12．がん（悪性新生物）　　13．血液・免疫の病気

14．うつ病　　15．認知症（アルツハイマー病等）　　16．パーキンソン病

17．目の病気　　18．耳の病気　　19．その他（　　）

問９　認知症にかかる相談窓口の把握について

（１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

１．はい　　２．いいえ

（２）認知症に関する相談窓口を知っていますか

１．はい　　２．いいえ

問10　今後の介護保険制度にかかわる施策について

（１）あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか

１．自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい

２．主に介護サービスを利用して、高齢者向け住宅に住み替えて暮らしたい

３．数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい

４．介護保険施設（特別養護老人ホーム）に入りたい

５．その他
（　　）

６．わからない

（２）自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが必要であると思いますか（３つまでに○）

1．住み続けられる住まいがある
2．家族が同居または近くにいる
3．見守ってくれる友人・知人が近くにいる
4．日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある
5．介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる
6．夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある
7．身近に利用できる医療機関がある
8．自宅に医師が訪問して診療してくれる
9．自宅に歯科医師が訪問して診療してくれる
10．その他（　　）
11．わからない

（３）あなたは、保険料の負担と介護保険のサービスについてどう思いますか

1．保険料にかかわらず、介護サービスを充実させたほうがよい
2．保険料があまり高くならないように、保険で提供するサービスを限定する
3．現状のままがよい
4．介護サービスについては、保険の提供を受けなくとも、家族の介護や個人の費用負担で賄えばよい
5．その他（　　）
6．わからない

（４）現在、あなたが納付されている介護保険料について、家計への影響は次のうちどれに近いですか

1．大きい　2．やや大きい　3．適当である
4．やや小さい　5．小さい　6．わからない

（５）特別養護老人ホームの整備に関するお考えに最も近いものは、次のうちどれですか

1．保険料は高くなってもいいから、施設を増やしてほしい
2．保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい
3．保険料が高くなるのは困るから、施設はあまり増やさないでほしい
4．わからない

（６）介護保険に関わる施策で重点的に取り組んでほしいものは何ですか（３つまでに○）

1．介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実
2．介護支援専門員（ケアマネジャー）やサービス提供事業者に関する情報提供の充実
3．介護保険サービスの量や質の充実
4．介護専門職の資質の向上支援
5．認知症高齢者などの権利を守るための制度の充実
6．低所得者への負担軽減対策
7．高齢者の健康づくりや介護度の進行防止のための介護予防事業の充実
8．家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実
9．苦情・相談窓口の充実

（７）介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、 ご自由にお書きください。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

佐倉市
介護予防・日常生活ニーズ調査報告書

発行年月：令和８年３月
発　　行：佐倉市 高齢者福祉課 生きがい支援班
千葉県佐倉市海隣寺町 97
電　　話：０４３－４８４－１１１１